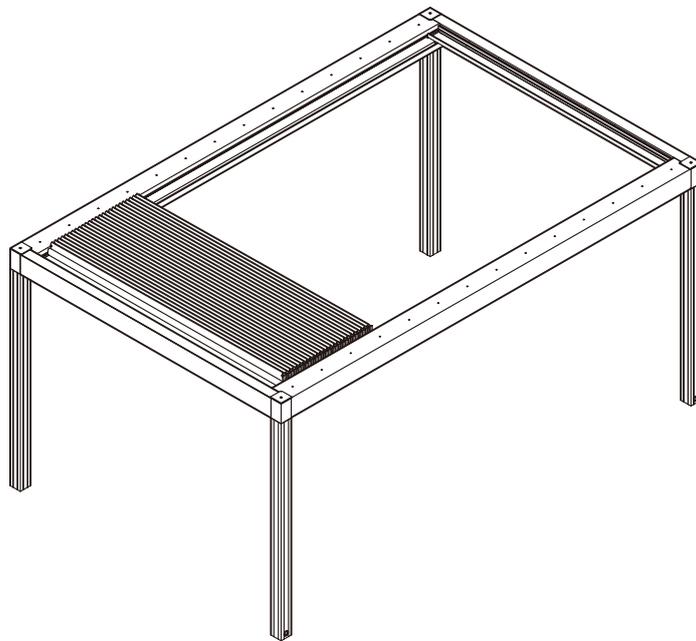




GARDEN ANNEX Model A

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。



■施工動画

本書内の各ページ右上にQRコードが記載されている場合は、動画で施工方法を視聴できます。QRコードはスマートフォンやタブレットなどで読み込みが可能です。

施工動画へ▶



■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

安全に関する記号と説明

-  **警告** ・取扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示します。
-  **注意** ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれのある内容を示します。

情報に関する記号と説明

-  **お願い** ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
-  **お願い** ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
-  **補足** ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

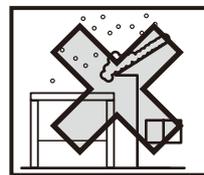
ネジ等の締結部品の記号

ネジやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1a、1b、2c等)
締結部品の種類は「 **梱包明細表** 」を参照してください。

□ 施工の前に

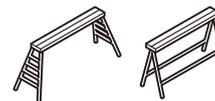
⚠ 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
 - 強風のとき、又は突風が予想される場合は、必ず屋根ルーバー部、ロールスクリーンを収納してください。
 - 給湯器や暖房機などの熱排気が製品内にこもるような場所には施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化・剥離(はくり)のおそれがあります。
 - 傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
 - 設置場所の確認をしてください。
- ※施工場所の気象条件(風、雪など)に合った製品かどうか確認してください。
※建物の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。
※強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道などの施工は避けてください。
- 崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。
 - 本製品の部材、部品はGARDEN ANNEX専用品です。他の商品には使用できません。



💡 お願い

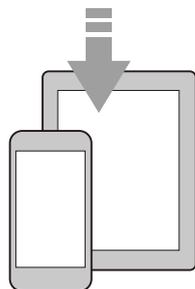
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 製品の施工は2人以上での施工を推奨しています。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- キャンバス生地は汚れ・キズ・シワが付きやすいので特に取扱いに気を付けてください。
- 施工現場での加工や部品の取付けを行う際に作業台(うま)があると便利です。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。



💡 お願い

- 本製品を操作するためには、スマートフォンまたはタブレットが必要です。
- 本製品の設定には「Google Chrome」ブラウザを使用します。事前にインストールを行なってください。
- インストールの詳細は、お使いのスマートフォンやタブレットの取扱説明書をご確認ください。
- Google Chromeで本製品を操作するには以下のシステム条件があります。

- | | |
|------------------|--|
| [iOS] | ・ iOS 12以降 (iPhone、iPad、およびiPod touch)
・ ダウンロードサイズ：約133.5MB |
| [Android] | ・ Android 5.0 (Lollipop)以降
・ ダウンロードサイズ：約73MB |



検索してインストール

Google Play (Android)
または
App Store (iOS) で
「**Google Chrome**」を検索

🔧 補足

- 準備品に関しては、**4 現場手配品と特殊工具** をご参照ください。

施工上のご注意

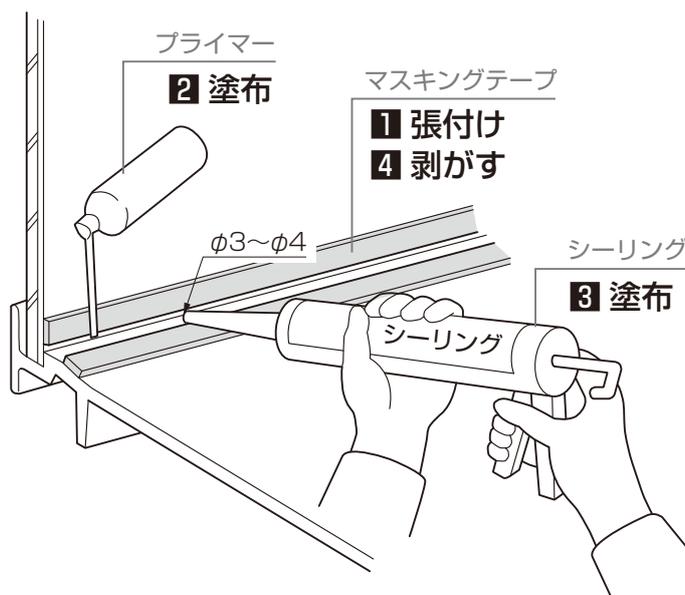
注意

- ボルト、ネジは当社指定品を指定本数使用し、下記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - <推奨トルク> φ4ネジ : 2.5N・m±0.5N・m(25±5kgf・cm)
 - φ5ネジ : 3.0N・m±0.5N・m(30±5kgf・cm)
 - M6ボルト : 5.2N・m±0.5N・m(52±5kgf・cm)
 - M8ボルト : 12.5N・m±0.5N・m(125±5kgf・cm)
 - M10ボルト : 24.5N・m±0.5N・m(245±5kgf・cm)
- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- 水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
- シリコンシーリング材を使用する場合は、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番	プライマー品名
信越化学工業	シーラント72	プライマーD
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ	トスシール380	トスプライムD
ダウ・東レ（株）	SE960	プライマーC、プライマーD3

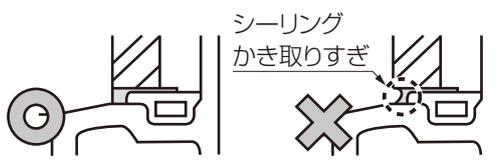
シーリング時の手順

- 1: ホコリなどを除去してからマスキングテープを張付け
 ※テープが付きにくい箇所には緑のマスキングテープを使用する
- 2: プライマーを塗布
- 3: シーリングを塗布
- 4: シーリングをヘラまたは指で押さえて仕上げ、速やかにマスキングテープを剥がす



重要ポイント

- シーリングを塗布した後、シーリングをかき取りすぎないように注意して仕上げてください。
 ※シーリングの塗布が不十分な場合、漏水の恐れがあります。



お願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全带、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
 - ・特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。
 - ・免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は付属の補修塗料で補修してください。

目次

1	施工前の重要確認事項	6	9	オプションの施工	85
1-1	柱の垂直、フレームの直角の確認	6	9-1	柱LED、フレームLEDの取付け	85
1-2	呼称寸法「W」、「L」と勾配(左右)の向き	6	9-2	LEDの初期設定	89
1-3	柱の固定・設置制限	7	9-3	サウンド&ヒーターの取付け	94
1-4	本体の切詰め	7	9-4	サウンド&ヒーターの仕上げ	105
1-5	オプションの取付け位置制限とポイント	8	9-5	ロールスクリーンの取付け	110
1-6	ガラスパネルの取付け位置制限とポイント	10	9-6	ロールスクリーンの調整	118
1-7	土間工事	12	9-7	ロールスクリーンの仕上げ	120
1-8	配線接続図	16	9-8	ガラスパネル取付けの事前準備	123
1-9	実体配線図	17	10	仕上げ	124
1-10	配管工事	18	10-1	フレームサイドカバーの取付け	124
2	各部名称	20	10-2	トップカバーの取付け	125
2-1	本体の各部名称	20	10-3	柱サイドカバーと柱キャップの取付け	126
2-2	ガラスパネルの各部名称	22	10-4	柱カバーの取付け	127
3	施工フロー	24	11	ガラスパネルの施工	128
3-1	本体の施工	24	11-1	下レールの取付け	128
3-2	オプションの施工	25	11-2	上レールの取付け	135
4	現場手配品と特殊工具	27	11-3	縦枠の取付け	138
5	基本寸法	28	11-4	戸先錠の取付け	140
5-1	単体	28	11-5	ガラスコーナークッション材の取付け	142
5-2	連棟	29	11-6	ガラスパネルの取付け	143
6	納まり図	30	11-7	ガラスパネルの仕上げ	145
6-1	基本納まり図	30		梱包明細表	150
6-2	柱脚納まり図	31			
6-3	サウンド&ヒーター納まり図	32			
6-4	ロールスクリーン納まり図	33			
6-5	ガラスパネル納まり図	34			
7	施工前の準備	36			
7-1	フレームカバーの取り外し	36			
7-2	柱の加工(水上側柱の場合)	37			
7-3	柱の加工(水下側柱の場合)	39			
8	本体の施工	41			
8-1	柱の位置出し	41			
8-2	柱の建込み	42			
8-3	対角の確認	46			
8-4	排水キャップ、排水誘導キャップの取付け(単体の場合)	47			
8-5	排水キャップ、排水誘導キャップの取付け(連棟の場合)	48			
8-6	フレームの取付け	49			
8-7	電源ケーブルとネットワークケーブルの接続	58			
8-8	スマホによる初期設定	62			

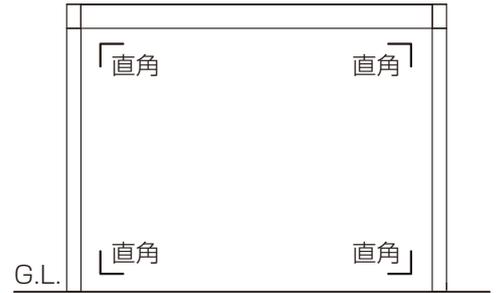
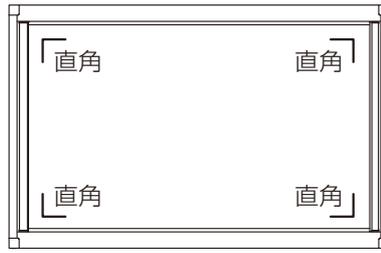
1 施工前の重要確認事項

1 施工前の重要確認事項

1-1 柱の垂直、フレームの直角の確認

お願い

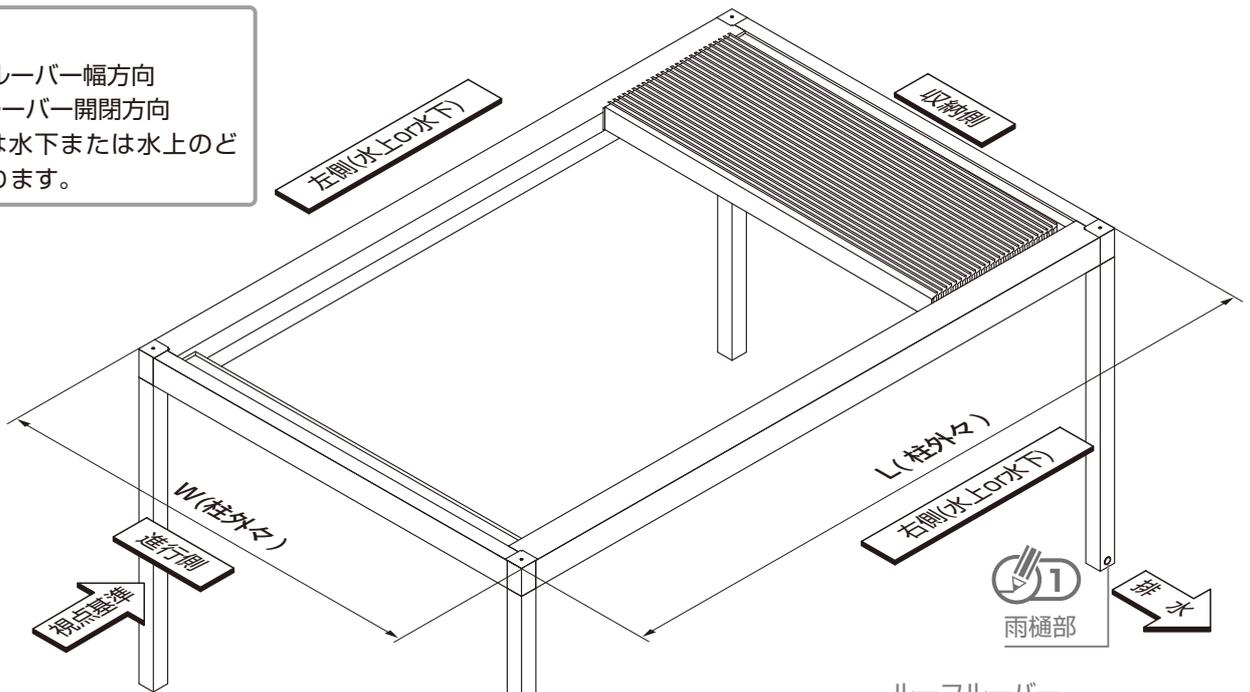
- 柱およびフレームの垂直、フレームの直角は必ず確認してください。



1-2 呼称寸法「W」、「L」と勾配(左右)の向き

補足

- W：ルーフルーバー幅方向
- L：ルーフルーバー開閉方向
- 右側/左側は水下または水上のどちらかになります。

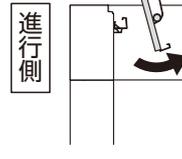


補足 ①

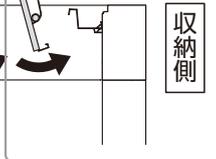
- 水下側の柱下部には雨樋部があります。



A 部詳細図

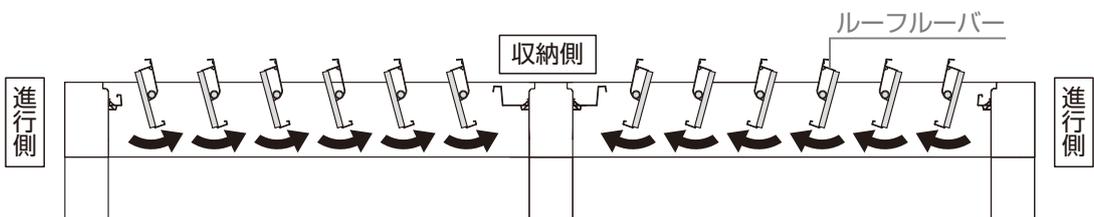
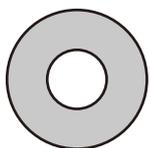
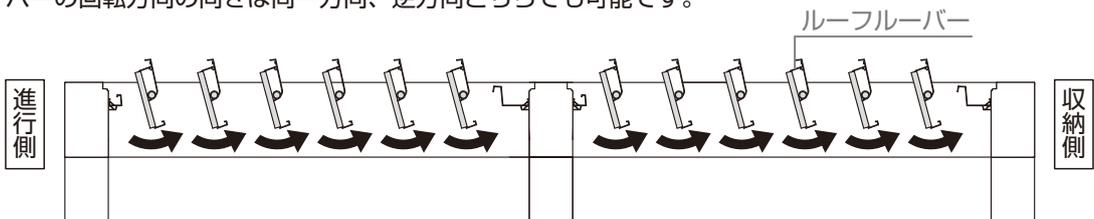
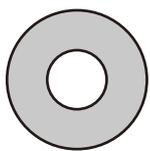


B 部詳細図



補足

- 連棟時のルーフルーバーの回転方向の向きは同一方向、逆方向どちらでも可能です。



1 施工前の重要確認事項

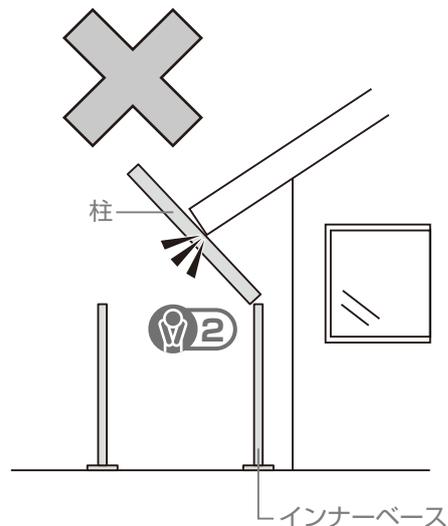
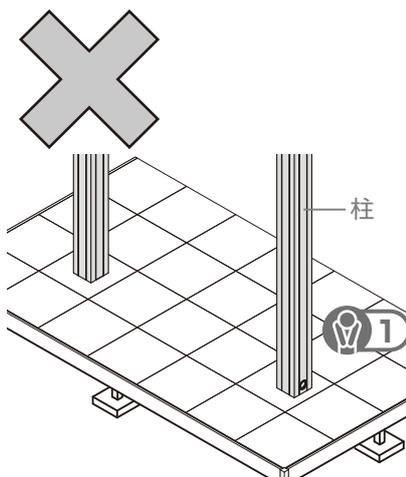
1-3 柱の固定・設置制限

お願い 1

- ベース仕様の場合、人工木、タイル等への固定はできません。土間、コンクリートへ固定してください。

お願い 2

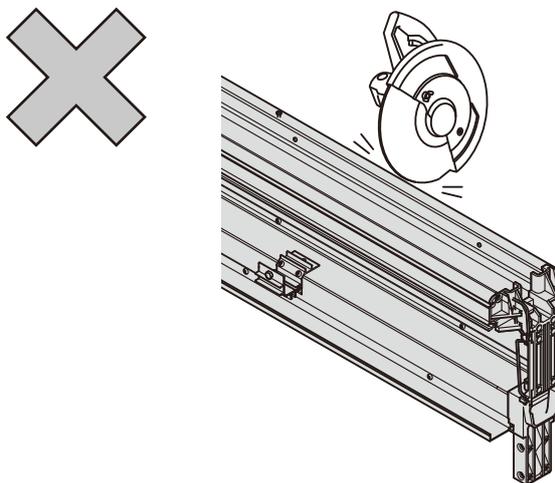
- インナーベースの場合は、ベース固定後に柱を上から挿入します。そのため、柱の上に障害物があると施工できません。



1-4 本体の切詰め

お願い

- フレームおよびオプションは切詰めをすることができません。
- 柱の建込みの際に、レベル調整で柱を切り詰めることはできます。



1 施工前の重要確認事項

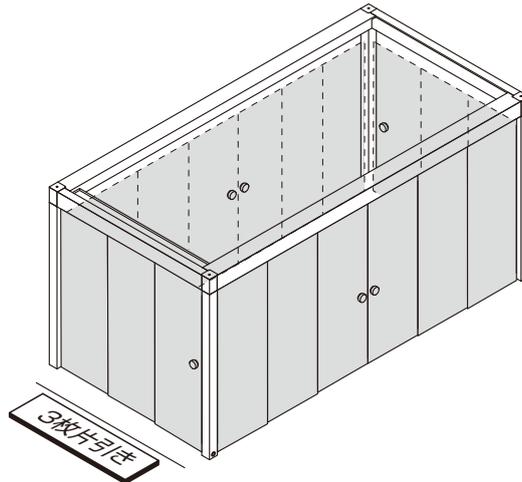
1 施工前の重要確認事項

1-5 オプションの取付け位置制限とポイント

▼ 柱LED▼

補足

- ガラスパネルを使用する場合、3枚片引きの戸先側には柱LEDを取付けることができません。

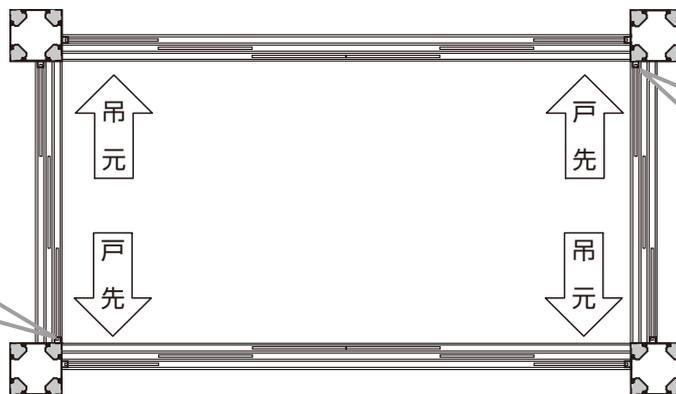
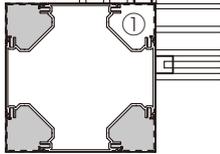


補足

- ①のコーナーには柱LEDを設置できません。

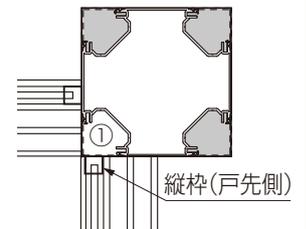
縦枠(戸先側)

レール



補足

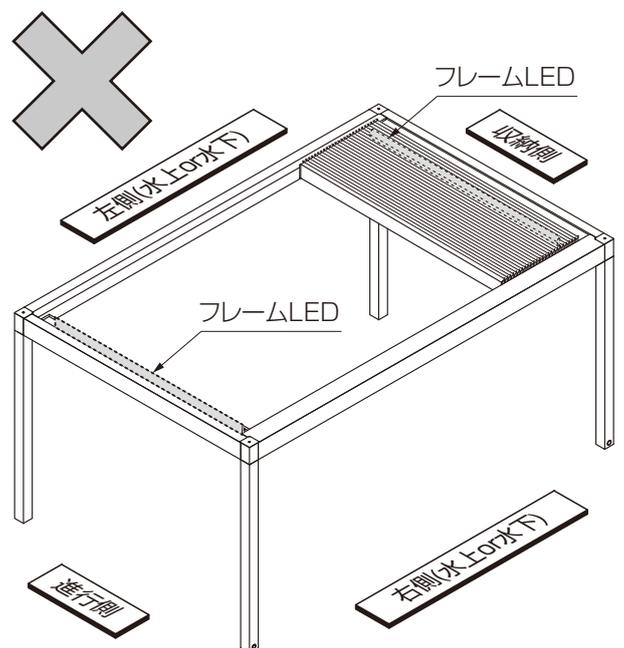
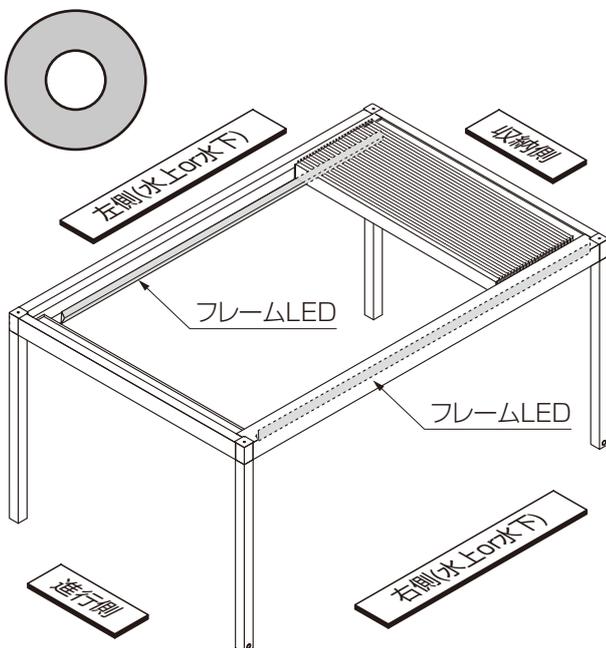
- ①のコーナーには柱LEDを設置できません。



▼ フレームLED▼

補足

- フレームLEDは水上または水下側のフレームにのみ取付けができます。
- フレームLEDはフレームに組み込まれた状態で入荷されます。後付けすることはできません。



1-5 オプションの取付け位置制限とポイント

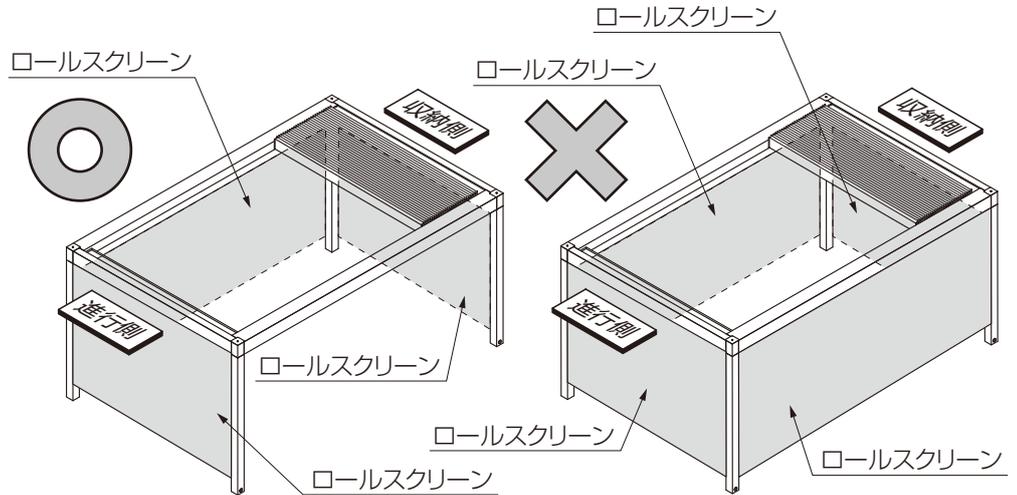
お願い

- 収納側または進行側にロールスクリーンとサウンド&ヒーターを併用する場合は、必ず先にサウンド&ヒーターを取付けて配線を完了させてください。
- サウンド&ヒーターの配線作業より先にロールスクリーンの取付けを行なうことはできません。

▼ ロールスクリーン ▼

補足

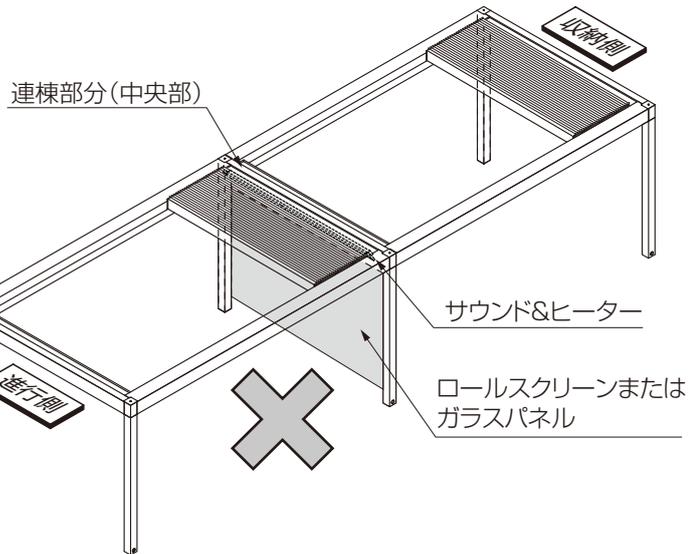
- どの面でも3面まで取付けることができます。全面(4面)には取付けることができません。



お願い

▼ 連棟の場合 ▼

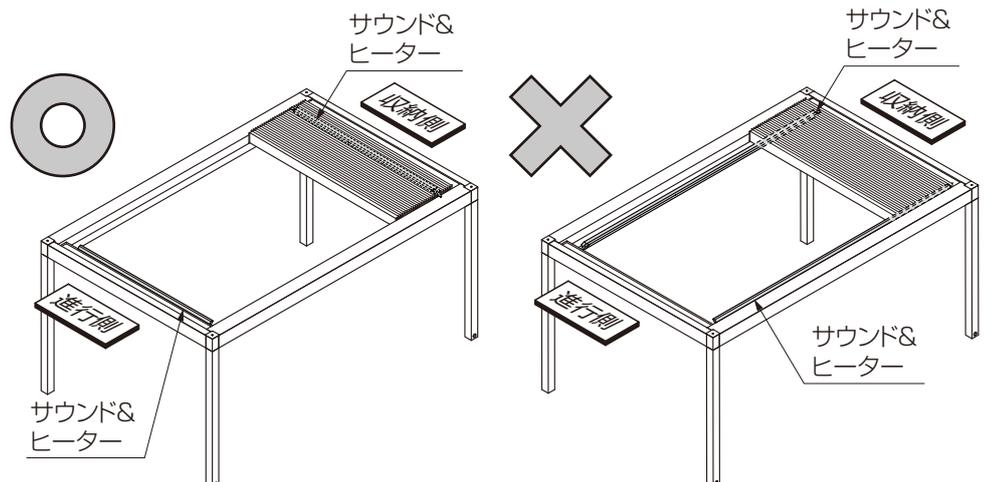
- ロールスクリーン、ガラスパネル、サウンド&ヒーターは連棟部分(中央部)に設置できません。



▼ サウンド&ヒーター ▼

補足

- フレームの収納側または進行側のみ取付けることができます。
- ヒーターを使用するには200V電源が必要です。



1 施工前の重要確認事項

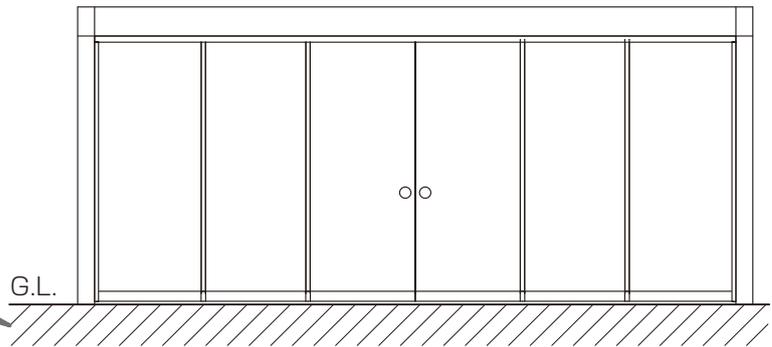
1 施工前の重要確認事項

1-6 ガラスパネルの取付け位置制限とポイント

1-6-1 ガラスパネル設置地面の確認

注意

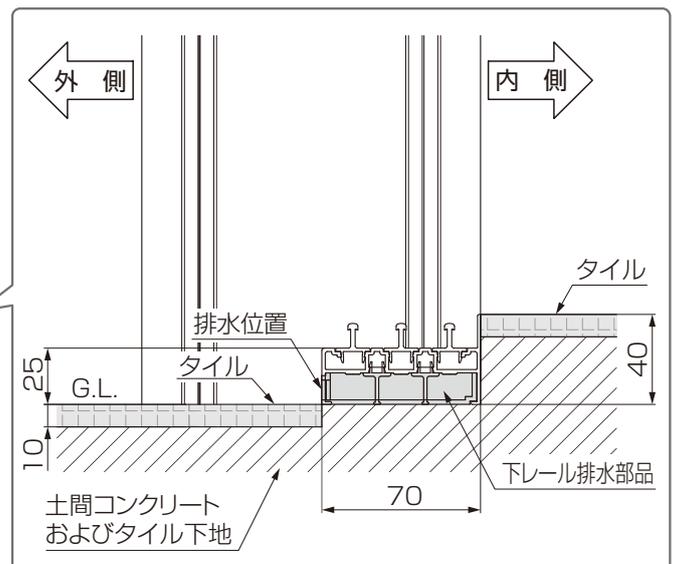
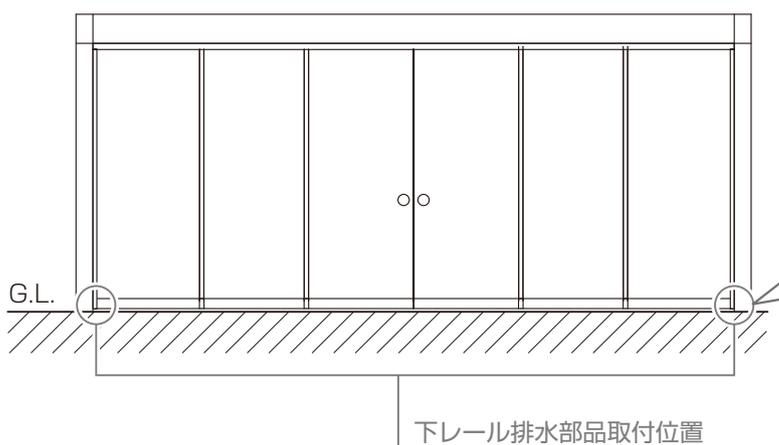
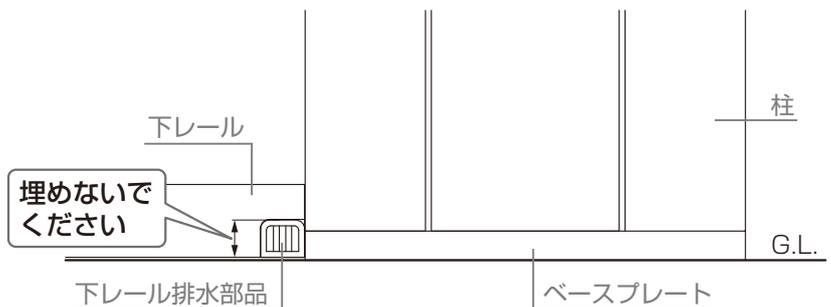
- ガラスパネルはコンクリートの地面のみ設置可能です。設置面が土などの場合、必ずコンクリート仕上げを行なった後設置してください。土台の強度不足により、転倒のおそれがあります。



1-6-2 ガラスパネル仕上げ面の確認

お願い

- 下レールの端部に下レール排水部品が取付けられます。ガラスパネルの施工が完了後、床を土間やタイル等で仕上げる場合、下レール排水部品を埋めないように仕上げを行なってください。

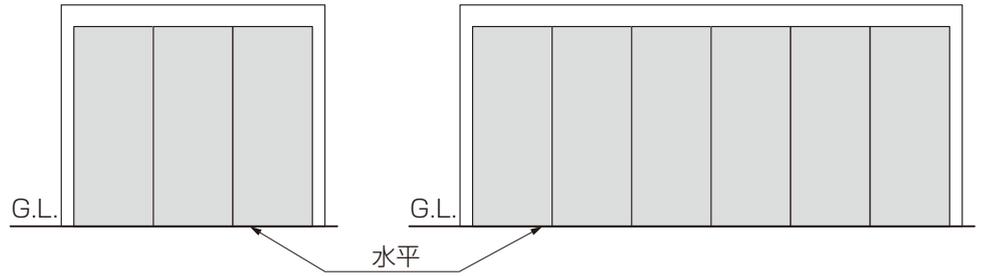


1-6 ガラスパネルの取付け位置制限とポイント

1-6-3 ガラスパネルを複数面設置する際の確認事項

📌 お願い

- ガラスパネルを複数面設置する場合、必ずすべての設置地面のレベルを合わせ、水平になっていることを確認してください。

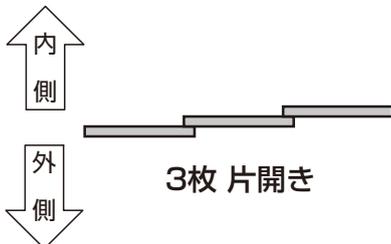
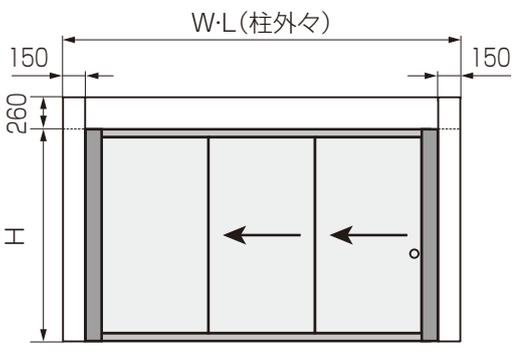


1-6-4 サイズ制限と開き方

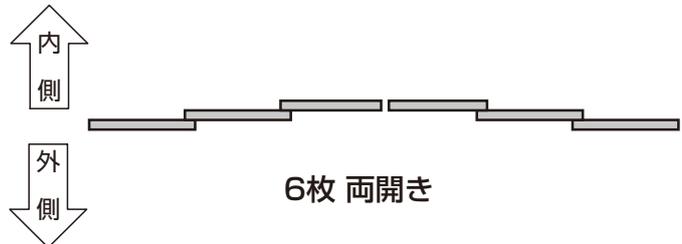
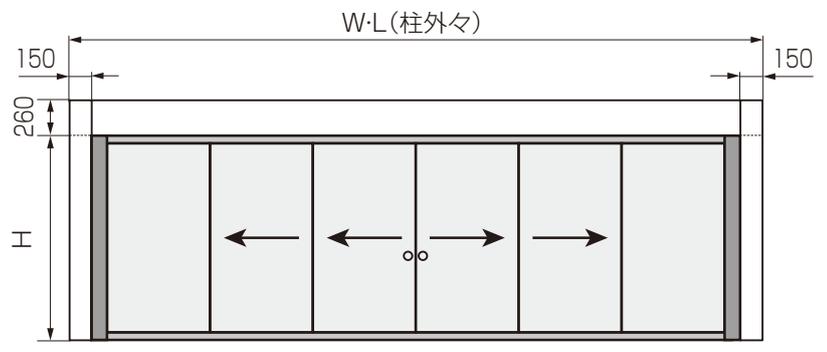
📝 補足

- ガラスパネルの高さHは、最少2000～最大2400mmになります。
- 取付け面のサイズLによって、パネルの枚数と開き方が異なります。

▼ W・L寸法が2000～3200の場合▼



▼ W・L寸法が3201～5990の場合▼



1 施工前の重要確認事項

1-7 土間工事

💡 お願い

- 土間を形成する場合、埋設するPF管の位置がズレないように推奨する土間工事のパターンがあります。パターン①、パターン②を参考にして土間工事をしてください。

1-7-1 推奨パターン① (埋込み仕様)

- 1: 型枠を設置
- 2: 捨てコンクリートを流し込み

💡 お願い

- 捨てコンクリートは50mm以上の厚みで流し込んでください。
- 捨てコンクリートの表面を仕上げてください。

- 3: 柱を建込み
- 4: ベースプレートアンカー(現場手配)で固定

🔧 補足

- 捨てコンクリートでレベルがズレても、柱とベース用スリーブでレベル調整ができます。

💡 お願い ①

- アンカーは現場手配してください。
- アンカーの長さは捨てコンクリートの厚みを考慮して検証してください。

- 5: PF管、電源線の立上げ

🔧 補足

- PF管、電源線の立上げは左側(水上)からしかできません。右側(水下)の柱には雨樋があるためPF管、電源線は通りません。

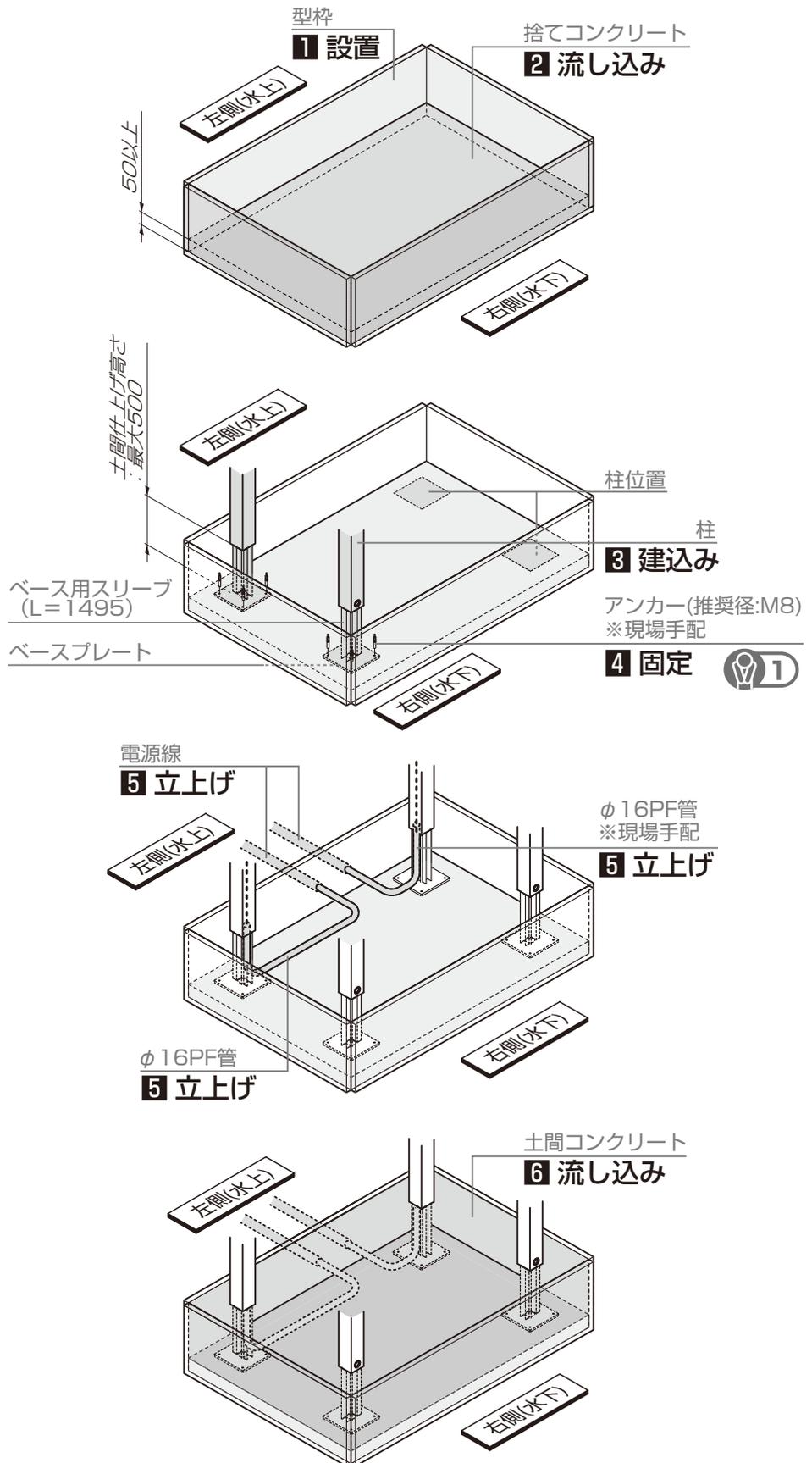
- 6: 土間コンクリートを流し込み

💡 お願い

- 土間コンクリートの表面を仕上げてください。

🔧 補足

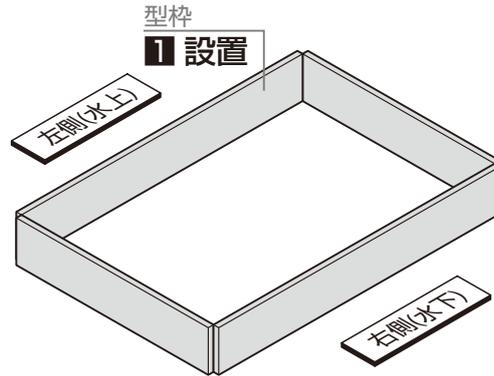
- ガラスパネルを取付ける場合、土間コンクリートの仕上げ高さや柱の高さを事前に確認してください。
- 仕上げ高さを間違えるとガラスパネルが取付けられなくなります。



1-7 土間工事

1-7-2 推奨パターン② (インナーベースプレート / ベースプレート仕様)

1: 型枠を設置



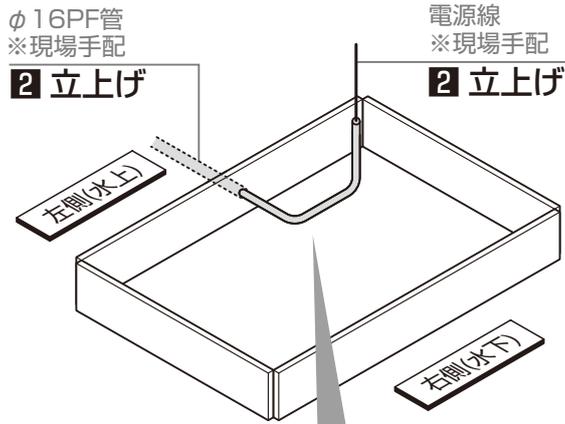
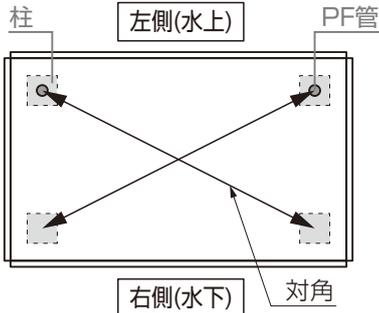
2: PF管、電源線の立上げ

補足

- PF管、電源線の立上げは左側(水上)からしかできません。右側(水下)の柱には雨樋があるためPF管、電源線は通りません。

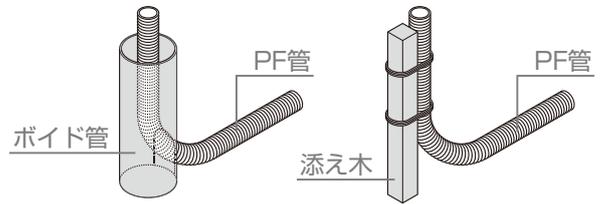
お願い

- PF管を立ち上げる位置は、必ず柱を立てる位置の中心になるようにしてください。また、対角の確認も行ってください。



お願い

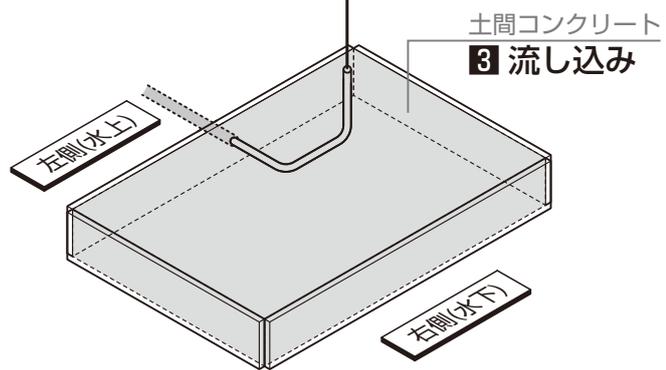
- ボイド管や添え木を使用して、PF管が倒れたり位置がズレないようにしてください。



3: 土間コンクリートを流し込み

お願い

- 土間コンクリートの表面を仕上げてください。

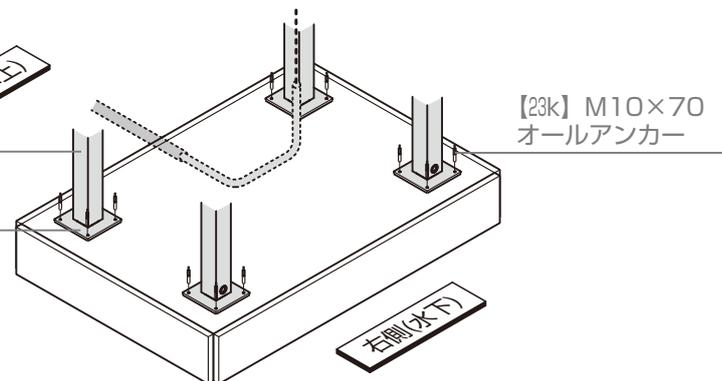


4: 柱を建込み

お願い

- 柱の中にPF管および電源線を通してください。

柱
4 建込み
ベースプレート



1-7 土間工事

1-7-3 ガラスパネルを設置後、土間・タイル仕上げを行う場合

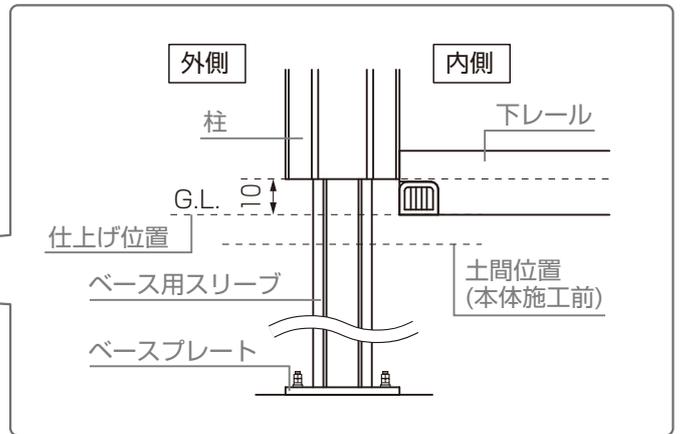
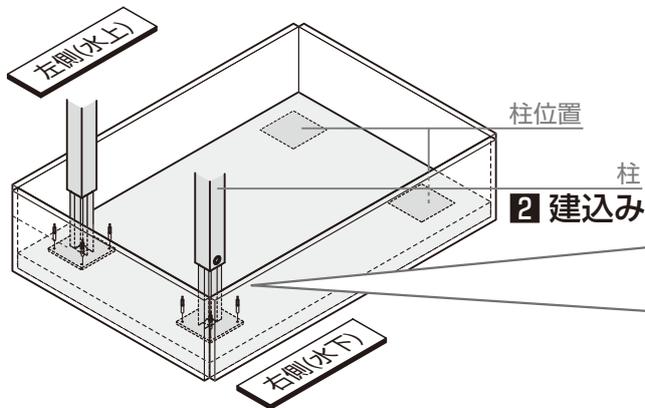
1: 推奨パターン①または②の「柱の建込み」直前まで土間工事を行う

2: 柱を建て込み

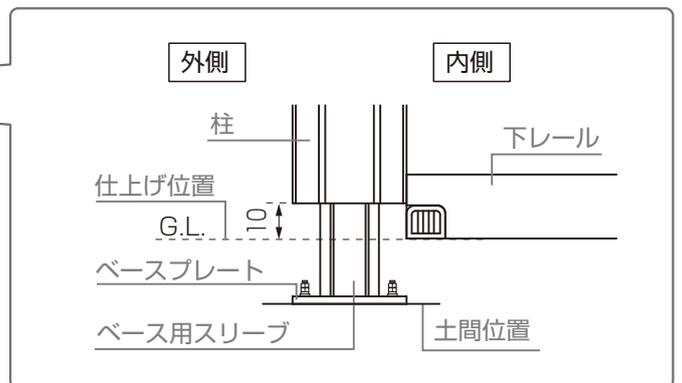
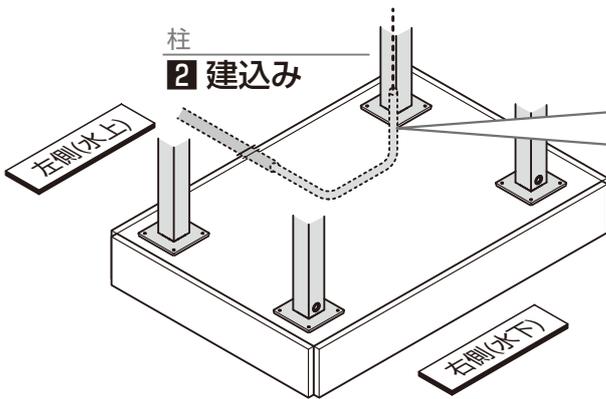
お願い

●最終的な外側の仕上げ面がG.L.となるように柱の高さを調整して固定してください。

▼ 推奨パターン①の場合 ▼



▼ 推奨パターン②の場合 ▼



3: パターン①または②の土間工事を完了させる

1-7 土間工事

つづき

1-7-3 ガラスパネルを設置後、土間・タイル仕上げを行う場合

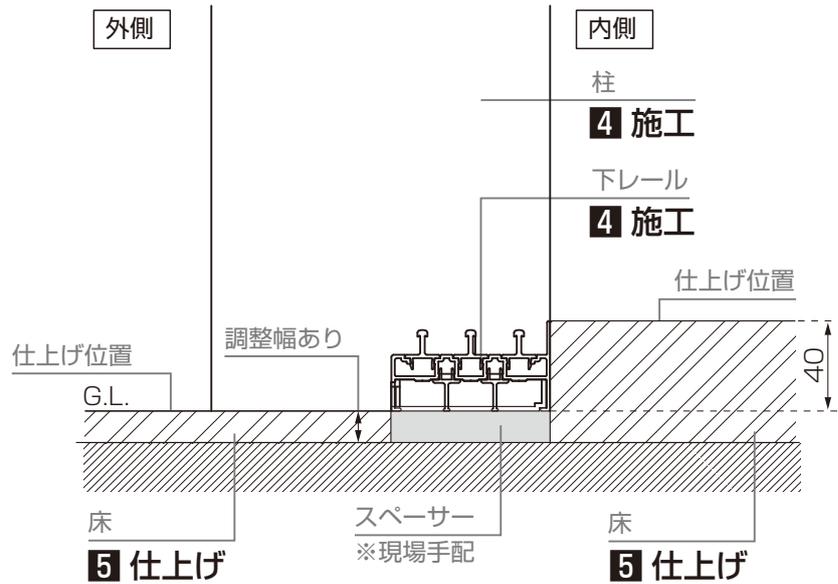
つづき

4: 本体およびガラスパネルを施工

5: 床を仕上げ

補足

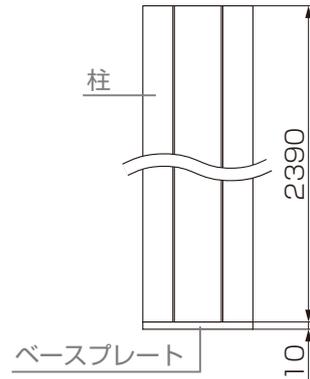
●内面立ち上げをする場合、下レール内側のフィンの位置（G.L.～40mm）に、内側の仕上げ面をあわせてください。



お願い

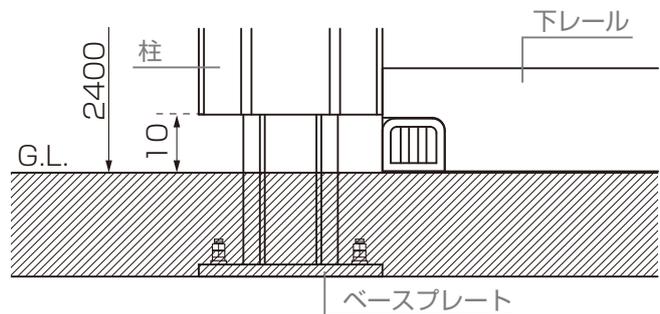
●柱のオーダー寸法はベースプレートを含む寸法です。

▼ H2400をオーダーの場合 ▼

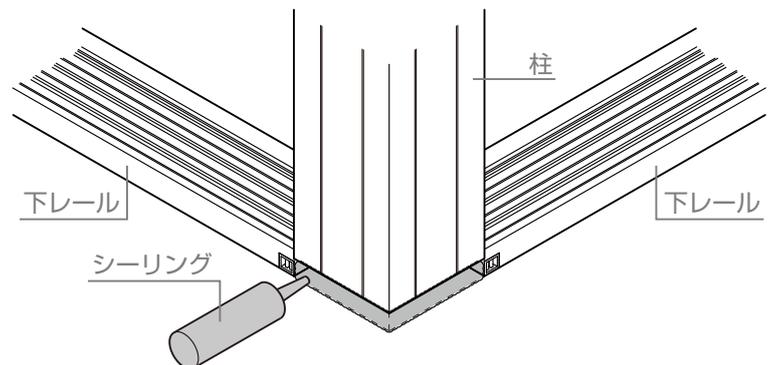


▼ ベースプレートを埋める場合 ▼

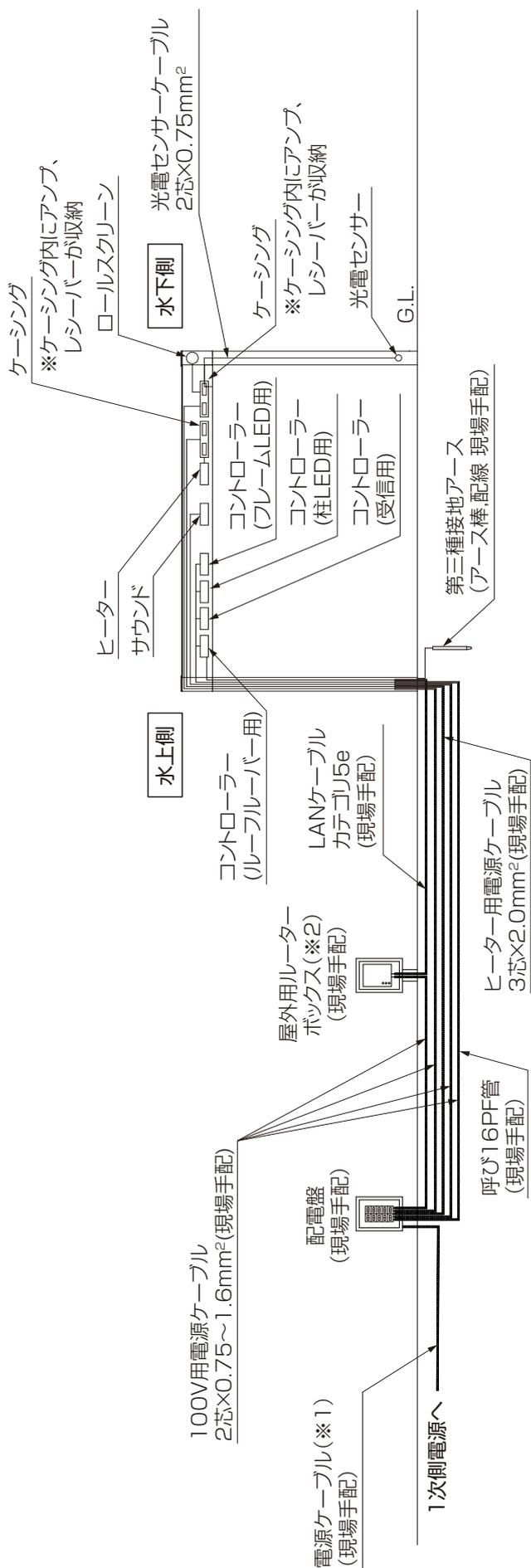
●ガラスパネルを設置する高さを確保するため、10mm柱を上げてください。



●空いたすき間はシーリング(本体同色)または土間を流し込み、埋めてください。



1-9 実体配線図



📢 お願い

- 配線接続図、及び実体配線図は単体仕様での全オプションを取付けた場合の推奨配線を図示しています。現場状況に応じて検証してください。
- 製品への配管、配線の立上げは水上側の柱からのみ立上げ可能です。
- 1次電源ケーブルは設置する全体構成から必要許容量を検証してください。(※1)
- 本図では屋外にWiFiルーターを設けていますが、製品を操作する位置からルーターに電波が繋がれば屋内のルーターを使用する事で操作は可能です。(※2)
- 各LANケーブルはカテゴリ5eを使用してください。

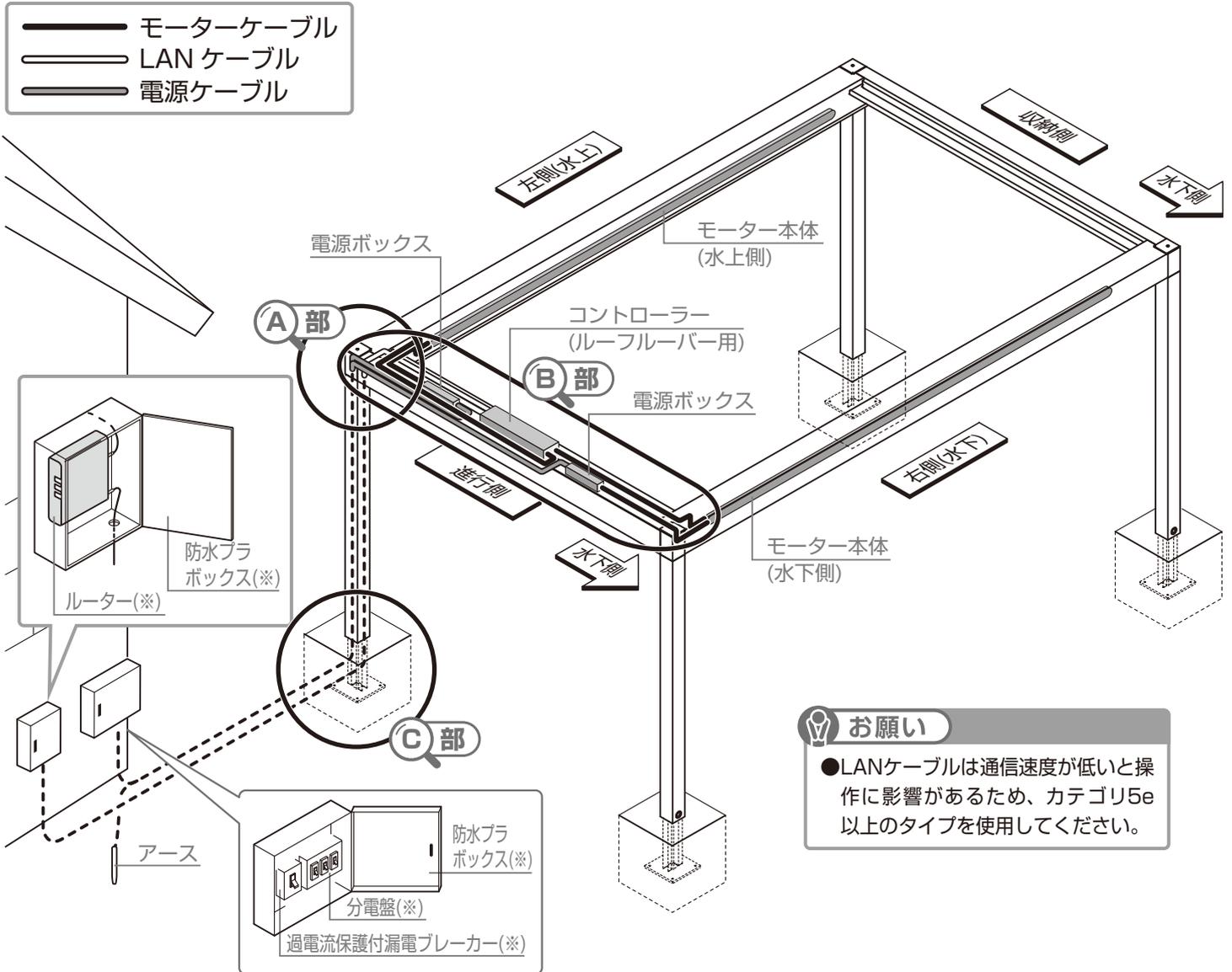
1 施工前の重要確認事項

1 施工前の重要確認事項

1-10 配管工事

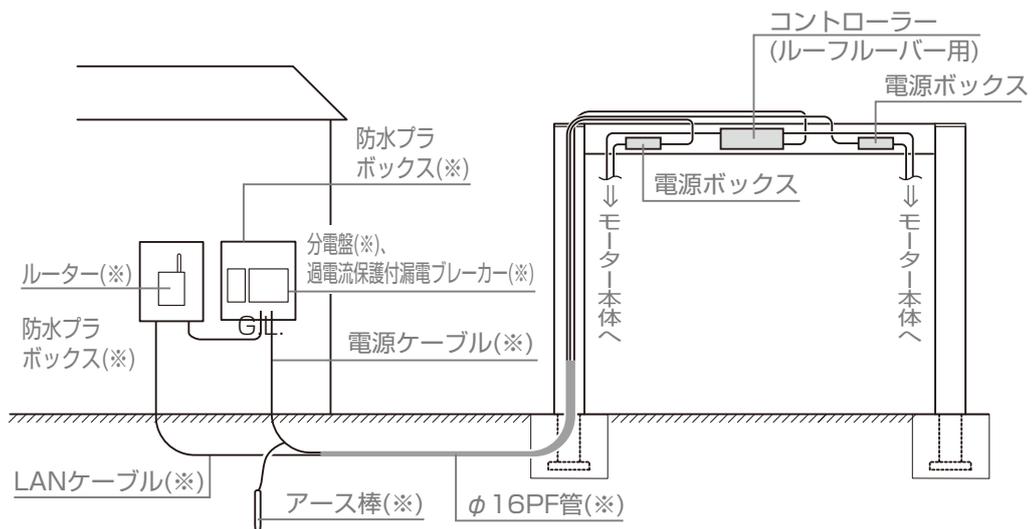
💡 お願い

- (※)記載のあるルーター、LANケーブル（カテゴリ5e以上）、防水ブラボックス、分電盤、アース棒、電源ケーブル、過電流保護付漏電ブレーカー、φ16PF管は現場手配をしてください。



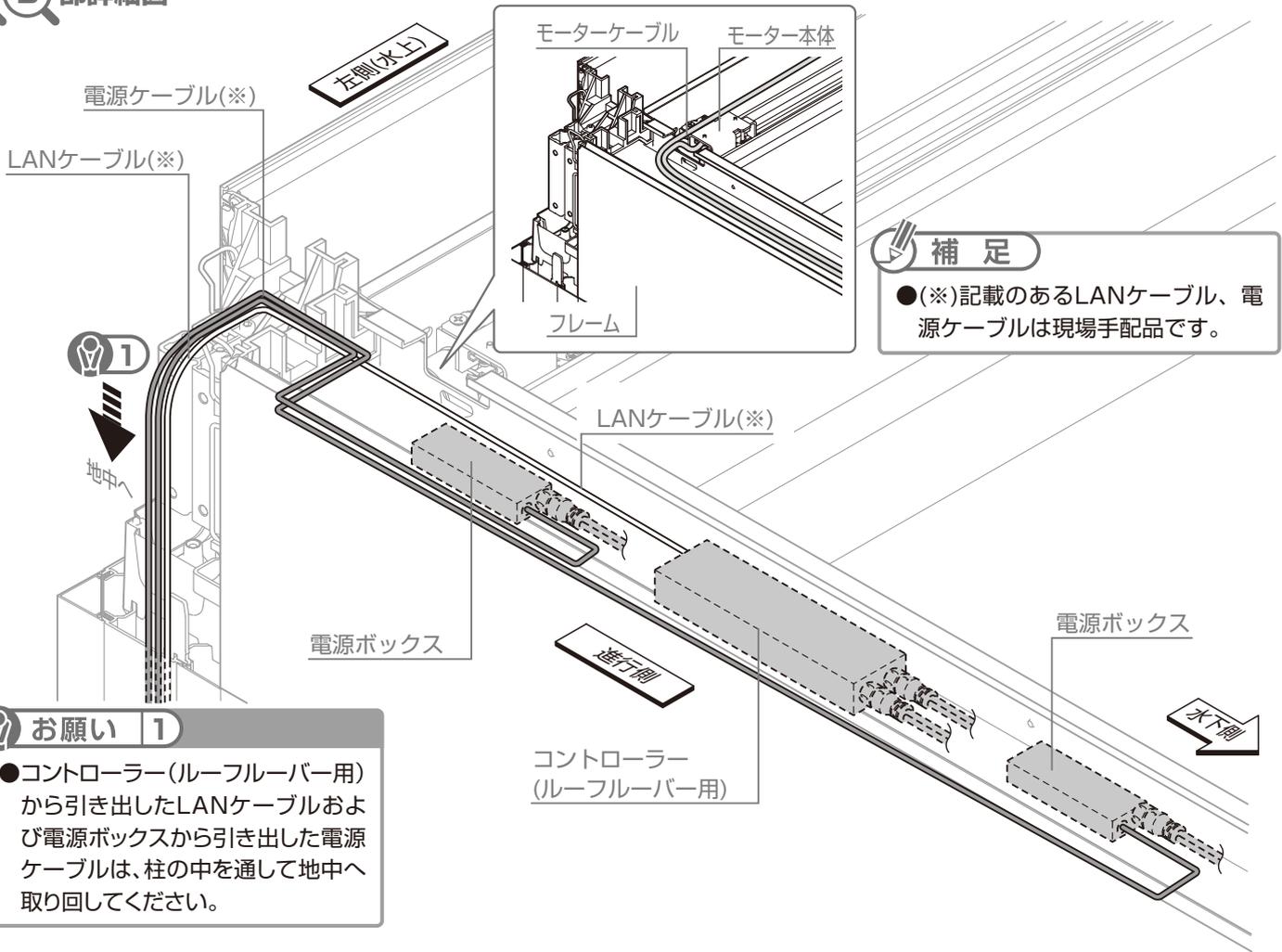
💡 お願い

- LANケーブルは通信速度が低いと操作に影響があるため、カテゴリ5e以上のタイプを使用してください。



1-10 配管工事

A B 部詳細図

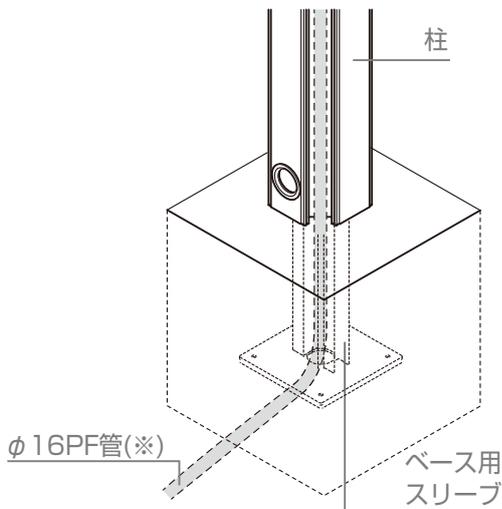


補足
●(※)記載のあるLANケーブル、電源ケーブルは現場手配品です。

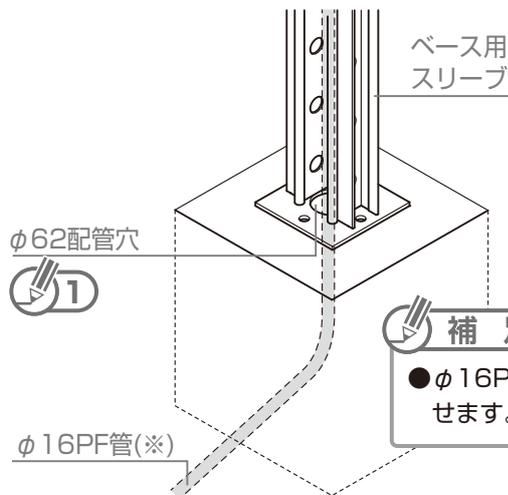
お願い 1
●コントローラー(ルーフレーバー用)から引き出したLANケーブルおよび電源ボックスから引き出した電源ケーブルは、柱の中を通して地中へ取り回してください。

C 部詳細図

▼ 埋め込み仕様の場合▼



▼ インナーベースプレートベースプレート仕様の場合▼



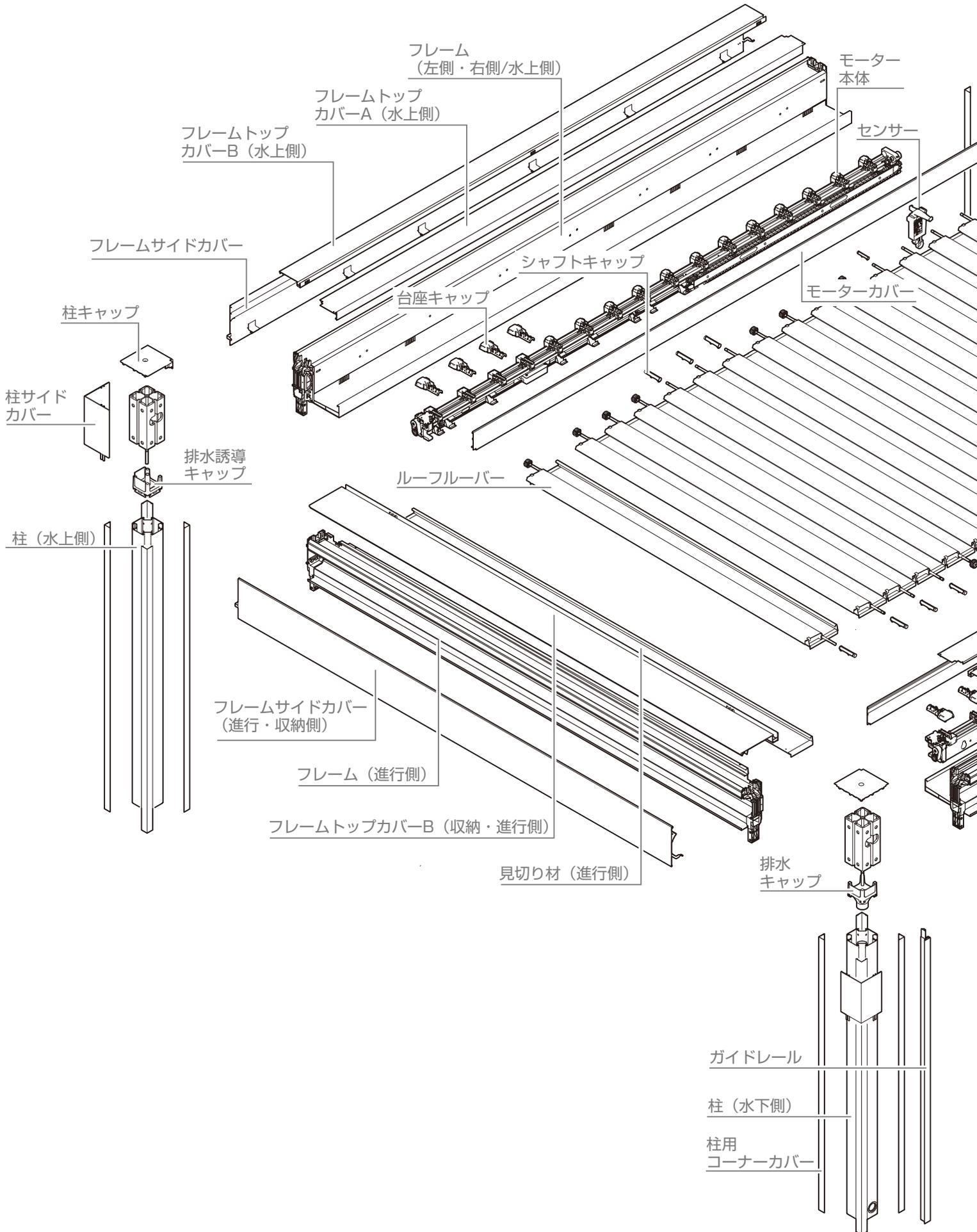
補足 1
●φ16PF管を最大3本通せます。

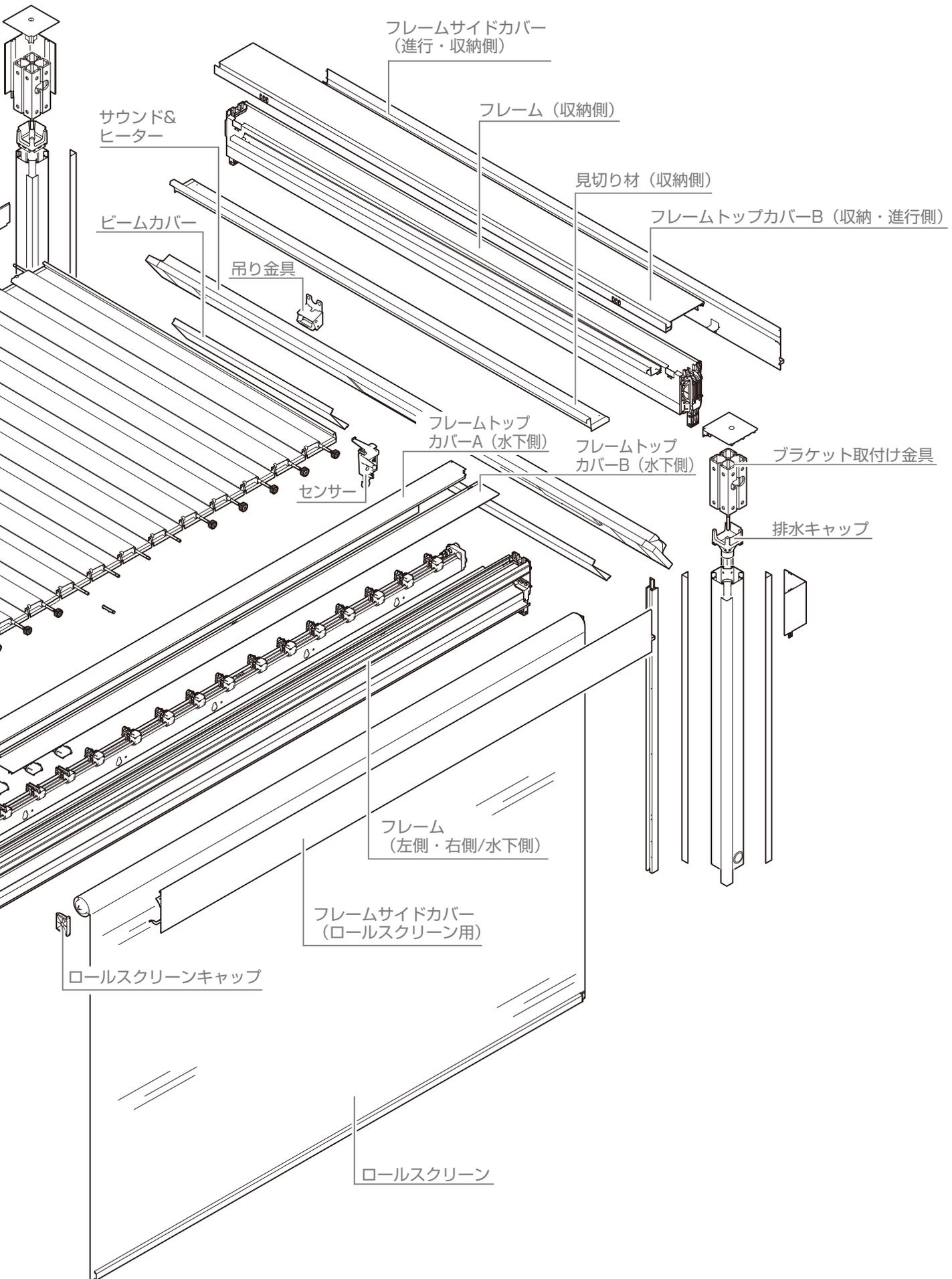
補足
●(※)記載のあるものは現場手配品です。
●埋め込み仕様の場合は、コの字型のベース用スリーブの溝に配管を取り回します。
●ベースプレート、インナーベースプレートの場合は、スリーブ下部のφ62配管穴から配管を取り回します。

2 各部名称

2-1 本体の各部名称

2
各部名称

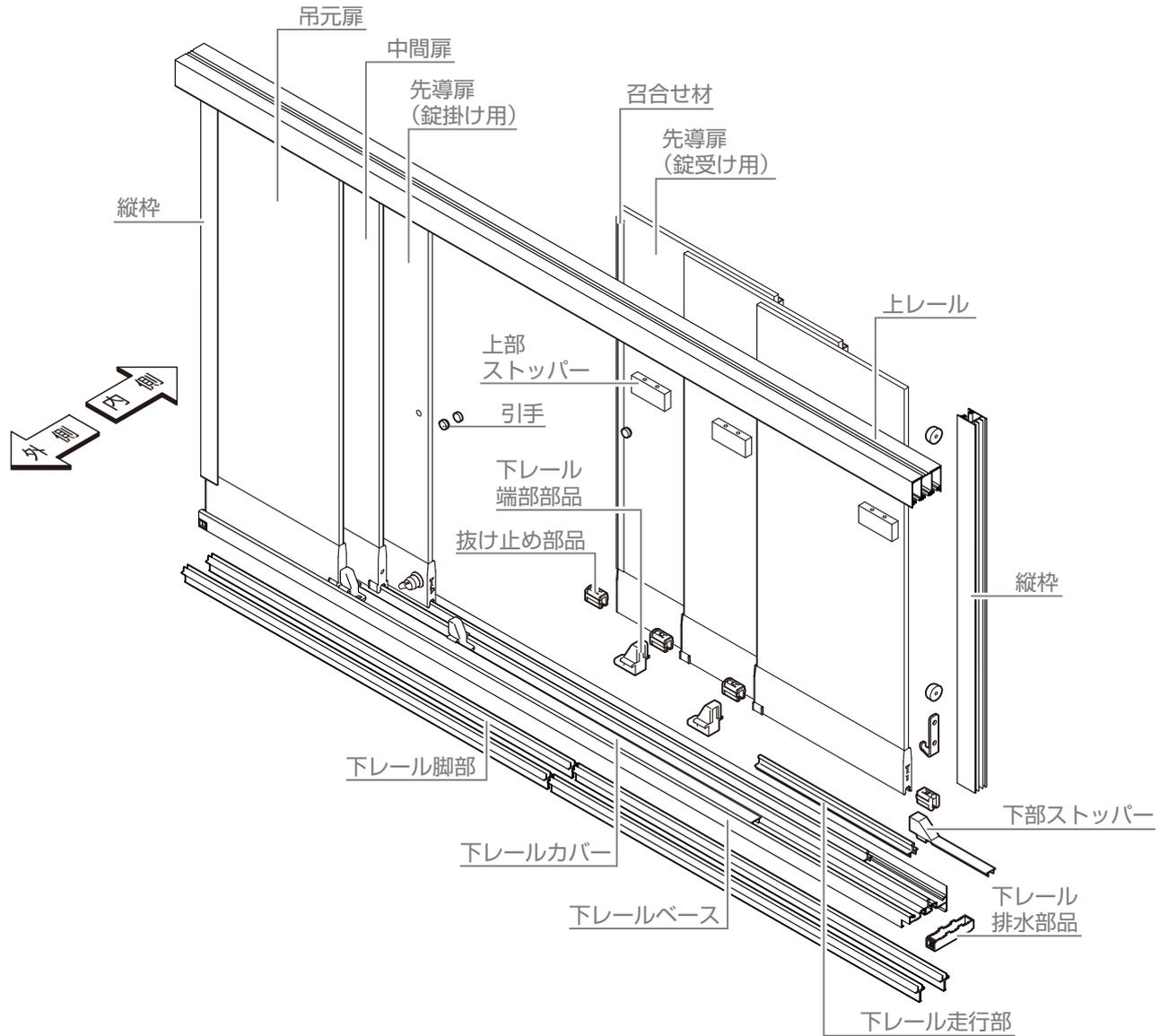




2 各部名称

2-2 ガラスパネルの各部名称

2-2-1 両開き仕様（ガラス6枚）

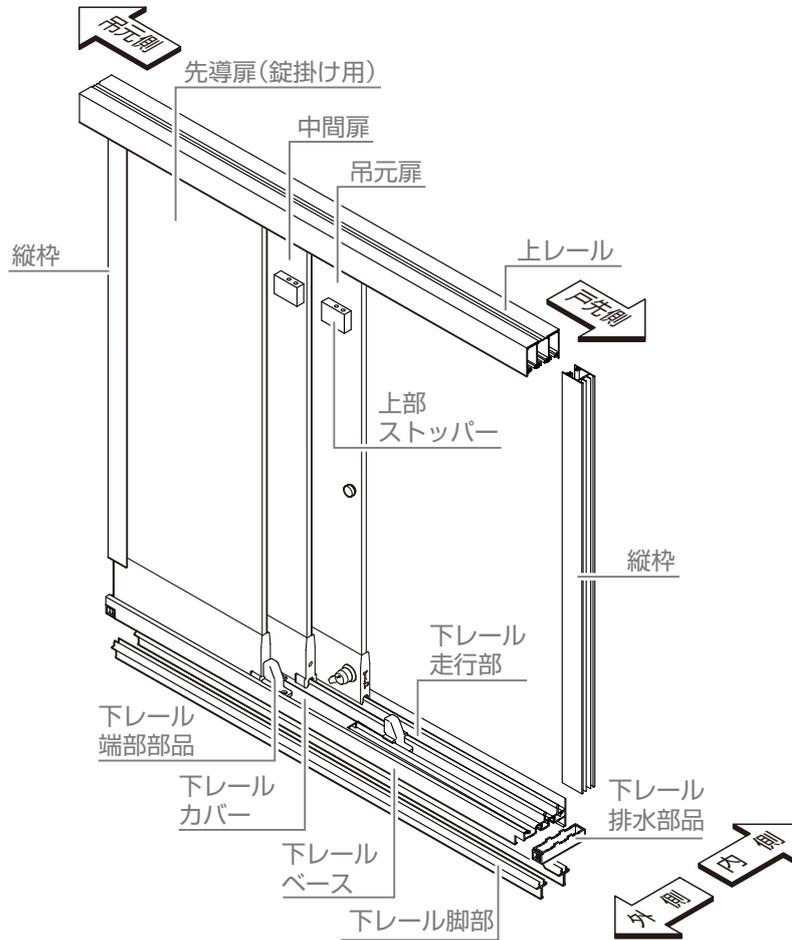


2

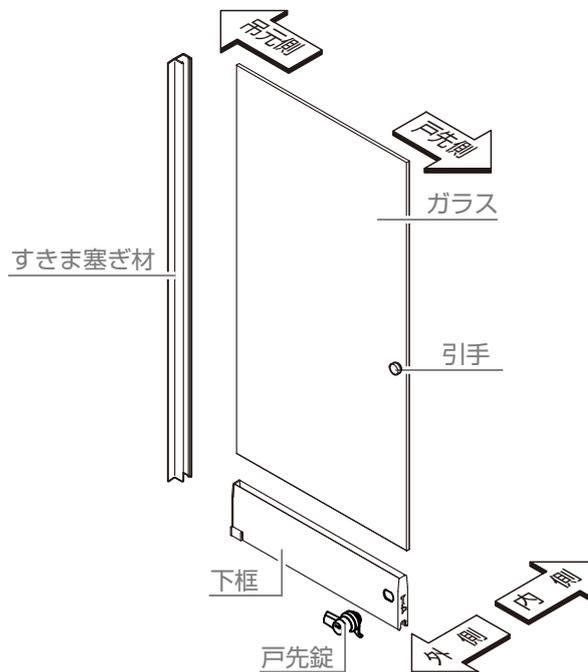
各部名称

2-2 ガラスパネルの各部名称

2-2-2 片開き仕様（ガラス3枚）



2-2-3 先導扉・中間扉 ※戸先錠は先導扉(錠掛け用)のみ



3 施工フロー

3-1 本体の施工

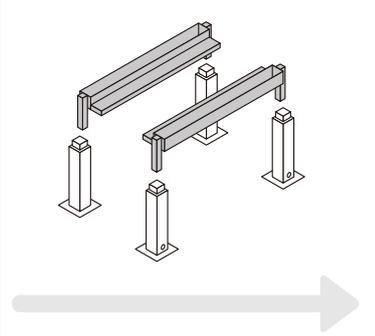
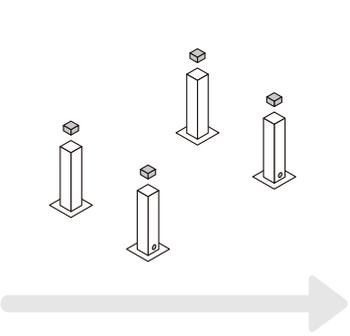
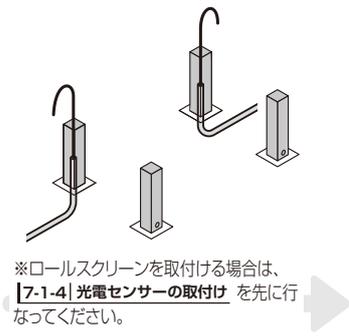
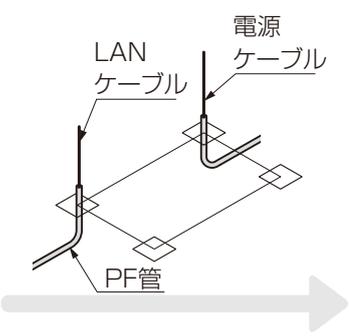
8-1 柱の位置出し

8-2 柱の建込み

8-4 排水キャップ、排水誘導キャップの取付け

8-6 フレームの取付け

8-6-1 フレームの取付け (水上、水下側)



8-6 フレームの取付け

8-6 フレームの取付け

8-6 フレームの取付け

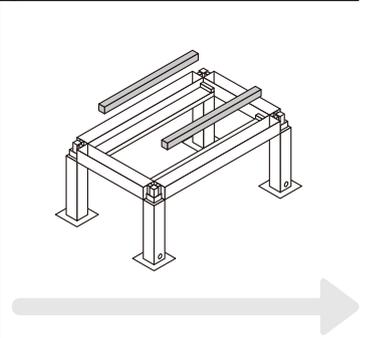
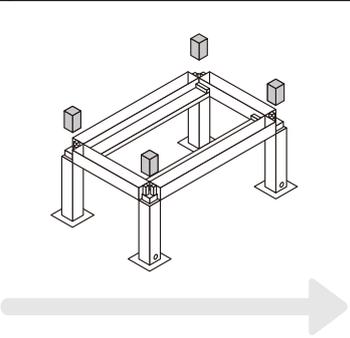
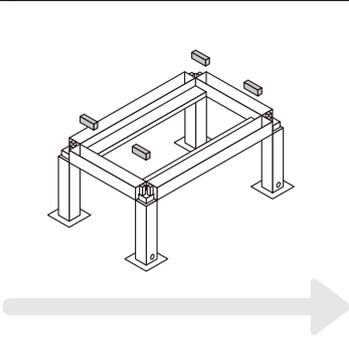
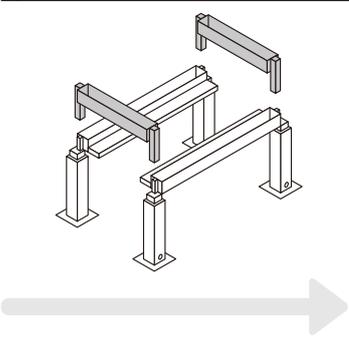
8-6 フレームの取付け

8-6-2 フレームの取付け (収納側、進行側)

8-6-4 シーリング部品の取付け

8-6-6 ブラケット取付け金具の取付け

8-6-7 モーター本体の取付け



8-6 フレームの取付け

8-8 スマホによる初期設定

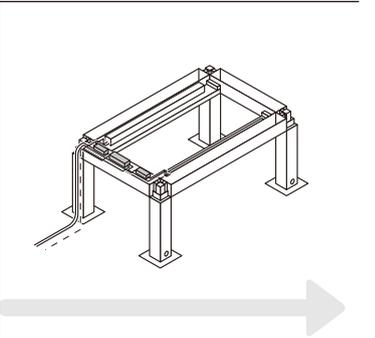
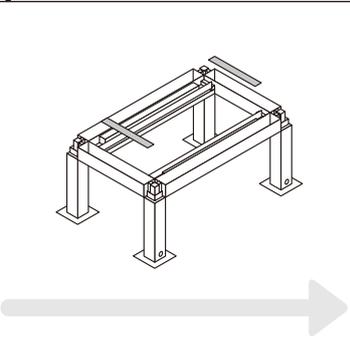
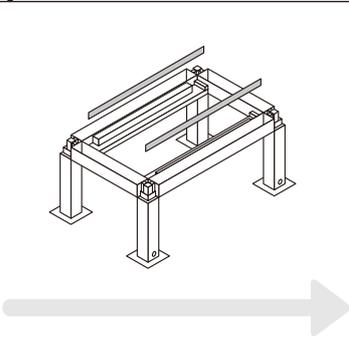
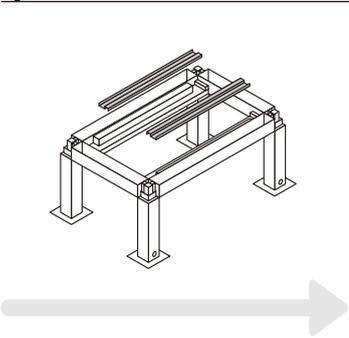
8-8 スマホによる初期設定

8-7 電源ケーブルとネットワークケーブルの接続

8-6-8 金網ネットの取付け

8-8-3 モーターカバーの取付け

8-8-4 見切り材の取付け



8-8 スマホによる初期設定

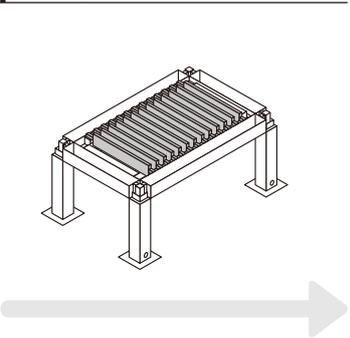
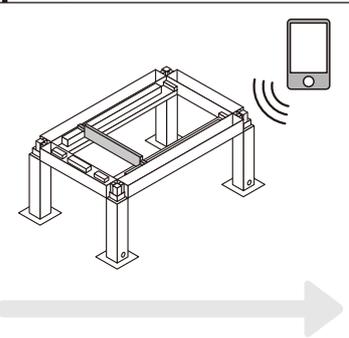
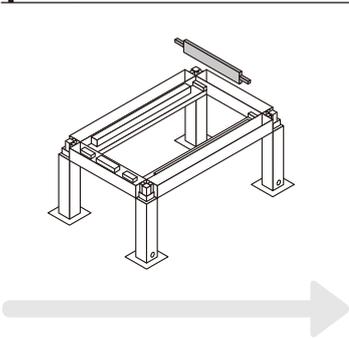
8-8 スマホによる初期設定

8-8 スマホによる初期設定

8-8-6 設定用ルーフルーバーの取付け

8-8-8 システムチェック

8-8-11 ルーフルーバーの取付け



お願い

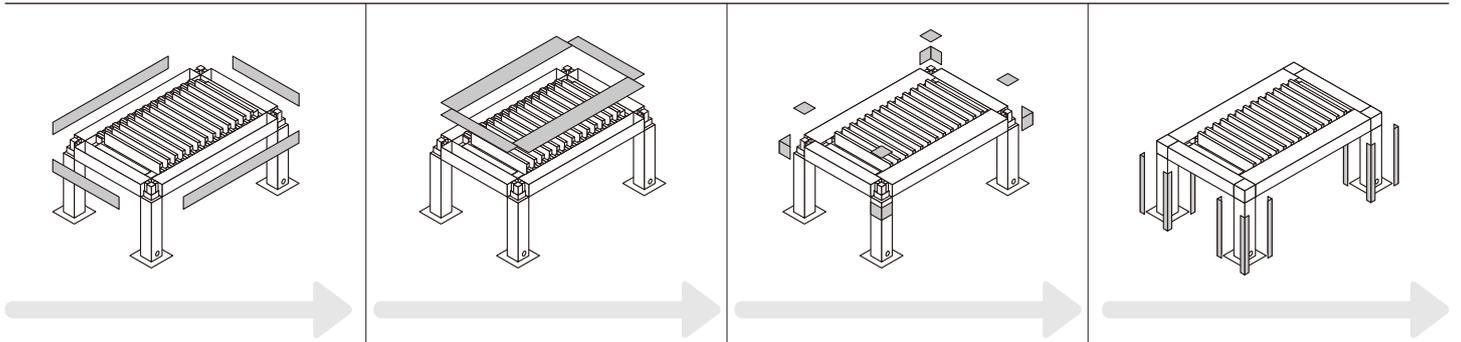
●電源ケーブルの本数は、オプションの数、種数によって異なります。P4を参照し、事前に必要電力量やケーブル本数を確認しておいてください。

3 施工フロー

3-1 本体の施工

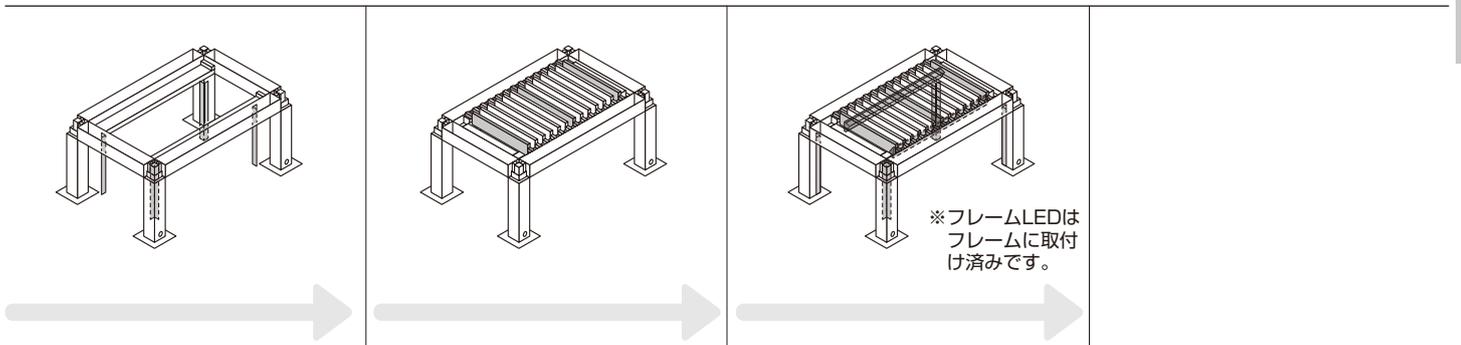
つづき

10-1 フレームサイドカバーの取付け 10-2 トップカバーの取付け 10-3 柱サイドカバーと柱キャップの取付け 10-4 柱カバーの取付け



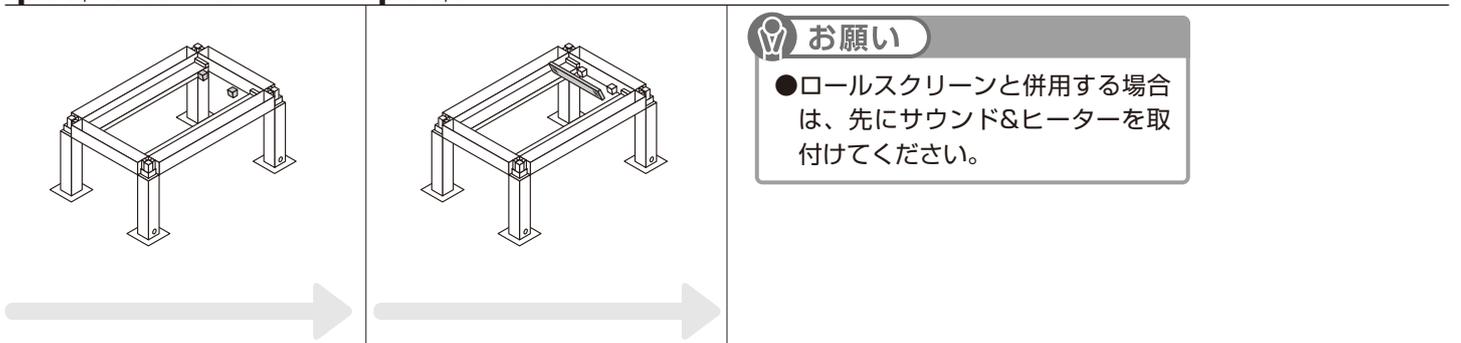
3-2 オプションの施工

9-1 柱LED、フレームLEDの取付け 9-1 柱LED、フレームLEDの取付け 9-2 LEDの初期設定



9-3 サウンド&ヒーターの取付け 9-3 サウンド&ヒーターの取付け

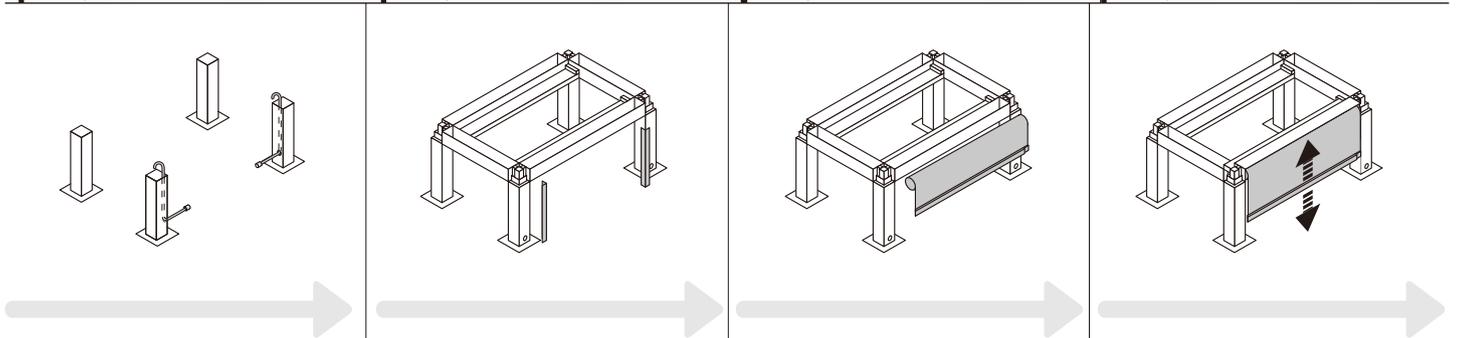
9-3-3 吊り金具の取付け 9-3-4 ビームの取付け



お願い
● ロールスクリーンと併用する場合は、先にサウンド&ヒーターを取付けてください。

7-2 柱の加工 (水上側柱の場合) 9-5 ロールスクリーンの取付け 9-5 ロールスクリーンの取付け 9-6 ロールスクリーンの調整

7-2-4 光電センサーの取付け 9-5-2 ガイドレールの取付け 9-5-4 ロールスクリーンの設置 9-6-3 開閉リミット (限界) の調整



3-2 オプションの施工

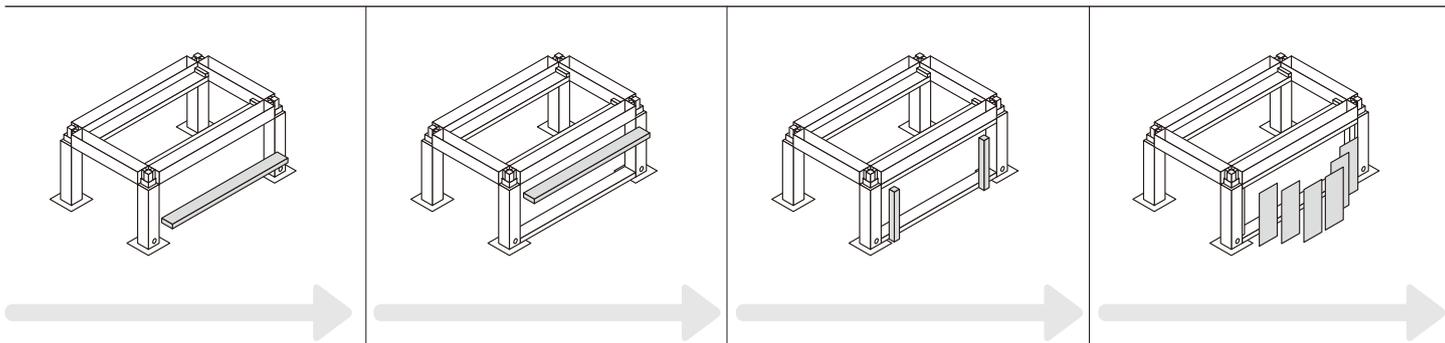
つづき

11-1 下レールの取付け

11-2 上レールの取付け

11-3 縦枠の取付け

11-6 ガラスパネルの取付け



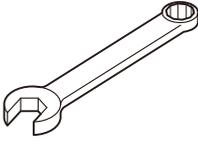
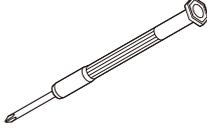
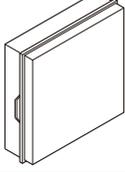
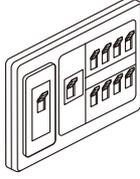
3

施工フロー

4 現場手配品と特殊工具

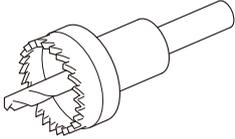
🔧 お願い

●本製品を施工する際は下記を準備しておいてください。

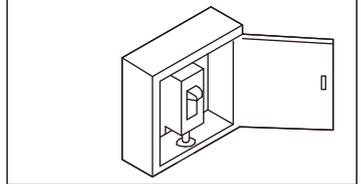
六角レンチ	スパナ (13mm)	精密ドライバー (+)	結束バンド (約10本)
 <p>Amm A=3,4,5 (3:M5用、4:M6用、5:M8用)</p>			
ルーター	LANケーブル	防水プラボックス	分電盤
	 <p>・カテゴリ 5e 以上 ・薄型フラットケーブルは使用不可</p>		

▼ ロールスクリーン(オプション)を取付ける場合 ▼

●25φホルソーは光電センサー取付け時に必要になります。

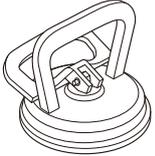
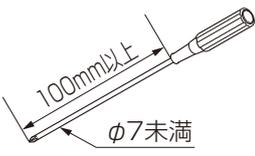
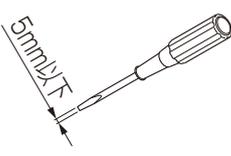
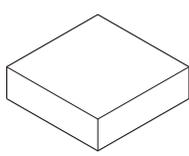
25φホルソー	通線ワイヤー
	

過電流保護付漏電ブレーカー



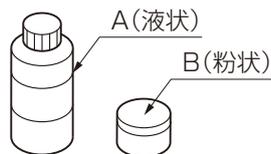
▼ ガラスパネル(オプション)を取付ける場合 ▼

- ガラスパネル(オプション)は最大サイズのもので1枚当たり約50kgの重さがあります。吊込みの際は安全のためリフター(吸盤)を使用してください。
- ガラスパネル(オプション)の戸車の高さ調整のために軸長100mm以上で軸径φ7未満のプラスドライバーが必要になります。
- ガラスパネル(オプション)の抜け止め部品を外すために幅5mm以下のマイナスドライバーが必要になります。

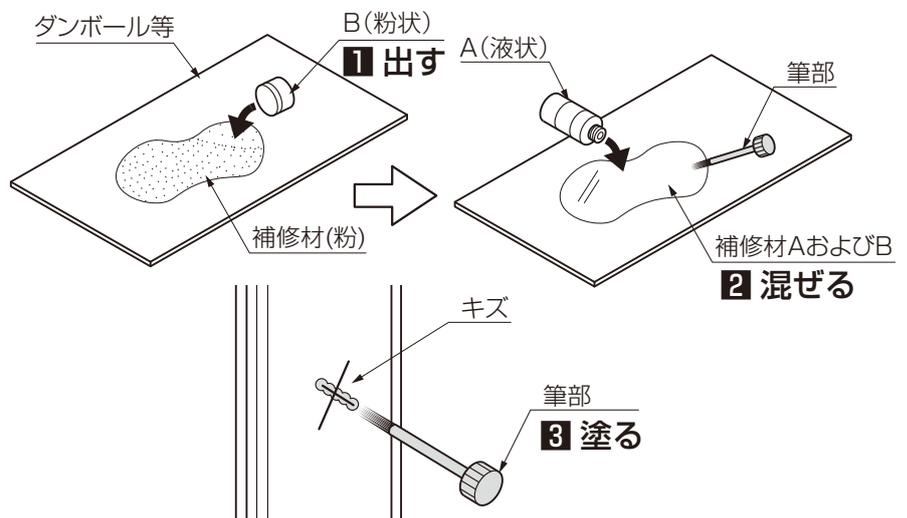
リフター (吸盤)	プラスドライバー	マイナスドライバー	スペーサー
	 <p>100mm以上 φ7未満</p>	 <p>5mm以下</p>	

🔧 補足

●製品にキズが付いてしまった場合は、付属の補修液を使用してください。



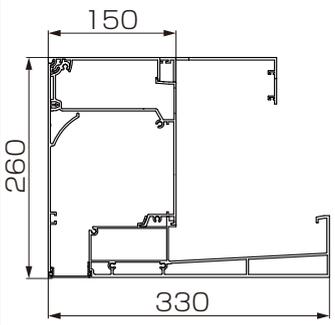
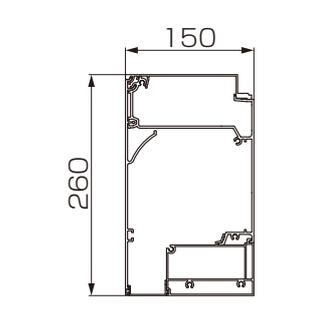
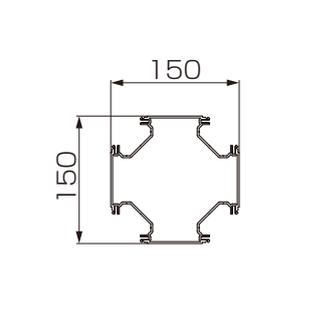
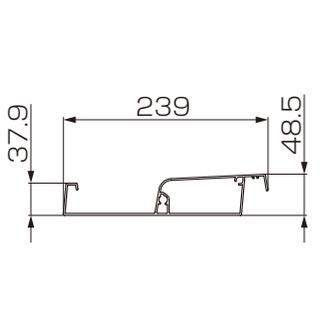
- 1: Bの粉をダンボール等に適量出す
- 2: Aの液体とBの粉を混ぜ合わせる
- 3: よく混ぜ合わせた補修液を、筆でキズなどの補修箇所に塗る



5 基本寸法

5-1 単体 ※本図は埋込み仕様を示します。 ※基礎寸法は表1を参照ください。

●使用主部材断面一覧

フレーム(水上/水下)	フレーム(進行/収納)	柱	ルーフルーバー
			

補足

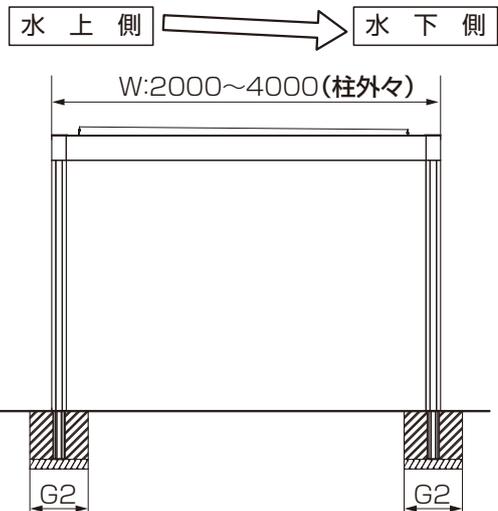
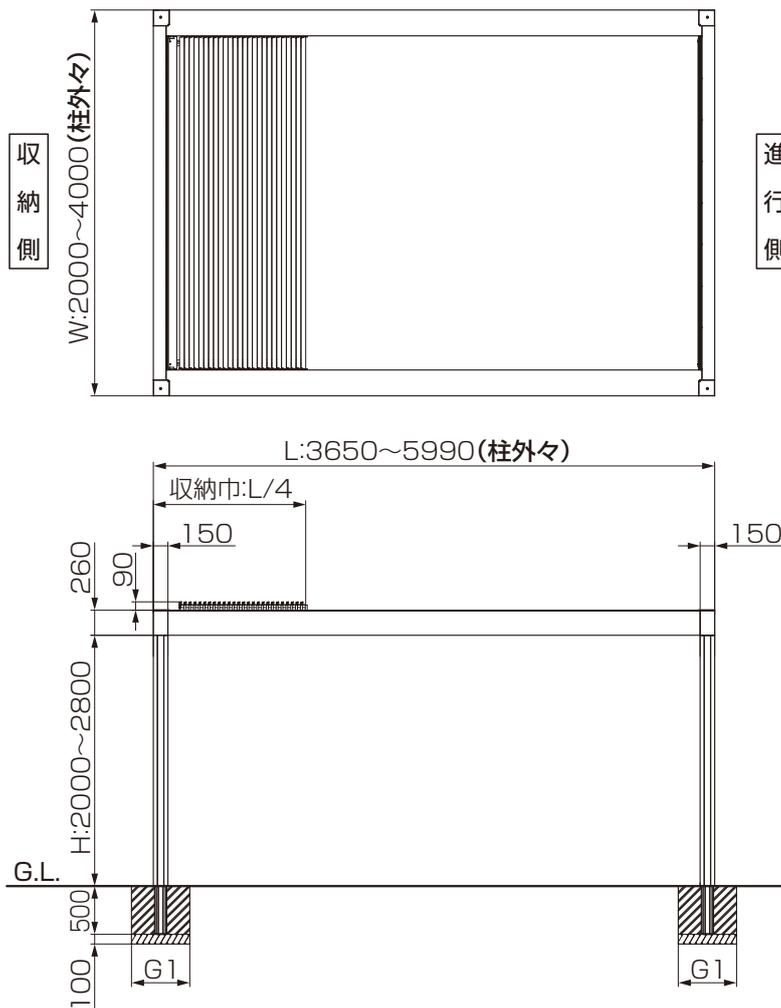
- W、L、H寸法は1mm単位でオーダー可能です。
- 屋根部は約1~3°の勾配がつきます（W寸法によって変動）。
- オプションのガラスパネルがある場合、最大H寸法は2400mmとなります。

●表1：基礎寸法 ※G1×G2 (寸法単位：mm)

L \ W	2000~2500	2501~3000	3001~3500	3501~4000
3650~4000	850×850	900×900	950×950	1000×1000
4001~5000	850×850	950×950	1000×1000	1050×1050
5001~5990	900×900	1000×1000	1050×1050	1050×1050

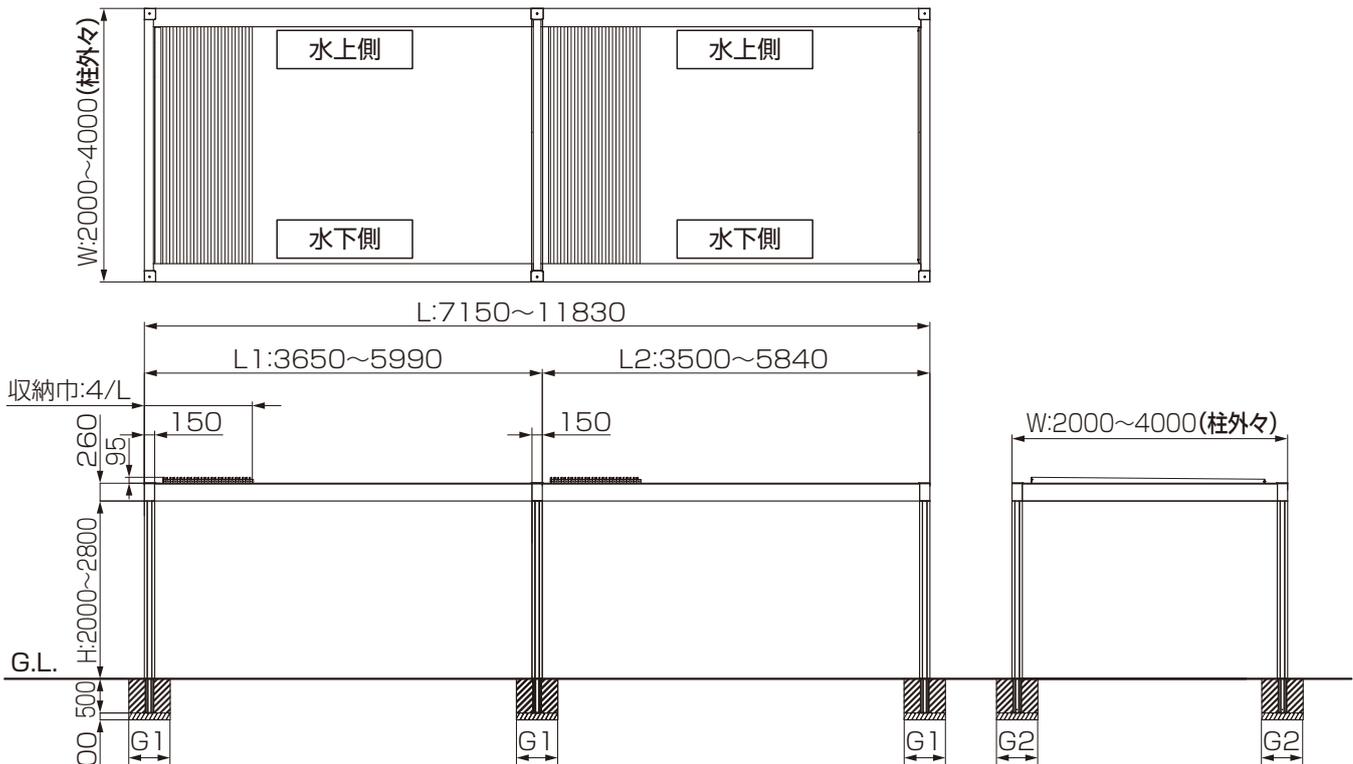
補足

- 基礎は $V_0=34\text{m/s}$ (収納時)、地表面粗度区分Ⅲ、長期地耐力 $50\text{ (kN/m}^2\text{)}$ の時の参考寸法です。設置する地域、地盤条件等に合わせ検証してください。
- 上記基礎寸法は、オプションが取り付けいても同様のサイズとなります。



5-2 連棟

5-2-1 L連棟



補足

- 基礎寸法は、オプションが取付いても同様のサイズになります。
- 連棟時の柱脚の納まりは、埋込み仕様のみになります。
- L寸法が同サイズの場合のみ連棟が可能です。サイズが異なる連棟はできません。
- 連棟は最大で3連棟まで可能です。
- 連棟時は、水上または水下側を上図のように同一方向に合わせる必要があります。
- 連棟時の収納部の位置は、右図のようなパターンがあります。

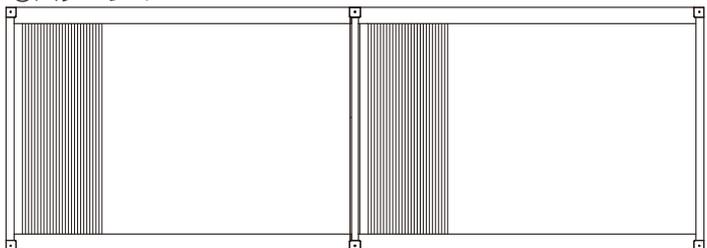
●表1：基礎寸法 ※G1×G2

L \ W	2000~2500	2501~3000	3001~3500	3501~4000
3650~4000	1000×1000	1000×1000	1100×1100	1150×1150
4001~5000	1100×1100	1100×1100	1150×1150	1250×1250
5001~5990	1200×1200	1200×1200	1250×1250	1350×1350

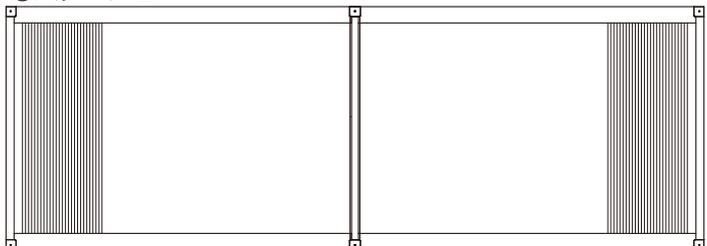
(寸法単位：mm)

●連棟時の収納パターン

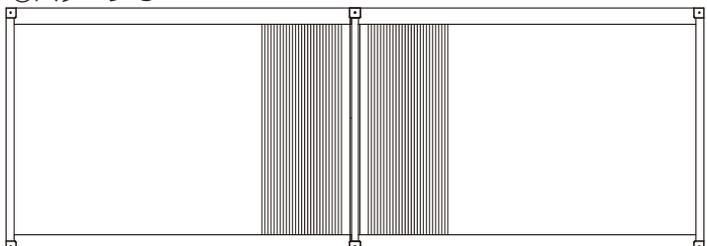
○パターン 1



○パターン 2

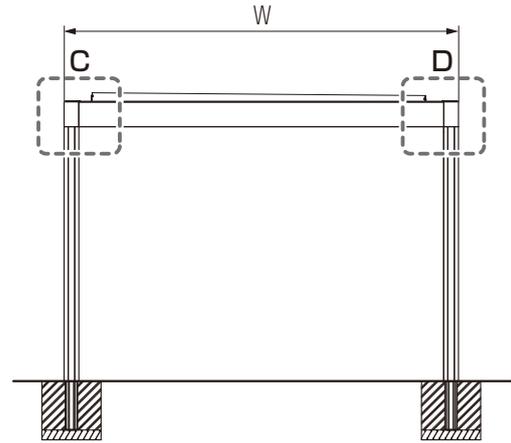
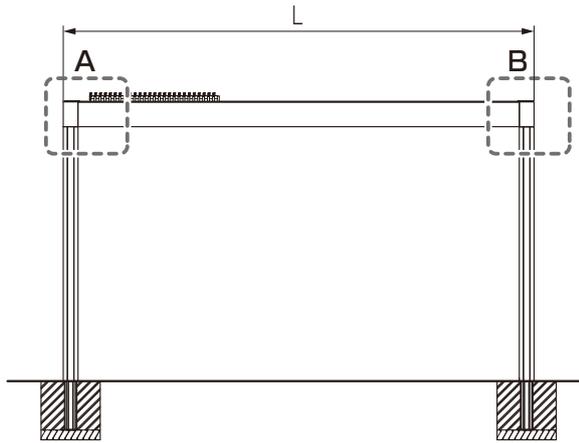


○パターン 3



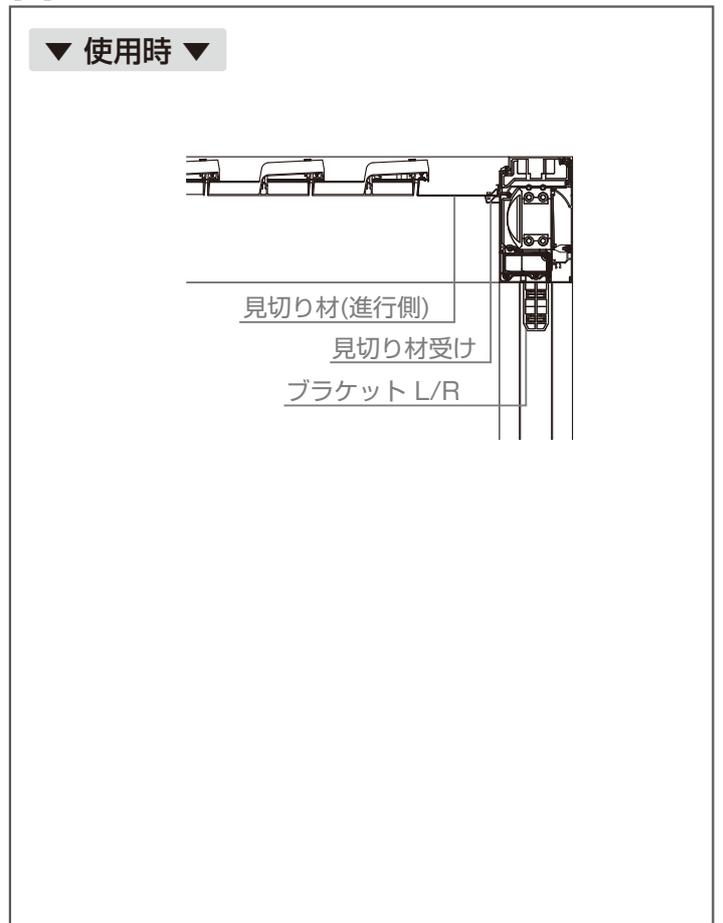
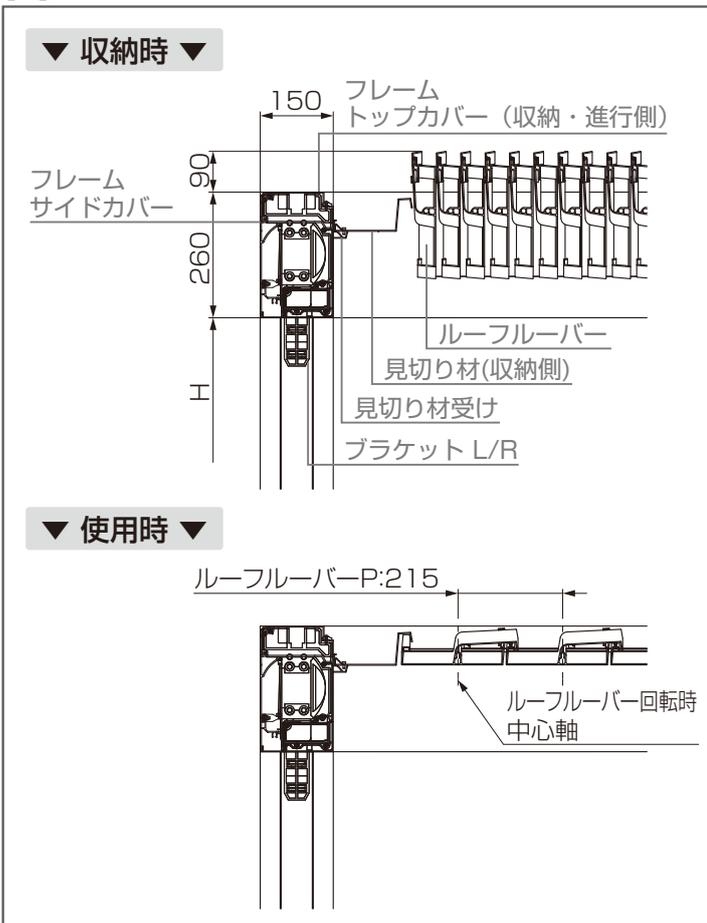
6 納まり図

6-1 基本納まり図



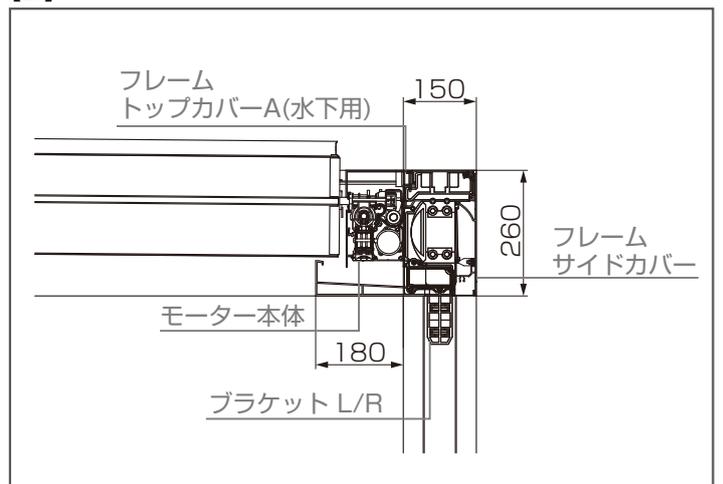
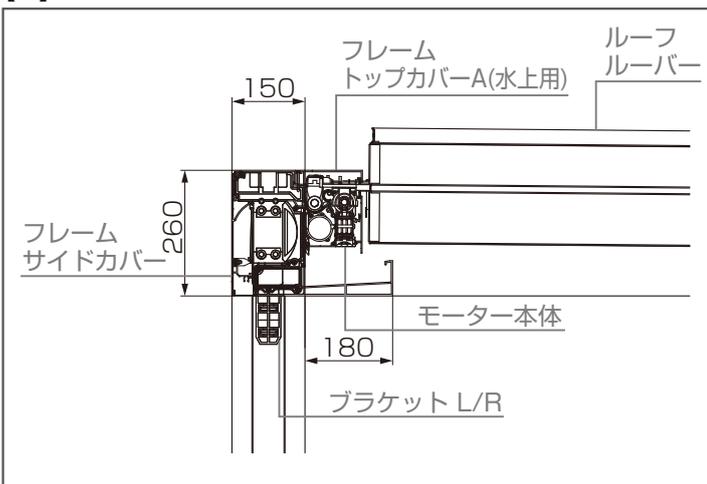
[A]

[B]



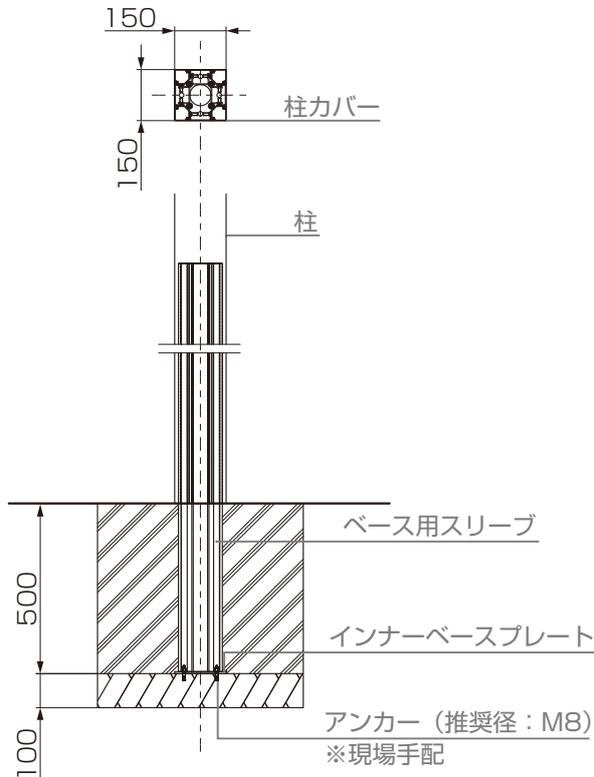
[C]

[D]

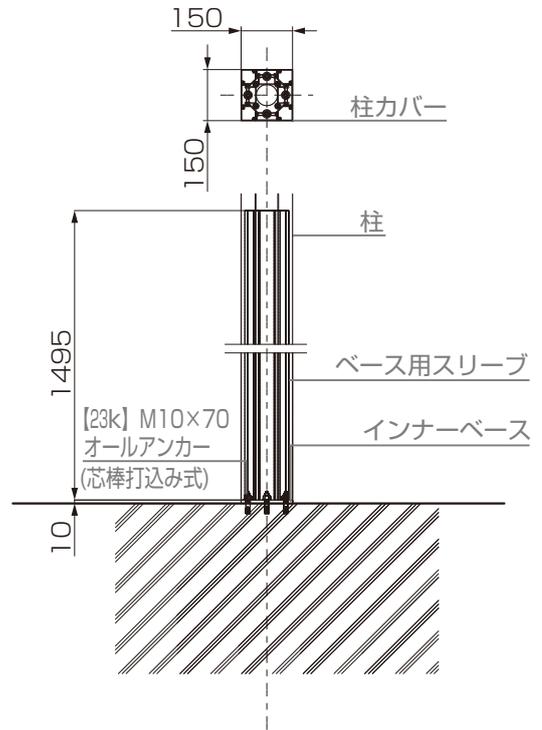


6-2 柱脚納まり図

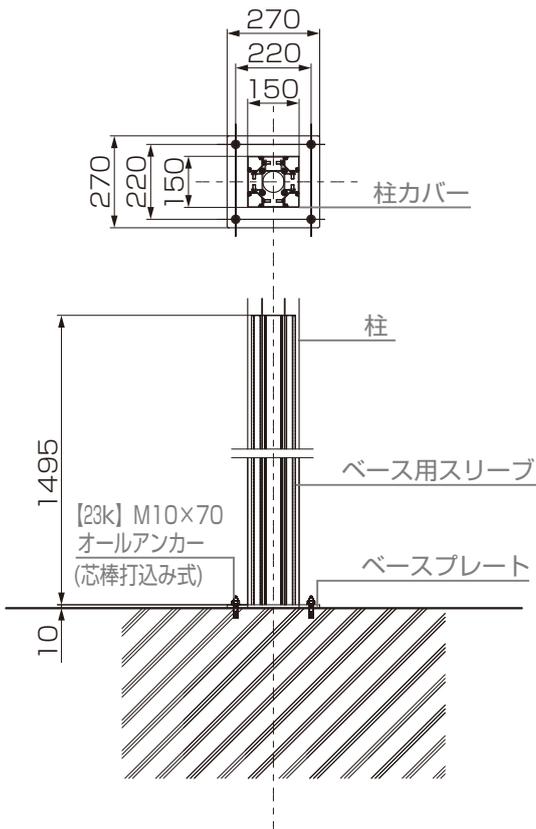
▼ 埋込み仕様 ▼



▼ インナーベースプレート仕様 ▼



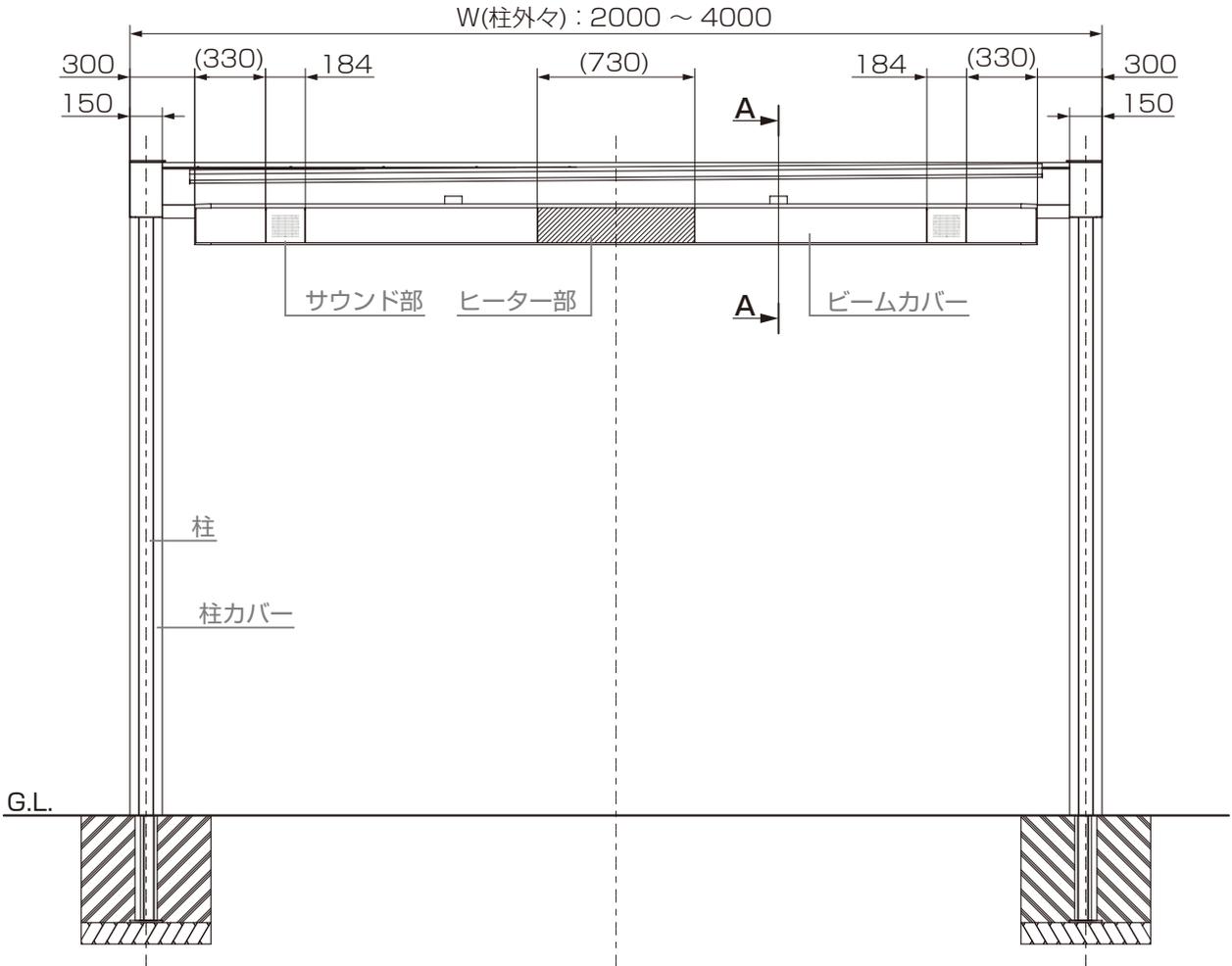
▼ ベースプレート仕様 ▼



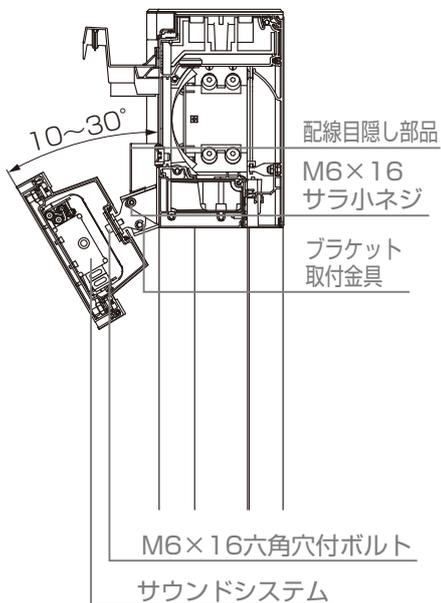
6-3 サウンド&ヒーター納まり図

お願い

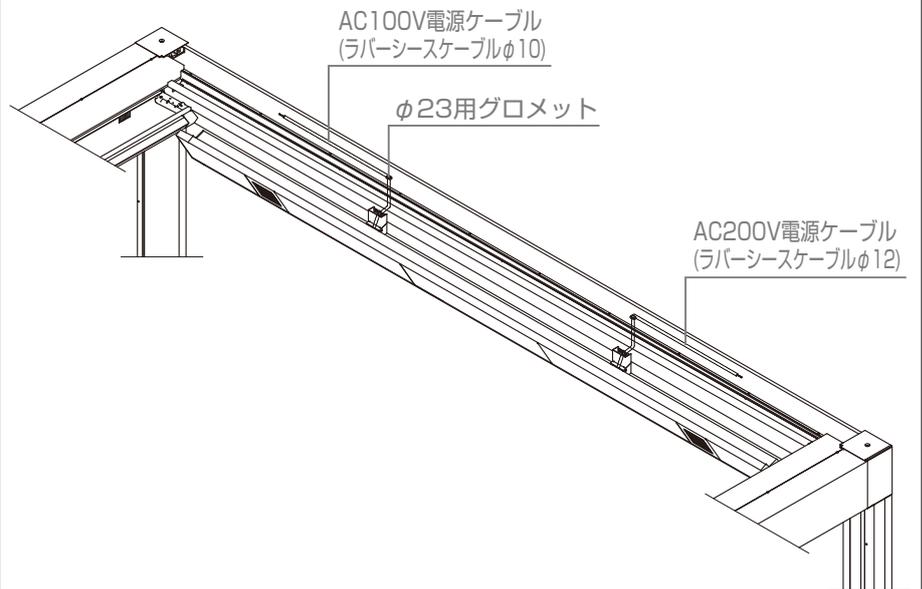
- サウンド&ヒーターはW側のフレームにのみ取付可能です。
- サウンド及びヒーターの組み合わせによる最小寸法での製作制限は以下の通りです。
サウンドのみ：2390mm～、ヒーターのみ：2390mm～、サウンド&ヒーター：3155mm～



●A-A断面図



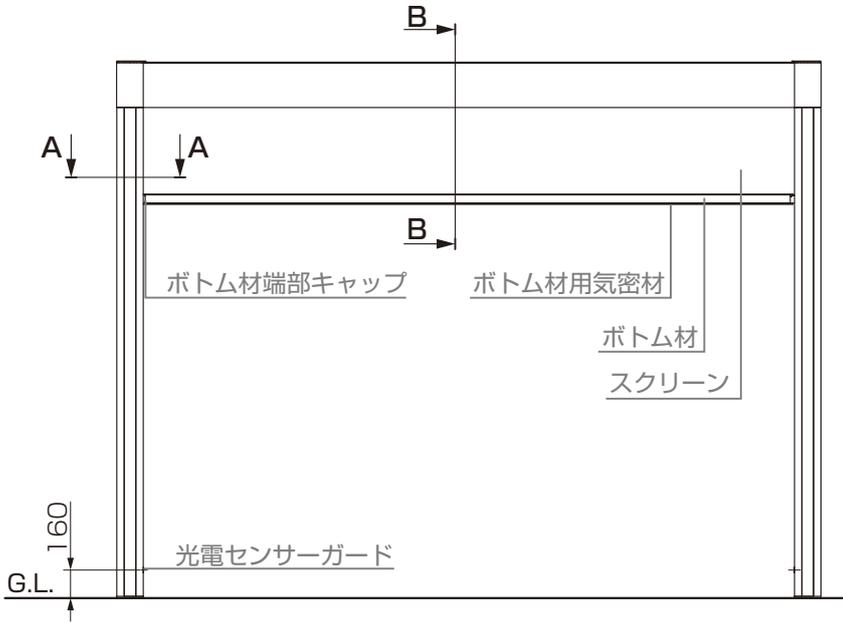
●配線取り回し図



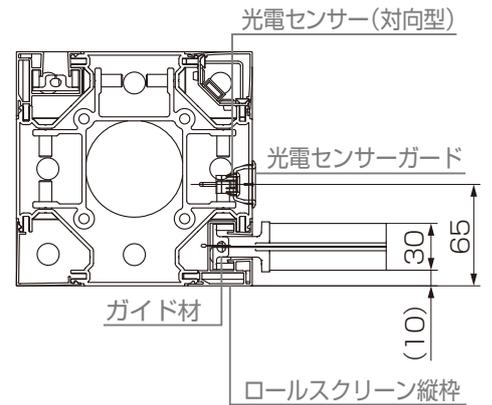
6-4 ロールスクリーン納まり図

●お願い

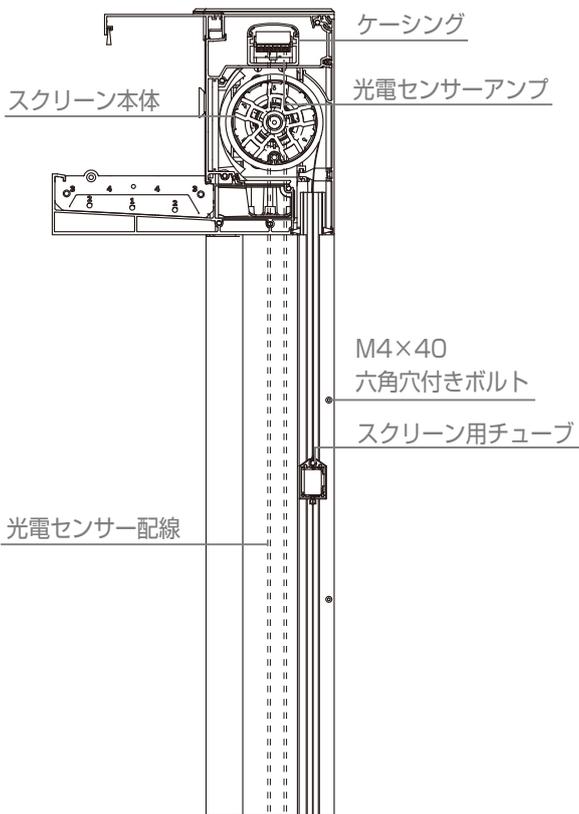
- ロールスクリーンは連棟部以外の面に取付可能で、停電時の閉じ込め防止の為1面は空けてください。
- ロールスクリーンは柱へ光電センサー(対向型)が標準装備されています。
- モーターの電気仕様は使用電圧AC100V、使用電力270Wです。



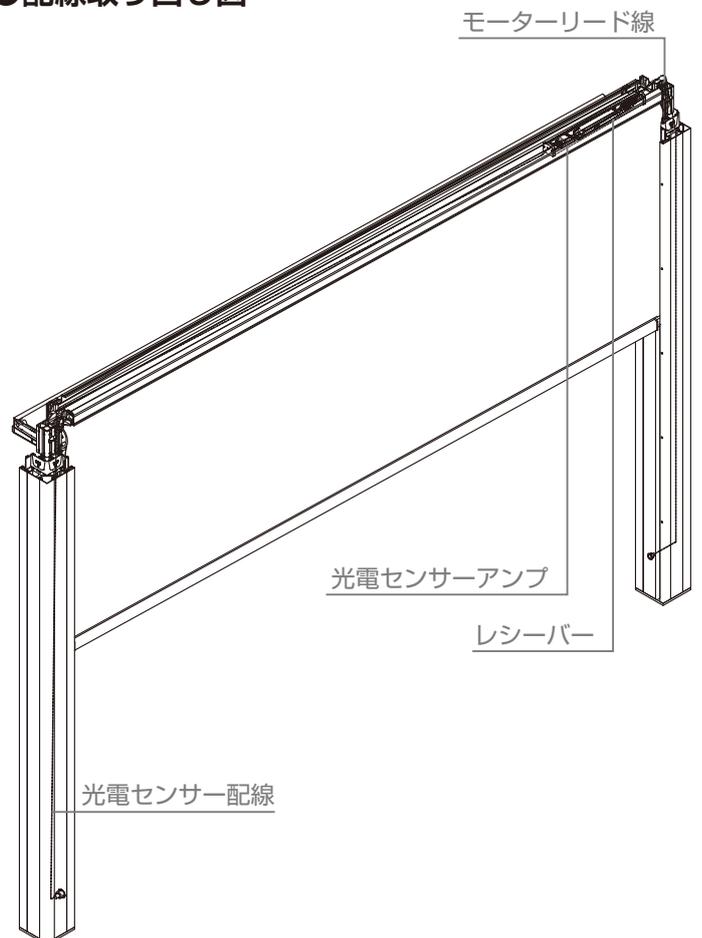
●A-A断面図



●B-B断面図



●配線取り回し図



6-5 ガラスパネル納まり図

お願い

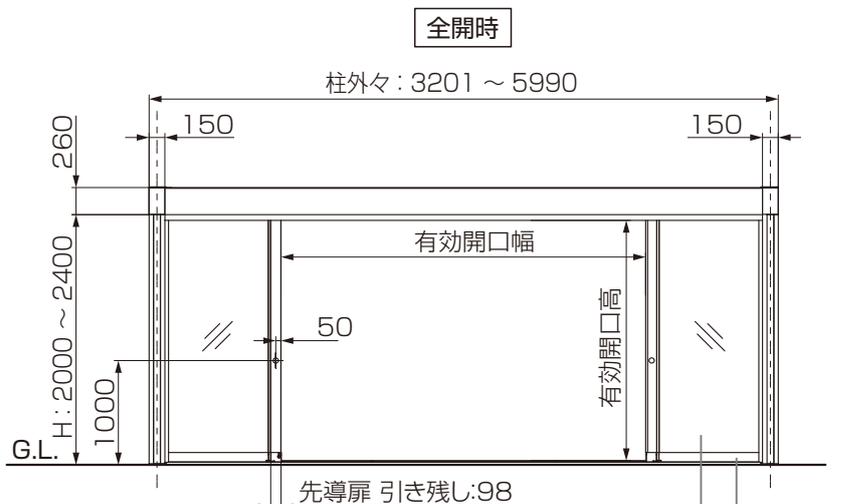
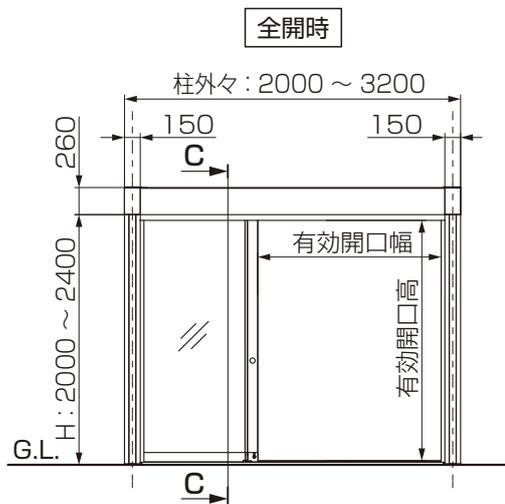
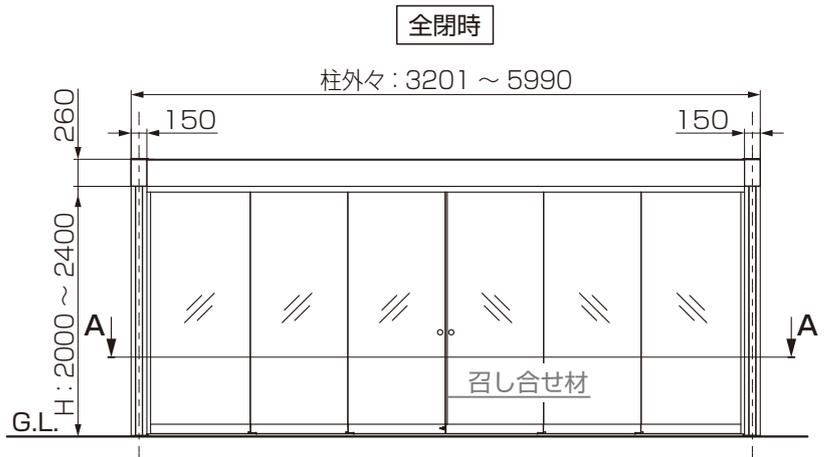
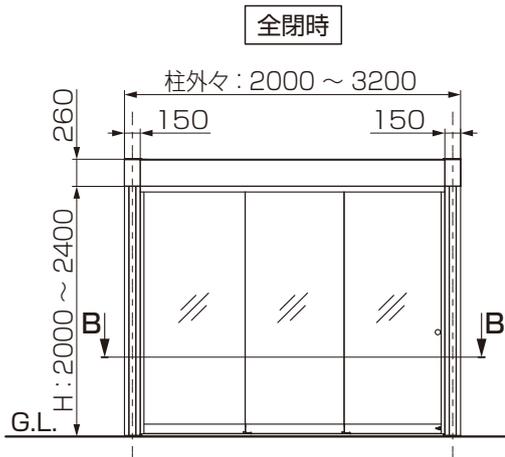
- ガラスパネルは下レールを固定するため土間コンクリートへの固定が必要になります。
- ベースプレート仕様ではオプションのガラスパネルは使用できません。
- 柱LEDと併用する場合、片引き仕様の戸先側には取付できません。
- 各断面図(A - A ~ C - C断面)はロールスクリーンとの併用状態を図示しています。

●使用主部材断面一覧

上レール	下レール	下框	縦枠

▼ 片引き仕様(パネル3枚) ▼

▼ 両引き仕様(パネル6枚) ▼



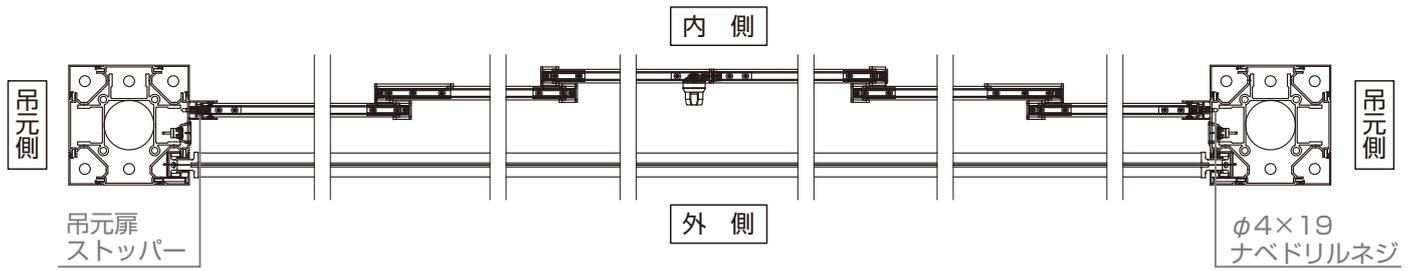
有効開口高:H寸法 - 95mm
有効開口幅:(L寸法×2 - 1160.5)/3mm

有効開口高:H寸法 - 95mm
有効開口幅:(L寸法×2 - 1537)/3mm

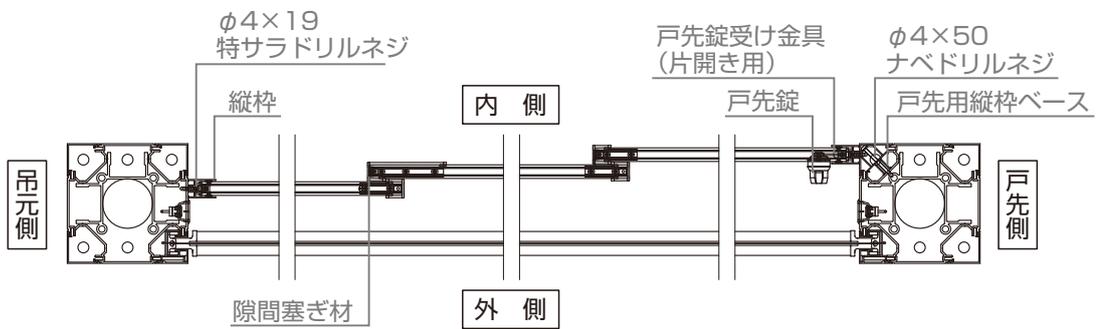
下框
強化ガラス

6-5 ガラスパネル納まり図

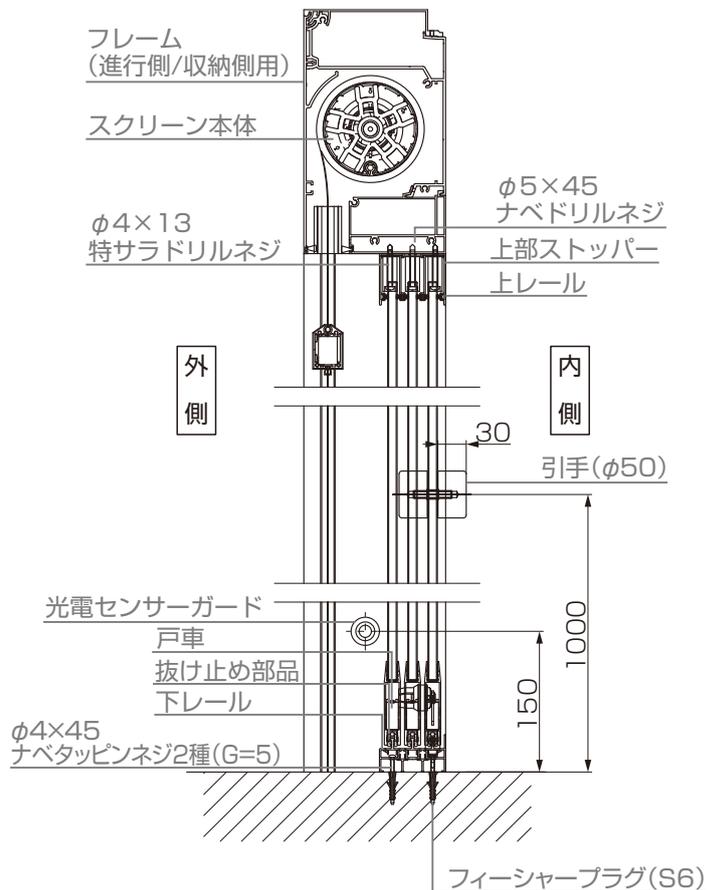
●A-A断面図



●B-B断面図



●C-C断面図





7-1 フレームカバーの取り外し

❶: フレームトップカバーをフレームから取り外し

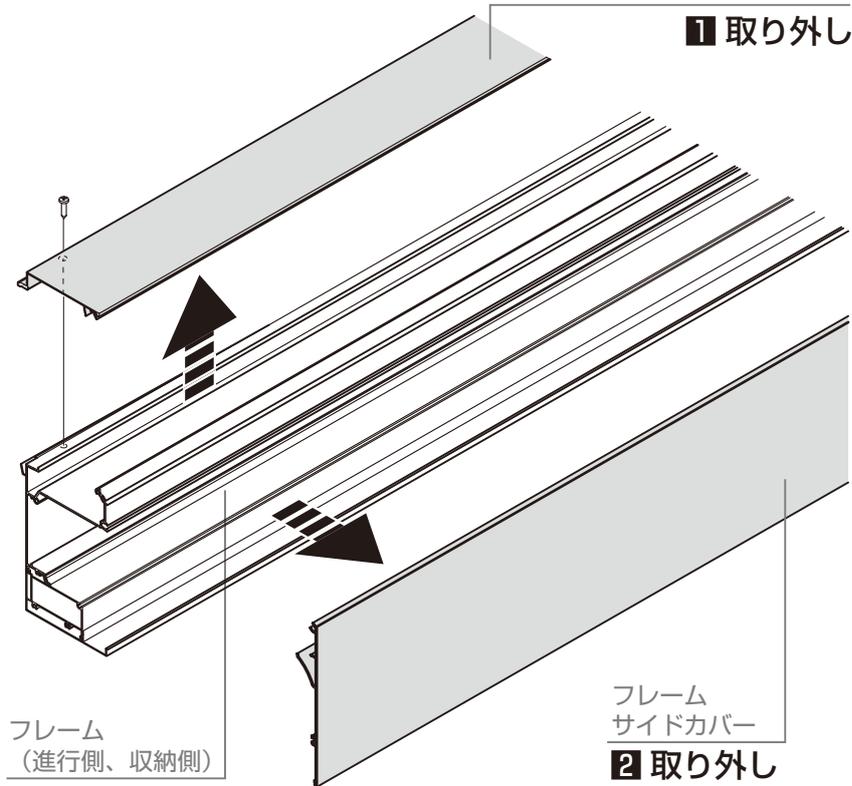
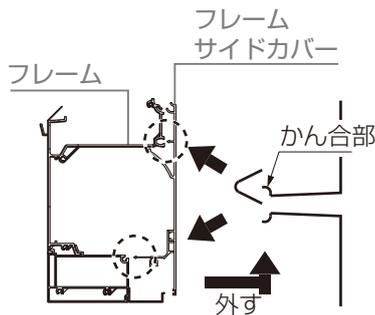
❷: フレームサイドカバーをフレームから取り外し

フレームトップカバーB
(進行側、収納側)

❶ 取り外し

お願い 1

- フレームサイドカバーはかん合で固定されて納品されます。
- かん合部を端から1つずつ外してください。



フレーム
サイドカバー

❷ 取り外し

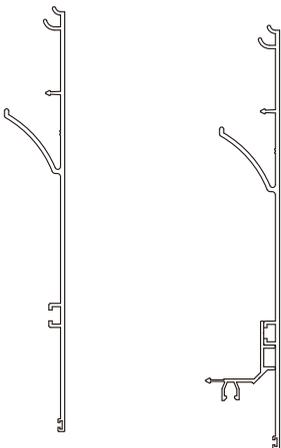


お願い

- フレームサイドカバーは、(進行側、収納側)、(水上側、水下側)すべてのフレームから取り外してください。
- フレームサイドカバーは2種類あります。

▼ ロールスクリーン用 ▼

▼ 通常用 ▼



- 取り外したカバーは「10 仕上げ」時までキズが付かないように緩衝材等に包んで管理してください。

補足

- 連棟用フレームの場合はフレームトップカバーBのみ取り外してください。



7-2 柱の加工(水上側柱の場合)

7-2-1 取付け位置の確認

補足

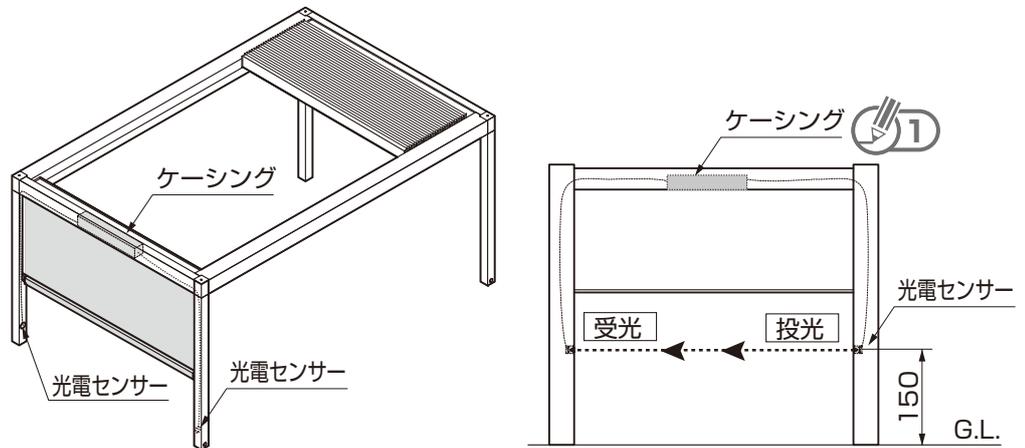
- ロールスクリーンを設置する場合は、各面の柱に光電センサー（対向型）が必要になります。
- 水下側に設置する場合は、雨樋の加工が必要になります。

補足 ①

- ケーシング内部にアンプ、受信機が格納されます。

お願い

- 投光側と受光側のセンサーの高さをそろえてください。

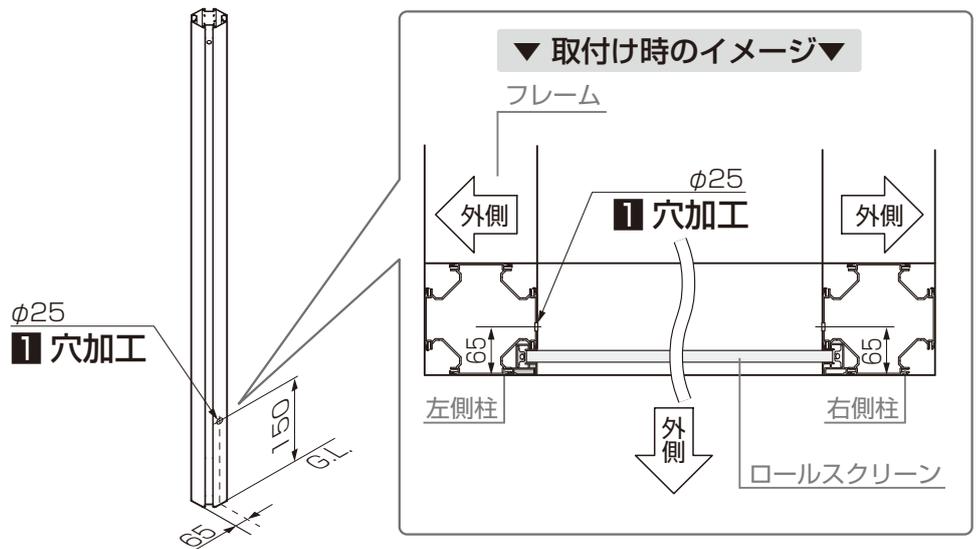


7-2-2 柱の加工

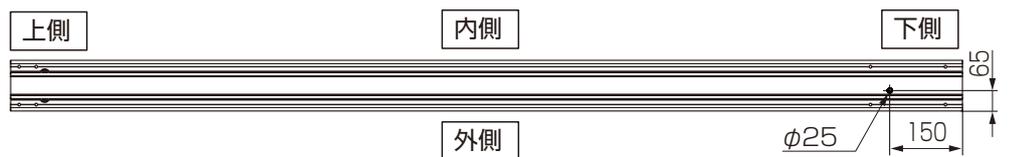
①: 柱の加工寸法位置にφ25穴加工

お願い

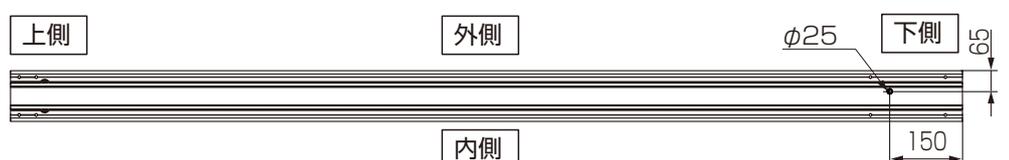
- ベースプレートの厚みは10mmです。
- 柱脚の仕様に応じてG.L.から150mmの高さに穴加工してください。



▼ 左側柱の場合▼



▼ 右側柱の場合▼



7-2 柱の加工(水上側柱の場合)

つづき

7-2-3 光電センサーケーブルの取回し

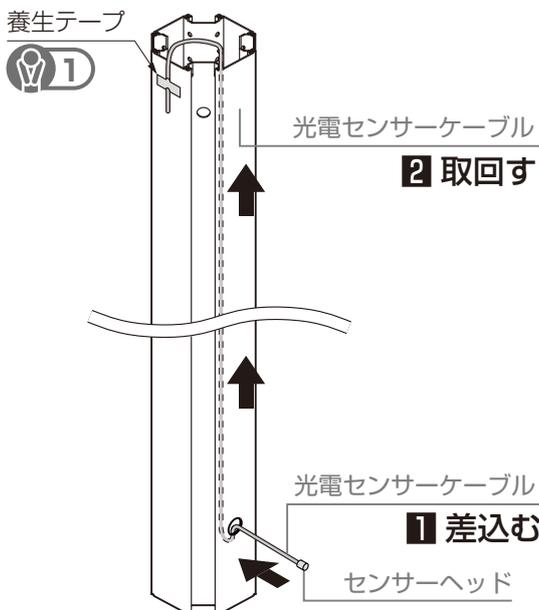
お願い

- 光電センサーには投光器と受光器があります。投光器と受光器が対向かい合うように取付けてください。
- 光電センサーはケーブルの色で確認してください。投光器：灰色／受光器：青色
- 光電センサーケーブルを引き込む際は通線ワイヤーを使用してください。



1 光電センサーケーブルをφ25の穴に差込む

2 光電センサーケーブルを柱の内部から上部へ取回す

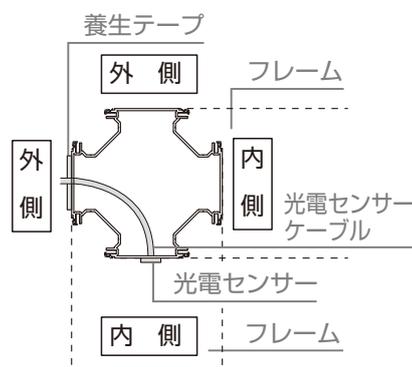


お願い 1

- 柱の中にベース用スリーブが入るため、引っかからないように光電センサーケーブルをたるみなく引っ張り、養生テープで留めておいてください。

お願い 1

- フレームの取付け時にケーブルを挟み込まないように外側へ溜めてください。

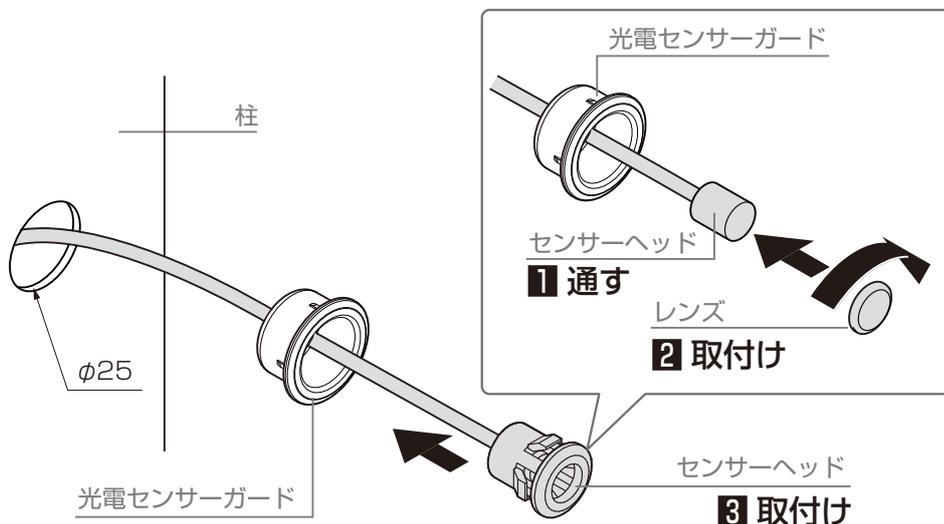


7-2-4 光電センサーの取付け

1 センサーヘッドを光電センサーガードに通す

2 レンズをセンサーヘッドにネジ部で取付け

3 組付けたセンサーヘッドを光電センサーガードに取付け

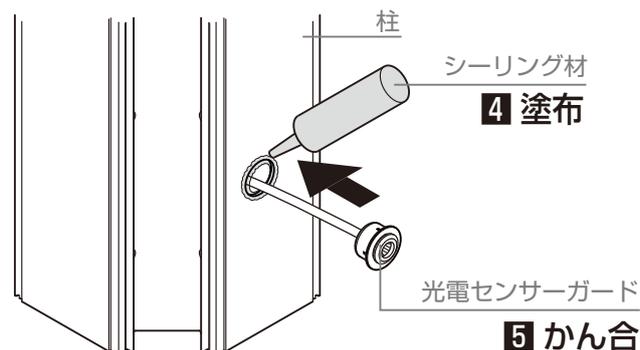


4 φ25穴と光電センサーガードの接触部にシーリングを塗布

5 組付けたセンサーガードを柱のφ25穴にかん合で取付け

補足

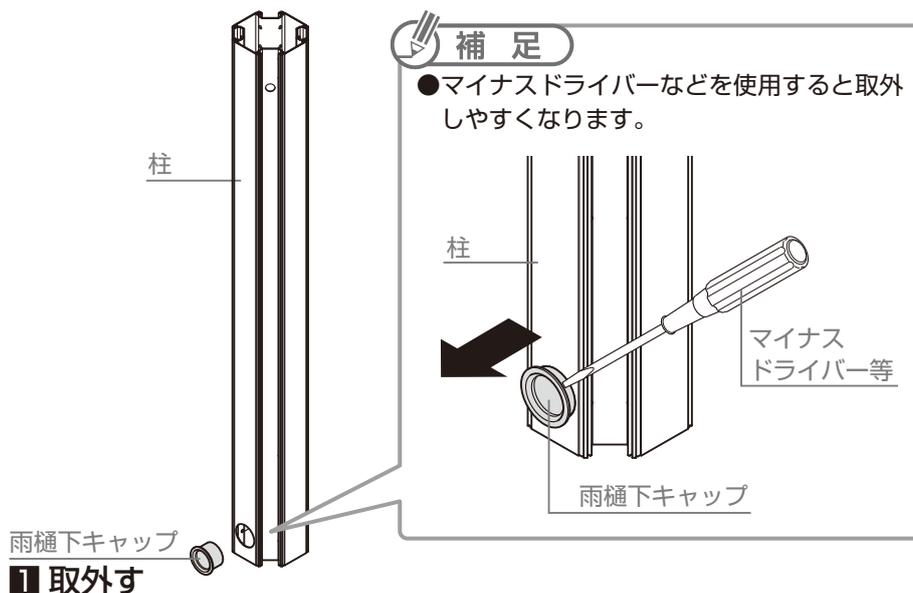
- はみ出たシーリング材は布等で拭き取ってください。



7-3 柱の加工(水下側柱の場合)

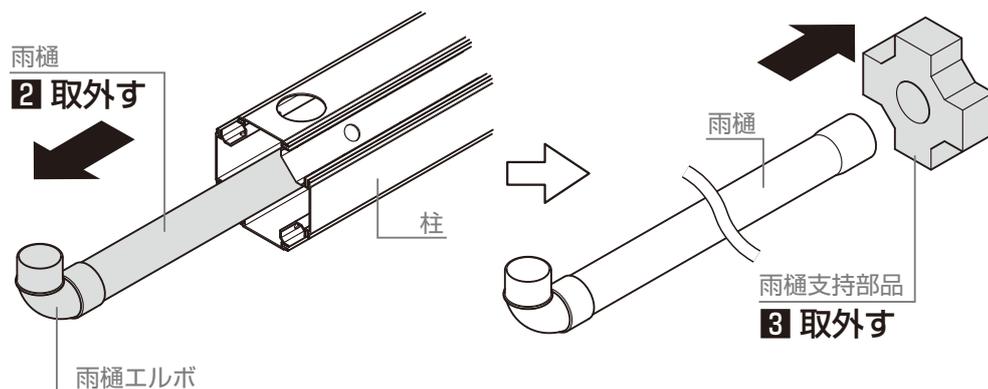
7-3-1 雨樋の取外し

1: 雨樋下キャップを柱から取外す



2: 雨樋を柱から取外す

3: 雨樋支持部品を雨樋から取外す



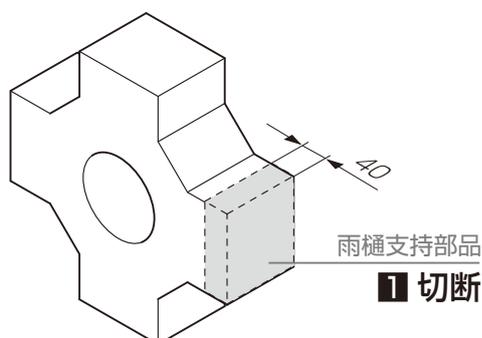
補足

▼ベースプレート仕様の場合▼

●雨樋支持部品は柱1本につき2つ付属していますが、1つは使用しません。

7-3-2 雨樋支持部品の加工

1: 雨樋支持部品を約40mm切断



7-3 柱の加工(水下側柱の場合)

つづき

7-3-3 雨樋の取付け

1: 雨樋支持部品を雨樋に戻す

お願い

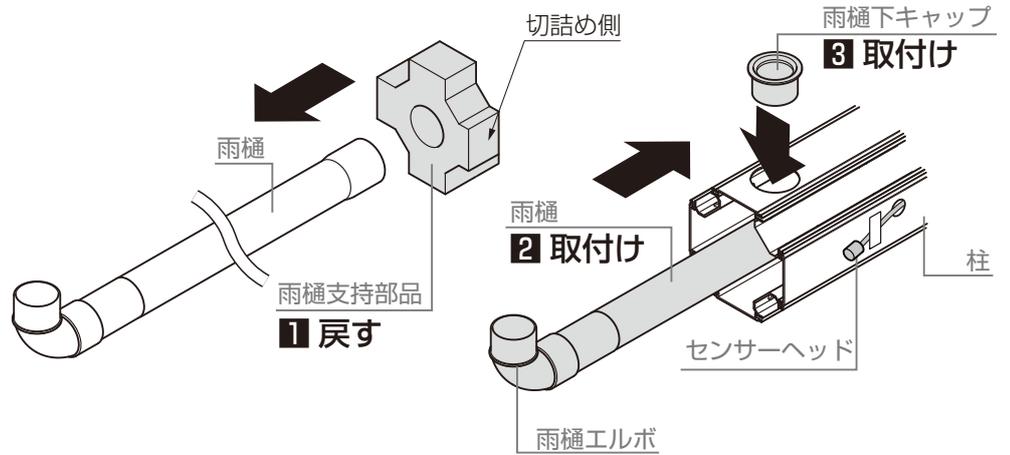
- 雨樋支持部品は、切詰め側がセンサーヘッドと同じ面になるように戻してください。

2: 雨樋を柱に取付け

3: 雨樋下キャップを柱に取付け

お願い

- 雨樋エルボの位置を調整してください。



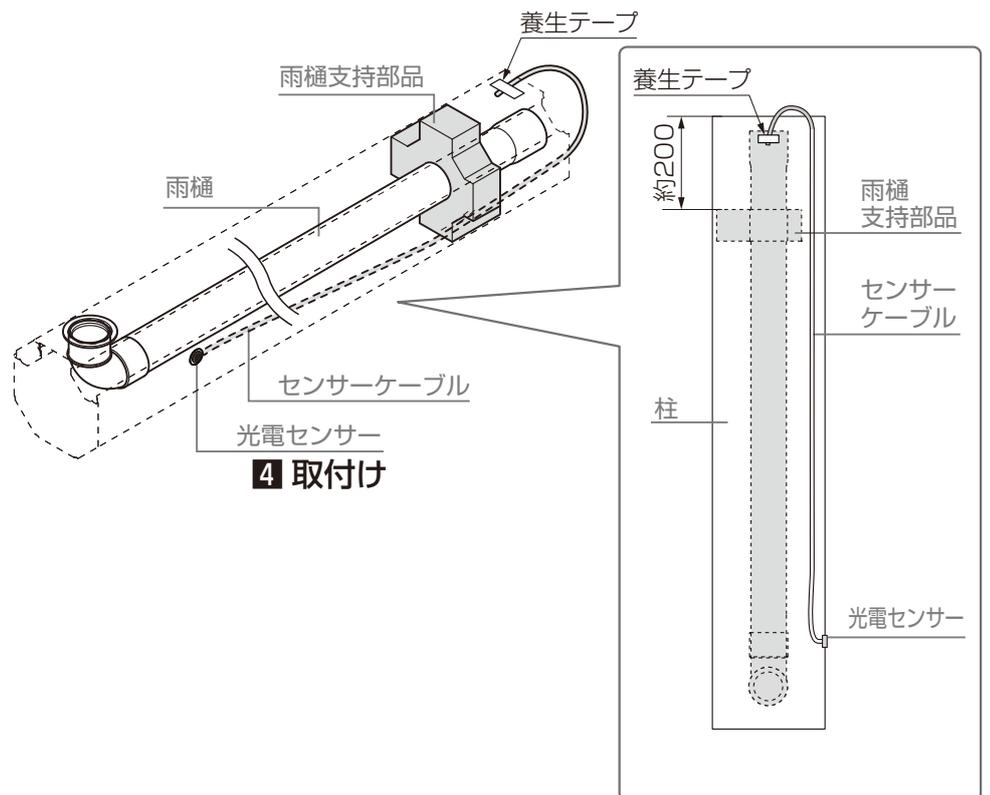
お願い

- センサーケーブルに干渉しないように注意して、雨樋支持部品の位置を調整してください。

4: 光電センサーを取付ける

お願い

- P38 「7-2-4|光電センサーの取付け」を参照してください。



8 本体の施工

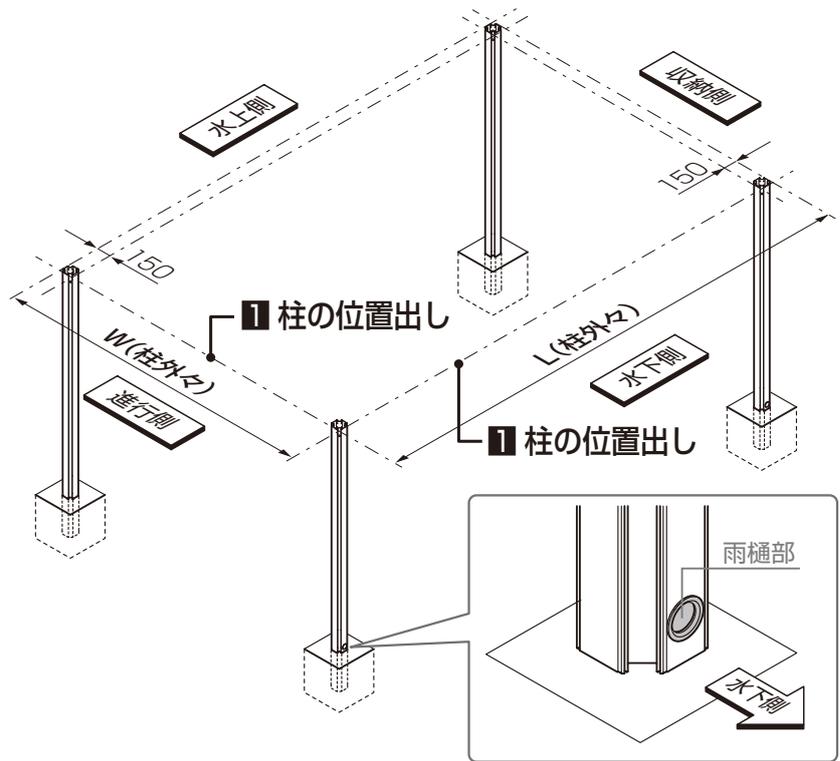
8-1 柱の位置出し

8-1-1 単体の柱位置出し

1: 柱を建てる位置を確認

お願い

- 柱が垂直に建っていない場合は、**8-3 対角の確認**を参照して、柱の垂直を調整してください。
- 位置出しの際は、柱の雨樋部が水下側に向くように設置してください。

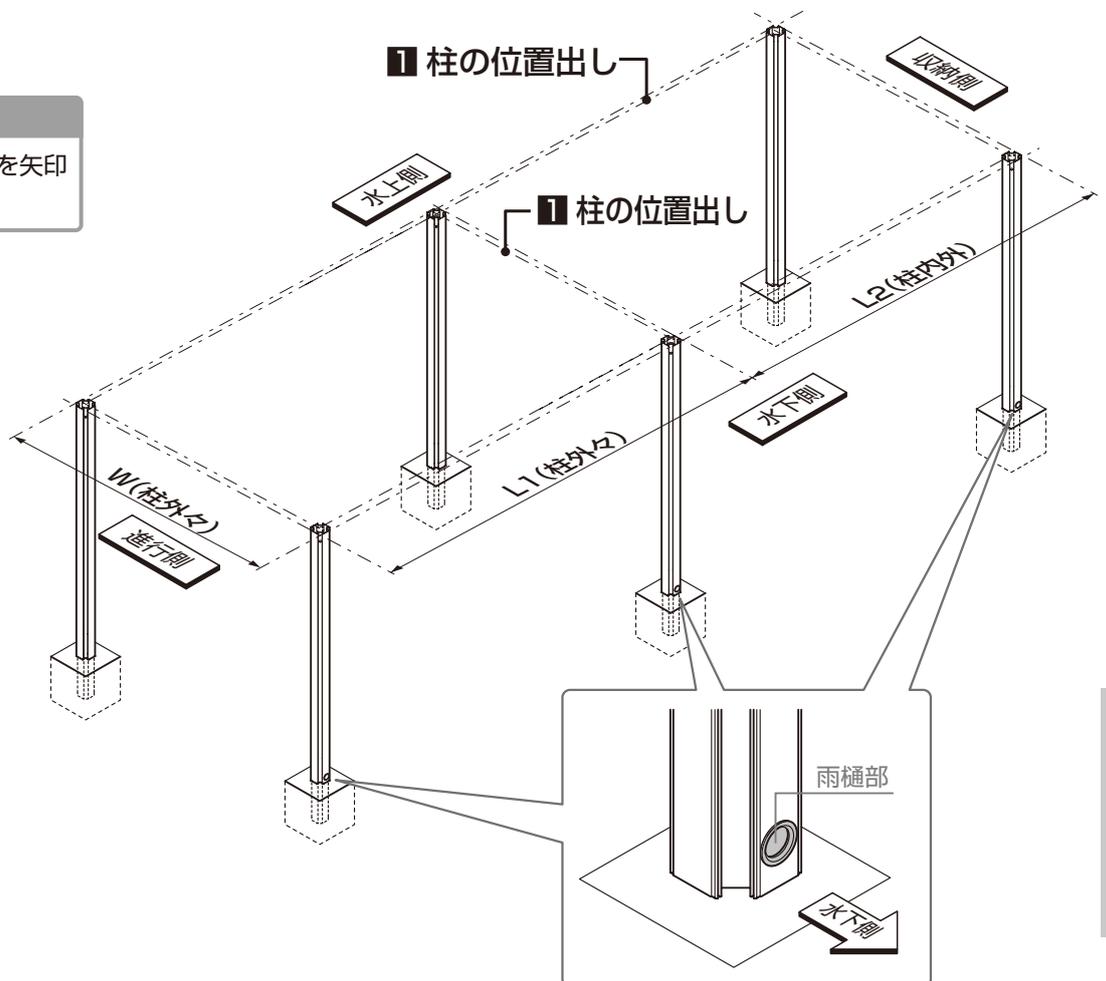


8-1-2 L連棟の柱位置出し

1: 柱を建てる位置を確認

お願い

- 連棟の場合は、柱の排水口を矢印の方向に向けてください。



8 本体の施工

8-2 柱の建込み

8-2-1 柱の切り詰め ▼ レベル調整のために現場で切り詰める場合 ▼

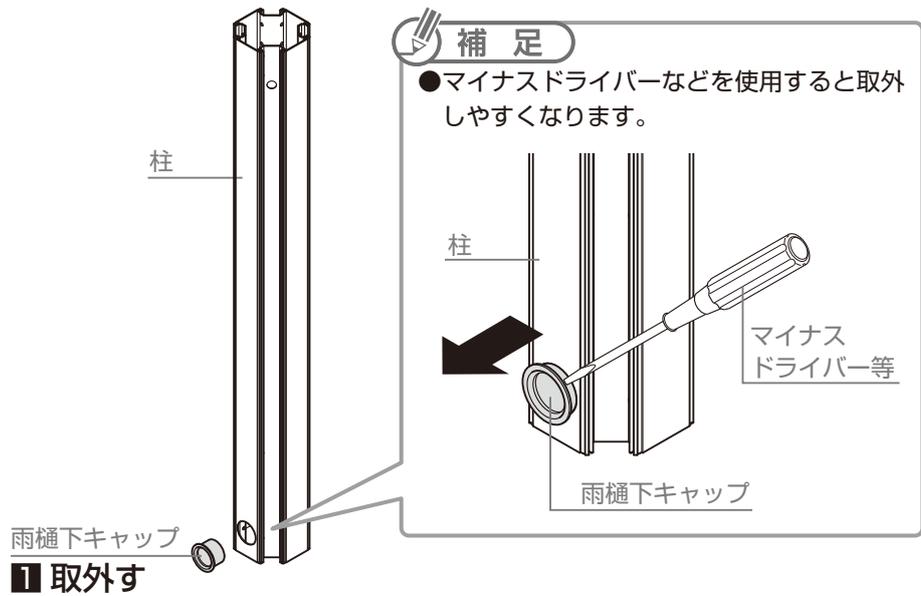
💡 お願い

●オプション「ガラスパネル」を使用する場合は、柱の切詰めはできません。

🔧 補足

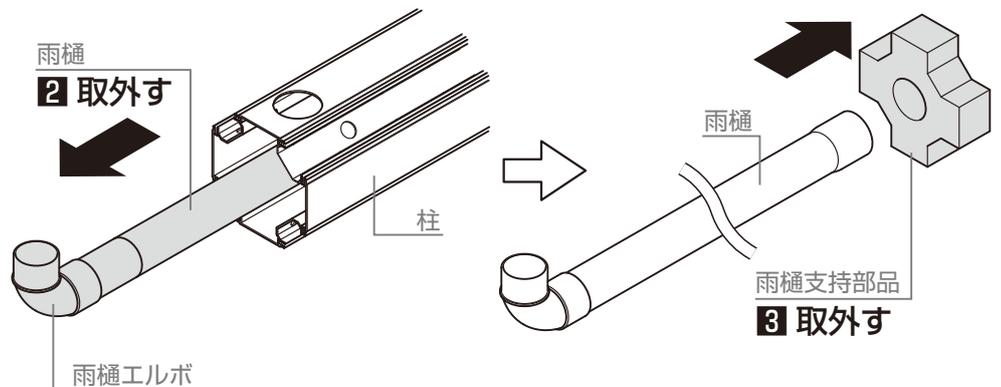
●本手順は「柱（水下側）」の切り詰め手順です。「柱（水上側）」は「**4**柱を切断」と「**5**柱に穴加工」のみ行なってください。

1: 雨樋下キャップを柱から取外す



2: 雨樋を柱から取外す

3: 雨樋支持部品を雨樋から取外す



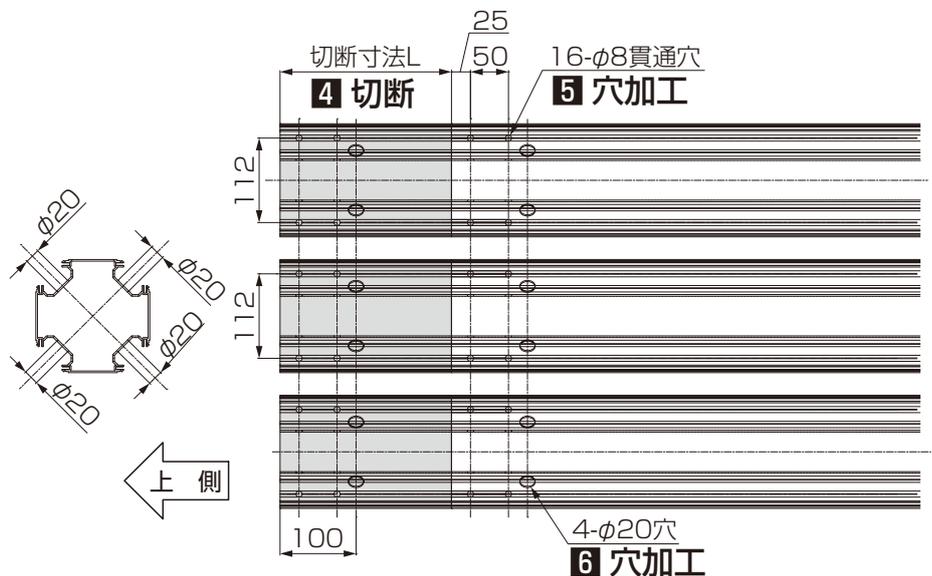
4: 柱を切断

💡 お願い

●必ず柱上部を切断してください。

5: 柱にφ8の貫通穴加工

6: 柱にφ20の穴加工



8-2 柱の建込み

つづき

8-2-1 柱の切り詰め ▼ レベル調整のために現場で切り詰める場合 ▼

つづき

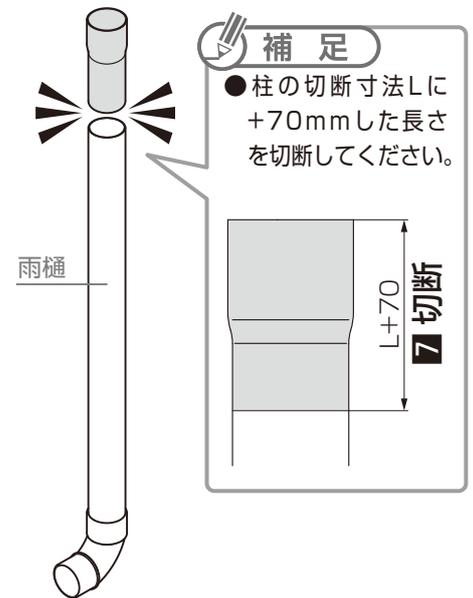
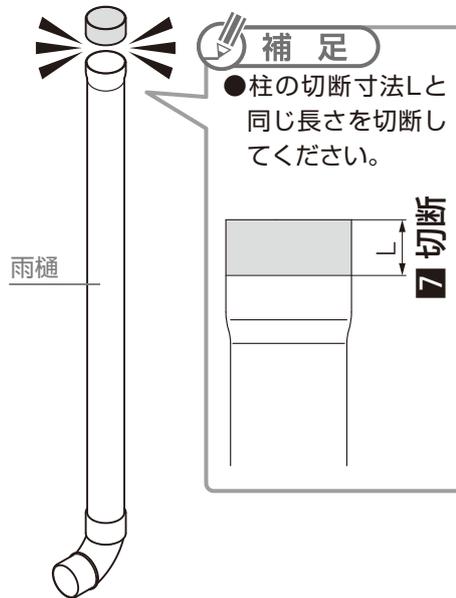
▼ Lが20mm未満の場合 ▼

▼ Lが20mm以上の場合 ▼

7: 雨樋を切断

お願い

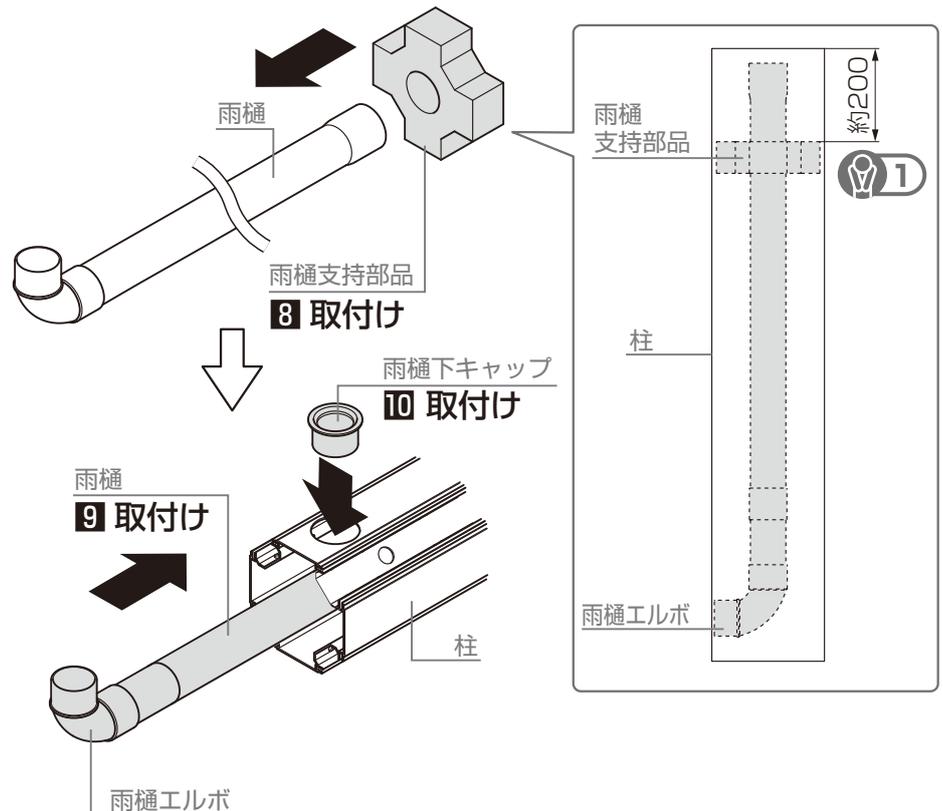
- 柱の切断寸法Lの長さによって切断寸法が異なります。



8: 雨樋支持部品を雨樋に取付け

お願い 1

- 雨樋支持部品の位置を調整してください。



9: 雨樋を柱に取付け

10: 雨樋下キャップを柱に取付け

お願い

- 雨樋エルボの位置を調整してください。

▼ Lが20mm以上の場合 ▼

11: 雨樋ジョイント材を雨樋に取付け

補足

- 雨樋ジョイント材の細い側を雨樋に挿入してください。

雨樋ジョイント材

11 取付け



8 本体の施工

8-2 柱の建込み

●柱を切り詰める場合は |8-2-1| 柱の切り詰め を参照してください。

●ガラスパネルを設置する場合は柱の建込みを行う前に |1-7-3| ガラスパネルを設置後、土間・タイル仕上げを行う場合 を参照してください。

8-2-2 柱の固定

▼ 埋め込み仕様の場合 ▼

▼ インナーベースプレート仕様の場合 ▼

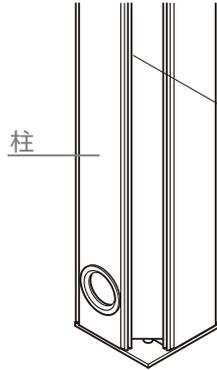
● 仮止めネジの取外し

1: 柱を固定している [23d] を取外す

補足 1

●取外すネジは1本です。

2: 柱をベース用スリーブから引抜く

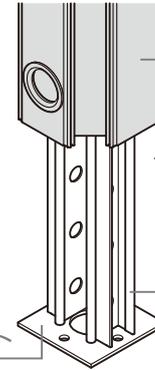


[23d] M8×25
六角穴付きサラボルト

1 取外す



インナー
ベースプレート

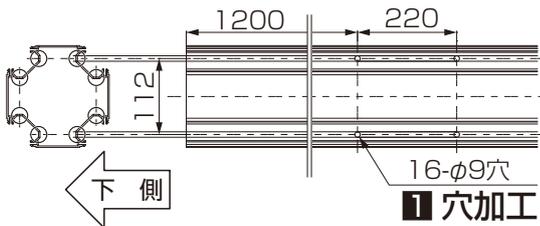


柱
2 引抜く

ベース用スリーブ

● 柱の加工

1: 柱にφ9の穴加工



1 穴加工

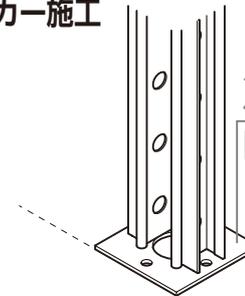
● 柱の位置出しとアンカー施工

1: インナーベースプレートまたはベースプレートを位置決め

2: 基礎にφ10.5の下穴をあける

3: 下穴にアンカーを打込み

4: ナットの取外し



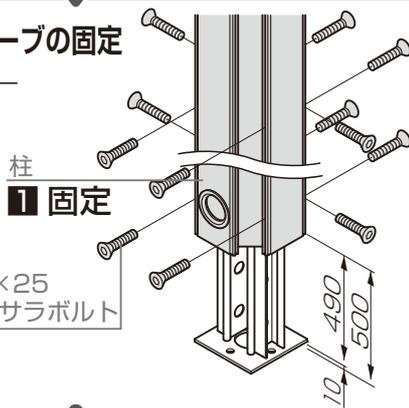
インナー
ベースプレート
1 位置決め



▲ インナーベースプレート仕様の場合 ▲

● 柱とベース用スリーブの固定

1: 柱をベース用スリーブに [23d] で固定



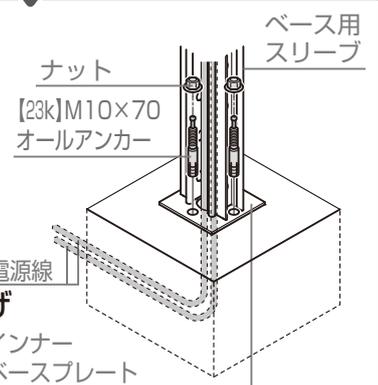
柱
1 固定

[23d] M8×25
六角穴付きサラボルト

● 柱の建込み、固定

1: PF管と電源線をベース用スリーブ内に立上げ

2: インナーベースプレートをアンカーにナットで固定



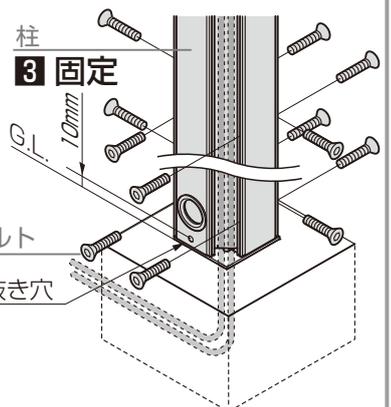
1 立上げ

インナー
ベースプレート

2 固定

3: 柱をベース用スリーブに [23d] で固定

[23d] M8×25
六角穴付きサラボルト



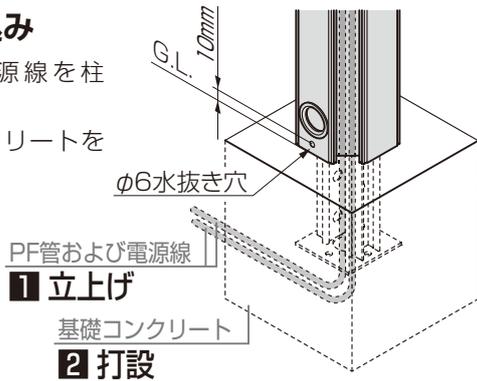
柱
3 固定

φ6水抜き穴

● 柱の建込み

1: PF管と電源線を柱内に立上げ

2: 基礎コンクリートを打設



1 立上げ

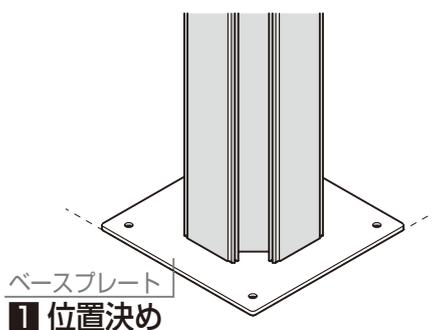
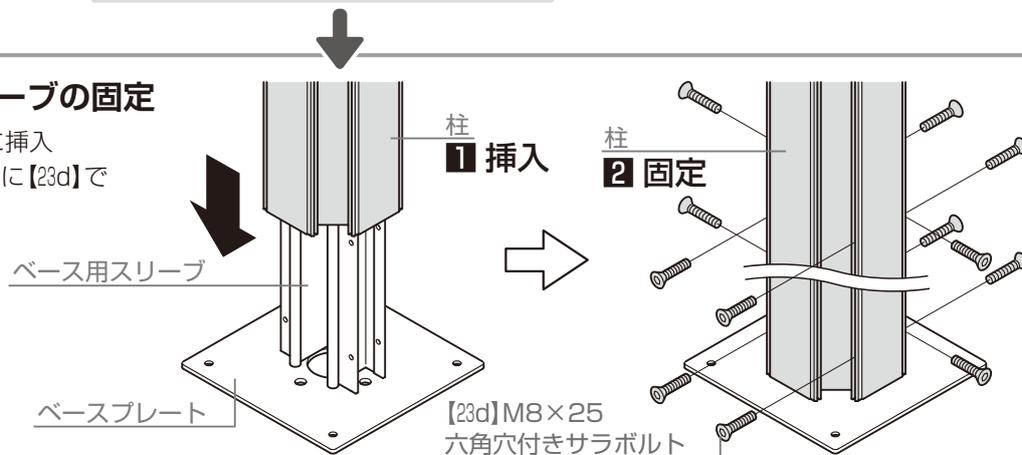
2 打設



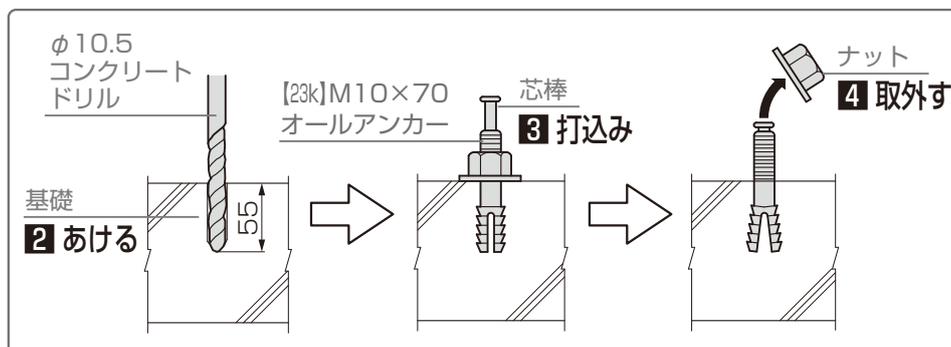
▼ ベースプレート仕様の場合 ▼

●柱とベース用スリーブの固定

- ❶: 柱をベース用スリーブに挿入
- ❷: 柱をベース用スリーブに【23d】で固定

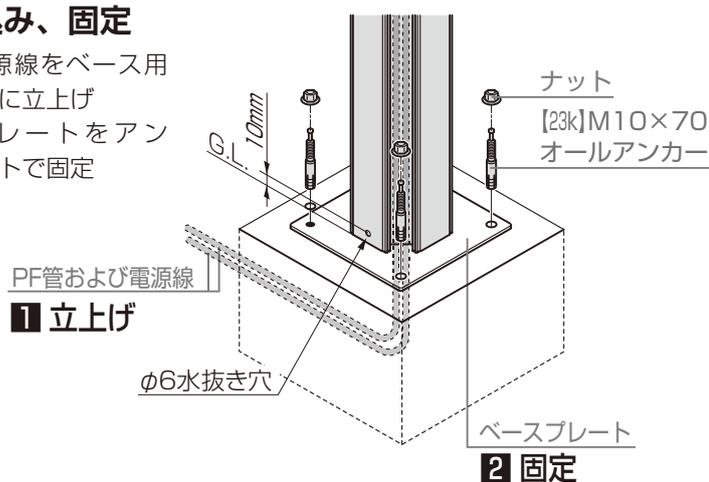


▲ ベースプレート仕様の場合 ▲



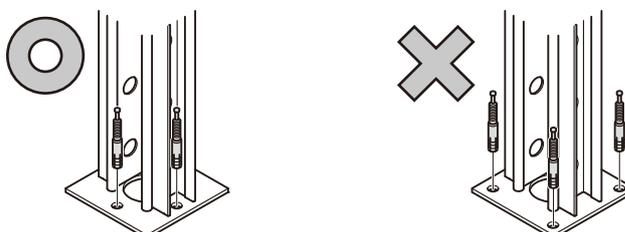
●柱の建込み、固定

- ❶: PF管と電源線をベース用スリーブ内に立上げ
- ❷: ベースプレートをアンカーにナットで固定



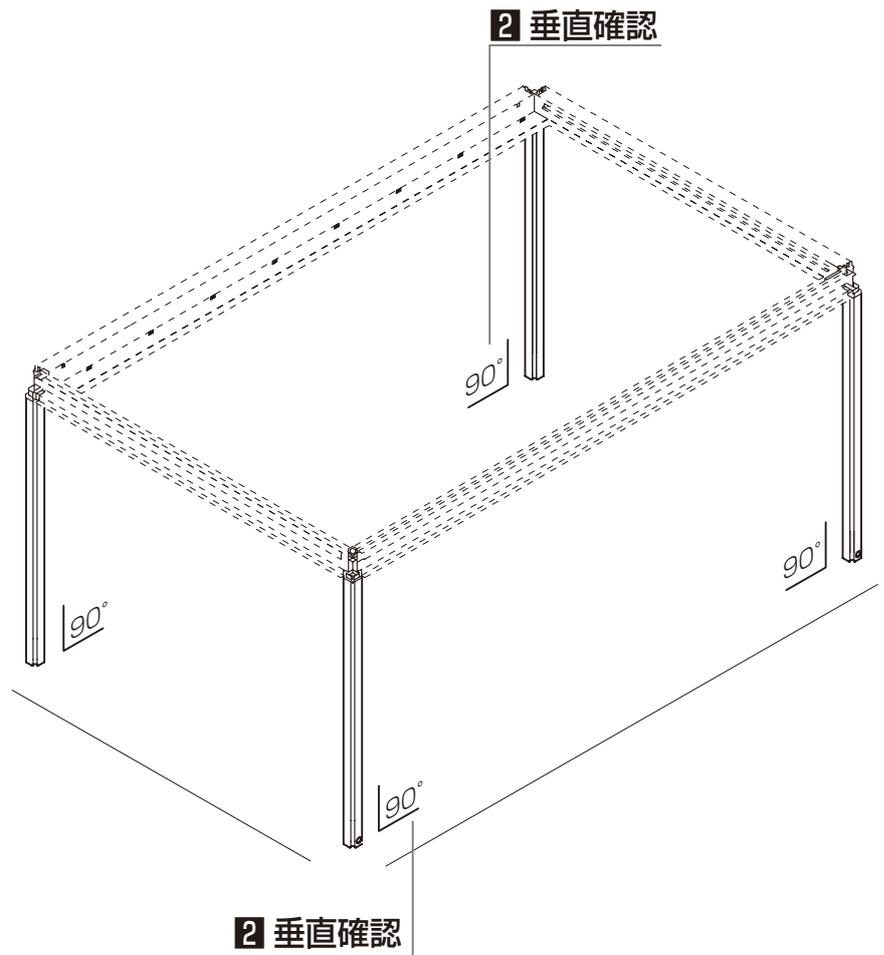
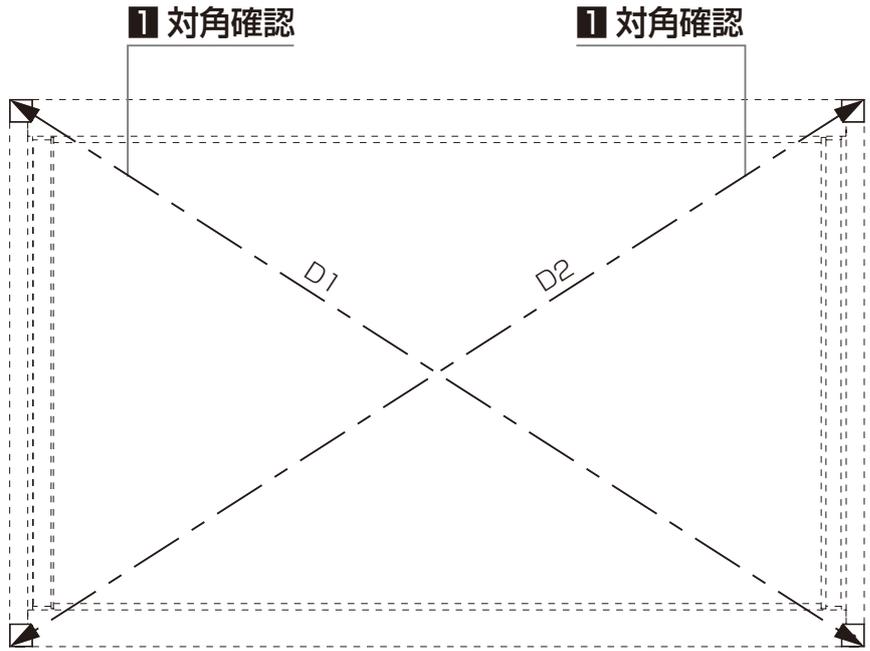
💡 お願い 1

●インナーベースプレート仕様の場合、アンカーをプレートの角に打込まないでください。柱LEDおよびロールスクリーンガイドレールが干渉するおそれがあります。



8-3 対角の確認

- 1: 柱の対角が等しいか確認する
- 2: 柱の垂直を確認する



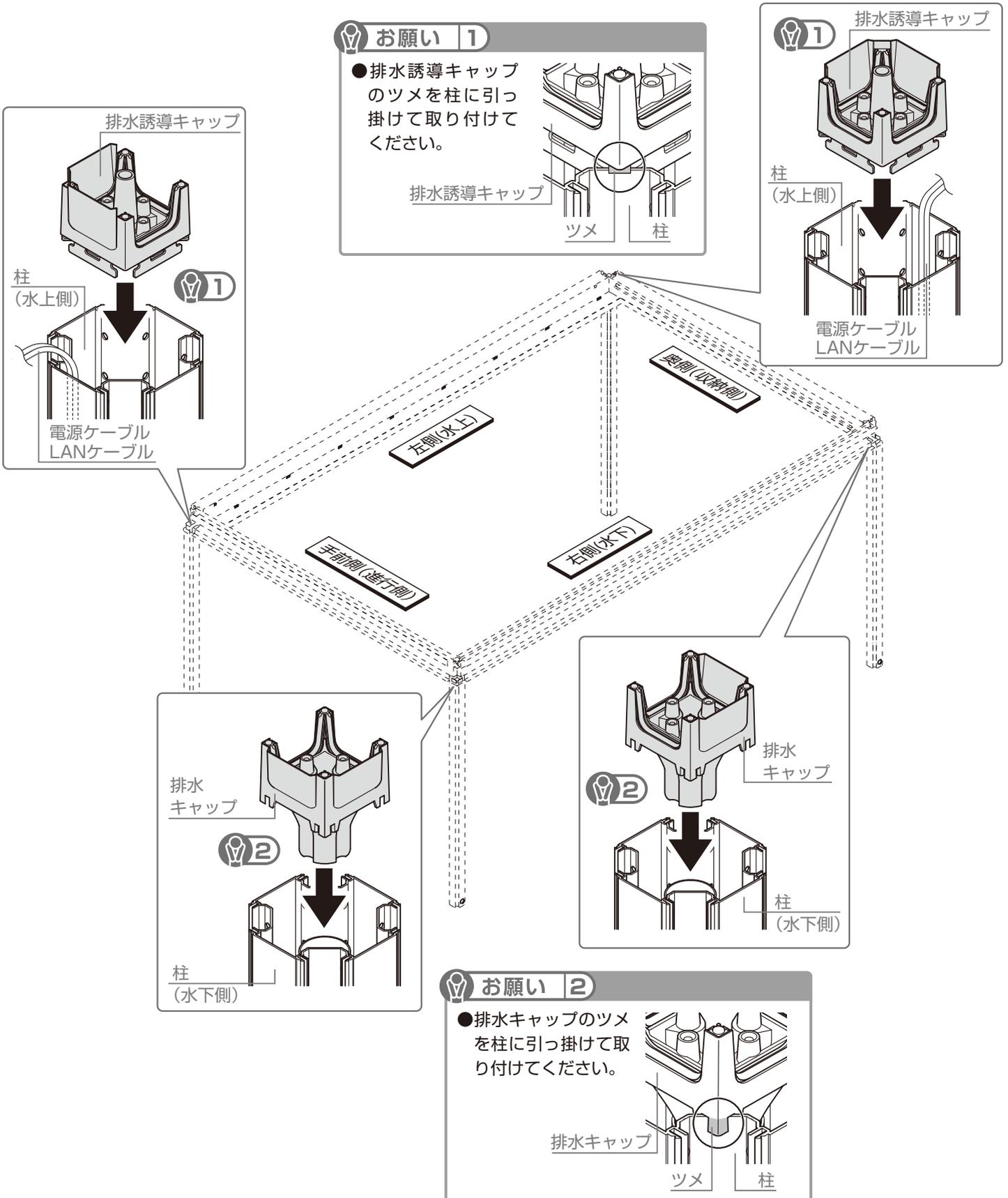


8-4 排水キャップ、排水誘導キャップの取付け(単体の場合)

8-4-1 取付け位置の確認

補足

●水の流れを制御するために、各柱の排水キャップと排水誘導キャップの位置、向きは決まっています。



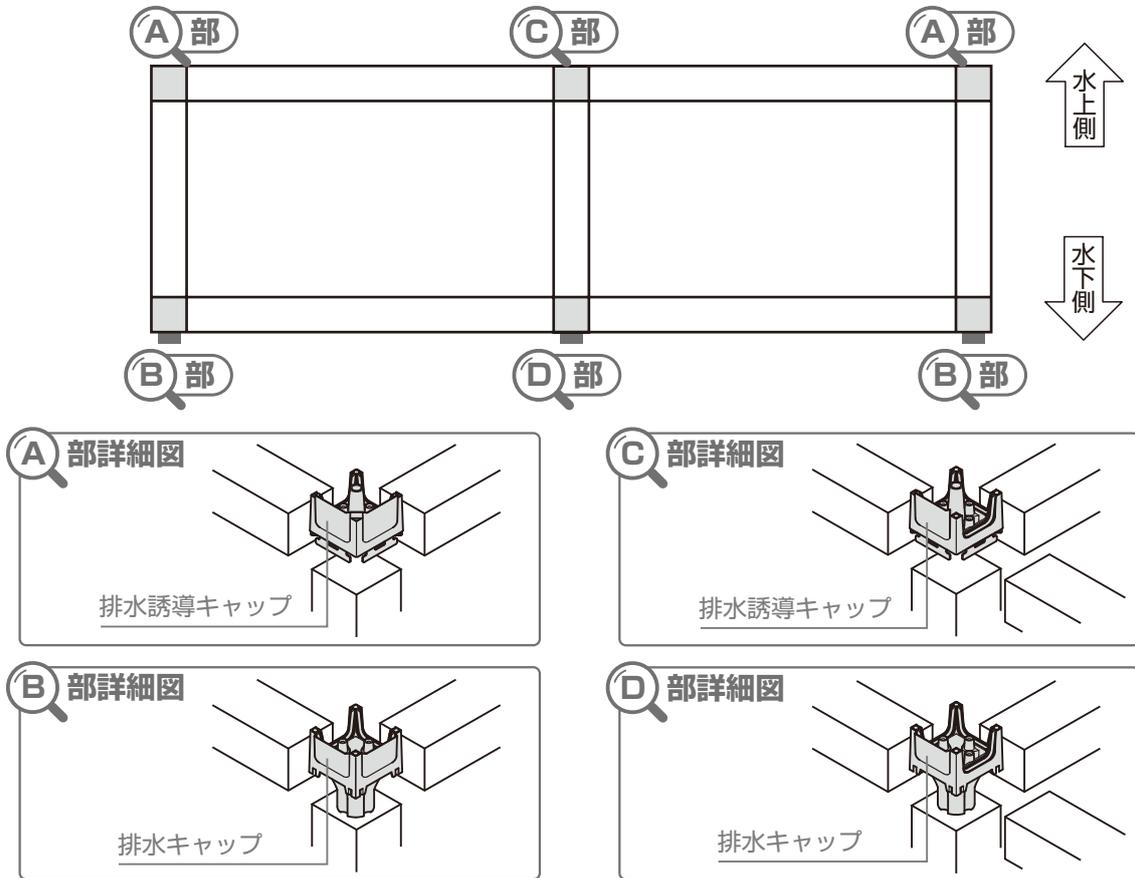
8-5 排水キャップ、排水誘導キャップの取付け(連棟の場合)

8-5-1 取付け位置の確認

お願い

●連棟にする際は、排水キャップと排水誘導キャップの取付け位置を確認してください。

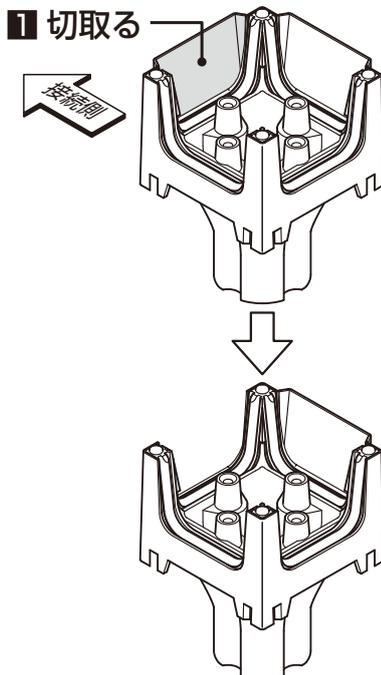
▼ L連棟の場合 ▼



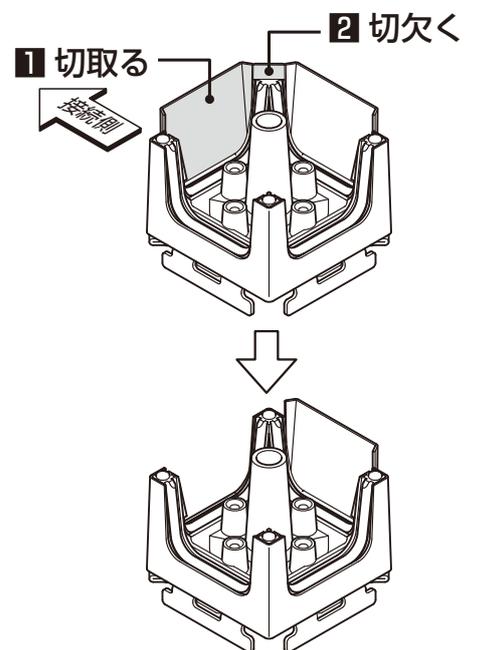
8-5-2 排水キャップと排水誘導キャップの加工

▼ 排水キャップの場合 ▼

- 1: 排水キャップ、排水誘導キャップの側面を切取る
- 2: 排水誘導キャップを切欠く



▼ 排水誘導キャップの場合 ▼

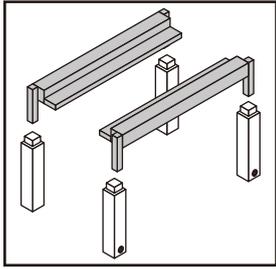


お願い

●連棟の接合部分となる排水キャップと排水誘導キャップには加工が必要です。

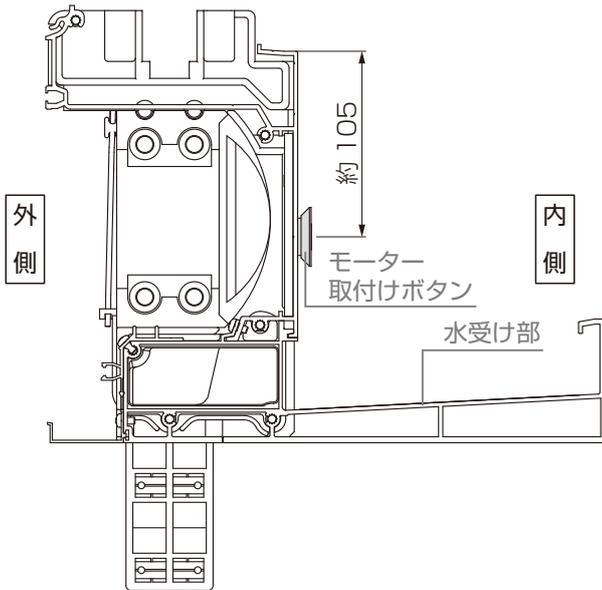
8-6 フレームの取付け

8-6-1 フレームの取付け(水上、水下側)

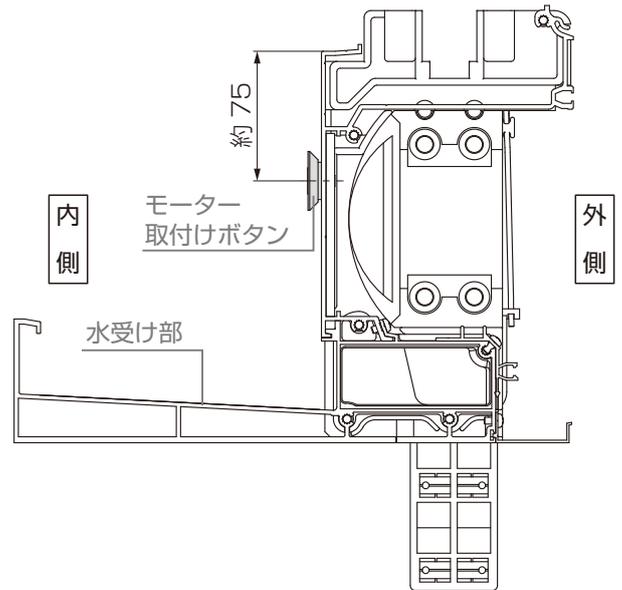


お願い

- 水上用と水下用では、モーター取付けボタンの位置が違います。フレームに付いているモーター取付けボタンの位置を確認して取付けてください。
- フレームは「水上、水下側」から取付けてください。「収納、進行側」を先に取付けると干渉しフレーム（水上、水下側）が取付けられません。



【水下用】



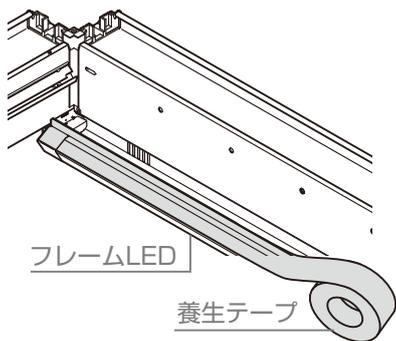
【水上用】

1: フレーム端部のブラケットを柱のソケットに差し込む

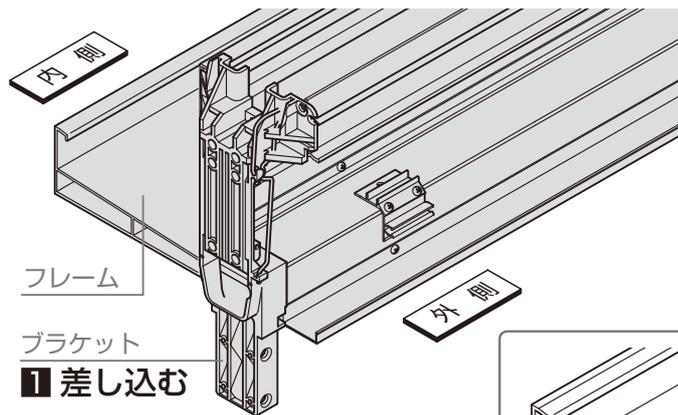
お願い

▼フレームLEDを取付ける場合▼

- 雨水の浸入を防ぐため、LEDの上面とフレームの接続部を養生してください。



- すべての施工が完了したらはがしてください。

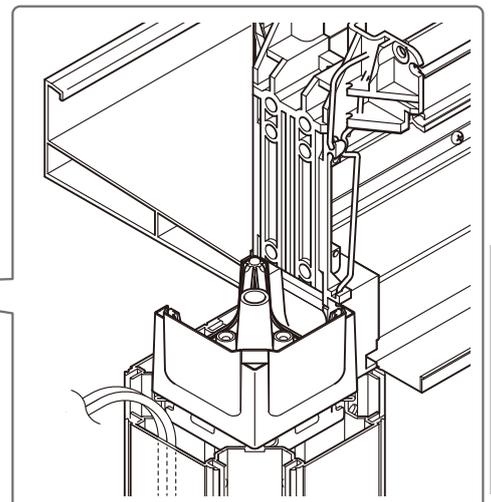


1 差し込む

電源ケーブル
LANケーブル

ソケット

柱

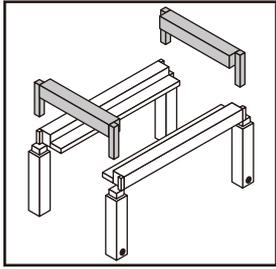




8-6 フレームの取付け

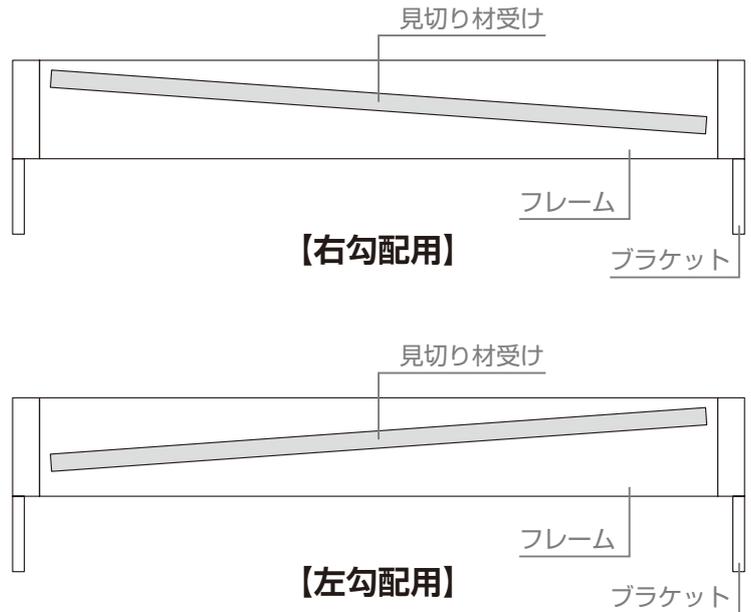
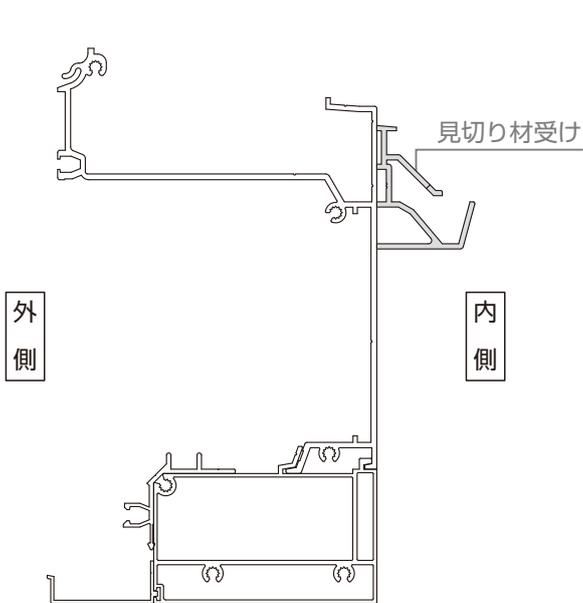
つづき

8-6-2 フレームの取付け(収納側、進行側)



お願い

- 右勾配用と左勾配用では、見切り材受けの向きが違います。フレームに付いている見切り材受けの向きを確認して取付けてください。
- フレームは「水上、水下側」から取付けてください。「収納、進行側」を先に取付けると干渉しフレーム（水上、水下側）が取付けられません。

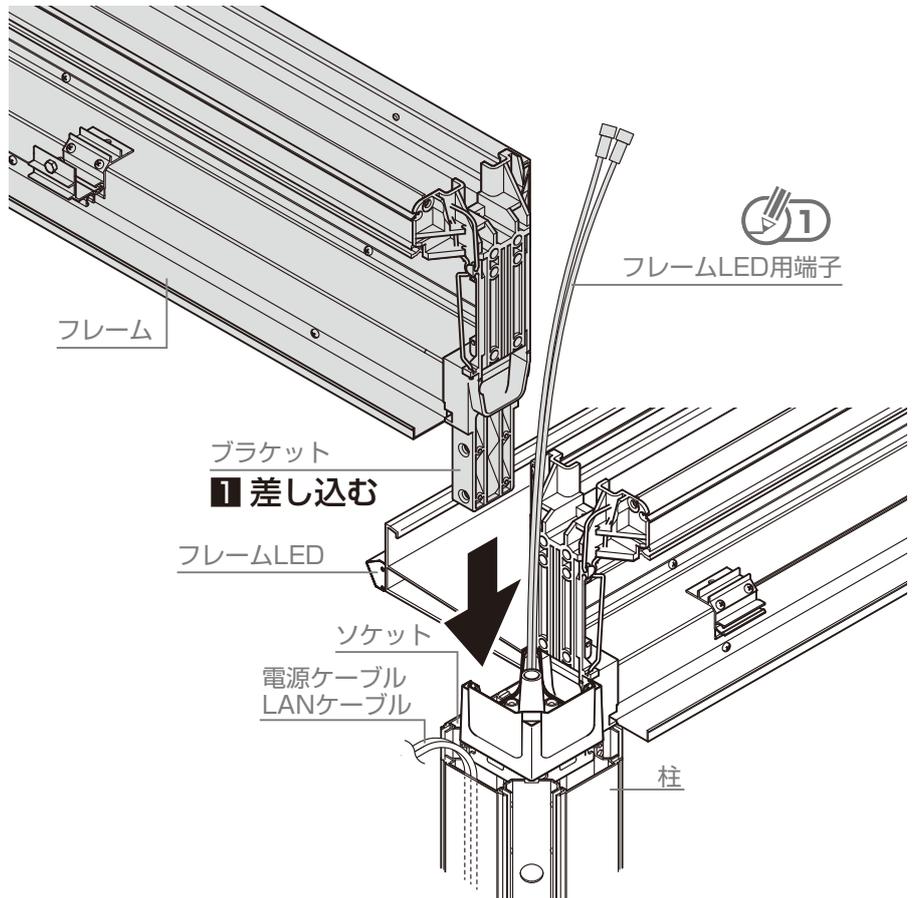


1: フレーム端部のブラケットを柱のソケットに差し込む

補足 1

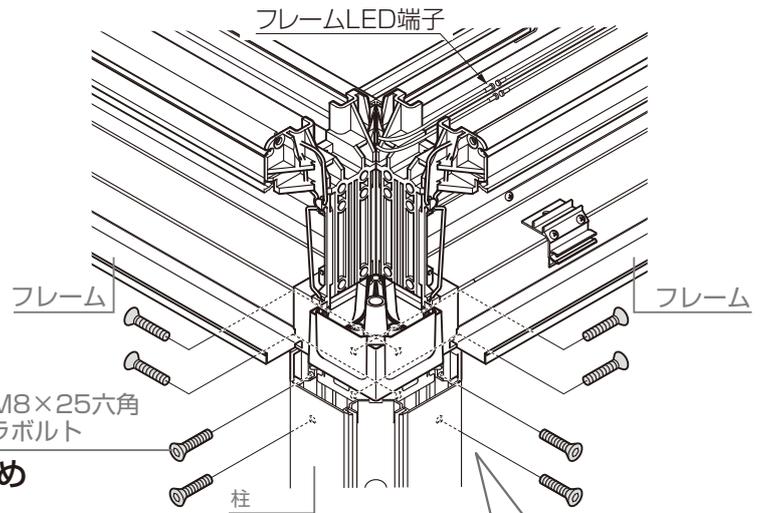
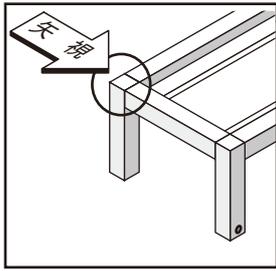
▼ フレームLEDを取付ける場合 ▼

- フレームLED端子をフレーム同士で挟まないようにとり回し、ブラケットをソケットに差し込んでください。



8-6 フレームの取付け

8-6-3 柱とフレームの仮止め



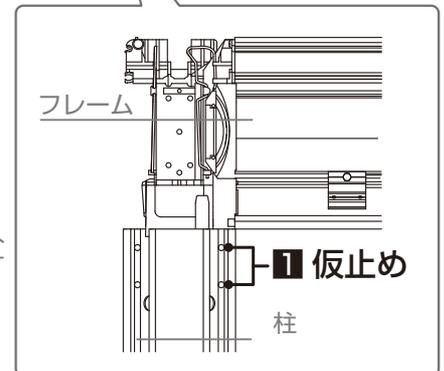
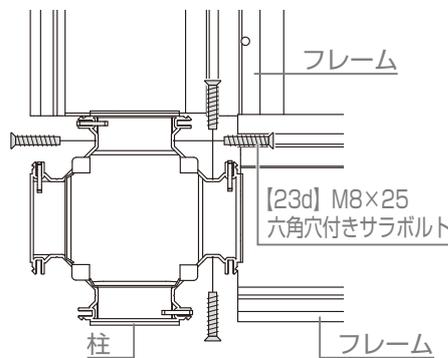
1: 柱とフレームを【23d】で仮止め

【23d】 M8×25六角穴付きサラボルト

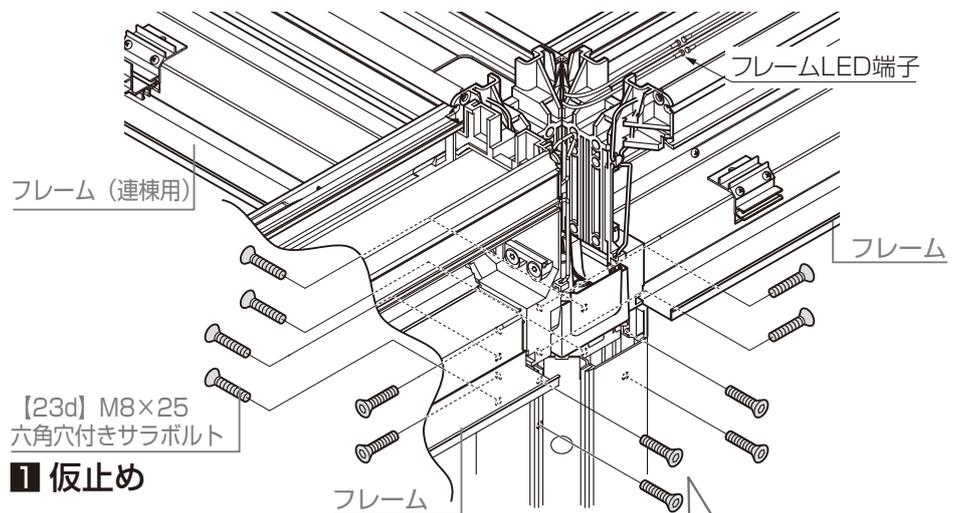
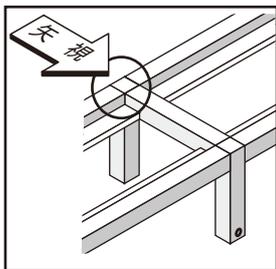
1 仮止め

補足

- 1つの柱につき、8本のネジで仮止めます。



8-6-4 柱とフレームの仮止め ▼ 連棟の場合 ▼



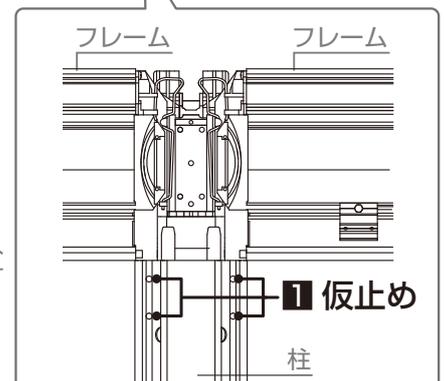
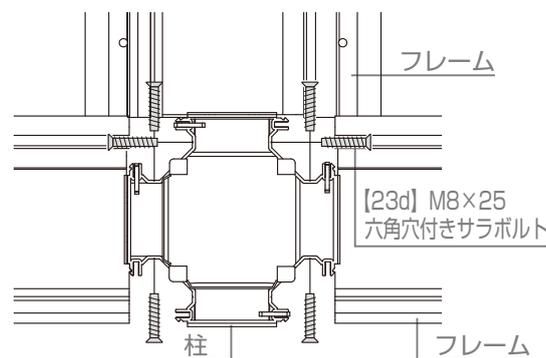
1: 柱とフレームを【23d】で仮止め

【23d】 M8×25六角穴付きサラボルト

1 仮止め

補足

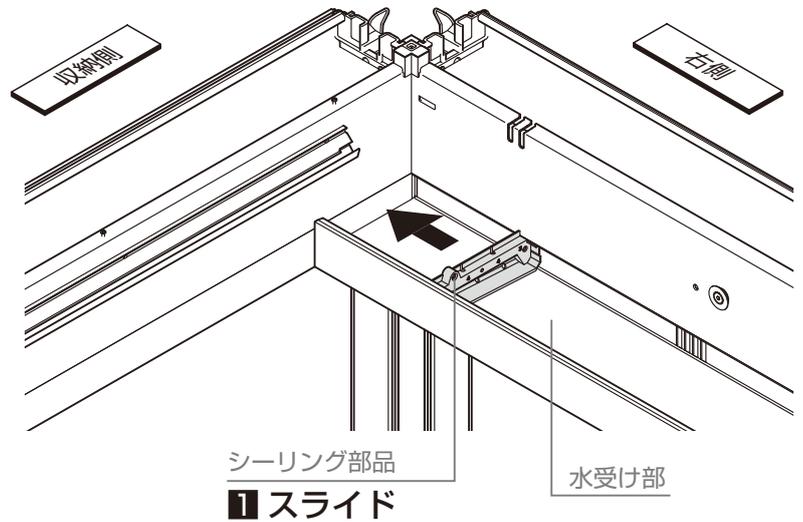
- 1つの柱につき、12本のネジで仮止めます。



8-6 フレームの取付け

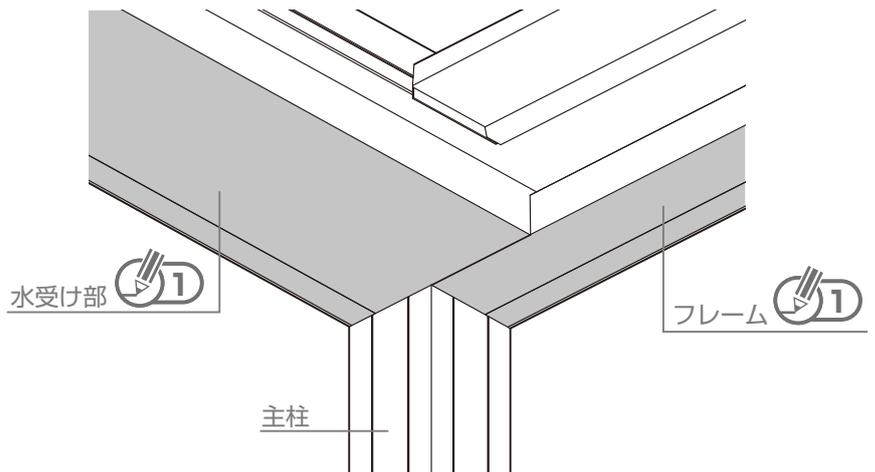
8-6-5 シーリング部品の取付け

1: 雨受け部にあるシーリング部品の外側にスライド



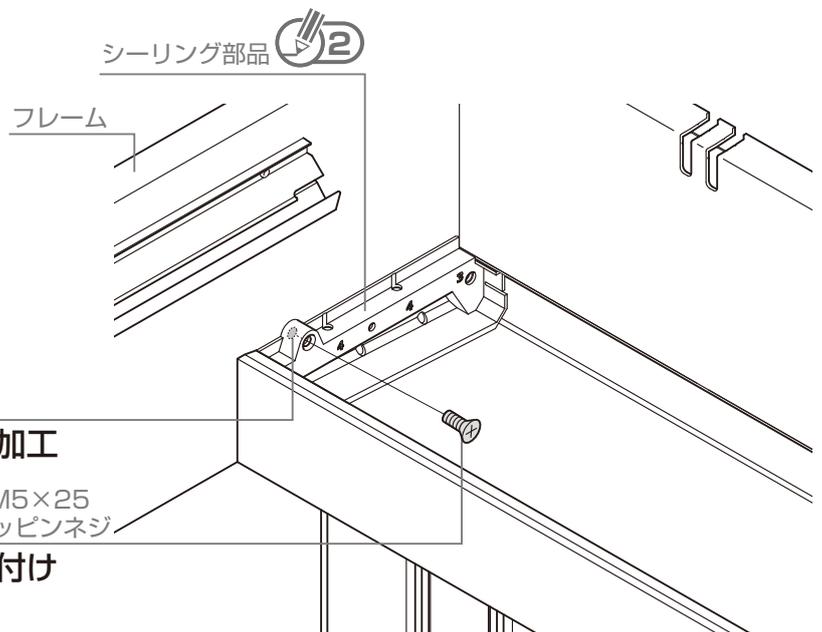
補足 1

- 雨受け部の底と、フレームの底が平らになるようにしてください。
- 3でシーリング部品を取付ける際に調整できます。



2: シーリング部品の穴をガイドにしてフレームにφ4.5の穴加工

3: シーリング部品をフレームに【23e】で取付け



補足 2

- シーリング部品は各雨受け部の両端に取付けます。

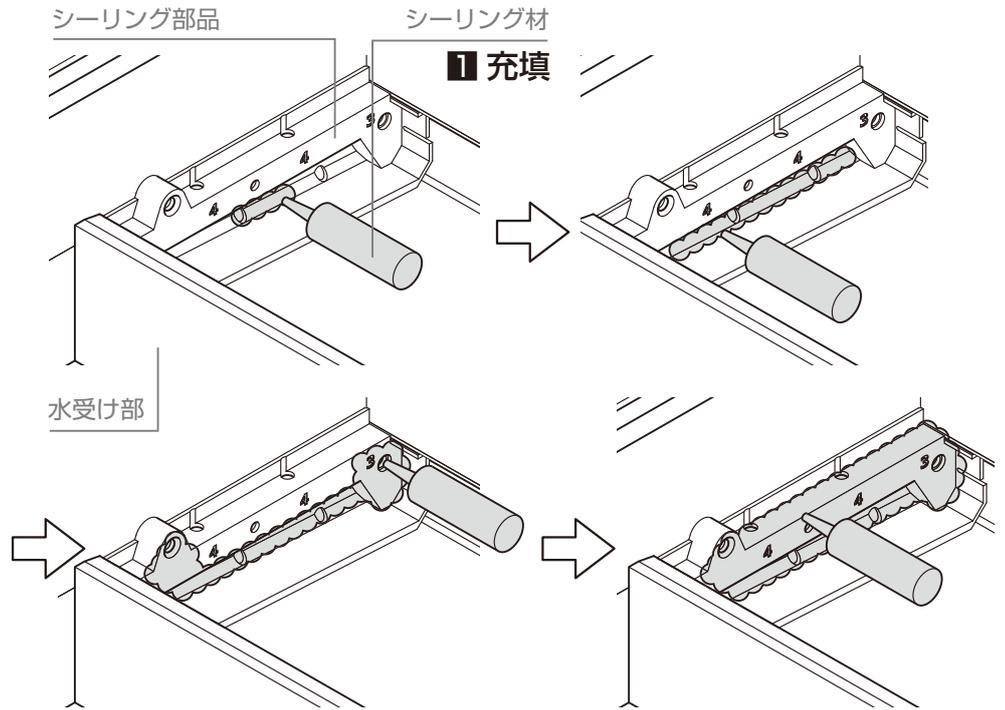
8-6 フレームの取付け

8-6-6 シーリング部品のシーリング

1: シーリング部品に表示されている数字順に充填

お願い

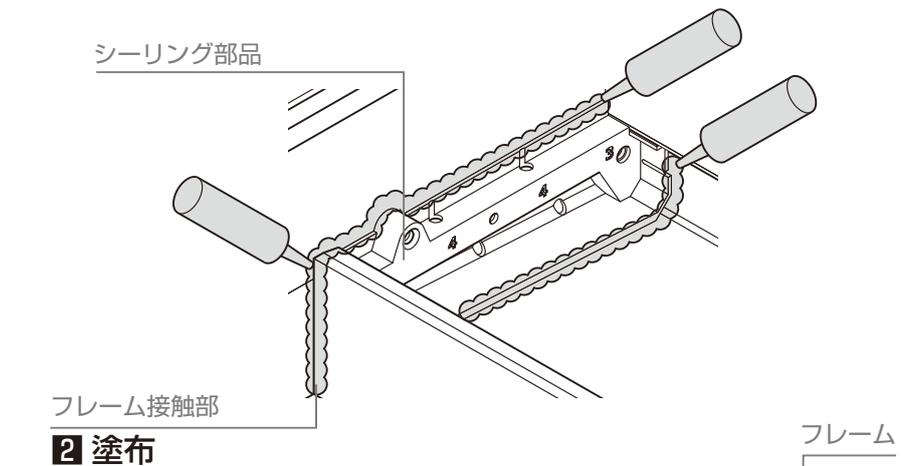
- シーリング部品の数字は、どの順番で埋めるかを示しています。必ず順番どおりに行ってください。
- シーリング部品から余分なシーリング材がはみ出さないようにしてください。



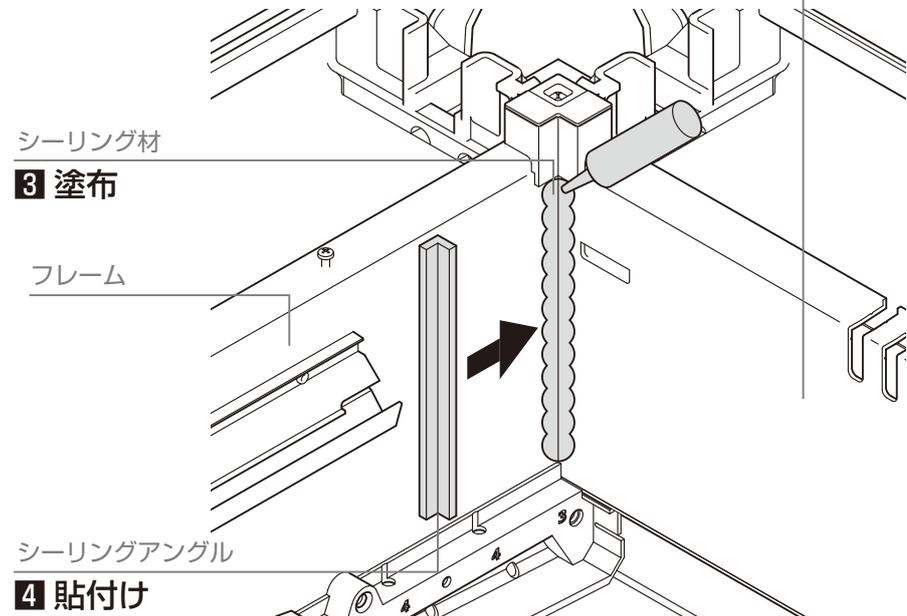
補足

- 指定のシーリング材を使用してください。

2: シーリング部品の接触部とフレームの接触部にシーリングを塗布



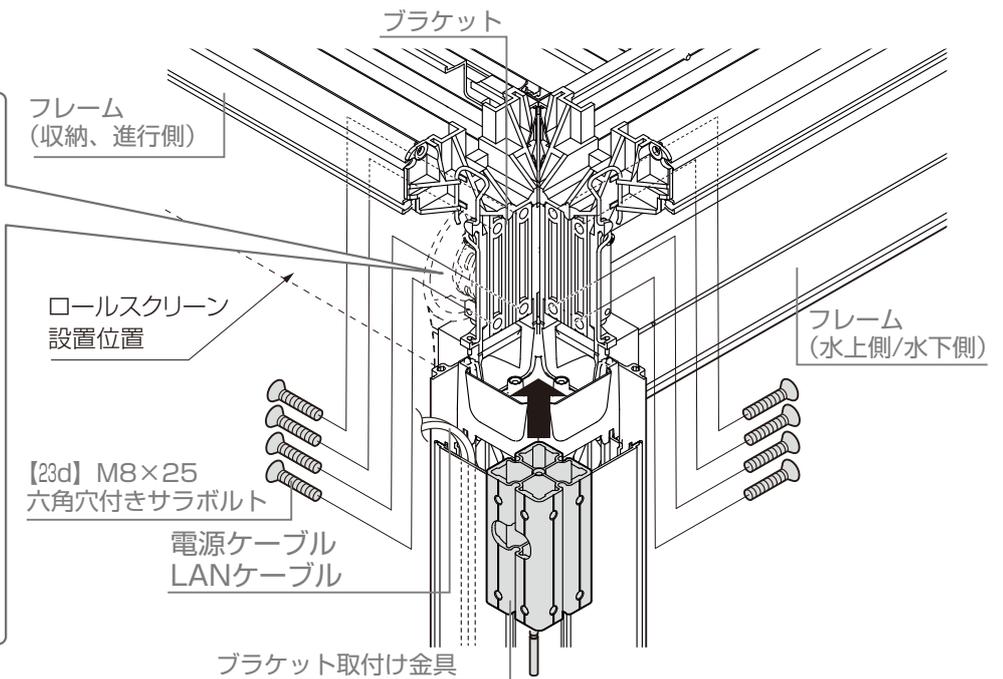
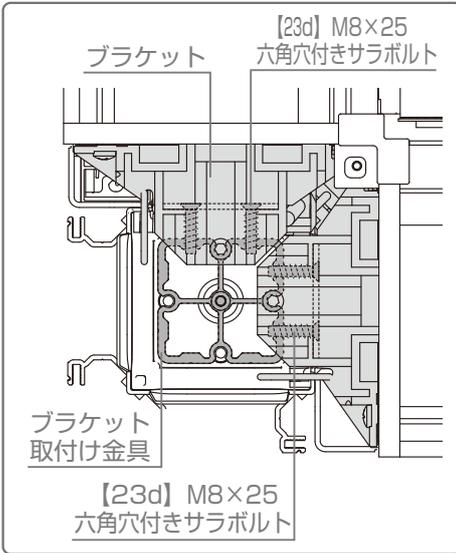
3: フレームの角にシーリングを塗布
4: シーリングアングルをフレームの角に貼付け



8-6 フレームの取付け

8-6-7 | ブラケット取付け金具の取付け

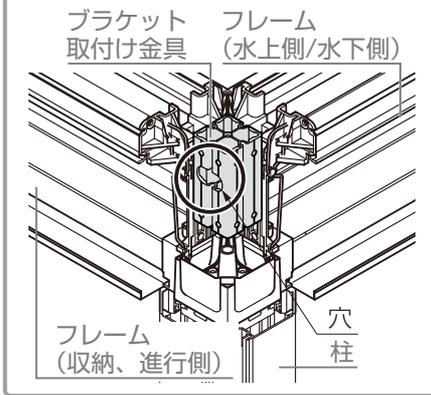
1: ブラケット取付け金具をブラケットに【23d】で取付け



2: 柱とフレームを【8-6-3】柱とフレームの仮止めで仮止めした【23d】を本固定

補足

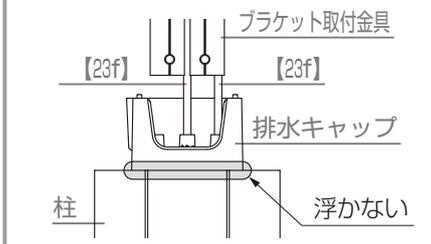
● ブラケット取付け金具の穴とフレーム (水上側/水下側) の向きを揃えてください。



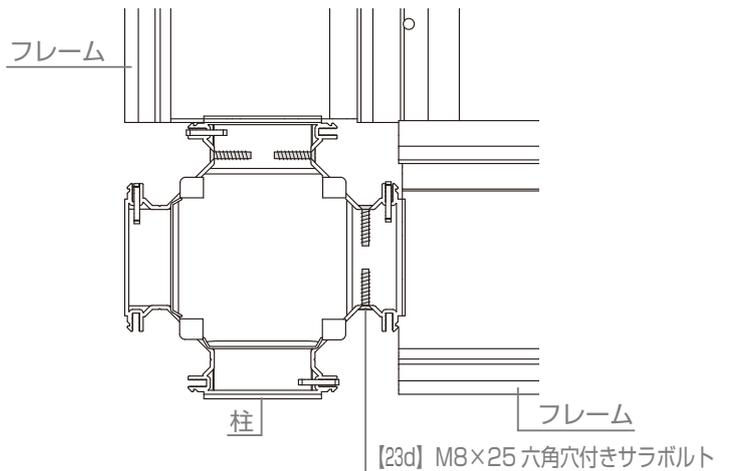
3: ブラケット取付け金具を排水キャップに【23f】で固定

お願い

● 【23f】 ネジを締める時は、排水キャップが浮かないようにしてください。柱やフレームとすき間ができ雨漏れの原因となります。



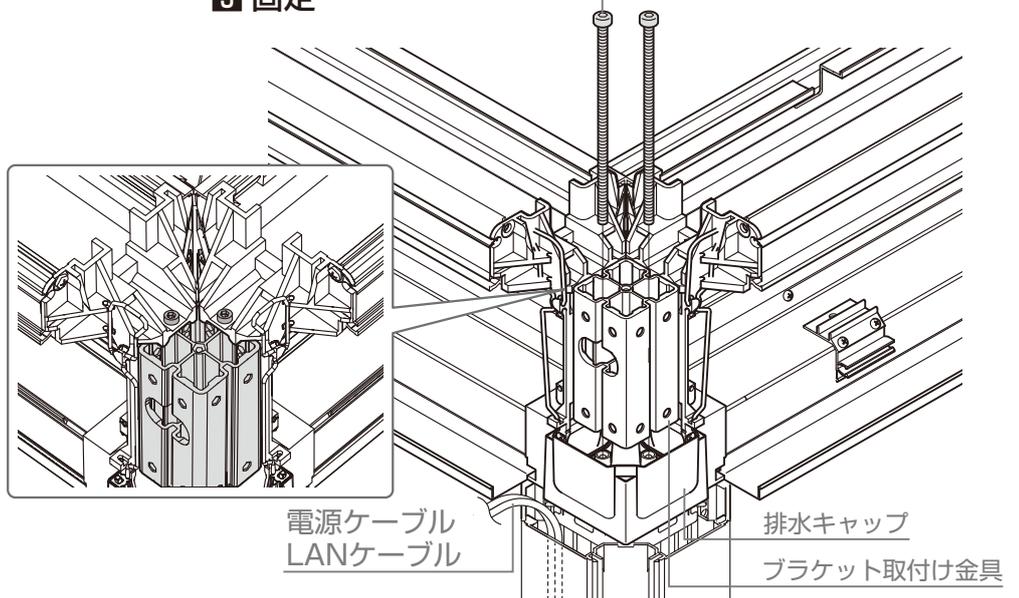
1 取付け



2 本固定

【23f】 M6×180 六角穴付きネジ

3 固定



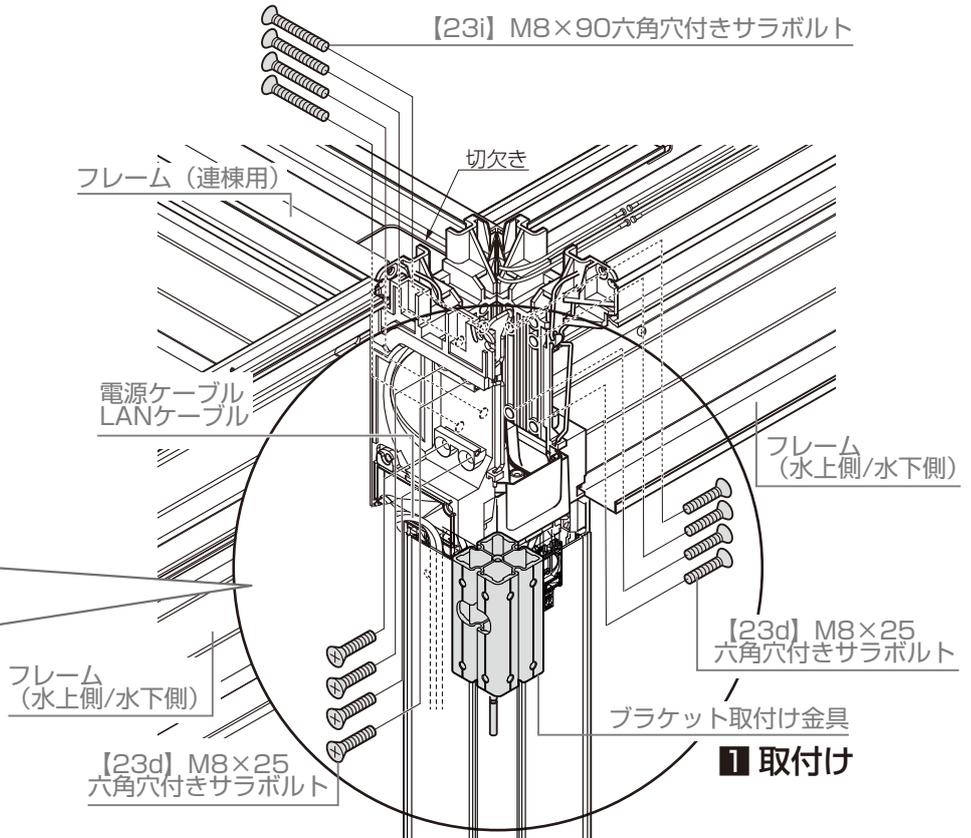
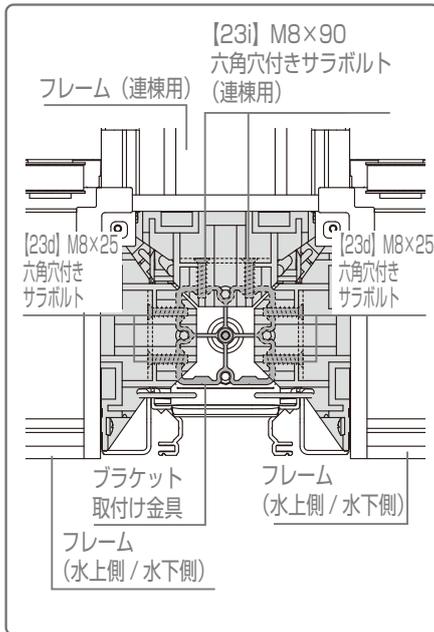
8-6 フレームの取付け

8-6-8 ブラケット取付け金具の取付け ▼ 連棟タイプの場合 ▼

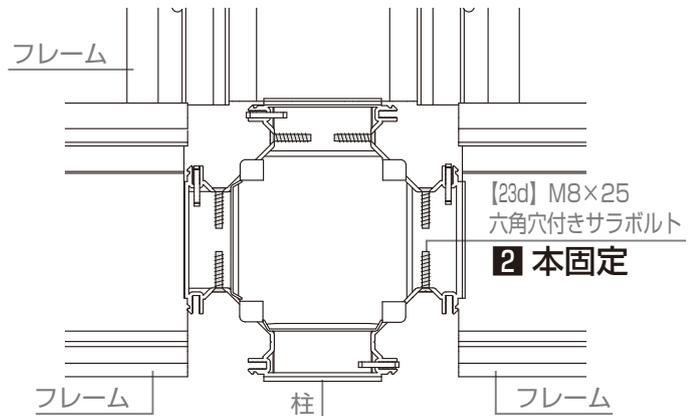
1: ブラケット取付け金具をブラケットに
【23d】と【23i】で取付け

補足

● 【23i】はフレーム（連棟用）の切欠きから手を入れてボルトを固定します。



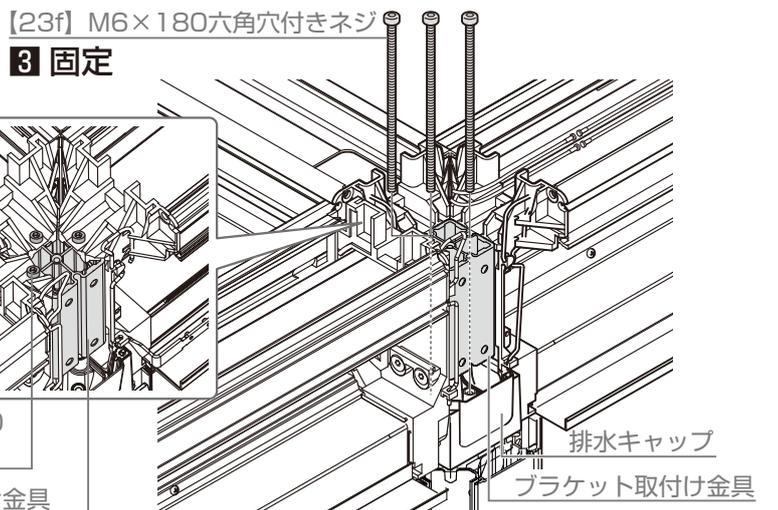
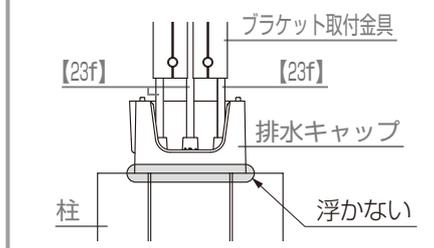
2: 柱とフレームを【8-6-4】柱とフレームの仮止め
で仮止めた【23d】で本固定



3: ブラケット取付け金具を排水キャップに【23f】で固定

お願い

● 【23f】ネジを締める時は、排水キャップが浮かないようにしてください。柱やフレームとすき間ができ雨漏れの原因となります。



8-6 フレームの取付け

8-6-9 | モーター本体の取付け

注意

●モーター本体を設置、固定する際は、配線を傷つけないように注意してください。漏電や故障のおそれがあります。

1: モーター本体の引っ掛け穴をフレームのモーター取付けボタンに引っ掛けて仮固定

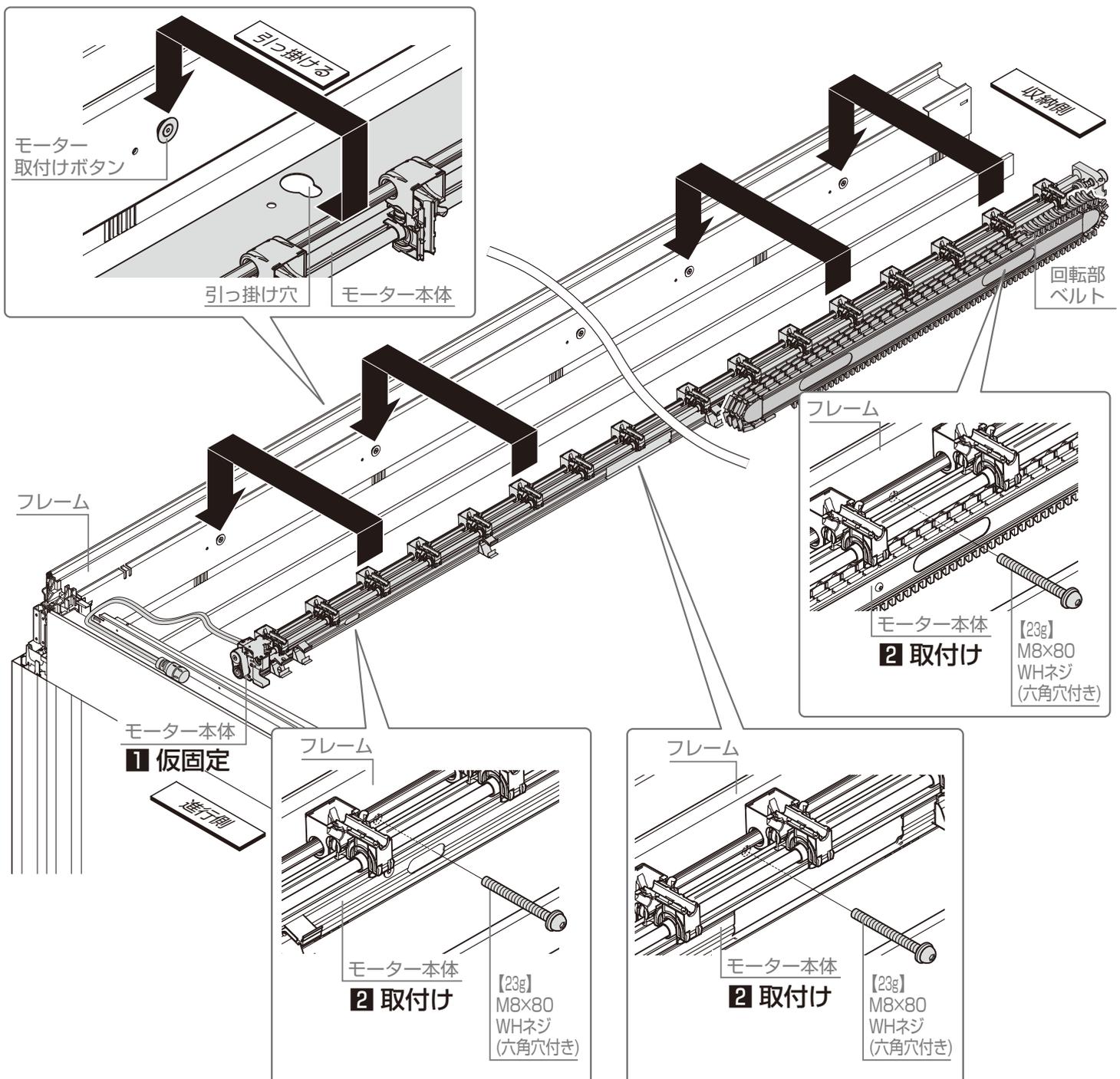
補足

- モーター取付けボタンは、水下の方が30mm低い位置にあります。
- 収納側に回転部ベルトが向くように取付けてください。

2: モーター本体をフレームに【23g】で取付け

補足

- 回転部ベルト側のネジ穴は、溝の内部にあります。



8-6 フレームの取付け

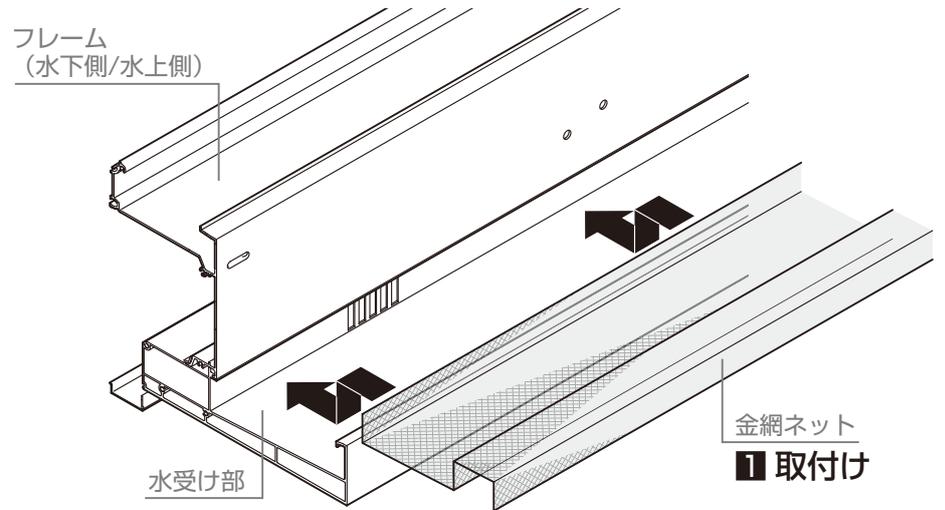
つづき

8-6-10 金網ネットの取付け

1: 金網ネットをフレーム(水下側/水上側)の水受け部に取付け

お願い

- 金網ネットの向きに注意してください。排水路を塞ぐと詰まりの原因になります。
- 金網ネットは設置の状況に応じてカットまたは重なるように設置してください。



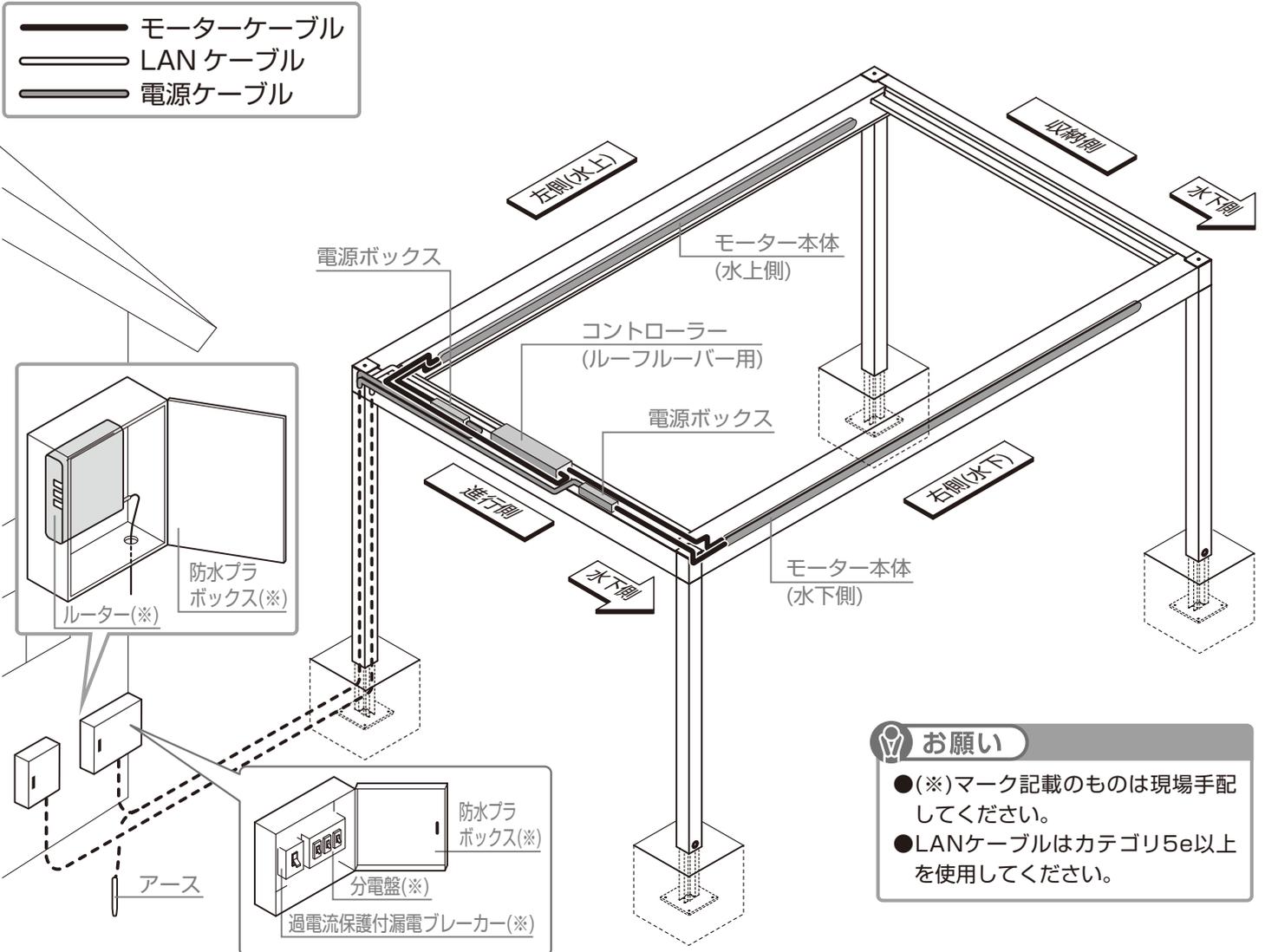


8-7 電源ケーブルとネットワークケーブルの接続

8-7-1 本体とケーブルの取り回し位置の確認

💡 お願い

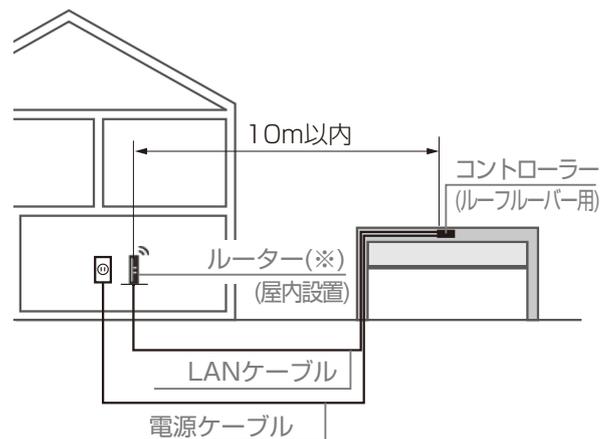
●各コントローラーボックスは、メンテナンスを考慮し、1~2つのフレームにまとめて設置してください。



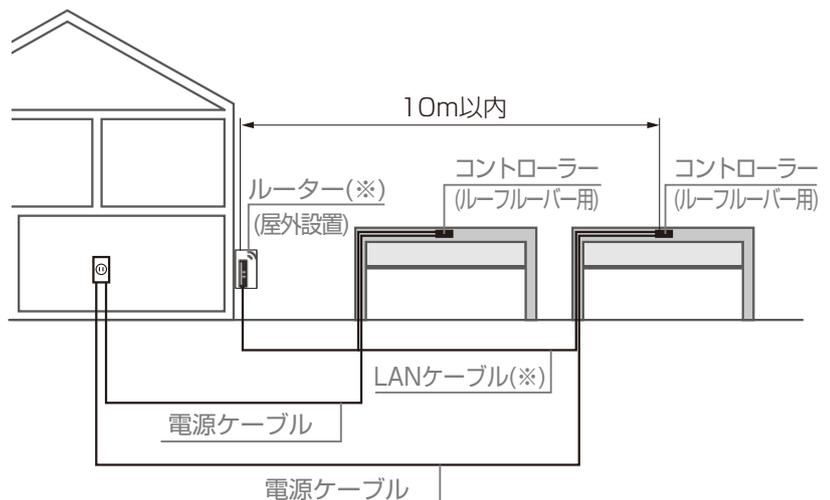
💡 お願い

- (※)マーク記載のものは現場手配してください。
- LANケーブルはカテゴリ5e以上を使用してください。

▼ 単体時の接続 ▼

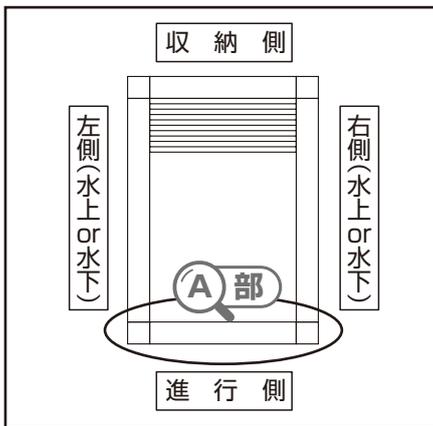


▼ 連棟時の接続 ▼



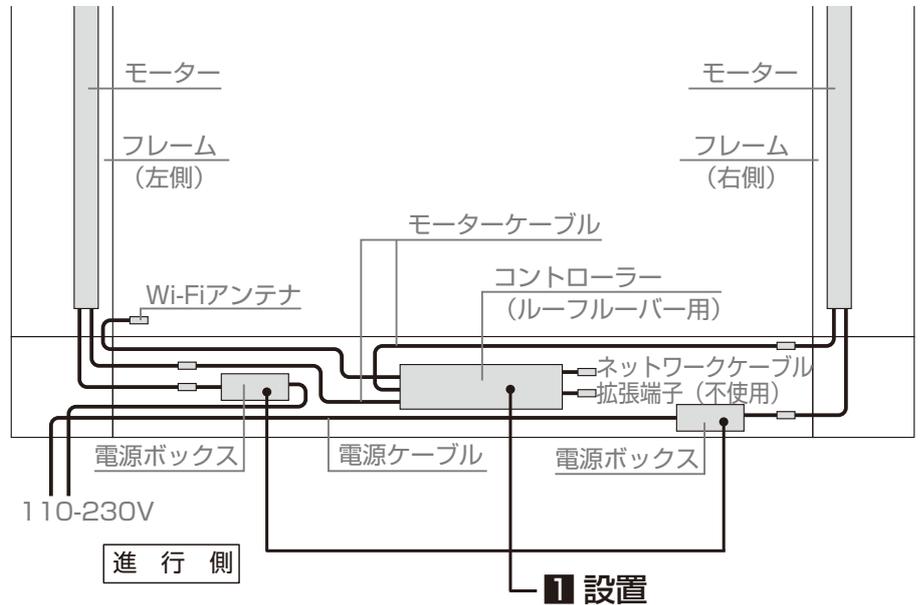
8-7 電源ケーブルとネットワークケーブルの接続

8-7-2 | コントローラー（ルーブローバー用）と電源ボックスの設置

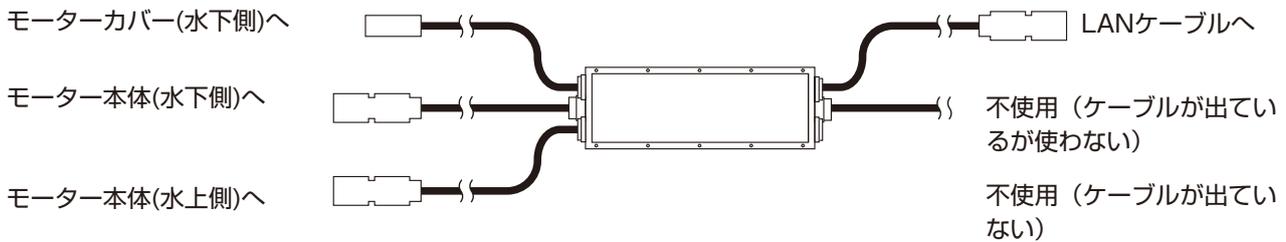


1: コントローラー(ルーブローバー用)と電源ボックスをフレーム(水上側)の中に設置

A部詳細図



8-7-3 | コントローラー（ルーブローバー用）の確認

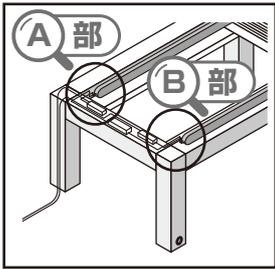


補足

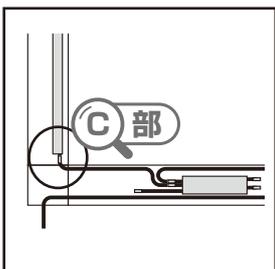
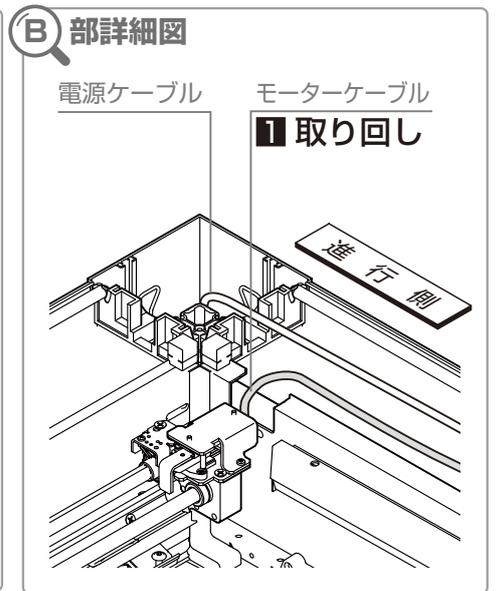
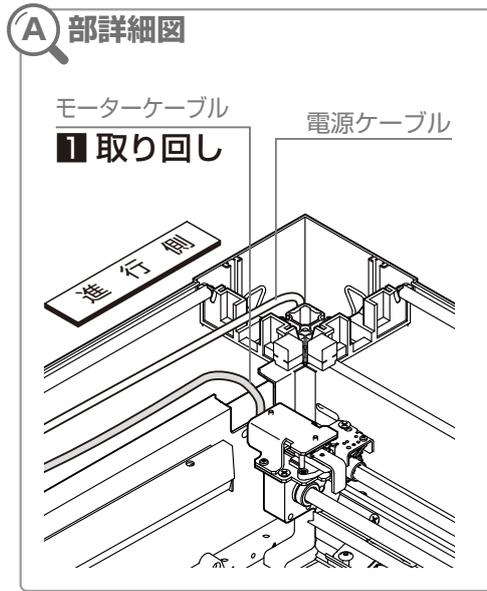
●電源が入ると、電源ランプが順番にすべて点灯します。点灯しない場合は、電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

8-7 電源ケーブルとネットワークケーブルの接続

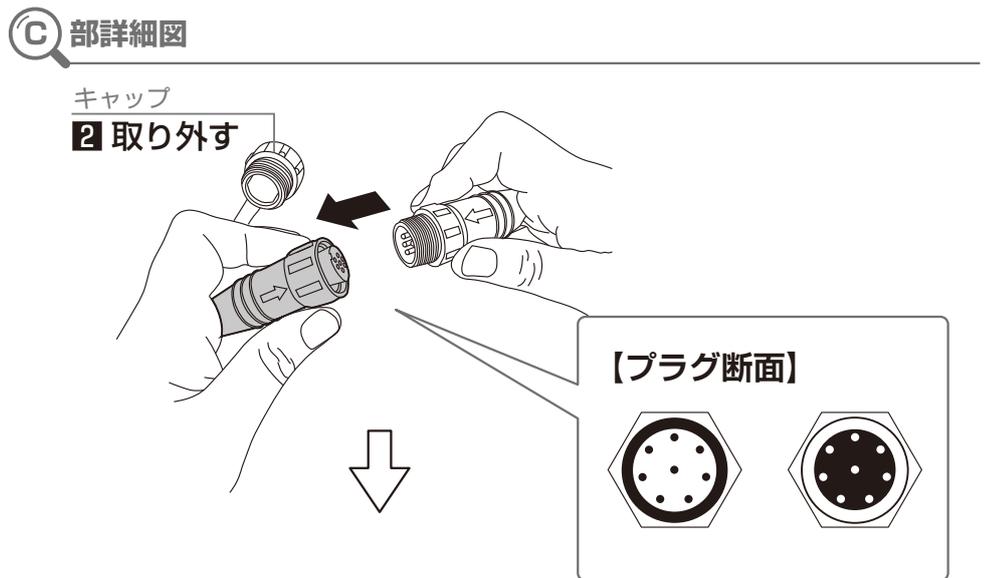
8-7-4 | モーターケーブルとコントローラー（ルーフルーバー用）の接続



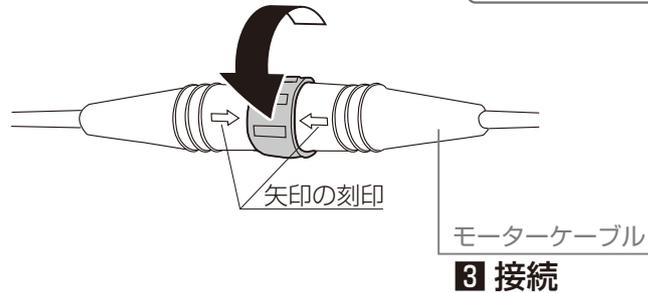
1: モーターケーブルをコントローラー（ルーフルーバー用）側へ取り回し



2: ケーブル端部のキャップを取り外す

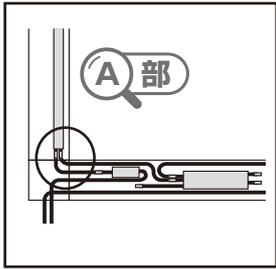


3: モーターから伸びるケーブルとコントローラーから伸びるケーブルを接続



- お願い**
- モーター本体からはモーターケーブルと電源ケーブルがそれぞれ1本ずつあります。それぞれ同じ形状のコネクタ同士を接続してください。
 - 矢印の刻印の向きが一致するように差し込んでひねってください。

8-7-5 | モーターと電源ボックスの接続

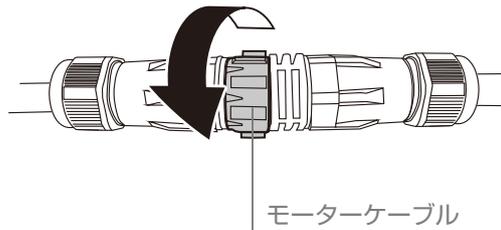
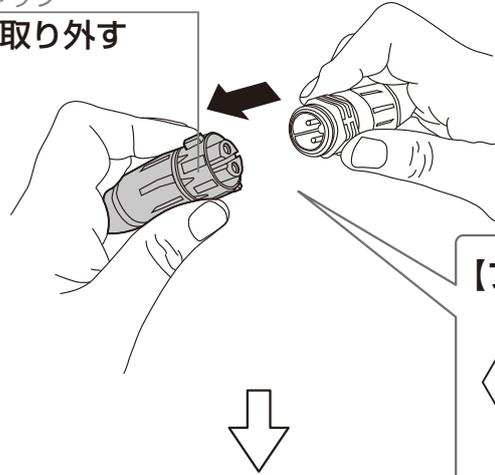


1: ケーブル端部のキャップを取り外す

2: モーターから伸びるケーブルと電源ボックスから伸びるケーブルを接続

A 部詳細図

キャップ
1 取り外す



2 接続

お願い

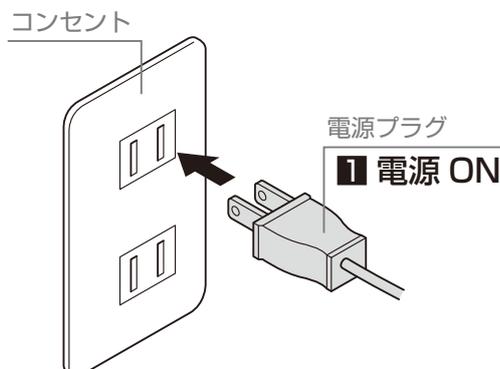
- モーター本体からはモーターケーブルと電源ケーブルがそれぞれ1本ずつあります。それぞれ同じ形状のコネクタ同士を接続してください。
- コネクタの形状が一致するように差し込んでください。



8-8 スマホによる初期設定

8-8-1 | コントローラーとスマホの接続

1: 本体の電源を入れる



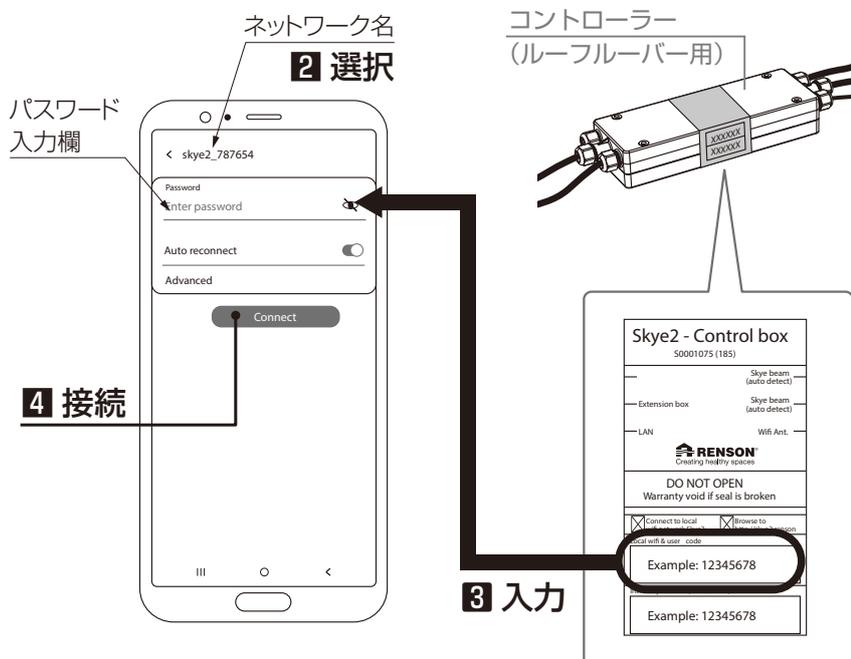
2: スマホのWi-Fi設定画面を開きネットワークを選択

補足

- Wi-Fi設定画面で、ネットワーク名 (skye2+注文番号)を選択します。

3: コントローラーの側面に記載されているパスワードを確認し、スマホのパスワード入力欄に入力

4: Connectを選択して接続



ネットワーク名	Skye2+ 注文番号
パスワード	8桁 (コントローラーへ記載の Local wifi & user code)

補足

- ネットワークが見つからない場合は電源が接続されているか確認してください。

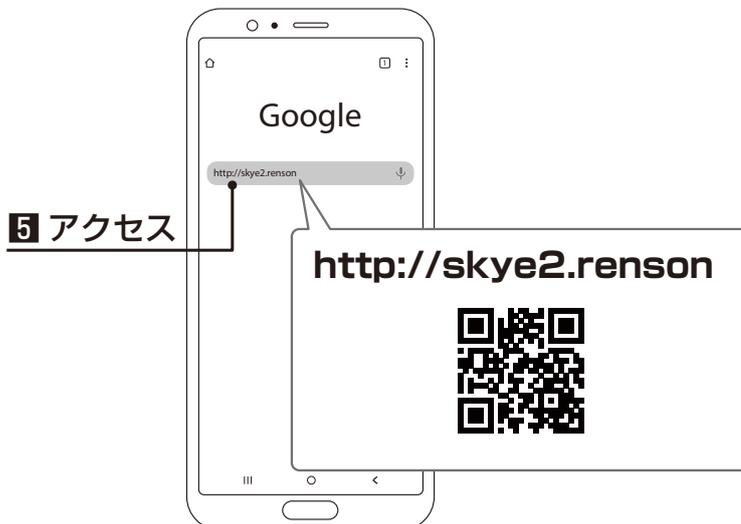
お願い

- Wi-Fiの接続時に「インターネット接続の内ネットワークです。接続しますか?」と警告が出た場合は「はい/インターネットに接続せずに使用」を選択して接続を継続してください。

5: ブラウザを開き「http://skye2.renson」へアクセス

補足

- アクセスに使用するブラウザはGoogle Chromeを推奨します。
- サイトへアクセスできない場合は、ローカルWi-Fiに接続できているか確認してください。



8-8 スマホによる初期設定

つづき

8-8-1 | コントローラーとスマホの接続

つづき

6: Installation Portal Sky2.0画面で「Professional」を選択

7: コントローラーに記載されているパスワードを入力

パスワード 10桁
(コントローラーへ記載の Installer password (Professional))

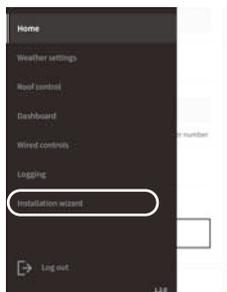
補足
●パスワードは注文番号の上6桁+7593からも取得可能です。

8: 「Login」を選択

9: 「Start installation wizard」を選択

お願い
●「Start installation wizard」選択後はマニュアル(英語版)がスマホ上で確認できます。以降はスマホのマニュアルも参考にしながら同時進行で進めてください。

補足
●2回目以降は、☰メニューから「Installation wizard」を行えます。



コントローラー (ルーフルーバー用)

6 選択

7 入力

8 選択

Skye2 - Control box
S0001075 (185)

Skye beam (auto detect)
Extension box Skye beam (auto detect)
LAN Wifi Ant.

RENSON
Creating healthy spaces

DO NOT OPEN
Warranty void if seal is broken

Connect to local wifi network Skye2 Browse to http://ipz2.renson.local/wifi&user_code

Example: 12345678
Installer password (Professional)
Example: 12345678

9 選択

9 選択

GARDEN ANNEX_2195_1 にロ...

Home

Device name
Skye2

Serial number
210121P002

Order number
2195_1

Only Renison Technician is able to change the order number

Installation finished
False

State
Start installation wizard

Renison cloud connection
Disconnected

Installation wizard

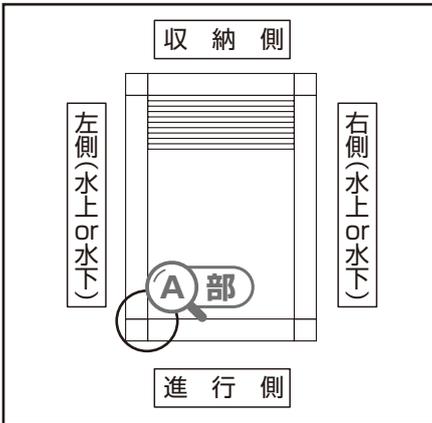
Roof installation, location, weather settings

Start installation wizard

補足
●「Installation wizard」の1/30～5/30ページは前ページで行った手順です。内容を確認し「NEXT」を押して6/30ページまで進めてください。

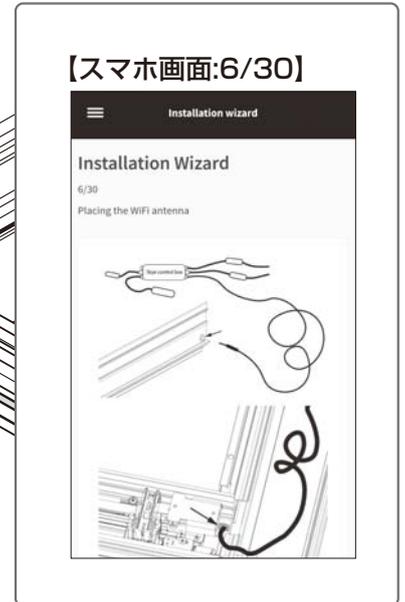
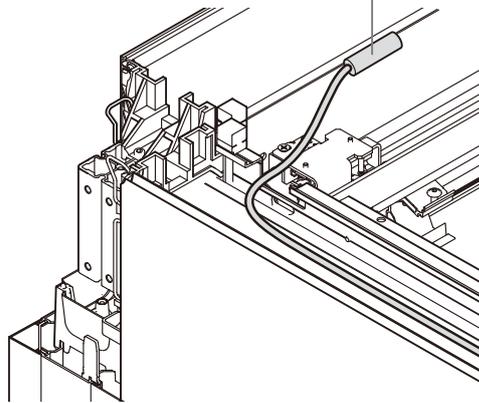
8-8 スマホによる初期設定

8-8-2 Wi-Fiアンテナの接続(Installation wizard:6/30)



A部詳細図

Wi-Fiアンテナ
1 取り回し



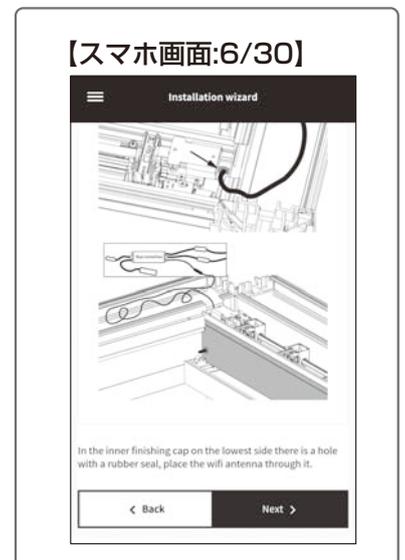
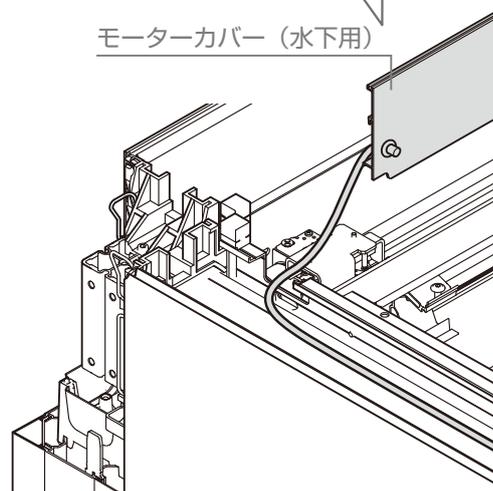
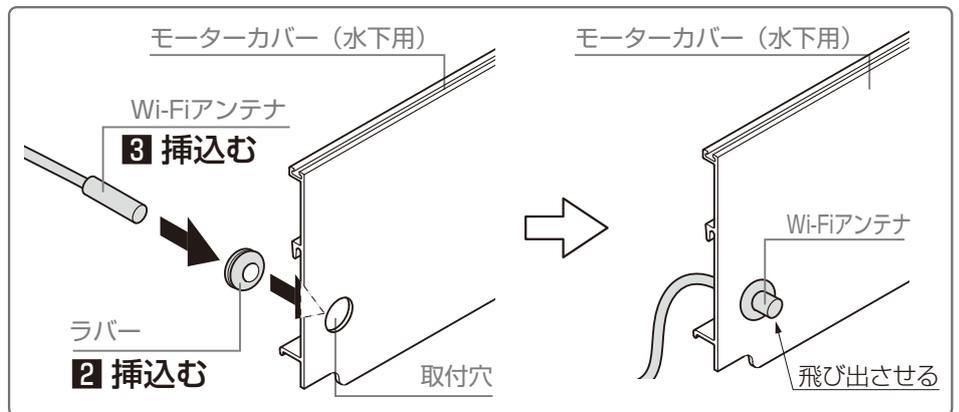
1: Wi-Fiアンテナをフレーム(水下側)へ取り回し

2: ラバーをモーターカバー(水下用)の取付穴に挿込む

3: モーターカバー(水下用)のラバーへWi-Fiアンテナを挿込む

お願い

●Wi-Fiアンテナはモーターカバーの裏側から表側へ差し込んでください。



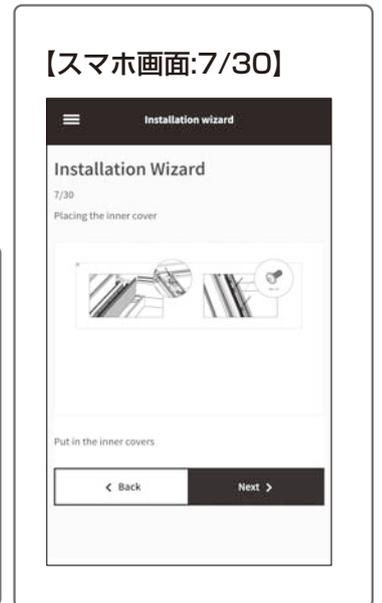
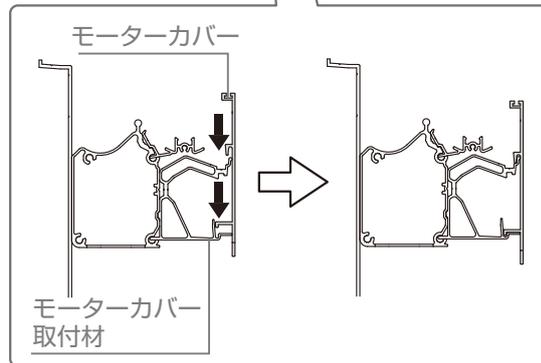
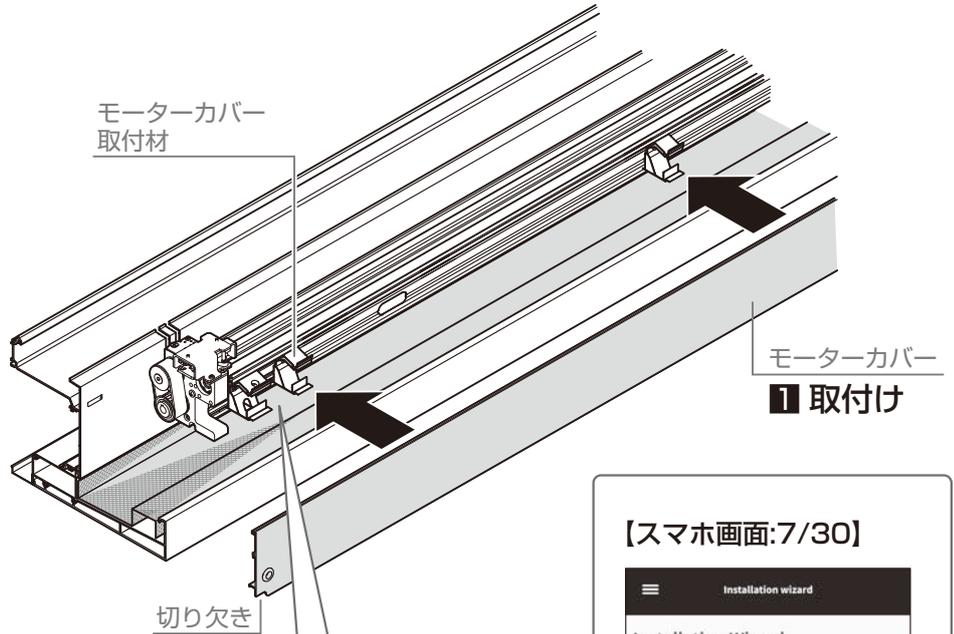
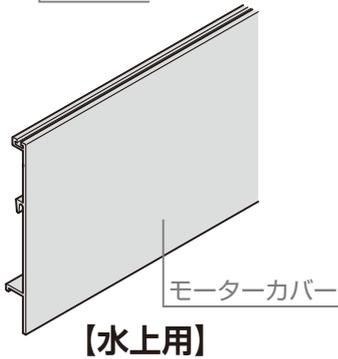
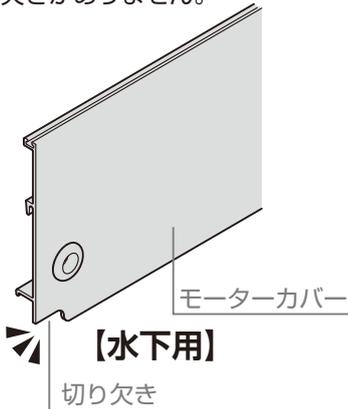
8-8 スマホによる初期設定

8-8-3 モーターカバーの取付け (Installation wizard: 7/30)

1: モーターカバーをモーターカバー取付材に取付け

お願い

● 水下側 (排水路のある側) のカバーは、両端に切り欠きが付いています。水上側のカバーには、切り欠きがありません。



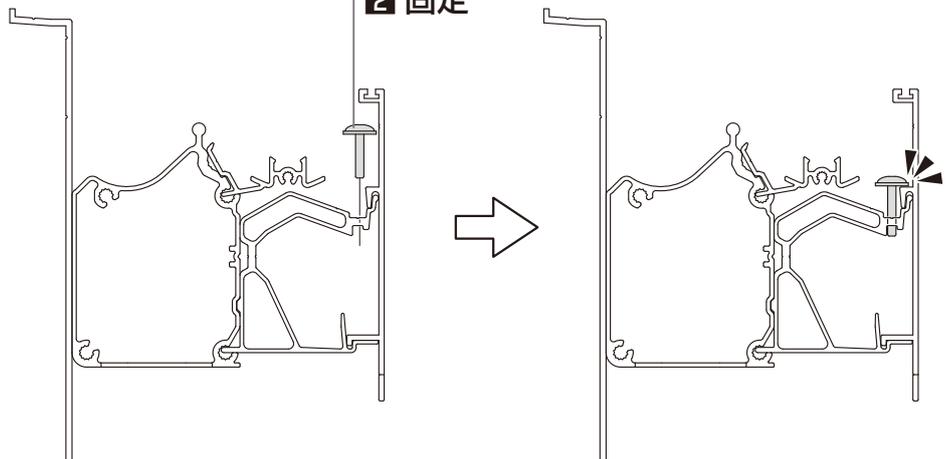
2: モーターカバーをモーターカバー取付材に【23h】で固定

お願い

● 【23h】ネジは締めすぎないでください。

【23h】 M6×16WHネジ (六角穴付き)

2 固定



8-8 スマホによる初期設定

8-8-4 見切り材の取付け (Installation wizard: 8/30)

▼ 進行側の場合 ▼

お願い

- 見切り材には、収納側用と進行側用があります。確認して取付けてください。

見切り材(進行側用)	見切り材(収納側用)

補足

- 見切り材は収納側、進行側のどちらも、製品のL寸法によって長くなったり短くなったりします。
- ご注文いただいた製品のL寸法に合わせてカットした部材が納品されます。

見切り材 (進行側用)

1: 見切り材(進行側用)を見切り材受けに差し込み

お願い

- 見切り材(進行側用)は、見切り材受けの奥に突き当たるまでしっかりと差し込んでください。

見切り材 (進行側用)
見切り材受け

2: 見切り材(進行側用)を見切り材受けに【23i】で取付け

3: 見切り材受けにシーリングを塗布

【23i】φ4×12 六角穴付ネジ

2 取付け

見切り材受け

見切り材 (進行側用)

【23i】φ4×12 六角穴付ネジ

受け金具

見切り材 (進行側用)

見切り材受け

シーリング

3 塗布

見切り材受け

シーリング

見切り材 (進行側用)

シーリング

見切り材受け

8-8 スマホによる初期設定

つづき

8-8-4 見切り材の取付け (Installation wizard: 8/30)

つづき

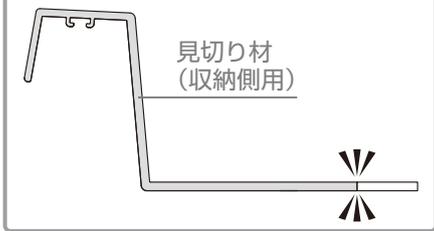
▼ 収納側の場合 ▼

お願い

- 見切り材には、収納側用と進行側用があります。確認して取付けてください。

補足

- 見切り材は収納側、進行側のどちらでも、製品のL寸法によって長くなったり短くなったりします。
- ご注文いただいた製品のL寸法に合わせてカットした部材が納品されます。



1: 見切り材 (収納側用) を見切り材受けに差し込み

お願い

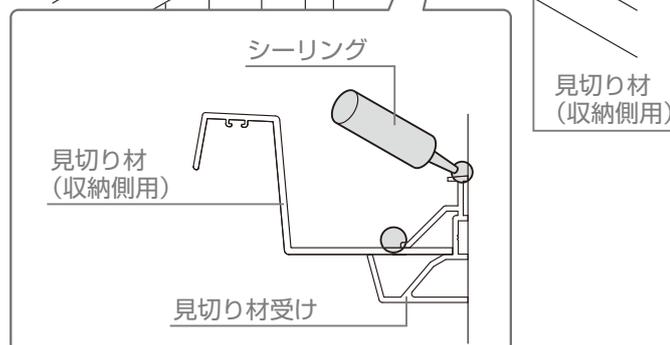
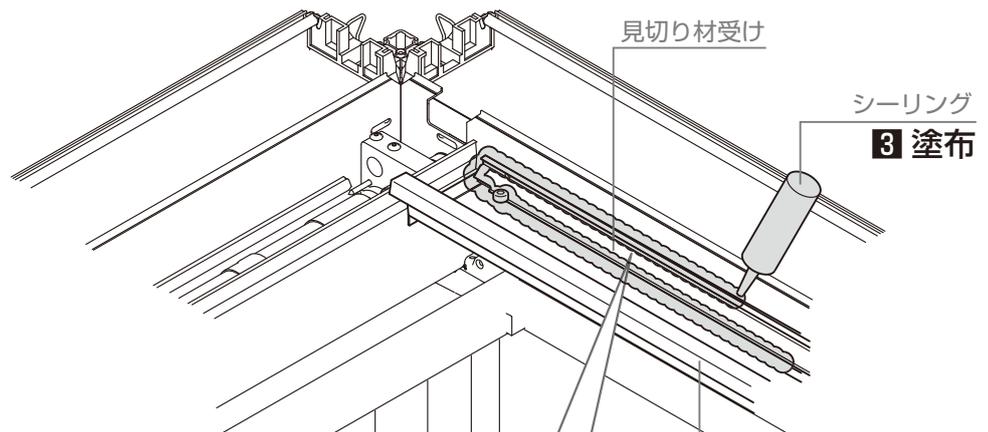
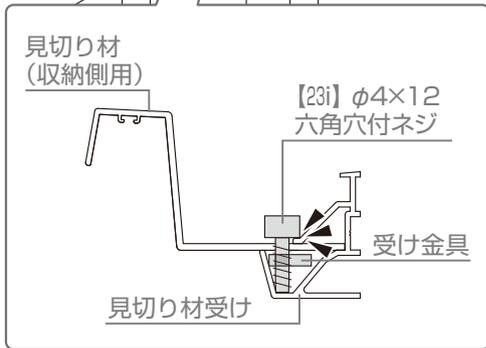
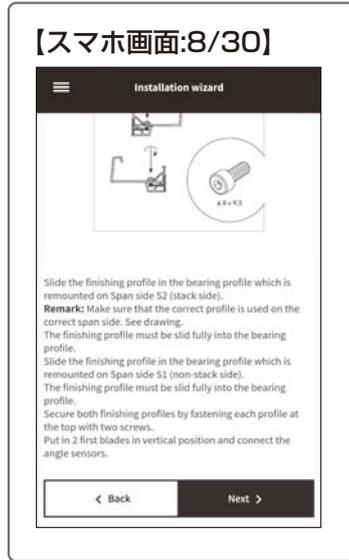
- 見切り材 (収納側用) は、見切り材受けの奥に突き当たるまでしっかりと差し込んでください。

見切り材 (収納側用)

見切り材受け

2: 見切り材 (収納側用) を見切り材受けに【23i】で取付け

3: 見切り材受けにシーリングを塗布



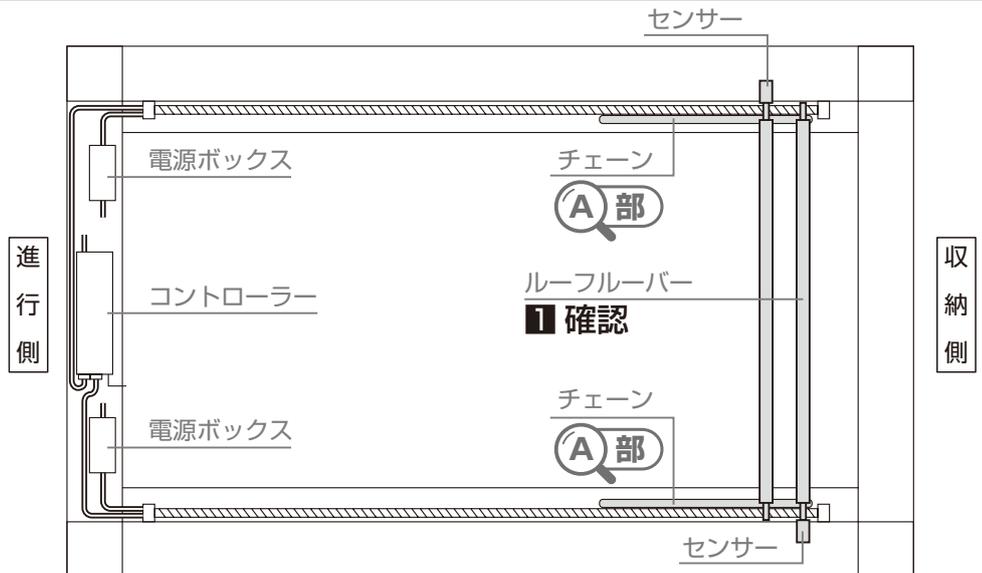
8-8 スマホによる初期設定

8-8-5 設定用ルーフルーバーの取付け位置確認(Installation wizard:9/30)

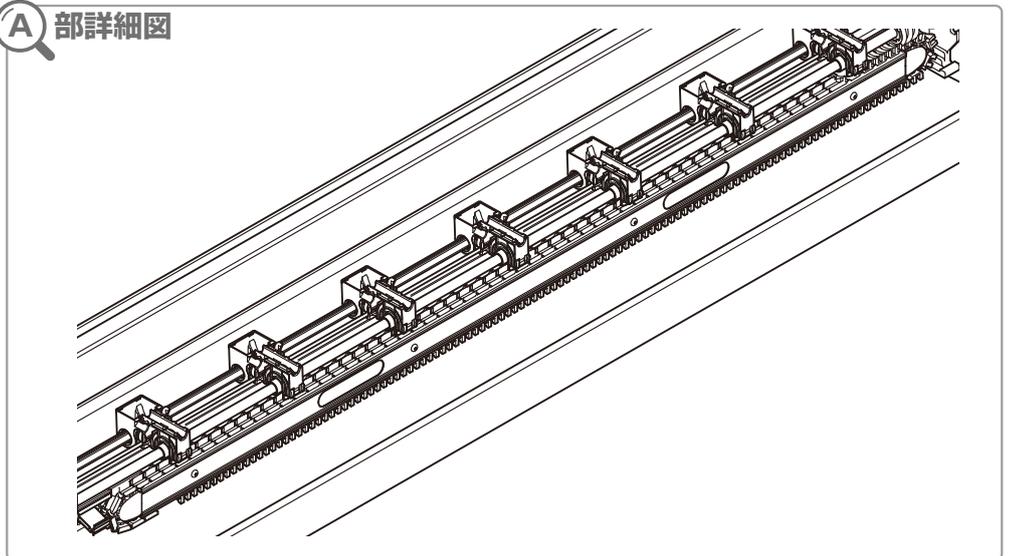
1: 設定用ルーフルーバーの取付け位置と向きを確認

補足

- 収納側の一番端に、ルーフルーバーを2つ取付けてください。
- ルーフルーバーは垂直になるように取付けてください。

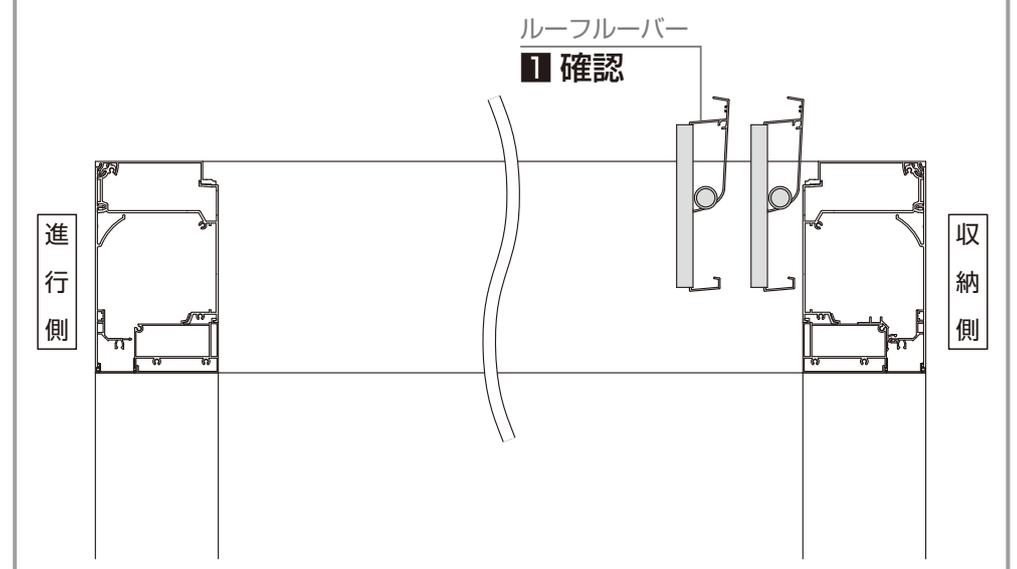


A部詳細図



お願い

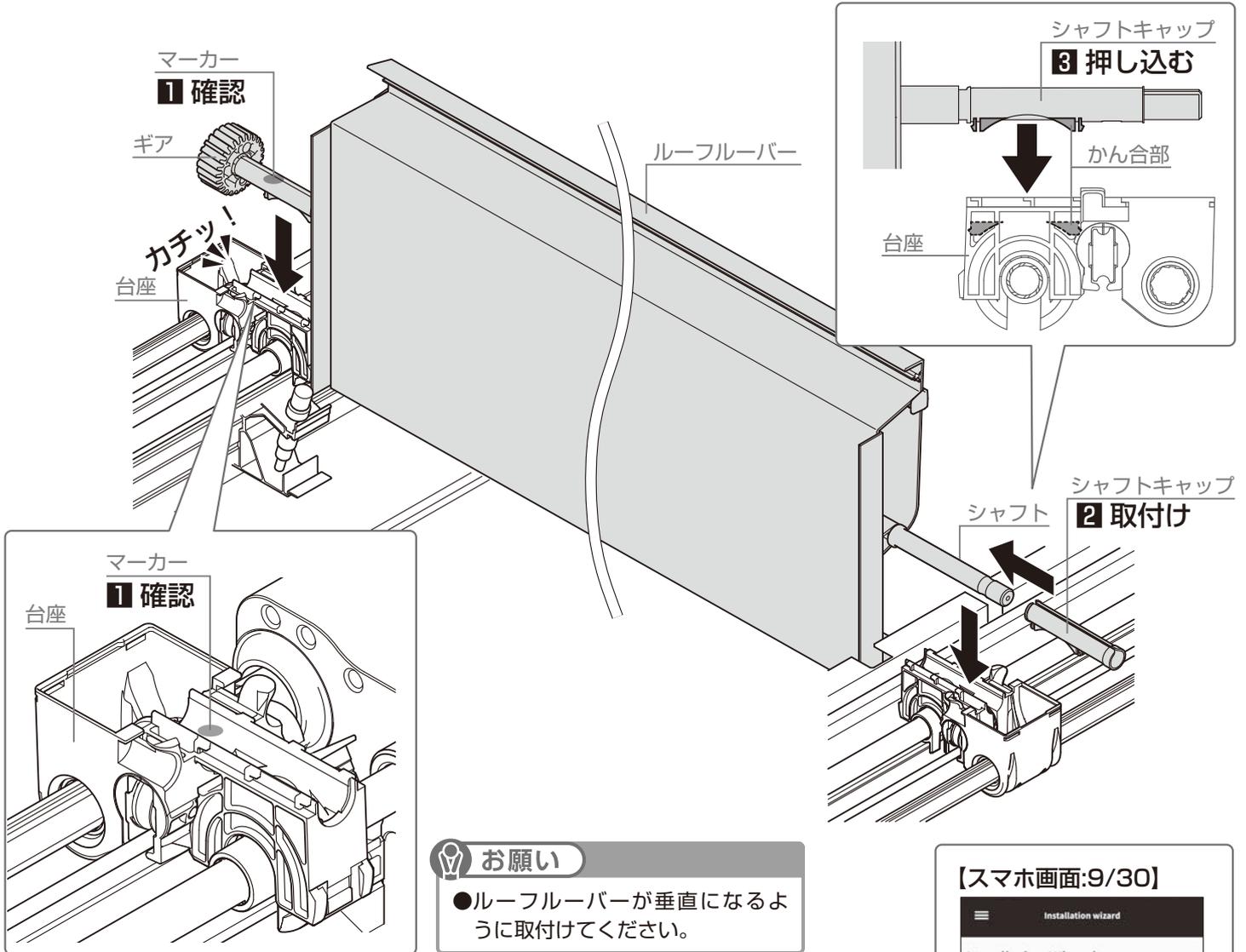
- 設定用ルーフルーバーは必ず図の向きに取付けてください。



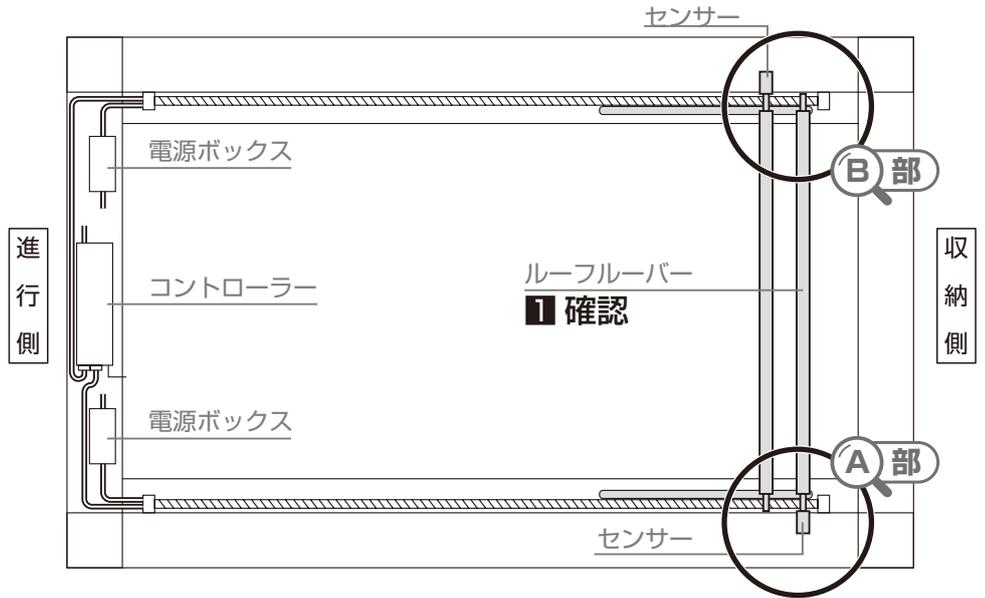
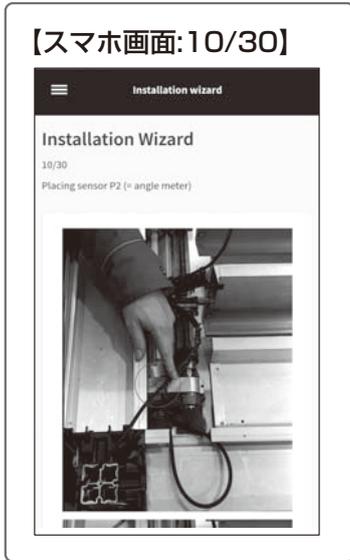
8-8 スマホによる初期設定

8-8-6 設定用ルーブローバーの取付け(Installation wizard:9/30)

- ❶:ギア側の台座と、シャフトキャップのマーカーの色を確認
- ❷:ギア側と逆側のシャフトにシャフトキャップを取付け
- ❸:ルーブローバーのシャフトキャップ部分を台座に垂直に押し込む

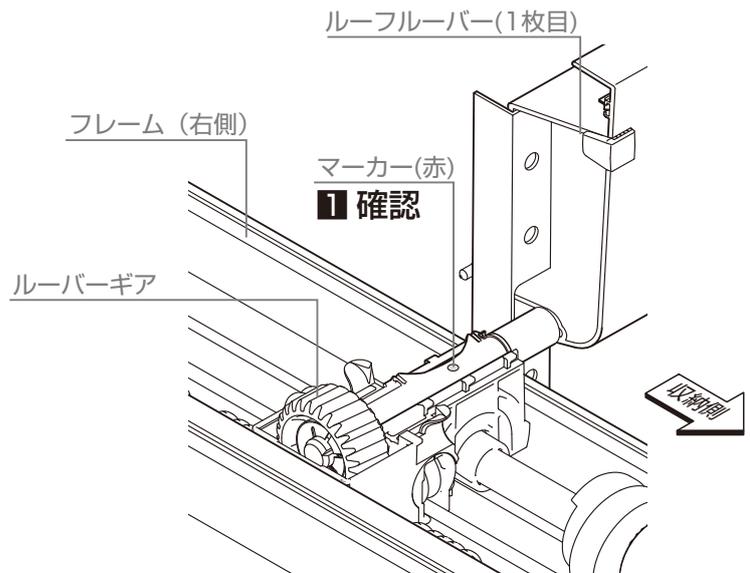


8-8-7 センサーの接続(Installation wizard: 10/30)

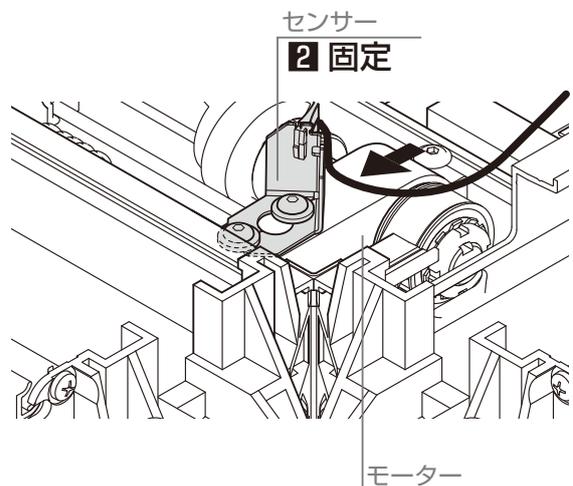


A 部詳細図

1: 1枚目のルーバーギアに赤色のマーカーが付いていることを確認



2: モーターにセンサーを固定



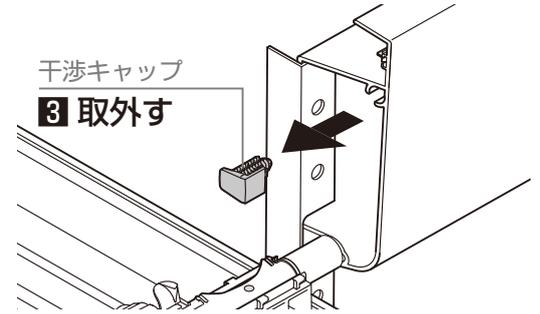
8-8 スマホによる初期設定

つづき

8-8-7 センサーの接続(Installation wizard: 10/30)

つづき

3: 干渉キャップを取外す

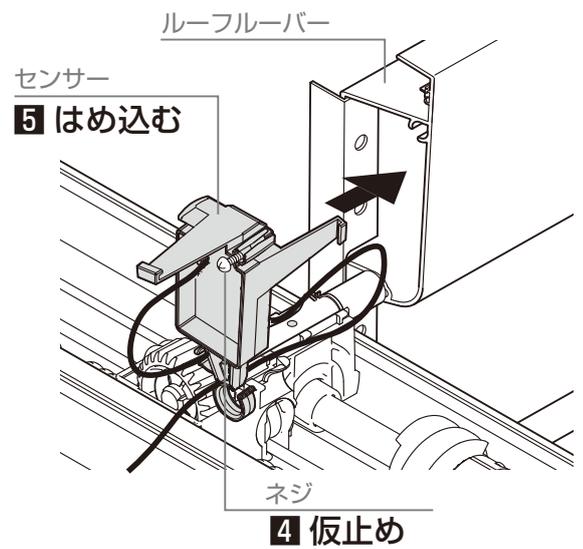


4: ネジをセンサーのネジ穴に仮止め

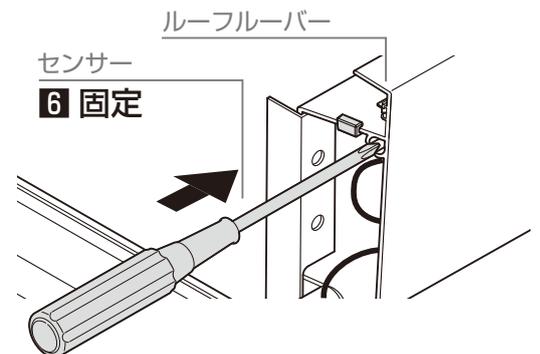
5: センサーをルーフルーバーへはめ込む

補足

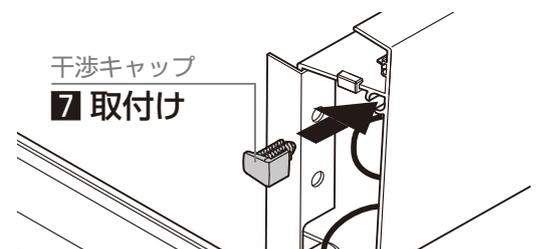
- 余分なケーブルはルーフルーバーの内部へ収納してください。



6: センサーをルーフルーバーへ固定



7: 干渉キャップを取付け



8-8 スマホによる初期設定

つづき

8-8-7 センサーの接続(Installation wizard: 10/30)

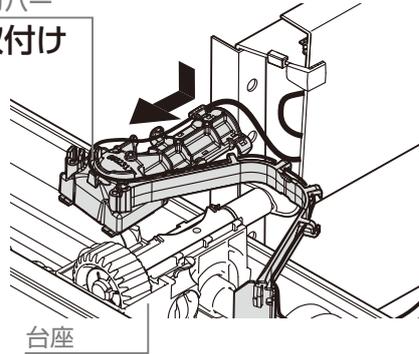
つづき

8: 台座カバーを取付け

お願い

- 「8-8-11 ルーフルーバーの取付け」を参照してください。

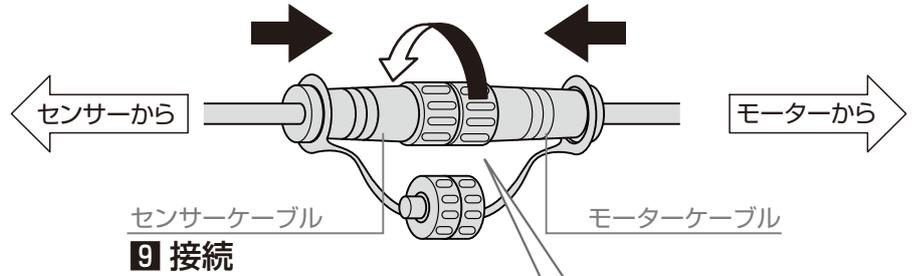
台座カバー
8 取付け



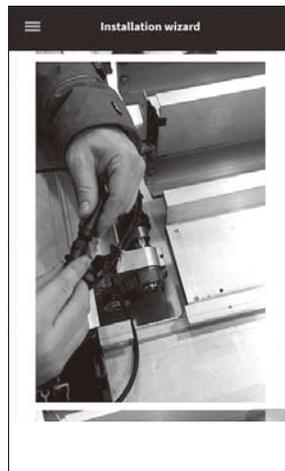
9: センサーケーブルとモーターケーブルを接続

補足

- 接続後、ルーフルーバーに取付けたセンサーが点灯していることを確認してください。



【スマホ画面: 10/30】



【プラグ断面】

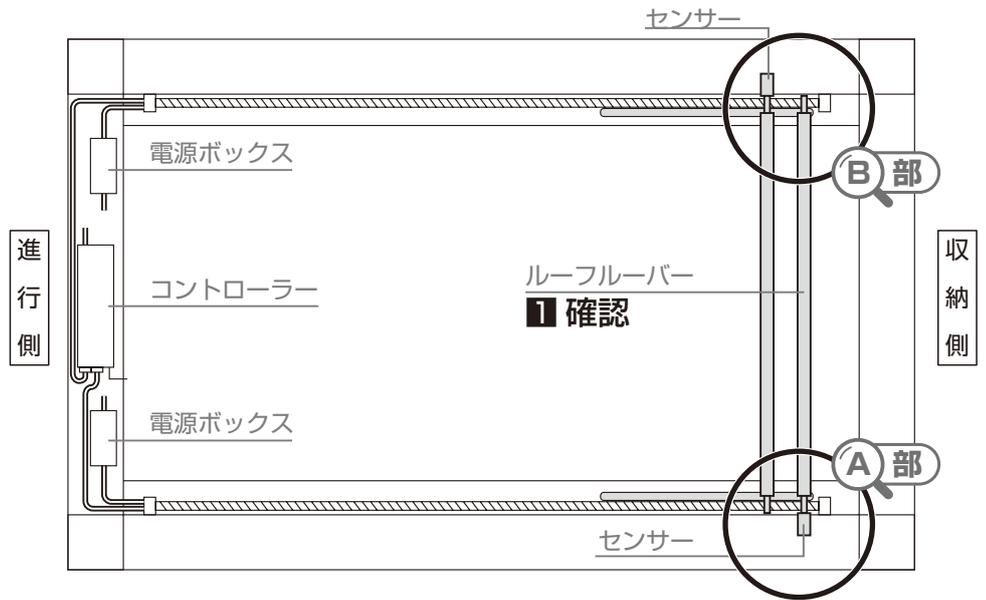


8-8 スマホによる初期設定

つづき

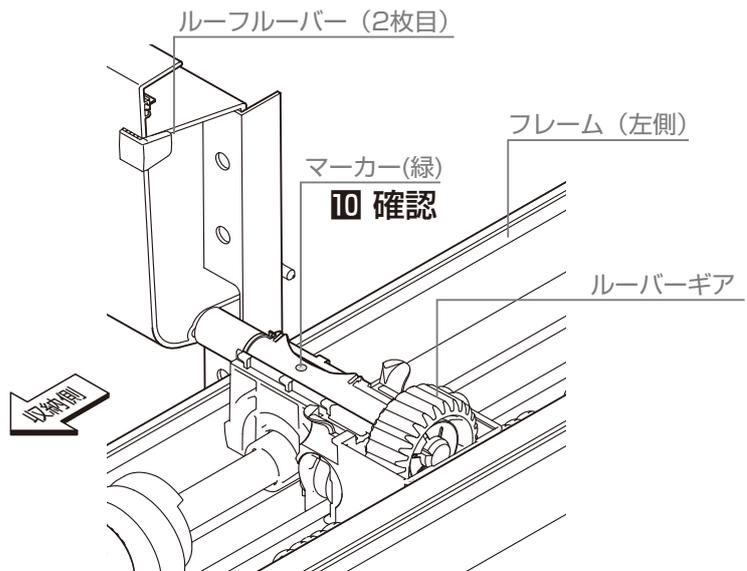
8-8-7 センサーの接続(Installation wizard: 11/30)

つづき

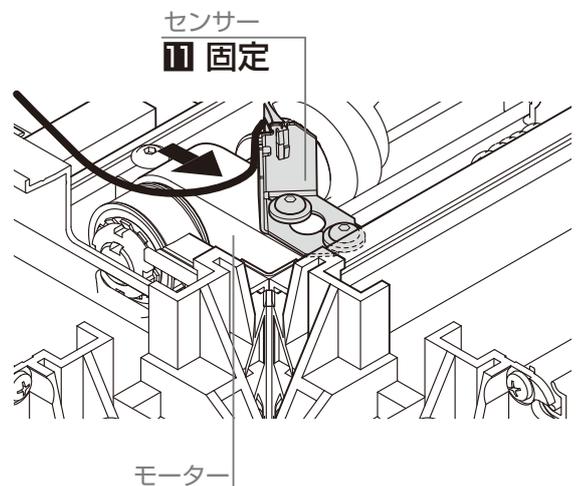
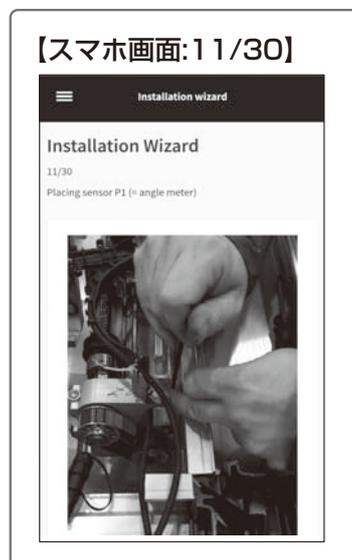


B部詳細図

10: 2枚目のルーバーギアがあること、緑色のマーカーが付いていることを確認



11: モーターにセンサーを固定



8-8 スマホによる初期設定

つづき

8-8-7 センサーの接続(Installation wizard: 11/30)

つづき

12: 干渉キャップを取外す

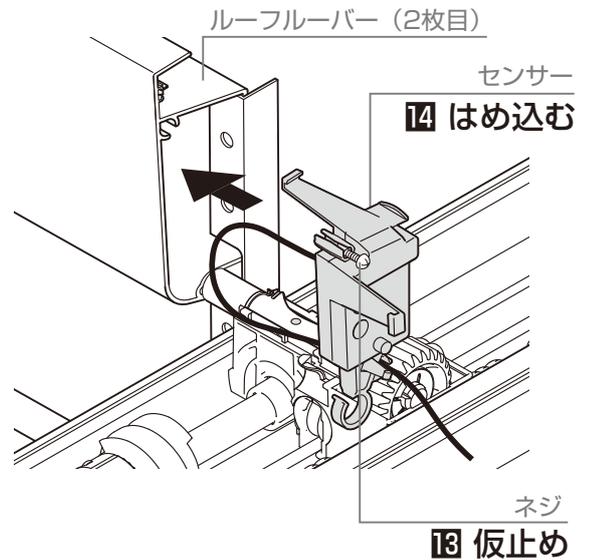
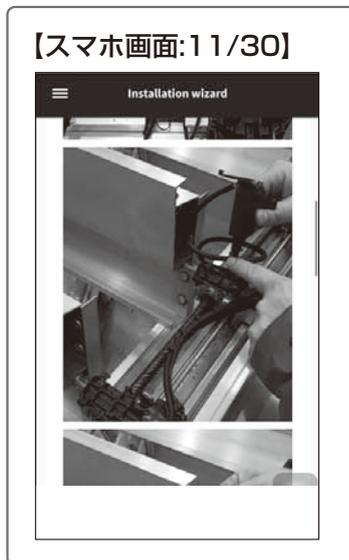


13: ネジをセンサーのネジ穴に仮止め

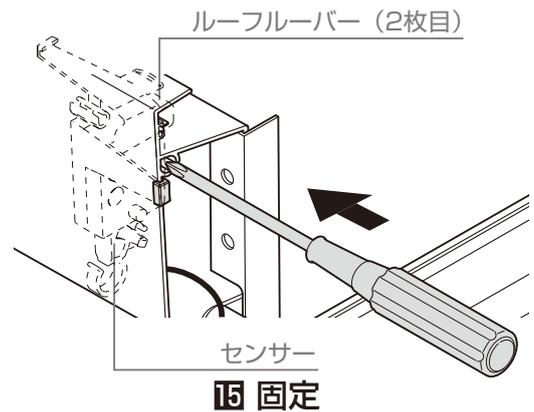
14: センサーをルーフルーバーへはめ込む

補足

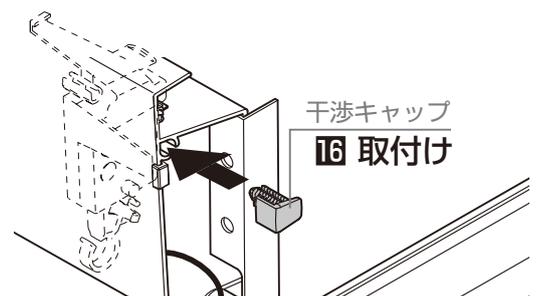
- 余分なケーブルはルーフルーバーの内部に収納してください。



15: センサーをルーフルーバー(2枚目)に固定



16: 干渉キャップを取付け



8-8 スマホによる初期設定

つづき

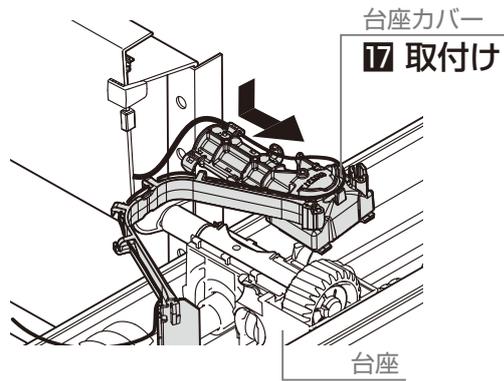
8-8-7 センサーの接続(Installation wizard: 11/30)

つづき

17: 台座カバーを取付け

お願い

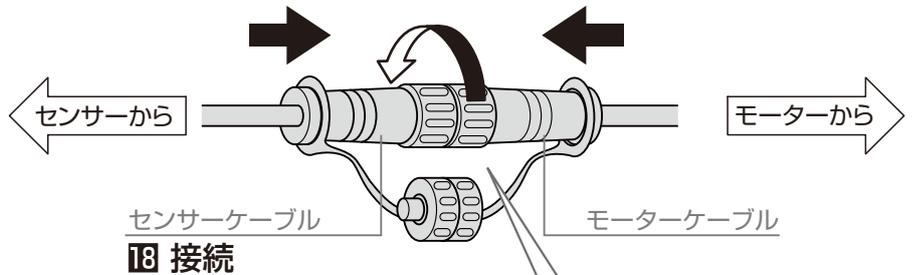
- 「[8-8-11] ルーフカバーの取付け」を参照してください。



18: センサーケーブルとモーターケーブルを接続

補足

- こちら側のセンサーは、取付け向きが逆になるので点灯による通電確認はできません。



8-8 スマホによる初期設定

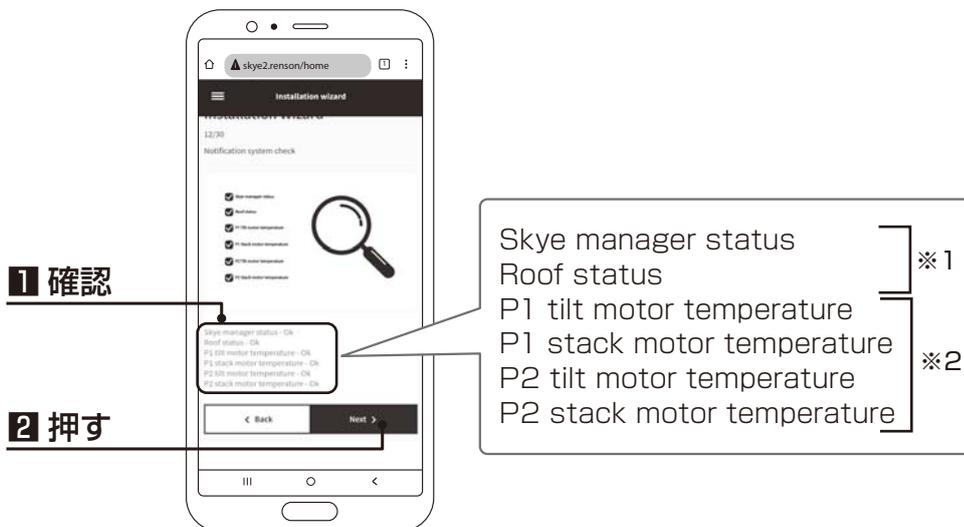
8-8-8 システムチェック(Installation wizard: 12/30)

1: システムが正常かスマホで確認
すべてOKであることを確認

お願い

※1 「Skye manager status」,
「Roof status」がNGと表示され
る場合は、8-7 8-8 の手順を見
直し、ケーブルやセンサーが正常
に取り付いているか、全てのルー
プバーが垂直に取り付いているか
ご確認ください。

※2 「P1 tilt motor temperature」
「P1 stack motor temperature」
「P2 tilt motor temperature」 「P2
stack motor temperature」がNGと
表示される場合は、モーター部が
高温となり安全装置が作用してい
ます。30分以上時間をおいてか
ら再度確認してください。



2: NEXTを押す

8-8-9 動作の確認(Installation wizard: 13 ~ 14/30)

1: 周囲に障害物がないことを確認し
NEXTを押す

お願い

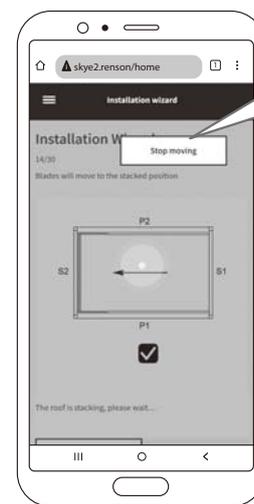
●NEXTを押すとルーフルーパーが
動作を始めます。事前に周囲に障
害物がない事を確認してください。

【スマホ画面:13/30】



1 押す

【スマホ画面:14/30】



動作を止める場合は
「Stop moving」

補足

●「8-8 スマホによる初期設定」の
途中でWi-Fiの接続が切れた場合
や画面が止まった場合は、Wi-Fi
に再接続し、再読み込みを行って
ください。

お願い

●ルーフルーパーが自動的に停止す
るまで電源を抜いたり、ブラウザ
を落としたりしないでください。
●緊急時にはスマホ上の「stop
moving」を押して動作を停止させ
てください。

8-8 スマホによる初期設定

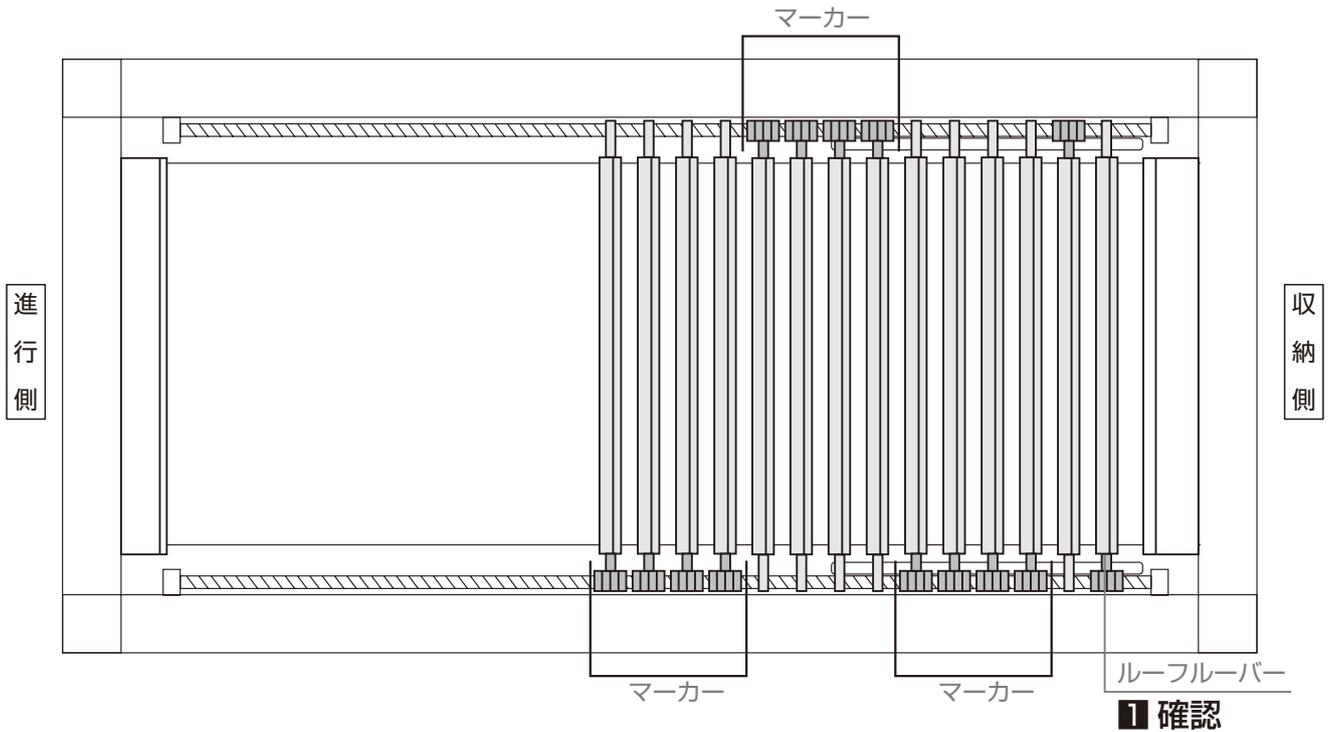
つづき

8-8-10 ルーフルーバー設置前の確認(Installation wizard: 15/30)

1: ルーフルーバーの取付け位置と種類を確認

補足

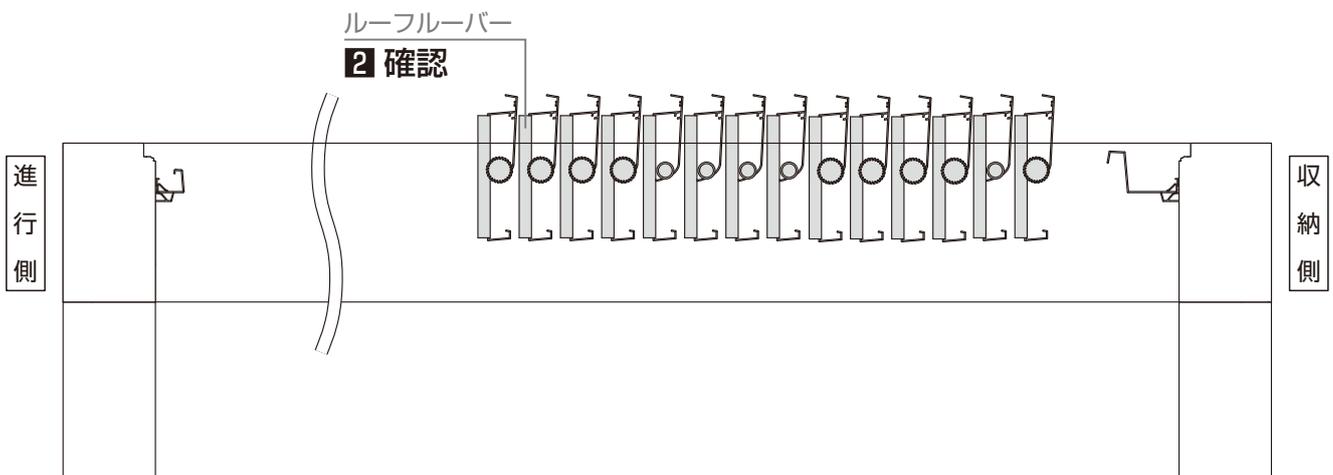
- ルーフルーバーは、フレーム(収納側)の端から取付け始め、フレーム(進行側)へ移っていきます。
- 台座は端から目安として4つずつ赤と緑で色分けがされています。



2: ルーフルーバーの向きを確認

お願い

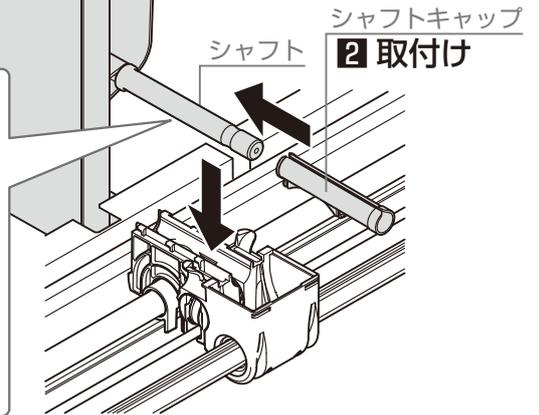
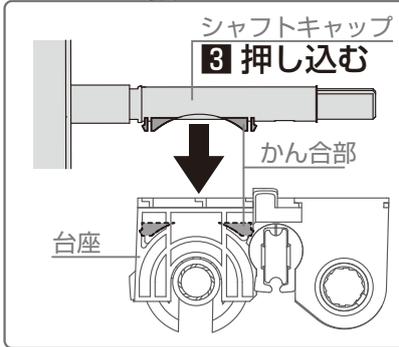
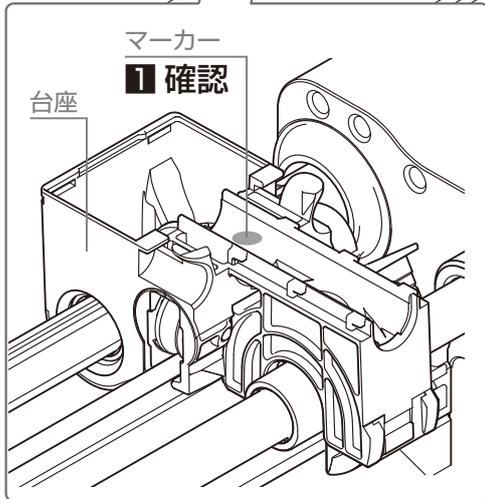
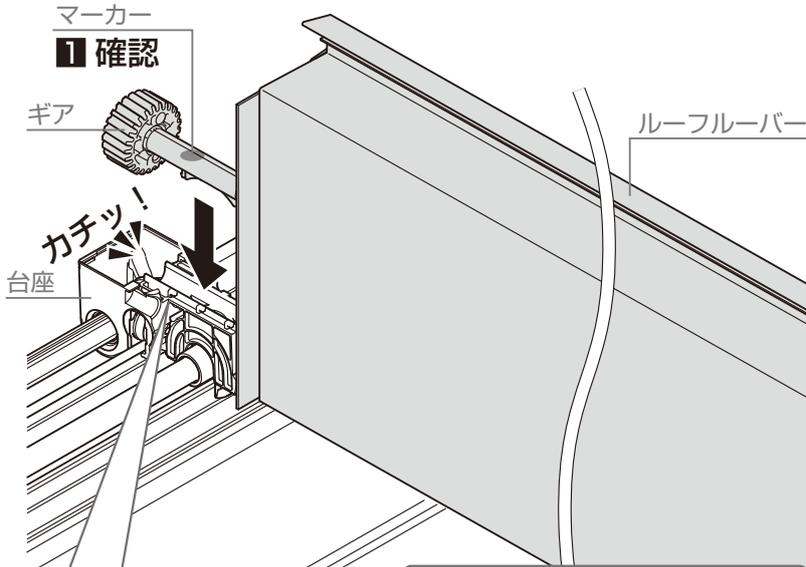
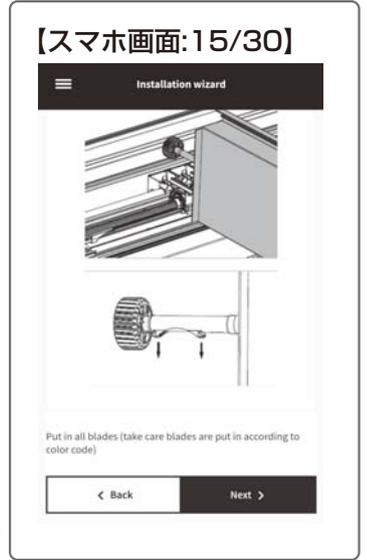
- 取付ける前に、ルーフルーバーの向きを必ず確認してください。



8-8 スマホによる初期設定

8-8-11 ルーフルーバーの取付け (Installation wizard: 15/30)

- ❶: ギア側の台座と、シャフトキャップのマーカーの色を確認
- ❷: ギア側と逆側のシャフトにシャフトキャップを取付け
- ❸: ルーフルーバーのシャフトキャップ部分を台座に垂直に押し込む

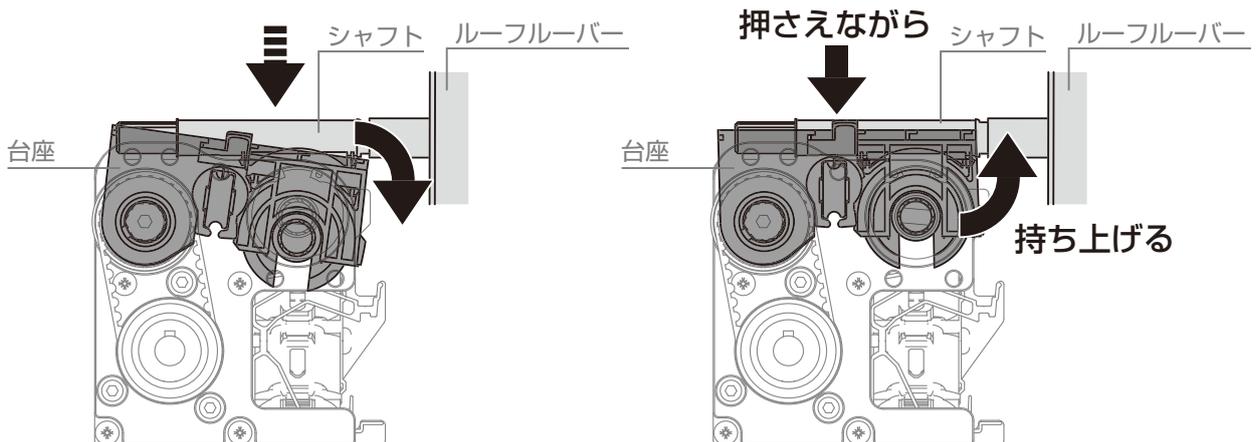


お願い

- ルーフルーバーが垂直になるように取付けてください。

補足

●ルーフルーバーを押し込むと台座が転んで上手く入らない場合があります。押し込んだ後に台座を持ち上げてキチンと取付けていることを確認してください。



8-8 スマホによる初期設定

つづき

8-8-11 ルーフルーバーの取付け (Installation wizard: 16/30)

つづき

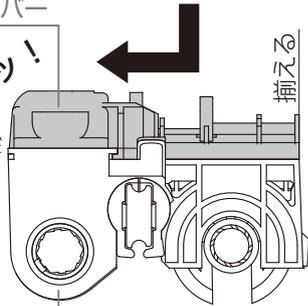
4: 回転ローラーに台座カバーをかぶせてスライド

お願い

- 台座カバーと台座に隙間がないように取付けてください。
- 台座カバーをカチッと音がするまで押し込んでください。

台座カバー

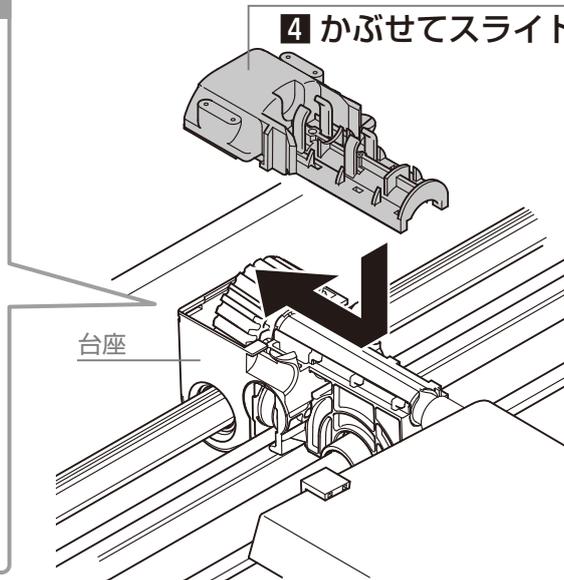
カチッ!



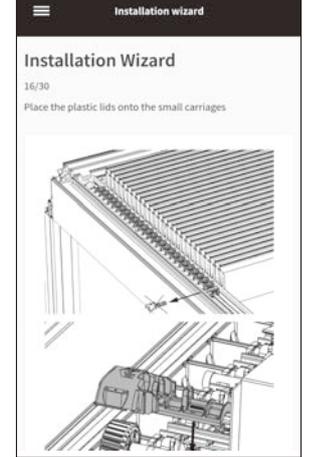
台座

台座カバー

4 かぶせてスライド



【スマホ画面: 10/30】

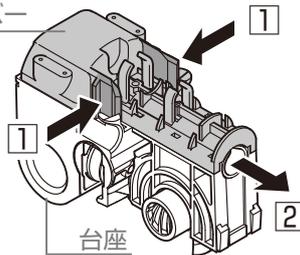


補足

▼ 台座カバーを外す場合 ▼

- ①のストッパーを両側から押しながら②の方向へスライドさせて外します。

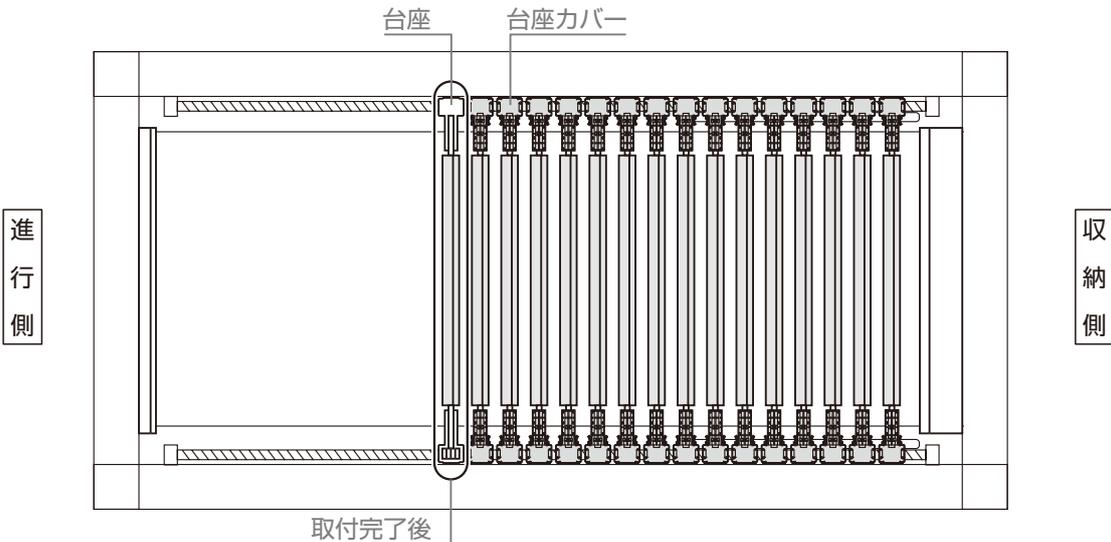
台座カバー



台座

お願い

- 最初は進行側の両端には取付けません。両端は屋根部の取付けが完了してからになります。



8-8-12 動作の確認(Installation wizard : 17/30)

1: 周囲に障害物がないことを確認し
NEXTを押す

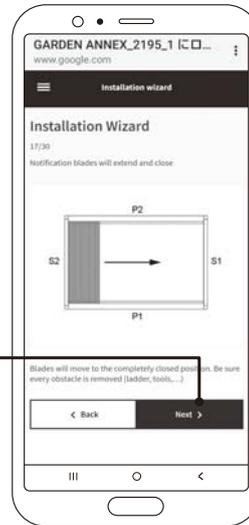

お願い

- NEXTを押すとルーフルーバーが動作を始めます。事前に周囲に障害物がない事を確認してください。


お願い

- ルーフルーバーが自動的に停止するまで電源を抜いたり、ブラウザを落としたりしないでください。
- 緊急時にはスマホ上の「stop moving」を押して動作を停止させてください。

1 押す



8-8 スマホによる初期設定

8-8-13 ルーフルーバーの位置調整(Installation wizard : 18/30~20/30)

1: ルーフルーバーと見切り材が干渉していないか確認

お願い

- ルーフルーバーと見切り材が干渉した場合、端のルーフルーバーが傾きますので元の位置へ戻してください。

▼ 干渉していない場合 ▼

2: 「Yes」を押してP.81の手順1へ

▼ 干渉していた場合 ▼

2: 「No」を選択して調整画面へ

3: 数値を入力して干渉を調整

お願い

- ルーフルーバーが干渉している場合は、4/7が表示されてから手で垂直に戻したあと数値を入力します。
- 数値は±5mmの間です。数値は両方とも同じ値にしてください。
- アプリ内の「P1」と「P2」は下記方向を表します。

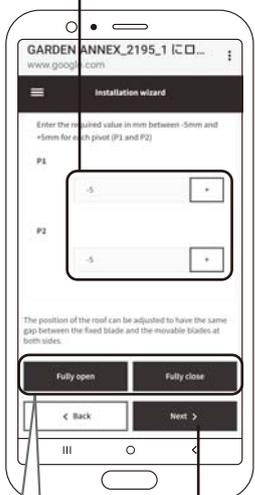
4: 調整が完了したら「NEXT」を押す
5: 確認して干渉していなければ「Yes」を押す



干渉していない場合→P.81へ

干渉していた場合

3 [必要数値] 入力



4 [NEXT] を押す



5 [Yes] を押す

[Fully open]:ルーフルーバーを開いて確認できます
[Fully close]:ルーフルーバーを閉じて確認できます

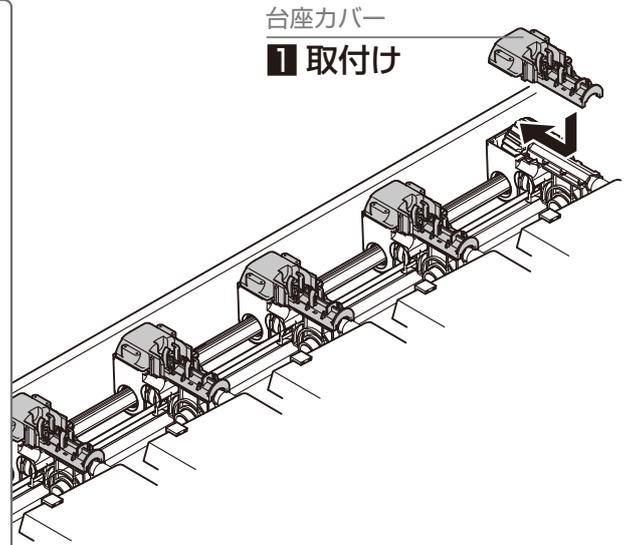
8-8 スマホによる初期設定

8-8-14 ルーフルーバーの仕上げ(Installation wizard : 21/30~22/30)

1: 台座カバーの取付け

お願い

- 設定中にルーフルーバーがずれた場合、台座カバーを外して元の向きに戻してください。

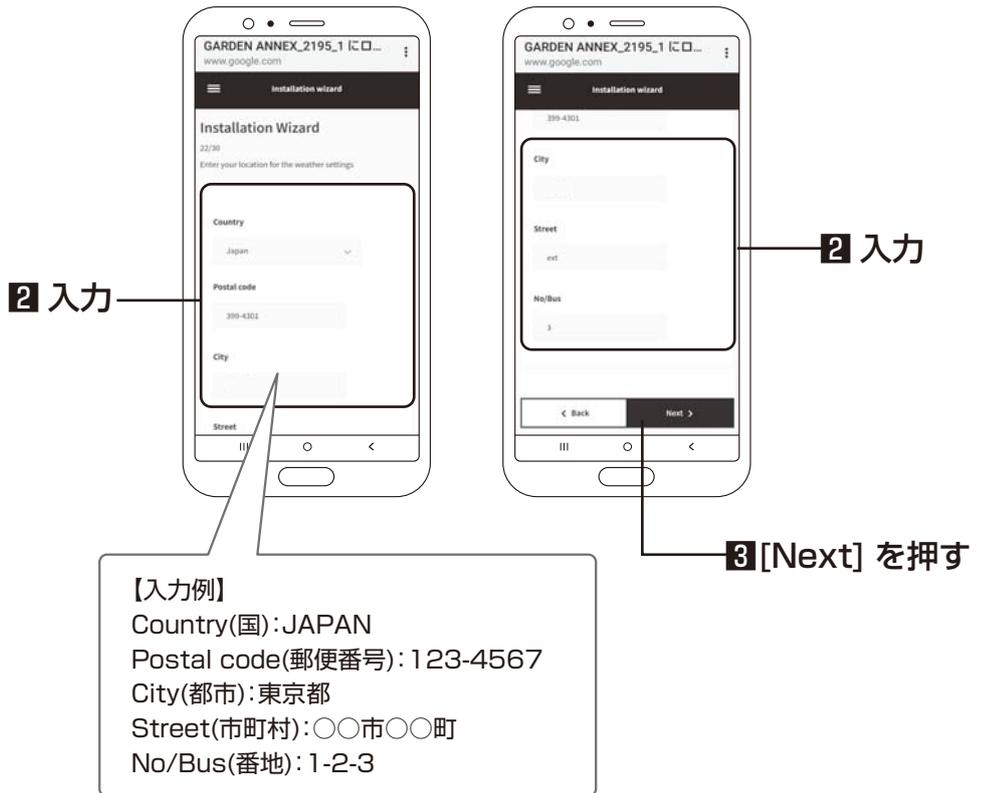


2: 住所等、地域情報を入力

3: 入力が完了したら「Next」を押す

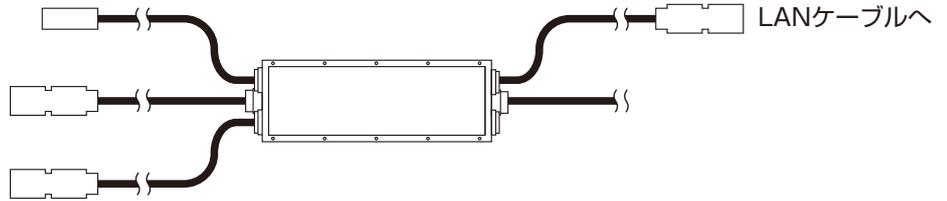
お願い

- 地域情報の欄は、すべて入力しないと「Next」を押せません。
- 地域情報は天候センサー用(不使用)のため仮情報でも構いません。

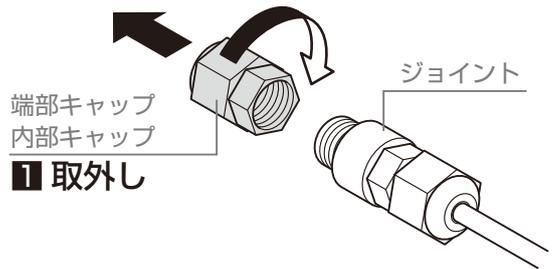


8-8 スマホによる初期設定

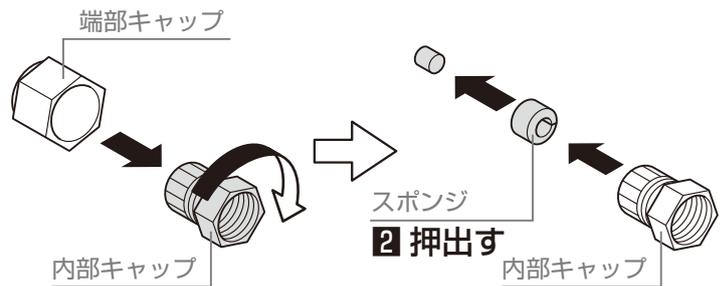
8-8-15 LANケーブルの接続(Installation wizard : 23/30~)



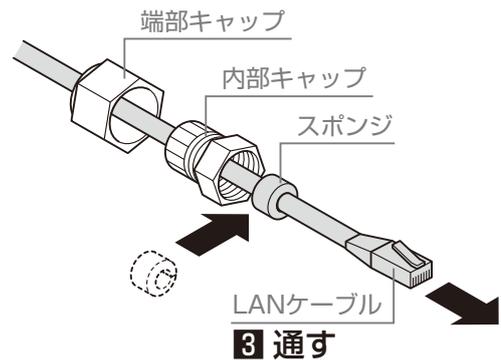
1: ジョイント部品から端部キャップと内部キャップを取外し



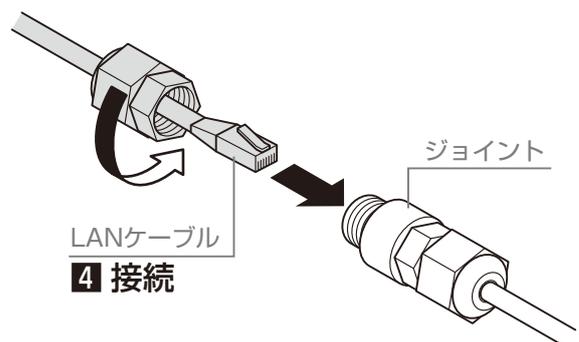
2: 内部キャップのスポンジを押出す



3: LANケーブルをスポンジに通し端部キャップを通す



4: LANケーブルコネクタへ接続



8-8 スマホによる初期設定

8-8-16 仕上げ(Installation wizard : 24/30~30/30)

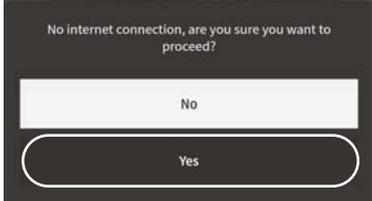
1: 「Next」を押し28/30ページまで移動

お願い

- Installation wizardの24/30 ~ 28/30ページは設定を行ないません。すべて「NEXT」を押して飛ばしてください。

補足

- インターネット接続エラーが表示された場合は「Yes」を選択してください。



- 設定操作中にスマートフォンが反応しなくなった場合は、再読み込みを行なってください。

2: 製品の名称を登録

推奨名称	SKYE2
------	-------

補足

- 登録名称を変更した場合、**8-8-1 | コントローラーとスマホの接続** ローカルWi-Fiのネットワーク名が変更されます。

3: 最終ページ(30/30)で「Finish」を押す

お願い

- **10 仕上げ** をご参照し、施工を進めてください。「FINISH」を押してすべての設定が完了します。
- ロールスクリーンなどのオプション品の取付を行う場合は、本体のスマホでの設定をすべて完了させてから行ってください。「FINISH」を押さなかった場合、正常に設定が完了されません。



1 押す

【スマホ画面:29/30】



2 登録

【スマホ画面:30/30】



3 押す

Installation finished!
System will reboot,(re)connect to the "xxxx".
設定は完了です。
システムが再起動されるので、Wi-Fiの再接続を行なってください。



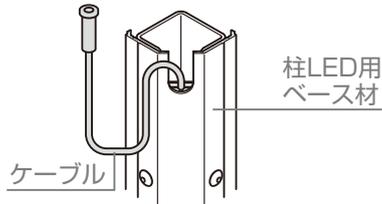
9-1 柱LED、フレームLEDの取付け

9-1-1 柱LEDの切り詰め ※レベル調整のために現場で切り詰める場合の作業です。

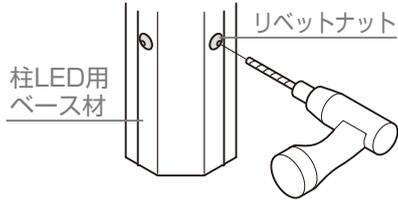
1: リベットナットを柱LED用ベース材から取外し

お願い

- 柱LED上部はケーブルがあるため、切り詰めは必ず柱LED下部から行ってください。



- リベットナットの頭をφ3.5のドリルで削って、取り外してください。



2: 柱LED端部キャップ(黒い部品)を柱LED用ベース材から取外し

3: 柱LED下部を柱LED用ベース材から剥がす

お願い

- 柱LEDは両面テープで貼りついています。

4: 柱LED用ベース材を切断

お願い

- **【8-2-1】柱の切り詰め** で切り詰めた柱の切断寸法分、切断してください。

5: 柱LEDを切断

お願い

- 柱LEDの表面には、50mm毎に横線(黒)があります。必ずこの線の部分ではさみ、カッター等で切断してください。

6: 柱LED端部の切断面にシーリングを塗布

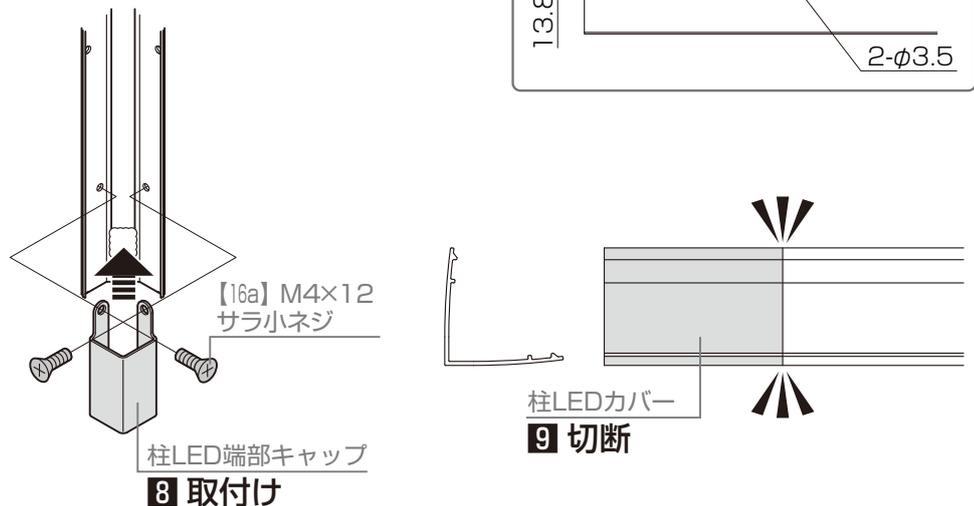
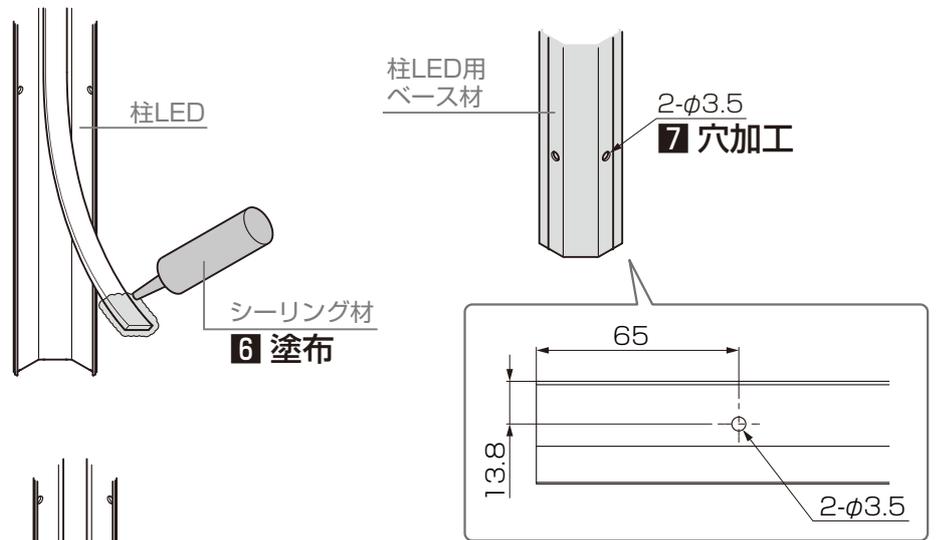
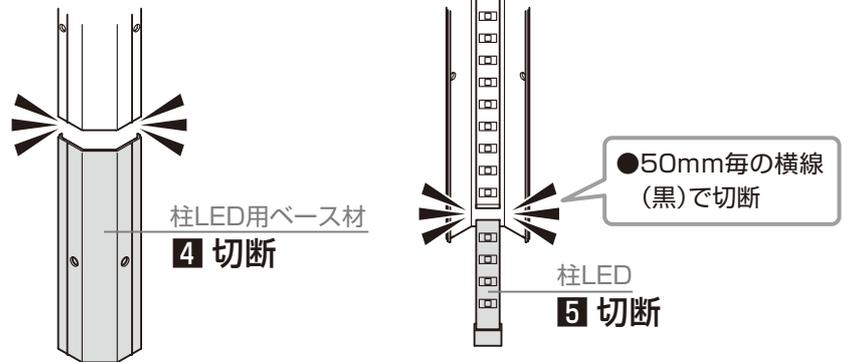
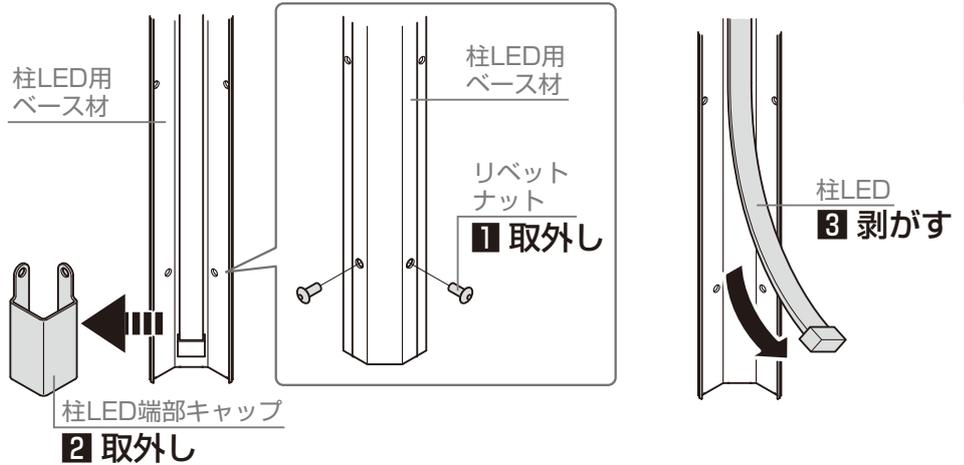
7: 柱LED用ベース材にφ3.5の穴加工

8: 柱LED端部キャップを柱LED用ベース材に【16a】で取付け

9: 柱LEDカバーを切断

お願い

- **【8-2-1】柱の切り詰め** で切り詰めた柱の切断寸法分、切断してください。



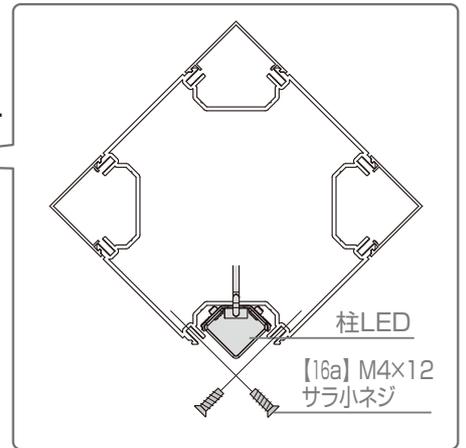
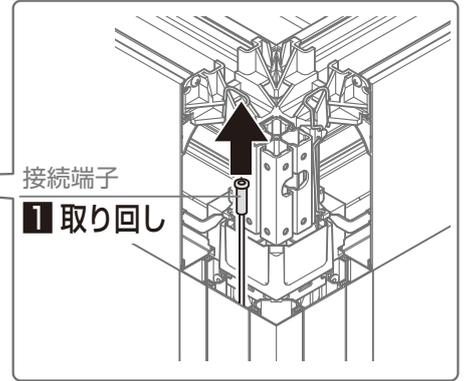
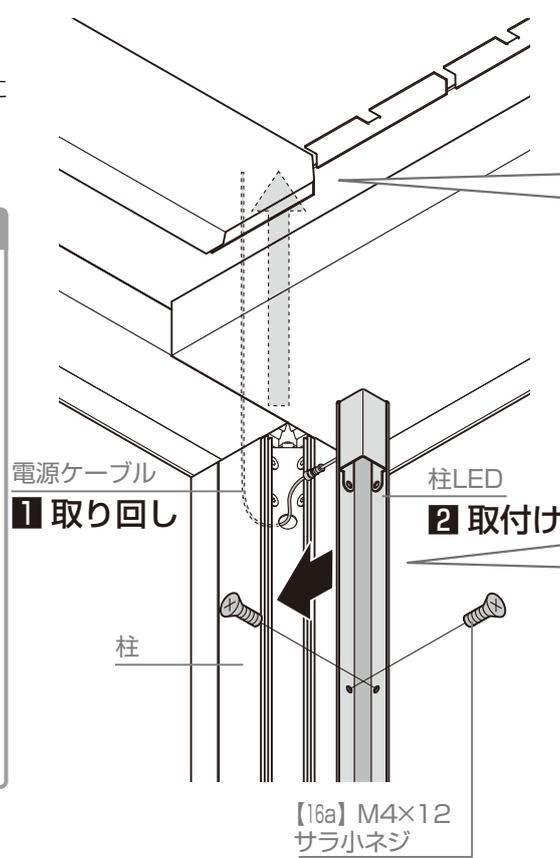
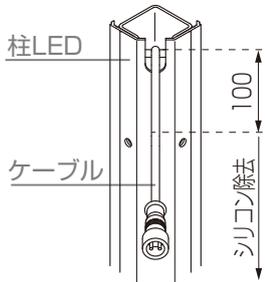
9-1 柱LED、フレームLEDの取付け

9-1-2 柱LEDの取付け

- 1: 柱LEDの接続端子を、柱の配線穴にし、柱上部へ取り回し
- 2: 柱LEDを柱に【16a】で取付け

お願い

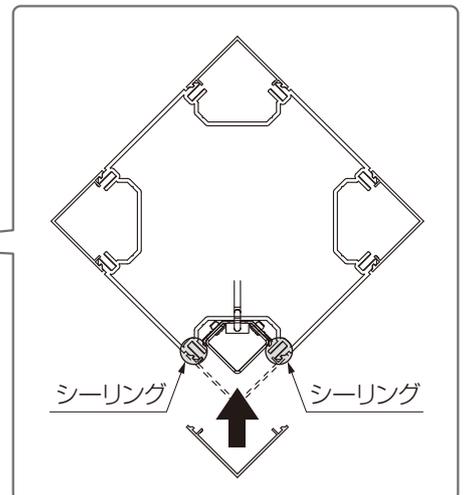
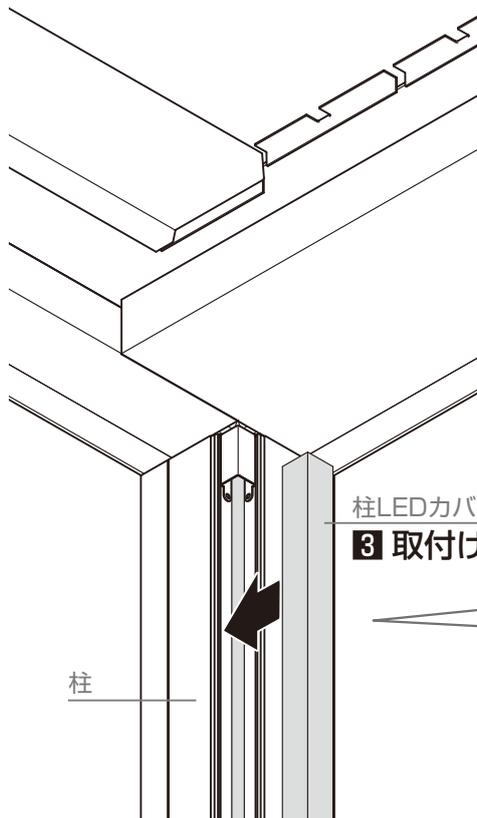
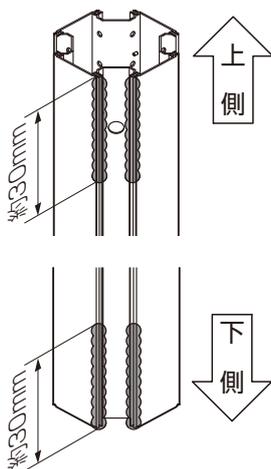
- 柱LEDは、柱の内側にしか取付けられません。
- 柱LEDのケーブルはあらかじめシリコンで固定されています。
- 固定箇所が長すぎる場合は余剰分を除去してください。



- 3: 柱LEDカバーを柱に取付け

お願い

- 柱の上端部、下端部から約30mmにシーリングを塗布してから柱LEDカバーを取付けてください。



9-1 柱LED、フレームLEDの取付け

9-1-4 柱LED、フレームLEDの接続

①: LED本体のケーブルと、コントロールボックスのLEDケーブルを接続

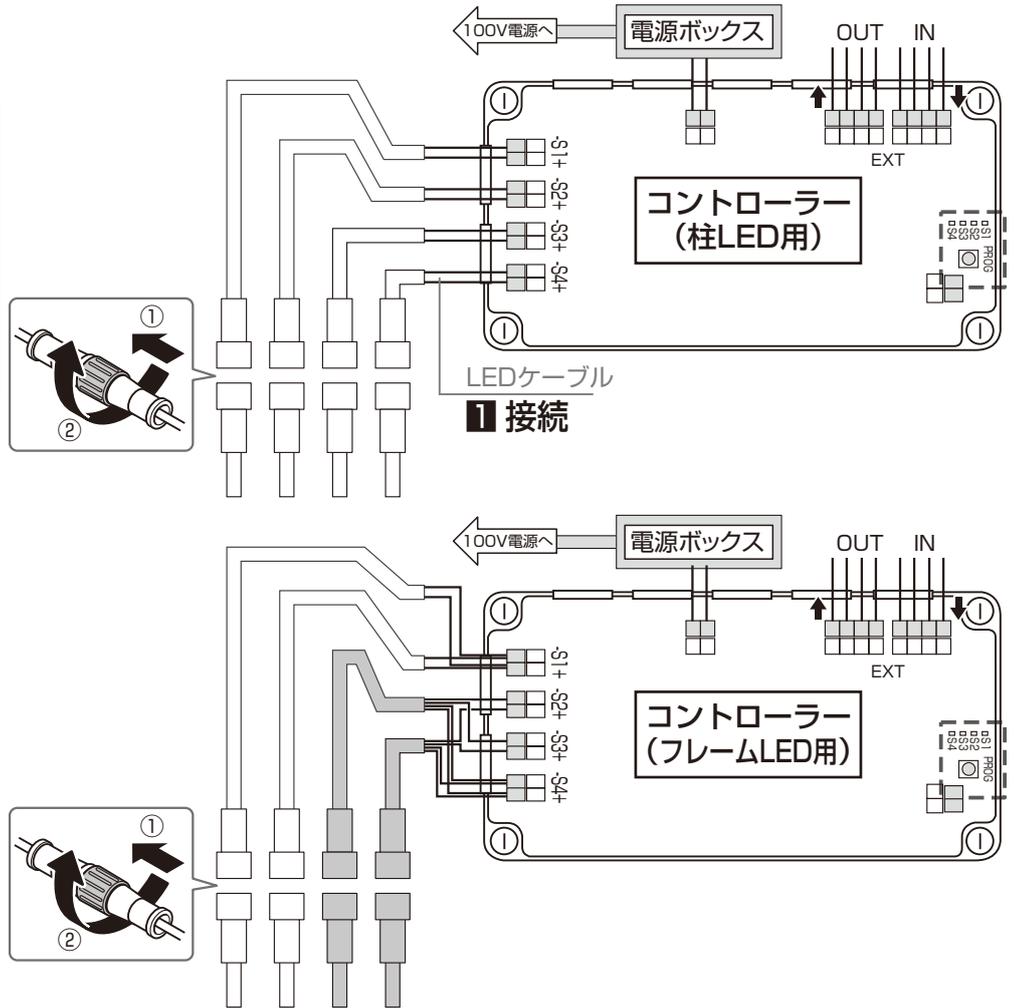
補足

- コントローラー(LED用) 1個につき LEDを4カ所まで接続可能です。

例 : 柱LED(電球色)…2カ所
 フレームLED(RGB)…2カ所
 フレームLED(電球色)…2カ所
 コントローラー(LED用)

LEDの種類	
LED(White)	
LED(RGB)	

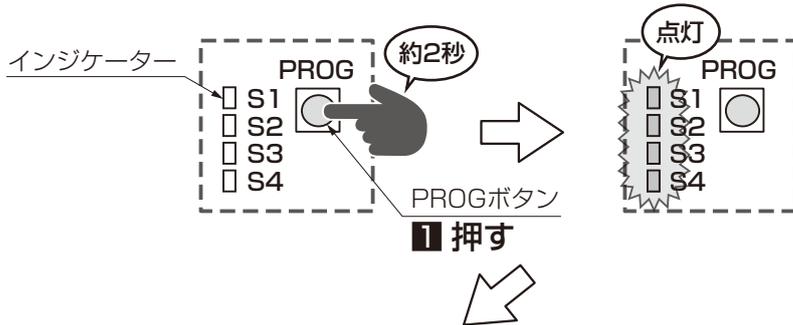
※同色のケーブルを接続する。



9-2 LEDの初期設定

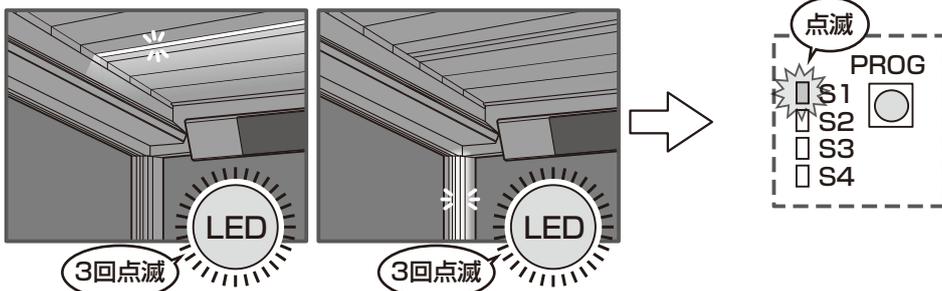
9-2-1 柱LEDの設定

1: コントロールボックスのインジケータが同時に点灯するまでPROGボタンを押す(約2秒)

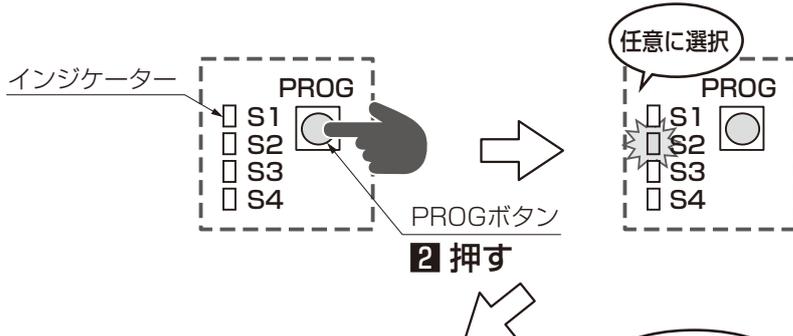


補足

- 確認のためLEDが3回点滅したあと、S1のインジケータが点滅します。

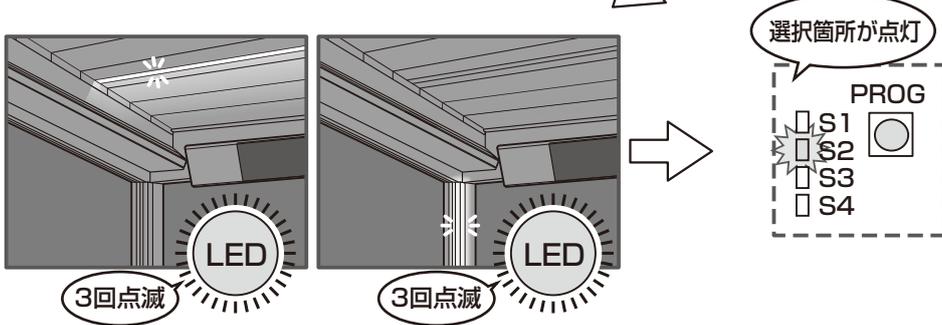


2: PROGボタンを押して任意のインジケータを選択



補足

- 確認のためLEDが3回点滅したあと、S2のインジケータが点灯します。



お願い

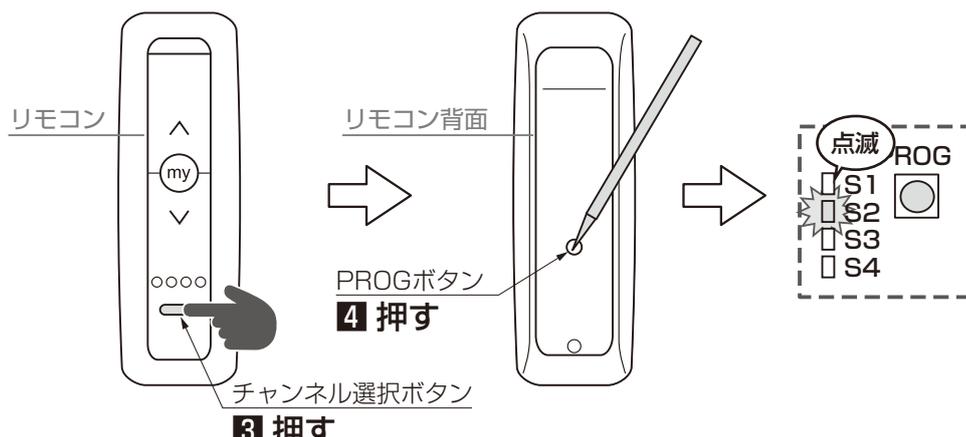
- PROGボタンで設定したいLEDが選択できます。
- 任意のLEDを選択し、設定してください。
- LEDが複数ある場合は1つずつ設定が必要です。

3: リモコンで任意のチャンネルを選択

4: リモコン背面のPROGボタンを押す

補足

- 確認のためコントロールボックスのインジケータが3回点滅します。



9-2 LEDの初期設定

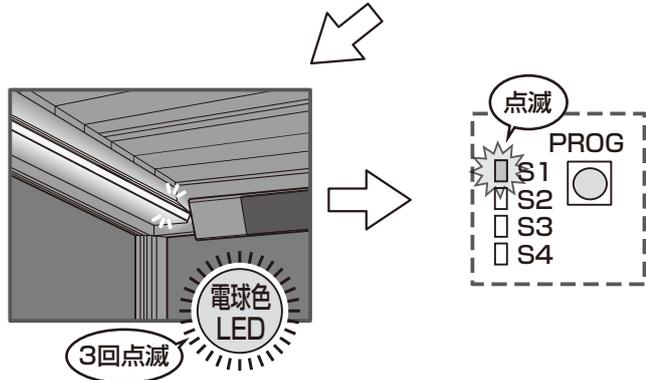
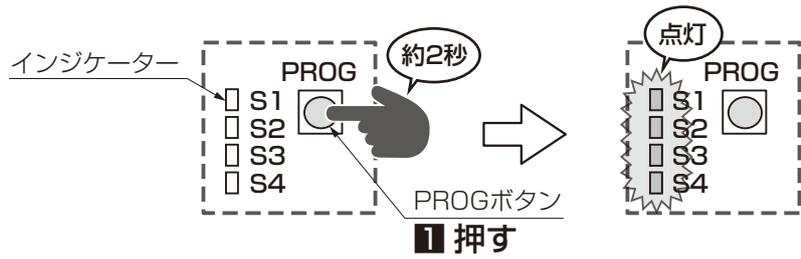
9-2-2 フレームLEDの設定

9 オプションの施工

1: コントロールボックスのインジケータが同時に点灯するまでPROGボタンを押す(約2秒)

補足

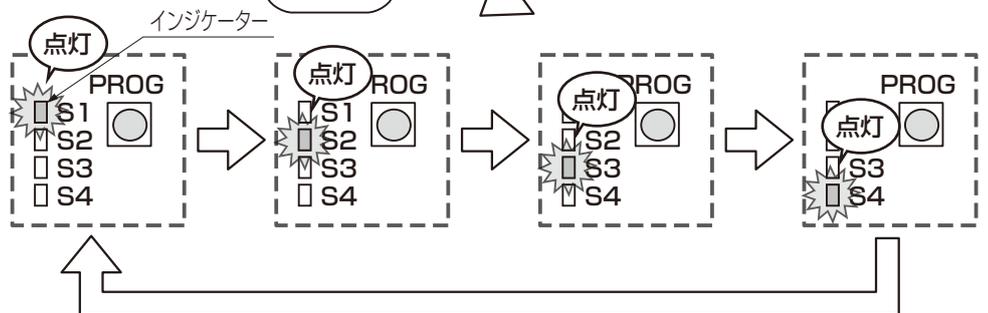
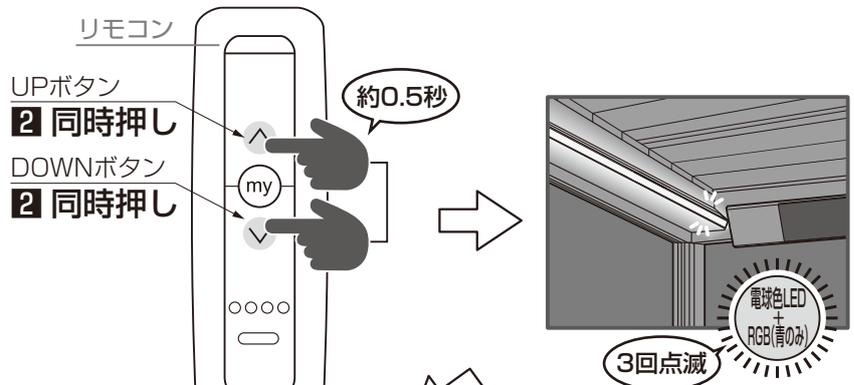
●確認のためLEDが3回点滅したあと、S1のインジケータが点滅します。



2: リモコンのUPボタンとDOWNボタンを同時に押す(約0.5秒)

補足

●確認のためLEDが3回点滅したあと、S1~S4のインジケータが順番に点灯をくり返します。



9-2 LEDの初期設定

つづき

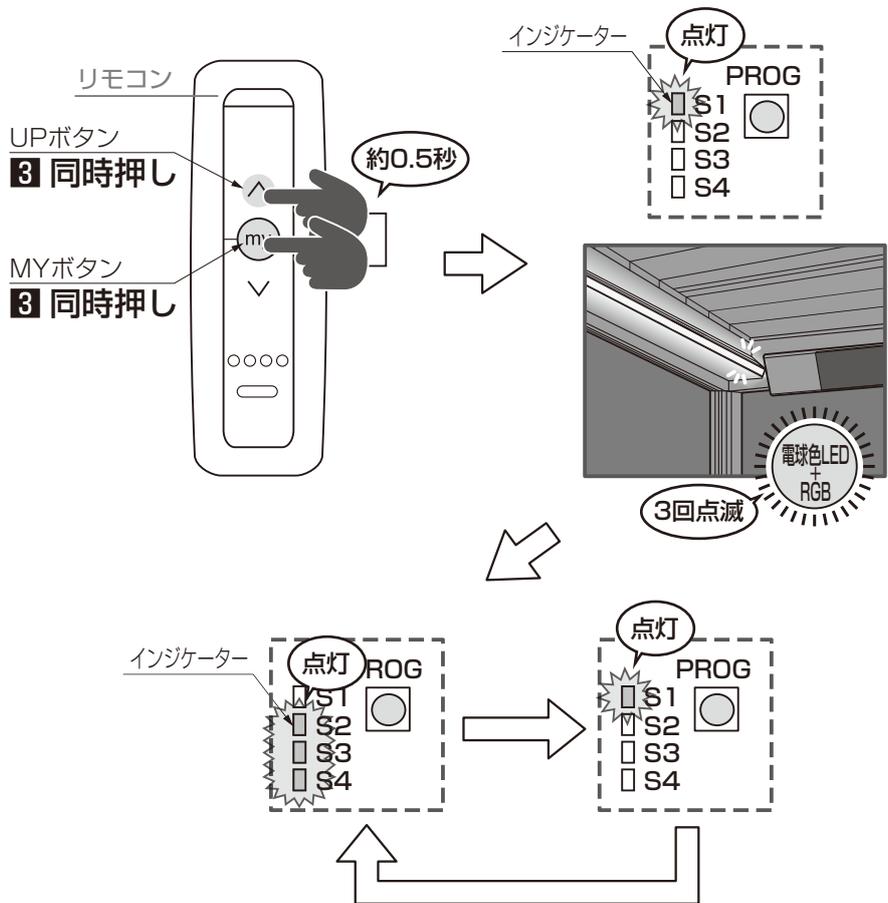
9-2-2 フレームLEDの設定

つづき

3: リモコンのUPボタンとMYボタンを同時に押す(約0.5秒)

補足

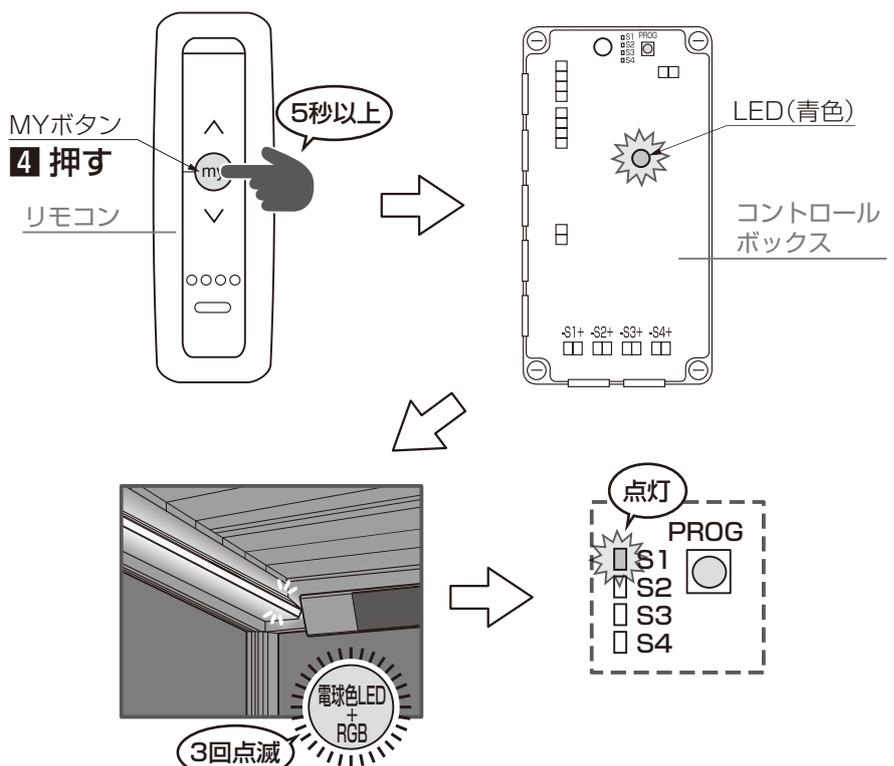
●確認のためS1のインジケータが点灯し、同時にLEDが3回点滅します。
 続いて「S2、S3、S4のインジケータが同時に点灯」→「S1が点灯」が繰り返されます。



4: コントロールボックスのLED(青色)が点灯するまで、リモコンのMYボタンを押し続ける(5秒以上)

補足

●確認のためLEDが3回点滅したあと、コントロールボックスのS1が点灯します。



9-2 LEDの初期設定

つづき

9-2-2 フレームLEDの設定

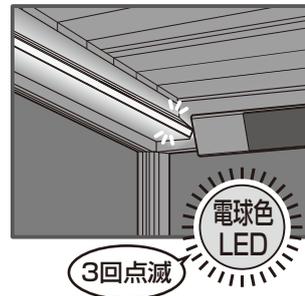
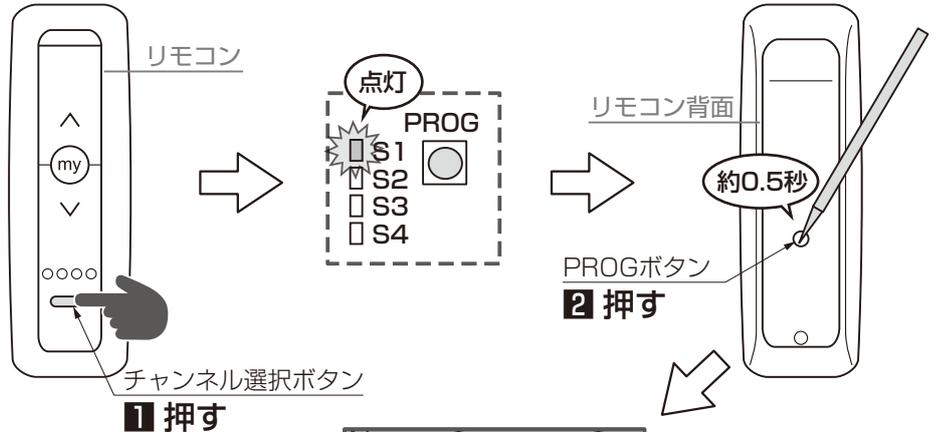
つづき

▼ 電球色LEDの登録 ▼

- 1: リモコンで任意のチャンネルを選択
- 2: リモコン背面のPROGボタンを押す (約0.5秒)

補足

- 確認のためLED (電球色) が3回点滅します。

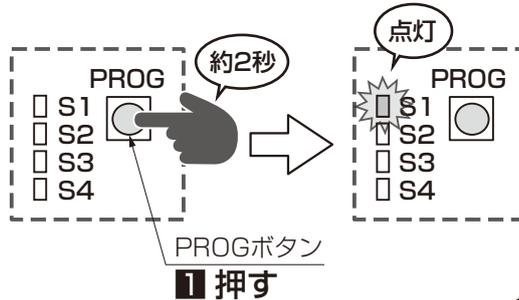


▼ RGB LEDの登録 ▼

- 1: LEDコントロールボックスのPROGボタンを押す (約2秒)

補足

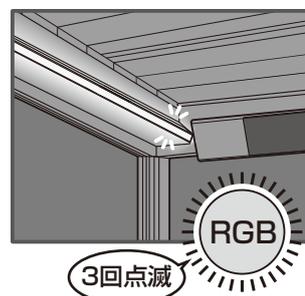
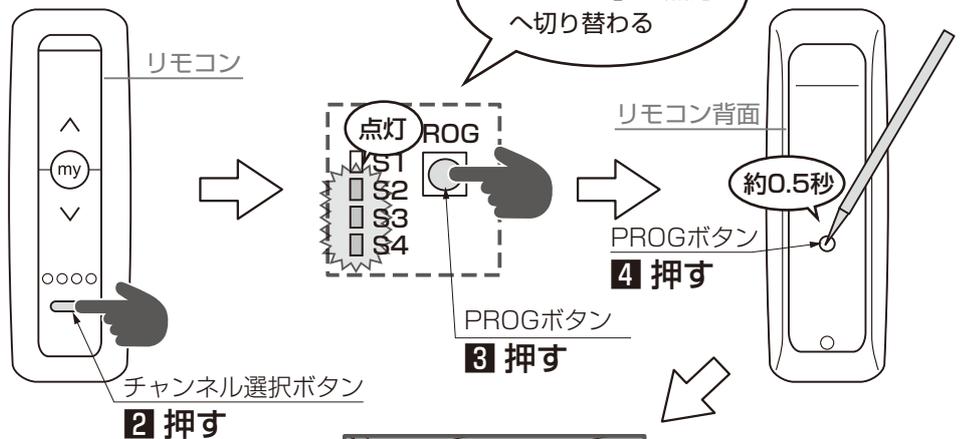
- 確認のためコントロールボックスのS2、S3、S4が同時に点滅したあと、LED本体のLED (赤/緑/青) が3回点滅します。



- 2: リモコンで任意のチャンネルを選択
- 3: LEDコントロールボックスのPROGボタンを押す (約0.5秒)
- 4: リモコン背面のPROGボタンを押す (約0.5秒)

補足

- 確認のためLED (赤/緑/青) が3回点滅します。



9-2 LEDの初期設定

9-2-3 | コントロールボックスの初期化

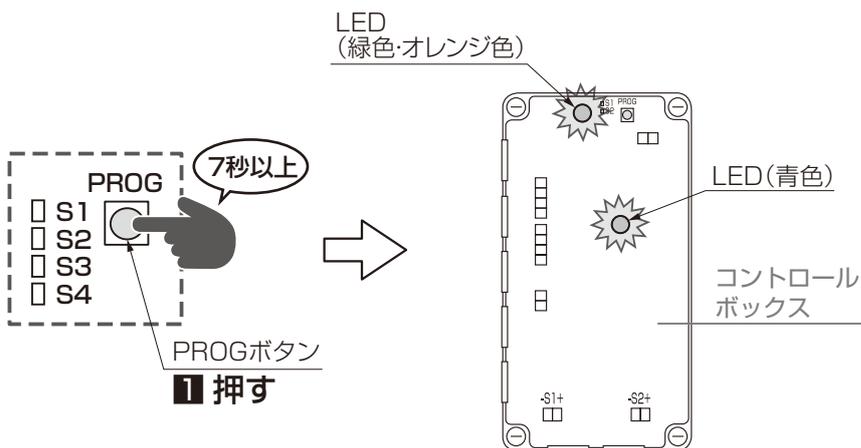
●LEDが正常に作動しない場合は、以下の初期化を実行し、設定しなおしてください。

▼ LED用コントロールボックス ▼

1: コントロールボックスの緑、オレンジ、青のLEDが点灯するまでPROGボタンを押し続ける(7秒以上)

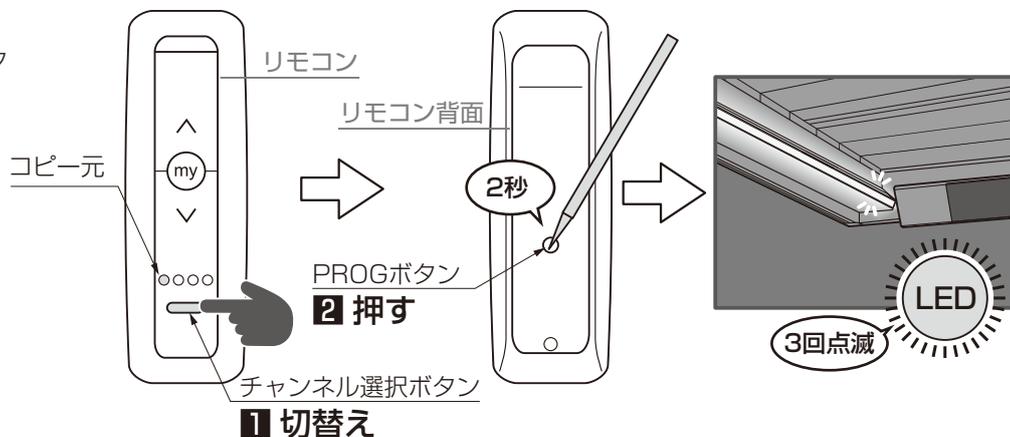
お願い

- LEDの設定方法は
P.88 |9-2-1| 柱LEDの設定
P.89 |9-2-2| フレームLEDの設定
を参照してください。



9-2-4 | 一斉操作の設定

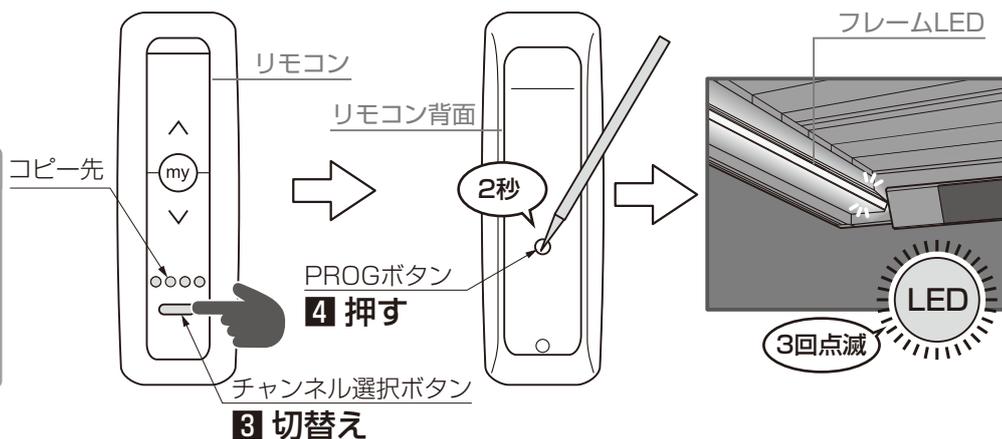
- 1: コピーしたいチャンネルに切替え
- 2: リモコンの背面にある「PROGボタン」を押す(2秒)



- 3: コピー先のチャンネルに切替え
- 4: リモコンの背面にある「PROGボタン」を押す(2秒)

お願い

- 複数のLEDを登録する場合は1~4を繰り返してください。
- 一斉操作設定後、解除する場合は解除したいチャンネルを選択後、1~4を行ってください。

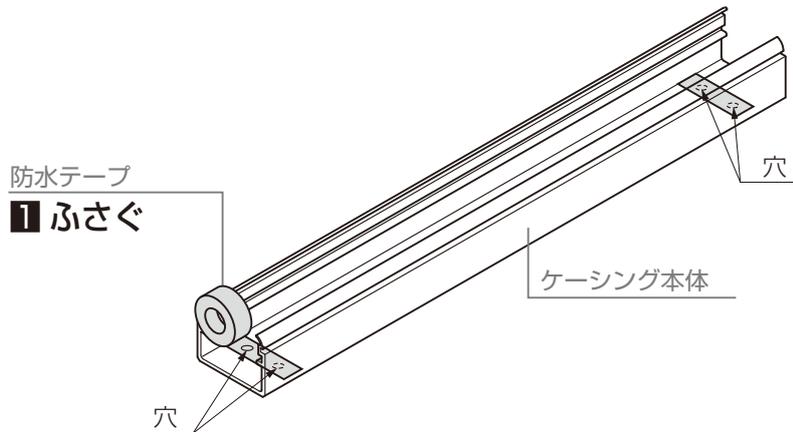


9 オプションの施工

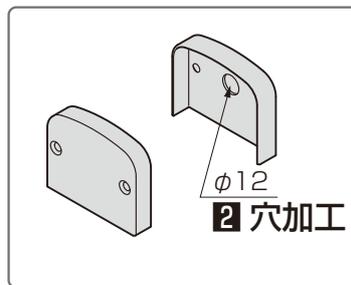
9-3 サウンド&ヒーターの取付け

9-3-1 ケーシングの準備

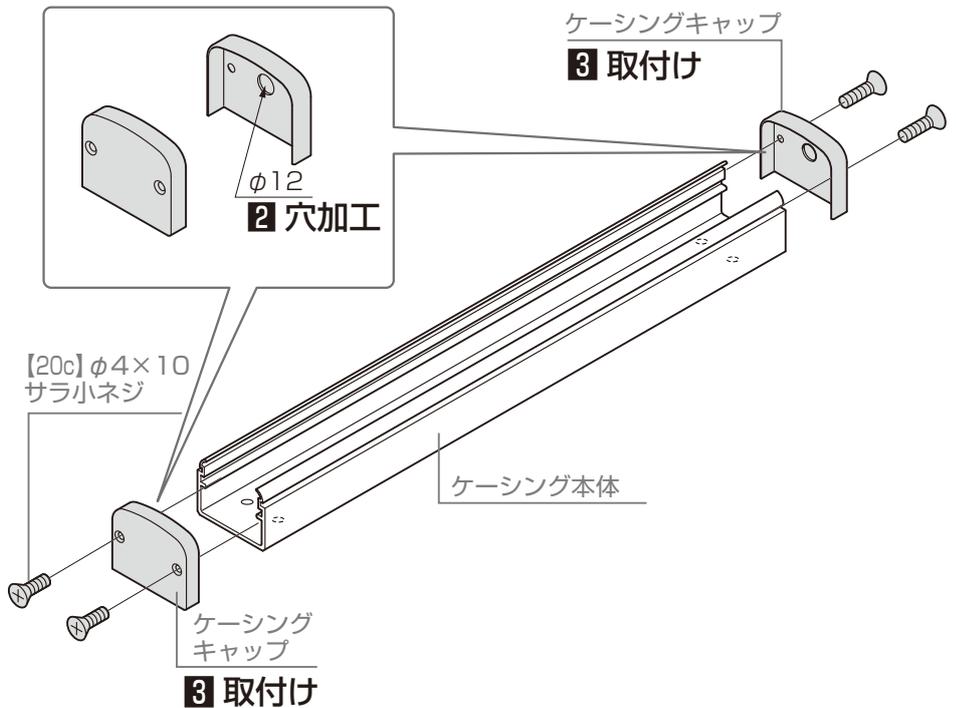
- 1: ケーシング底面のすべての穴を防水テープでふさぐ



- 2: 任意の位置にφ12の穴加工

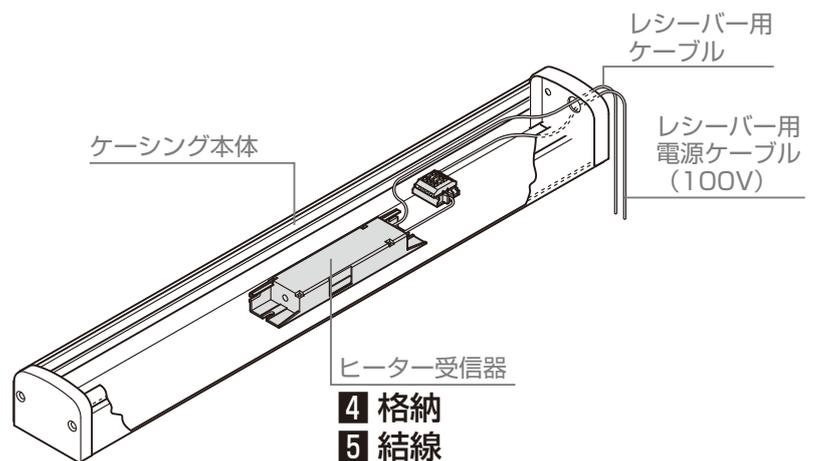


- 3: ケーシングキャップをケーシング本体に【20c】で取付け



- 4: ケーシング内にヒーター受信器を格納

- 5: ヒーター受信器とレシーバー用ケーブル、電源ケーブル(100V)をケーシング内部で結線



お願い

- ケーブルの結線の方法については P.104 |9-4-1| ケーブルの接続 を参照してください。
- 結線はケーシング内部で行なってください。



9-3 サウンド&ヒーターの取付け

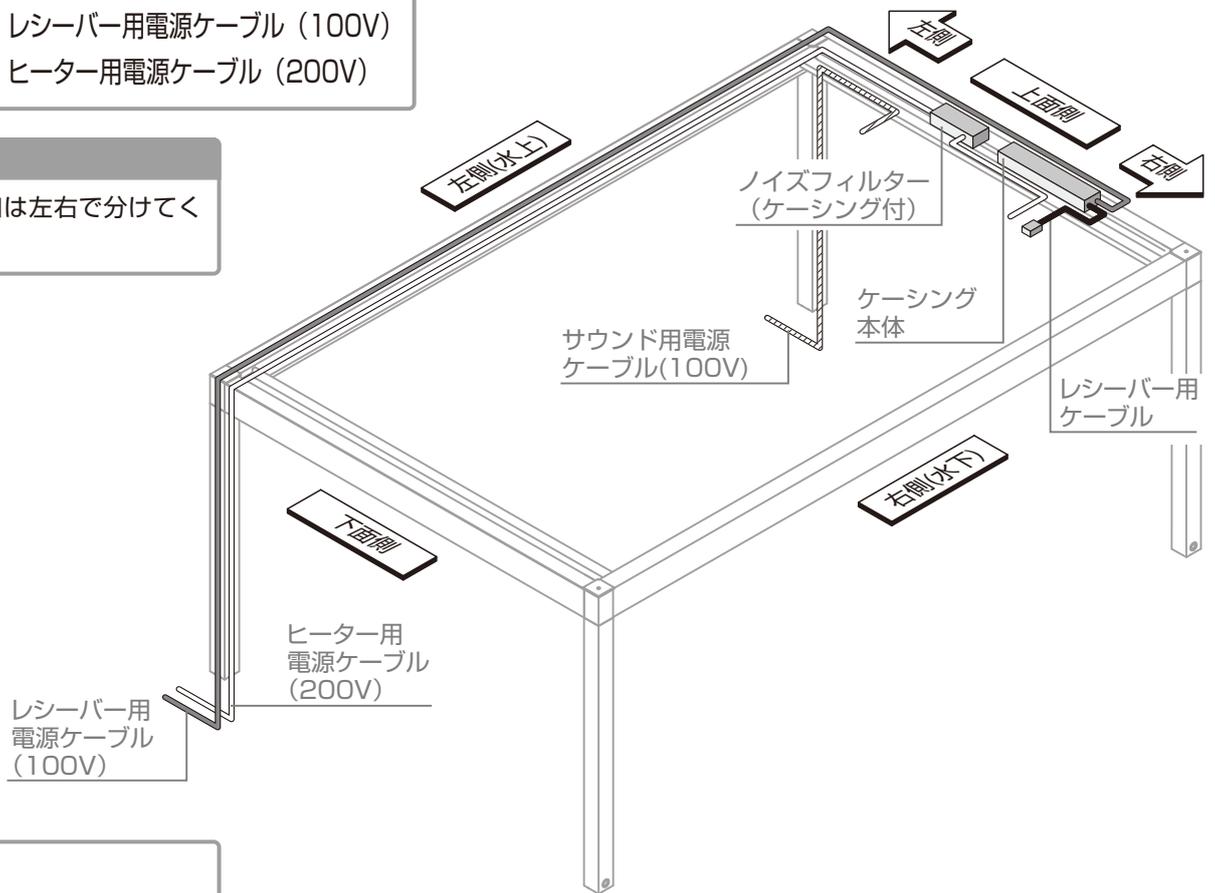
つづき

9-3-2 本体とケーブルの取り回し位置の確認

- | | |
|----|---|
| 左側 |  サウンド用電源ケーブル (100V) |
| 右側 |  レシーバー用ケーブル |
| |  レシーバー用電源ケーブル (100V) |
| |  ヒーター用電源ケーブル (200V) |

お願い

- ケーブルの出口は左右で分けてください。



補足

- ケーシングはヒーター1基につき2つ設置します。

お願い

- サウンド&ヒーターとロールスクリーンを併用する場合は、それぞれのレシーバーとアンプを1つのケーシング内に収めてください。

9-3 サウンド&ヒーターの取付け

🔦 お願い

●オプション:ロールスクリーンを設置する場合は、必ずサウンド&ヒーターの設置を先に行なってください。

9-3-3 吊り金具の取付け

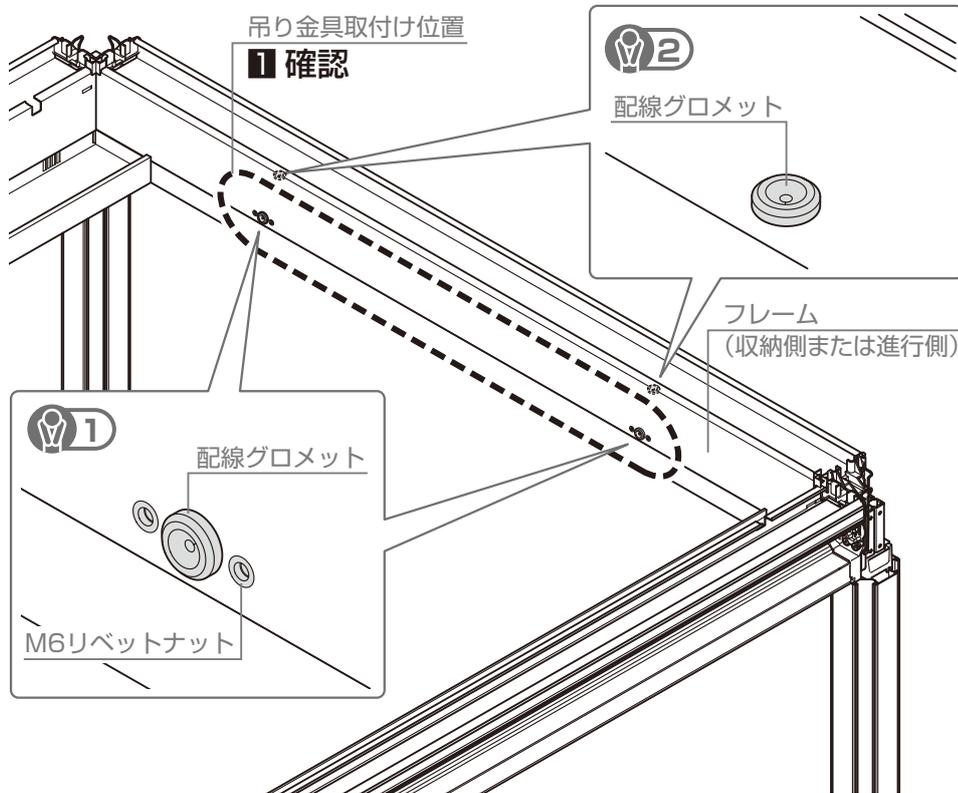
1: フレーム(収納側または進行側)の吊り金具取付け位置を確認

🔦 お願い 1

●吊り金具取付け位置に、配線グロメットとM6リベットナットが取付けられていることを確認してください。

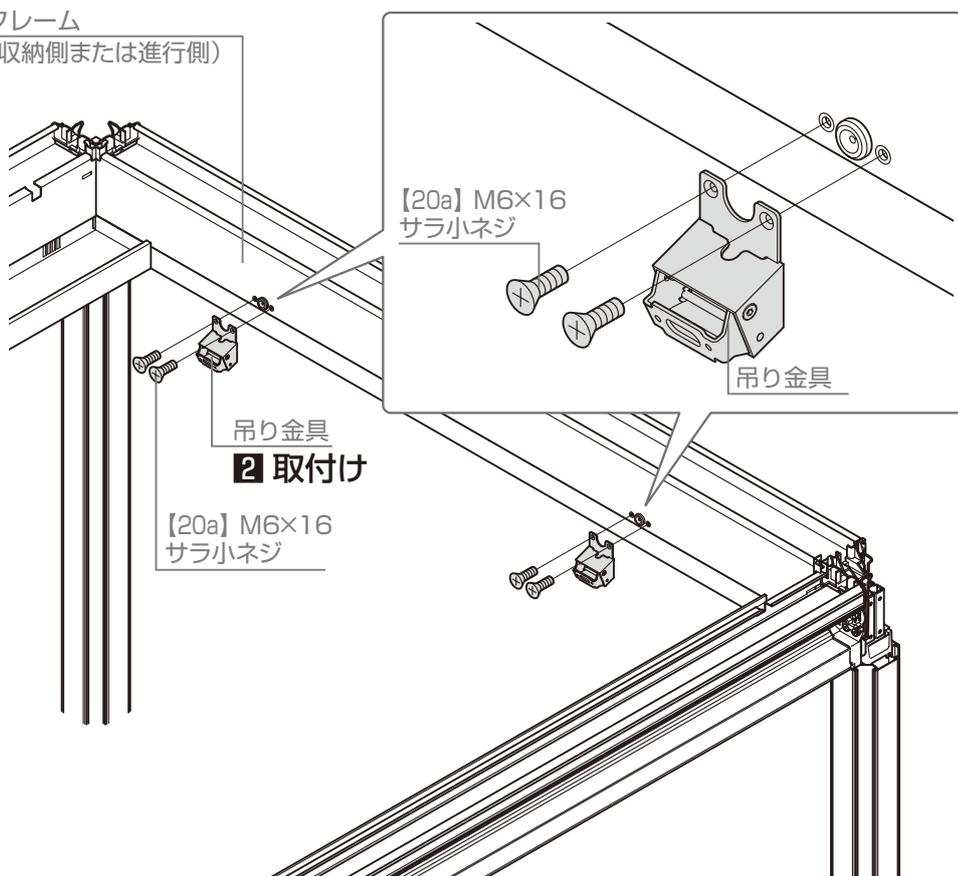
🔦 お願い 2

●フレーム(収納側または進行側)の上部に、配線グロメットが取付けられていることを確認してください。



フレーム (収納側または進行側)

2: 吊り金具をフレーム(収納側または進行側)に【20a】で取付け



9-3 サウンド&ヒーターの取付け

つづき

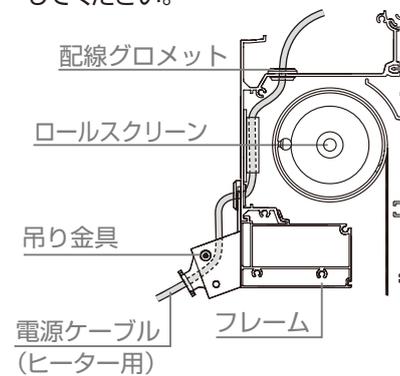
9-3-3 吊り金具の取付け

つづき

3: 電源ケーブルをフレーム(収納側または進行側)の上部から取り回す

お願い 1

- サウンド用(100V)ケーブルは左側、ヒーター用(200V)、レシーバー用ケーブルは右側の吊り金具へ取り回してください。



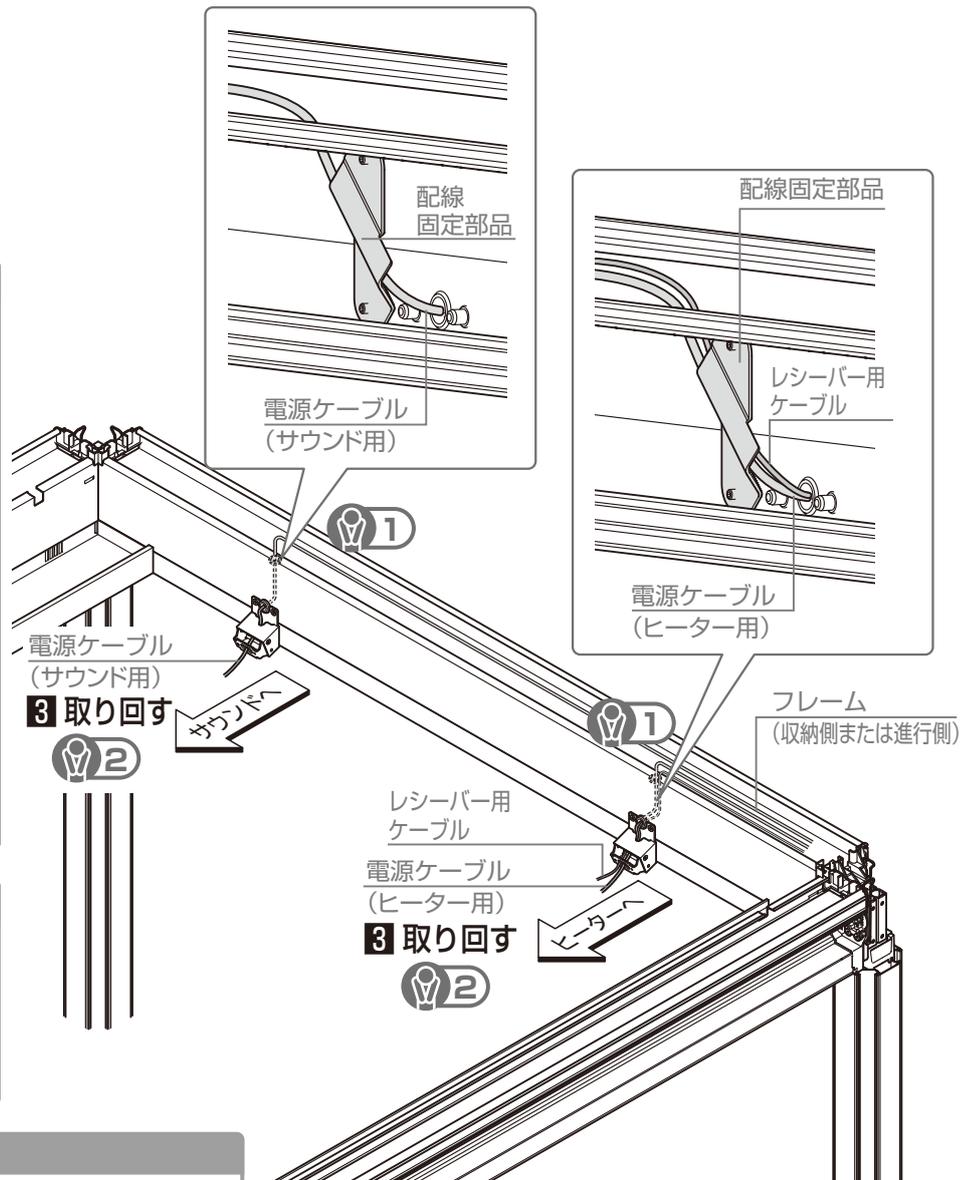
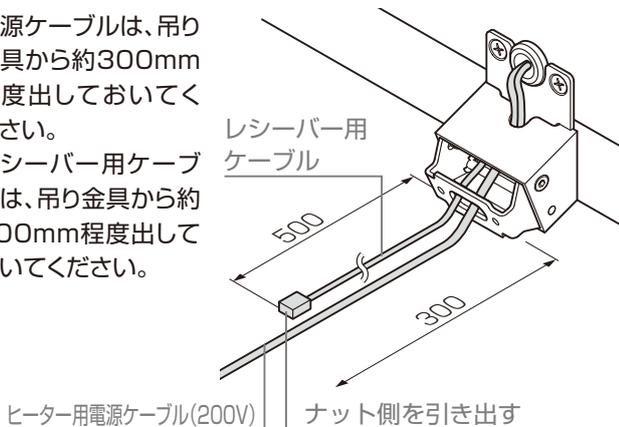
お願い

▼ロールスクリーンと併用する場合▼

- ケーブルがロールスクリーンに干渉するおそれがあるため、配線固定部品はしっかりと固定してください。

お願い 2

- 電源ケーブルは、吊り金具から約300mm程度出しておいてください。
- レシーバー用ケーブルは、吊り金具から約500mm程度出しておいてください。



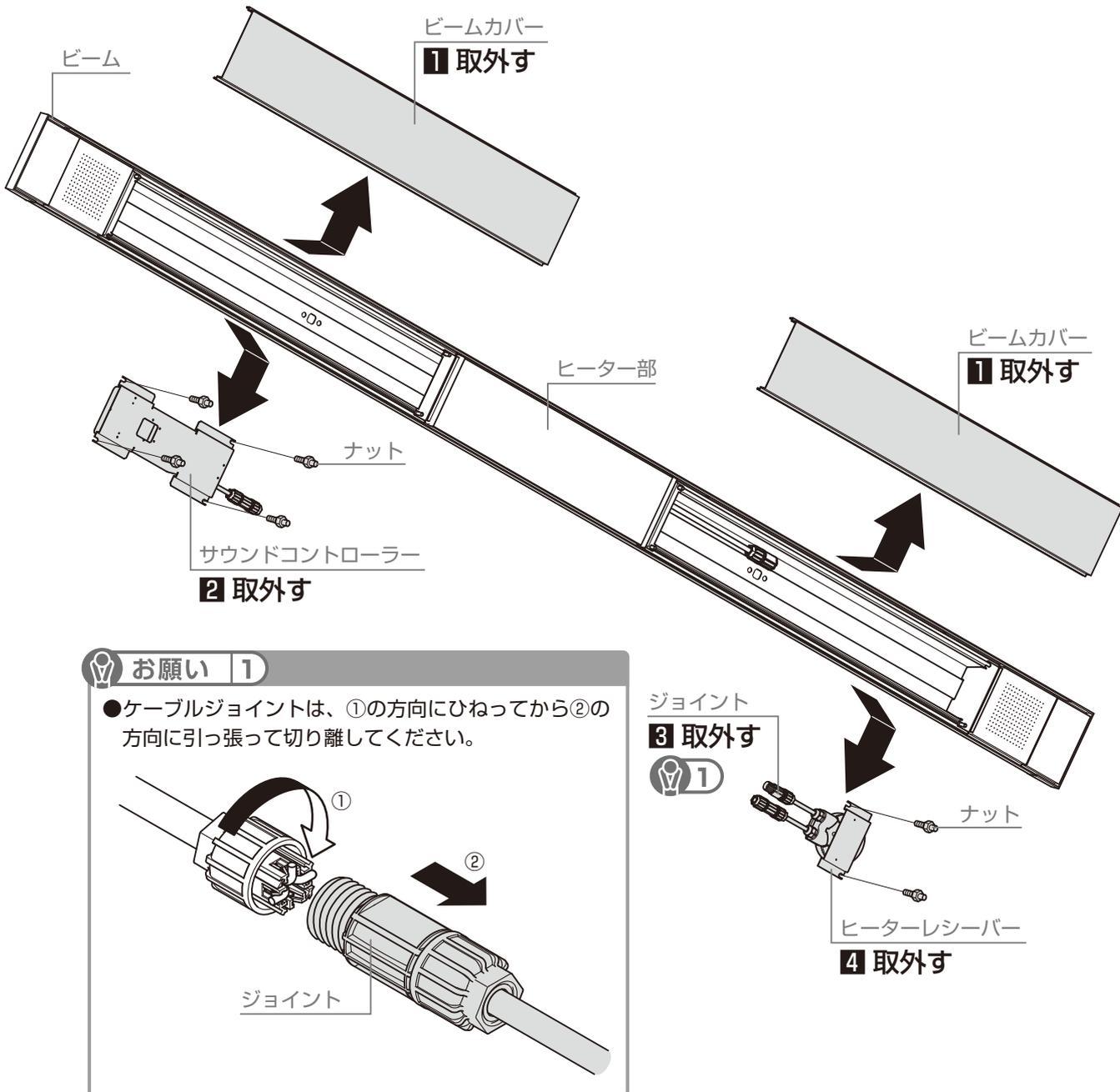
9-3 サウンド&ヒーターの取付け

9-3-4 ビームの取付け

- 1: ビームカバーをビームから取外す
- 2: サウンドコントローラーを取外す
- 3: ヒーターレシーバーとヒーターのケーブルジョイント部を取外す
- 4: ヒーターレシーバーを取外す

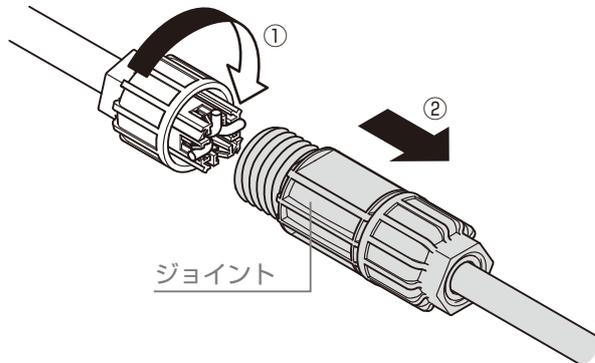
お願い

●取外したネジは取付けの際に使用しますので、保管してください。



お願い 1

●ケーブルジョイントは、①の方向にひねってから②の方向に引っ張って切り離してください。



9-3 サウンド&ヒーターの取付け

つづき

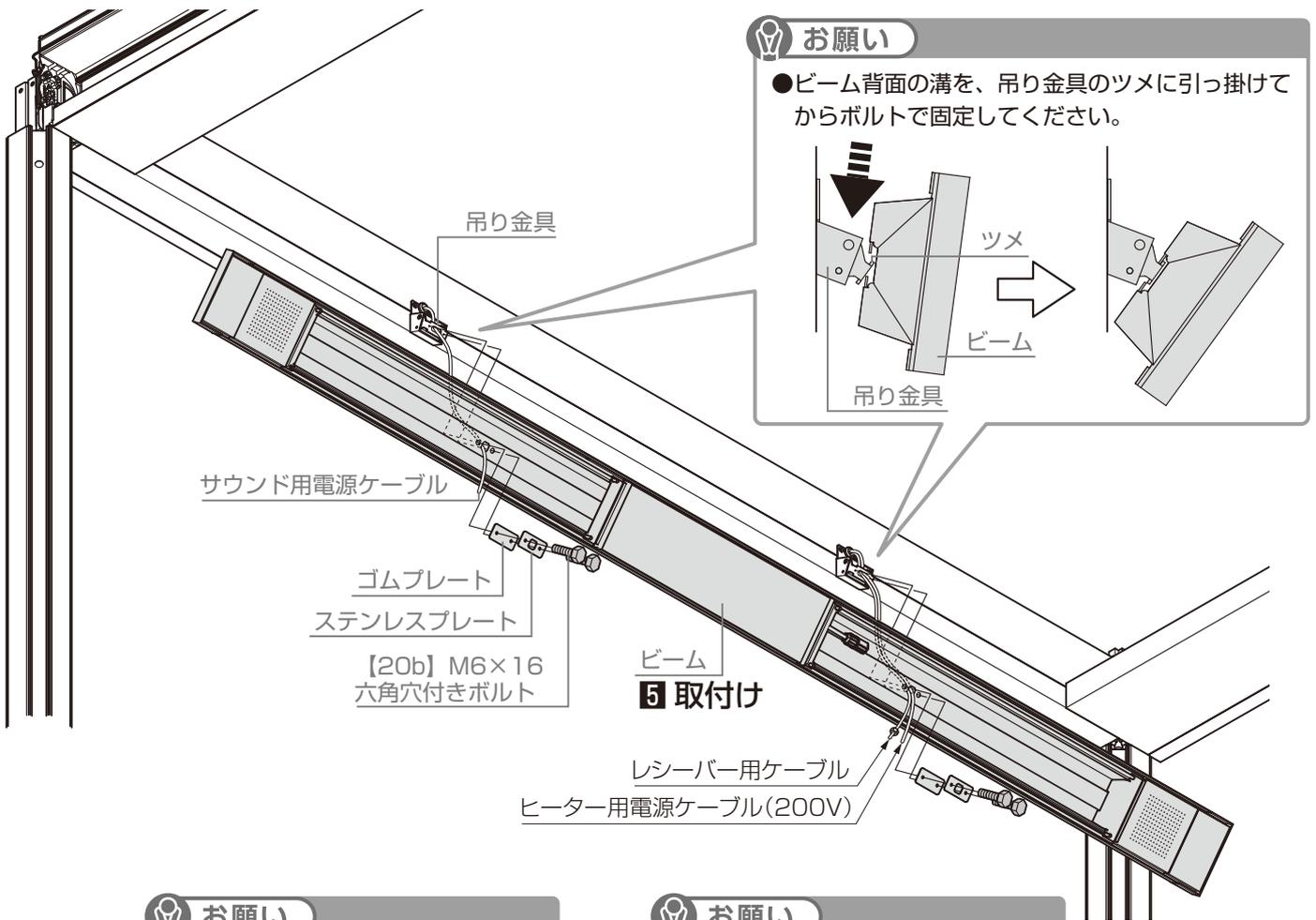
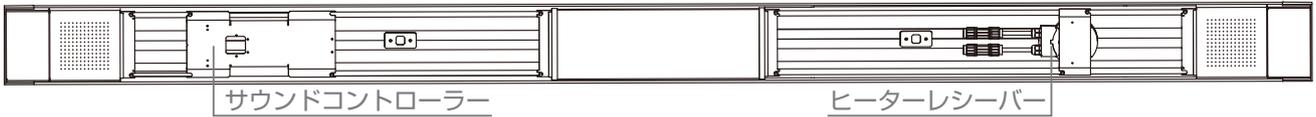
9-3-4 ビームの取付け

つづき

5: ビームを吊り金具に吊り金具正面から取外した【20b】で取付け

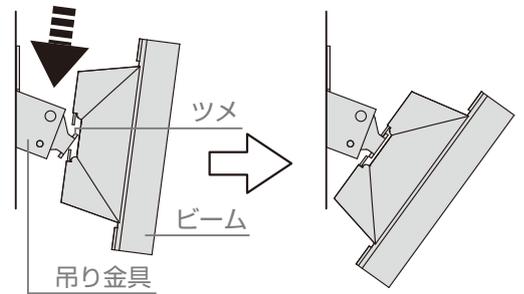
お願い

- ヒーターレシーバーは、ビームを正面から見て右側になるように取付けてください。



お願い

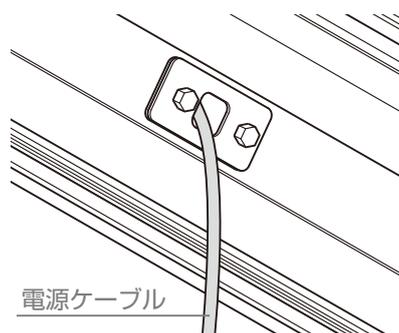
- ビーム背面の溝を、吊り金具のツメに引っ掛けてからボルトで固定してください。



5 取付け

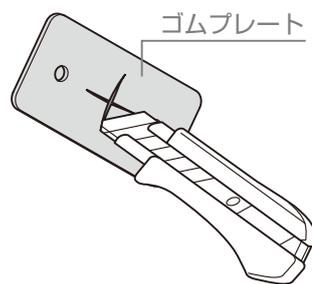
お願い

- 電源ケーブルは、ビームの開口部を通して正面側に出ている状態しにしてください。



お願い

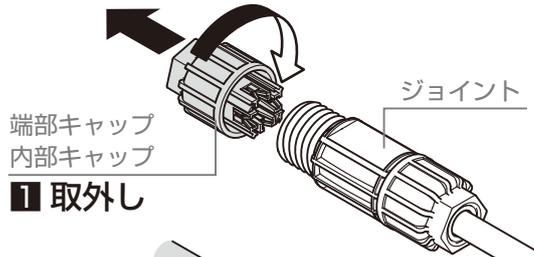
- 吊り金具の固定位置に電源ケーブルがある場合は、ゴムプレートに切り込みを入れて電源ケーブルを通してください。



9-3 サウンド&ヒーターの取付け

9-3-5 ヒーターの接続

1: ヒーターレシーバーのジョイント部品から、端部キャップと内部キャップを取外し



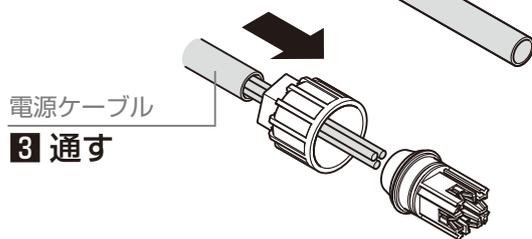
1 取外し

2: 電源ケーブルの端部をカットし、被膜処理



2 被膜処理

3: 電源ケーブルの先端を、端部キャップと内部キャップに通す

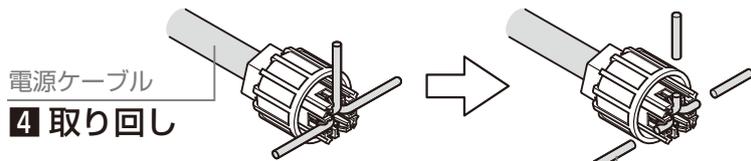


3 通す

4: 電源ケーブルの各色の先端を、内部キャップに表示されている番号へ取り回し

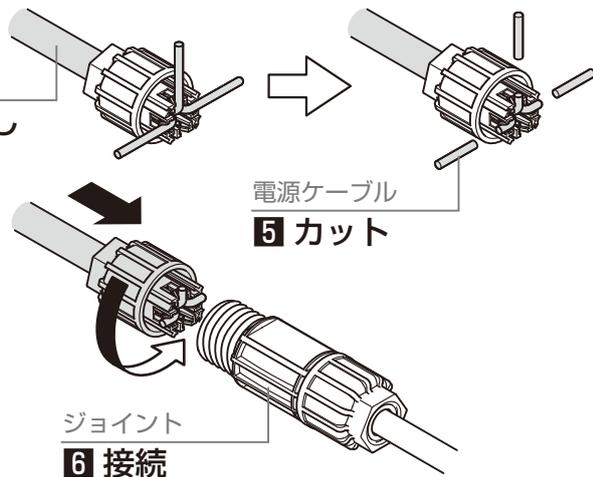
- 配線【青】→1
- 配線【茶】→2
- 配線【黄】→アース

5: 内部キャップからはみ出ている余分な電源ケーブルをカット



4 取り回し

6: 5で完成したケーブルと、ヒーターレシーバーのジョイント部品を、矢印を合わせて接続



5 カット

6 接続

お願い

- ジョイント部品は、回らなくなるところまできつく締めてください。

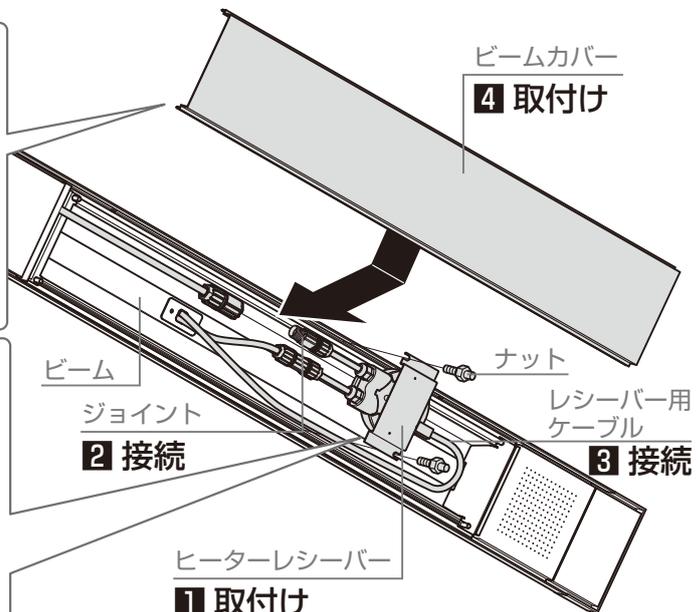
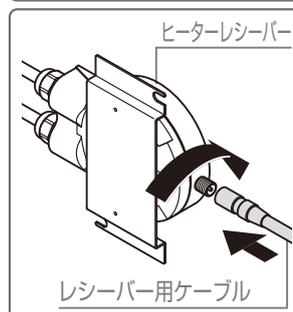
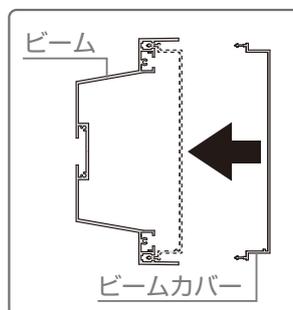
9-3-6 ヒーターの仕上げ

1: ヒーターレシーバーを元の位置に戻し、ナットでビームに取付け

2: ヒーターレシーバーとヒーターのケーブルジョイント部を接続

3: レシーバー用ケーブルをヒーターレシーバーに接続

4: ビームカバーをビームに取付け



4 取付け

3 接続

2 接続

1 取付け

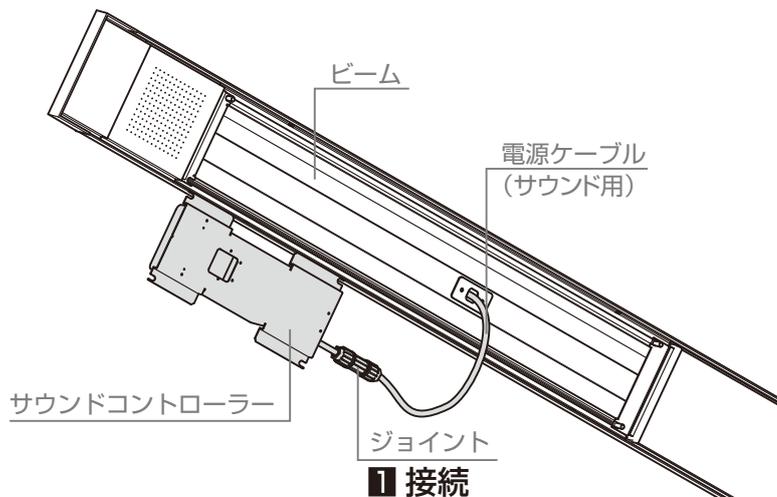
お願い

- 最初にヒーターレシーバーを取り外した際のナットを使用して取付けてください。
- ヒーターレシーバーを取付ける際は、表裏の向きを確認してください。

9-3 サウンド&ヒーターの取付け

9-3-7 サウンドコントローラーと電源ケーブルの接続

1: ビーム左側の電源ケーブルと、サウンドコントローラーのジョイント部品を接続

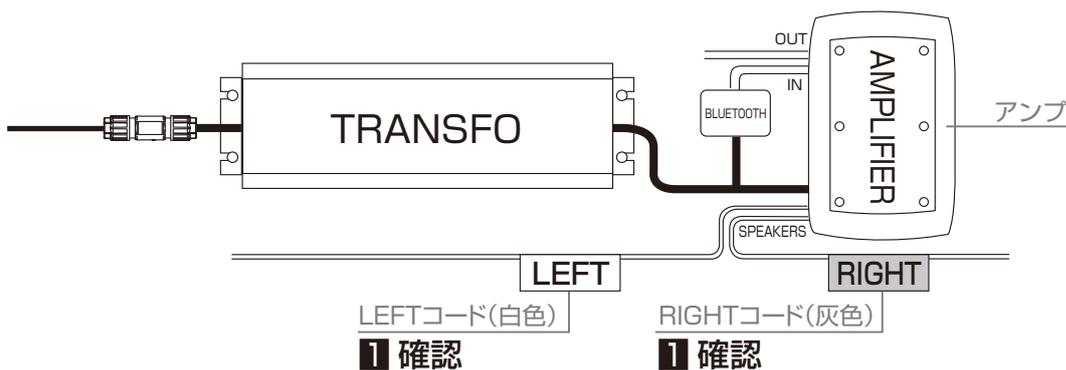


お願い

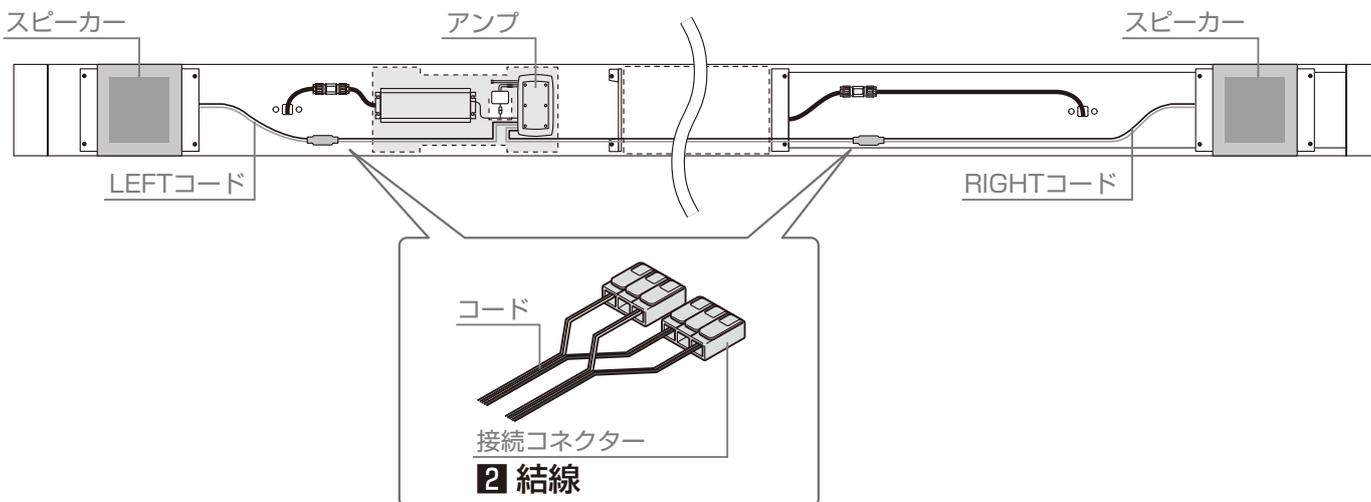
- 電源ケーブルとジョイント部品の接続方法はP.99 9-3-5 | ヒーターの接続を参照してください。

9-3-8 サウンドコントローラーとスピーカーの接続

1: サウンドコントローラーのアンプから、LEFT(白色)、RIGHT(灰色)のラベルが貼られた2本のコードが伸びていることを確認



2: 左右のスピーカーから出ているコード(LFET/RIGHT)と、アンプのコード(LFET/RIGHT)を接続コネクターで結線



お願い

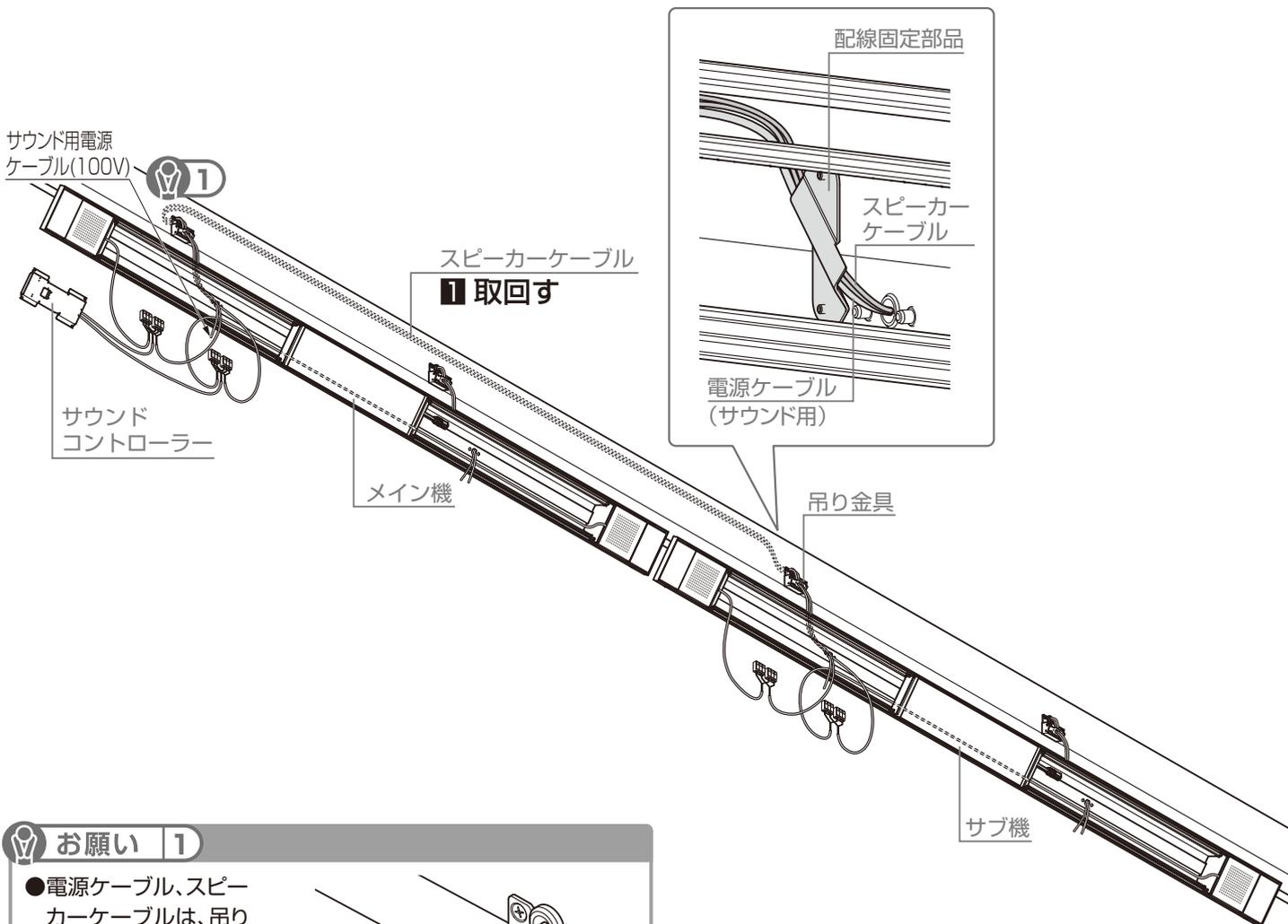
- スピーカーのコードには左右の表記がありません。ビームの正面左側にサウンドコントローラーが設置される状態を基本として、左右の判別を行なってください。
- アンプとスピーカーから出ているコードは、無地と黒線入りの2種類があります。必ず同色のコード同士で結線してください。

9 オプションの施工

9-3 サウンド&ヒーターの取付け (2台以上の連結)

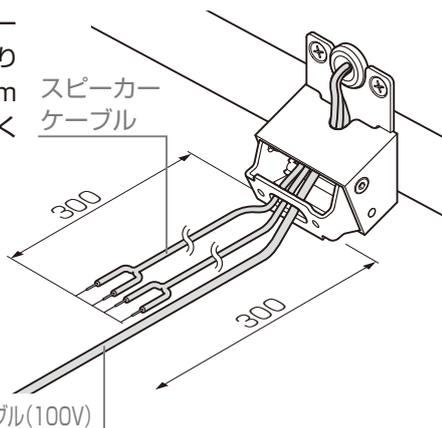
9-3-9 ケーブルの取り回し

1: スピーカーケーブルを吊り金具から取回す



1 お願い

- 電源ケーブル、スピーカーケーブルは、吊り金具から約300mm程度出しておいてください。



1 お願い

- スピーカーケーブルの結線はサウンドユニット内で行ってください。

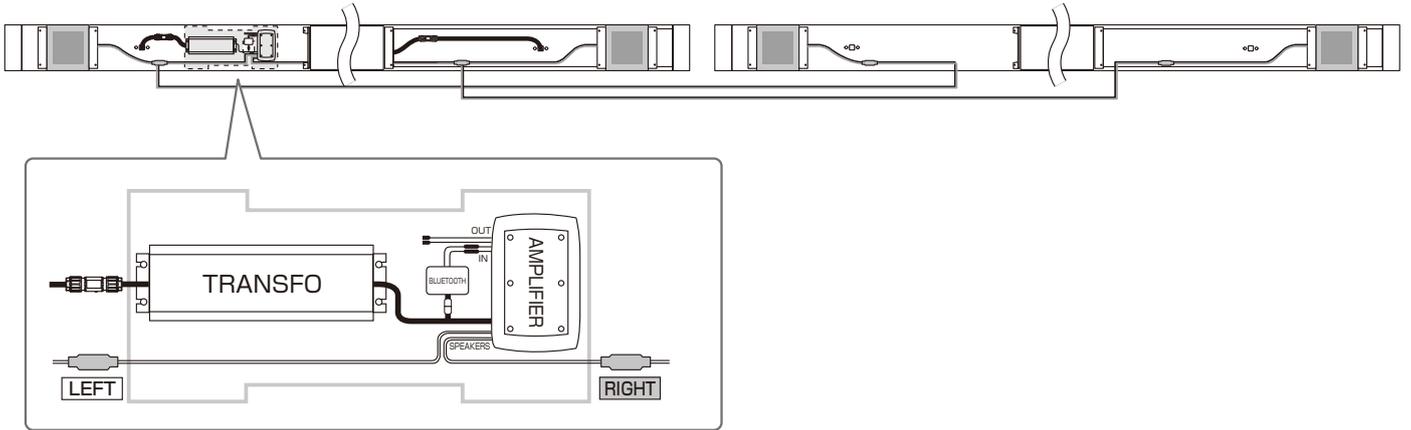
9-3-10 | メイン機とサブ機の接続

補 足

- 任意の1つのサウンドユニットを「メイン機」とし、残りのユニットを「サブ機」として設定を行ないます。

【メイン機】

【サブ機】



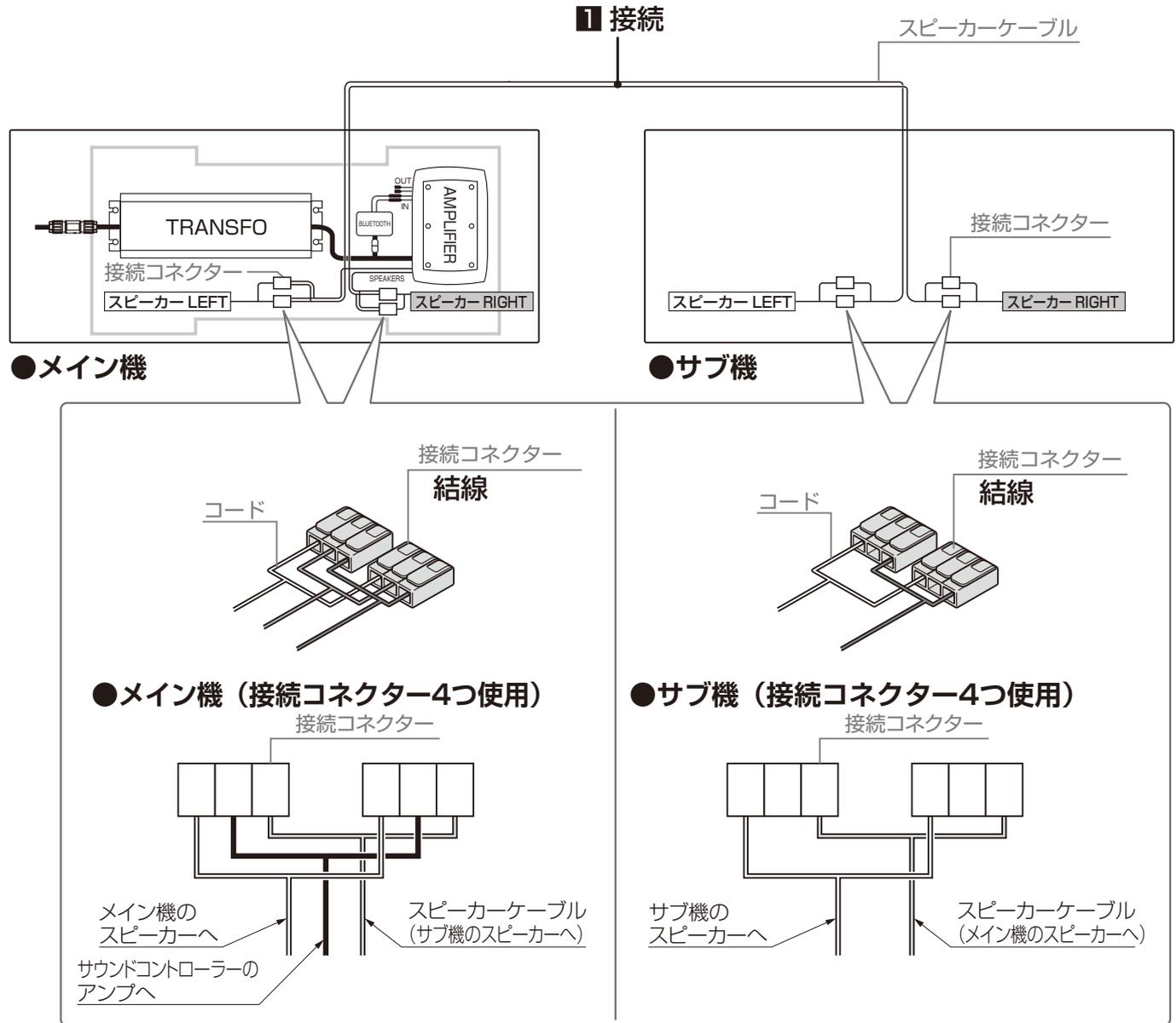
9-3 サウンド&ヒーターの取付け (2台以上の連結)

つづき

9-3-10 | メイン機とサブ機の接続

つづき

■: メイン/サブ機のスピーカーケーブルを接続



💡 お願い

- スピーカーのコードには左右の表記がありません。ビームの正面左側にサウンドコントローラーが設置される状態を基本として、左右の判別を行なってください。
- アンプとスピーカーから出ているコードは、無地と黒線入りの2種類があります。必ず同色のコード同士で結線してください。

9-4 サウンド&ヒーターの仕上げ

9-4-1 ケーブルの接続

1: レシーバー用ケーブルを端子台(A)に接続

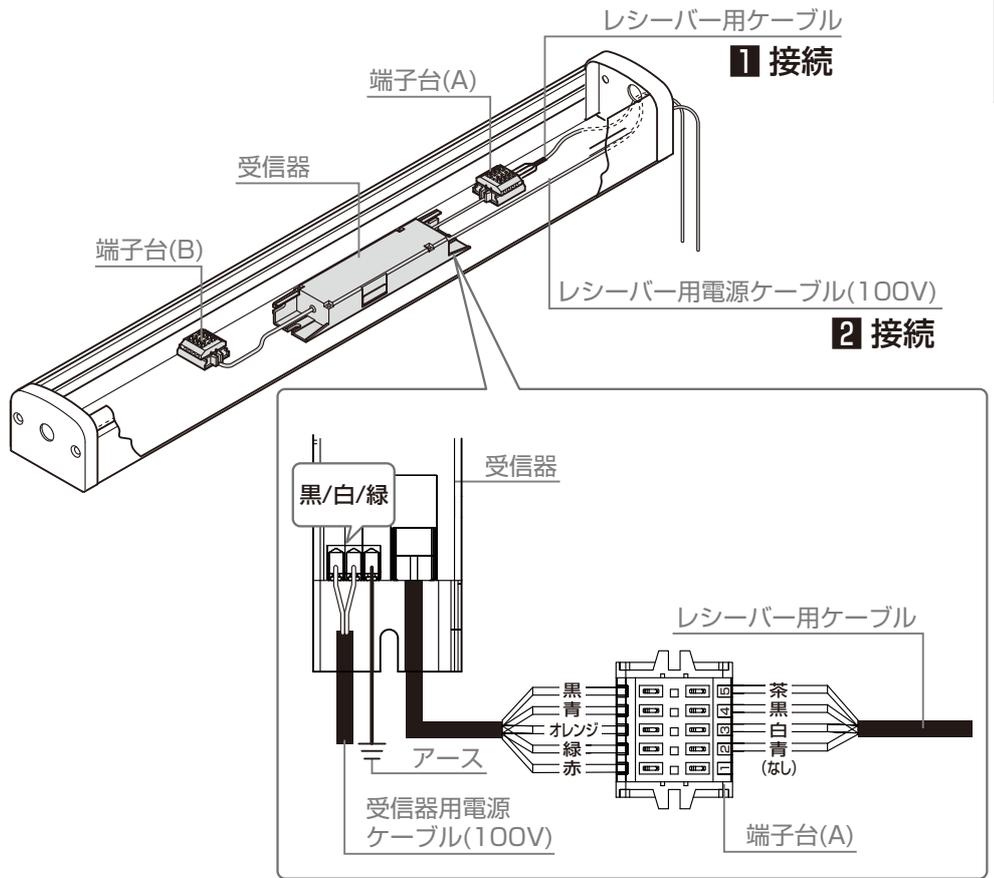
お願い

●端子は茶/黒/白/青の色で分かれています。

2: レシーバー用電源ケーブルの端子を受信器に接続

お願い

●黒/白/緑の差込み口のうち、黒と白の端子に接続してください。



9-4-2 上蓋の取付け

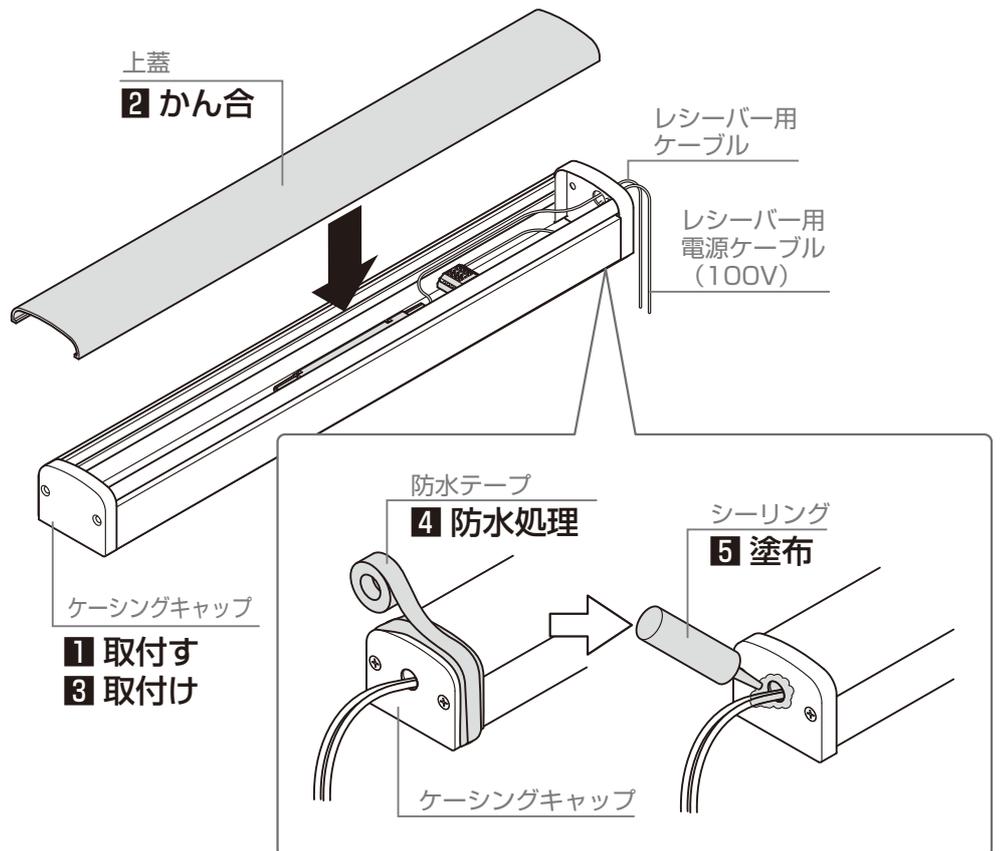
1: ケーシングキャップを取外す

2: 上蓋をケーシング本体にかん合

3: ケーシングキャップをケーシング本体に取付け

4: ケーシング本体とケーシングキャップの接合部を防水テープで防水処理

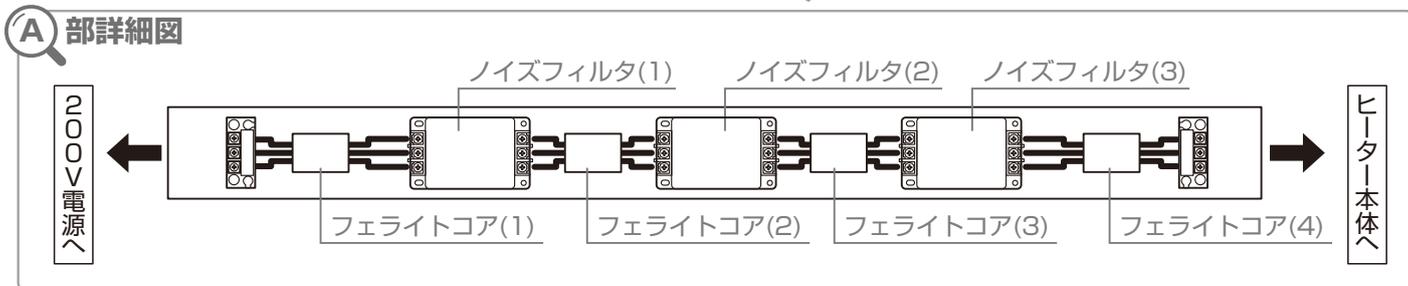
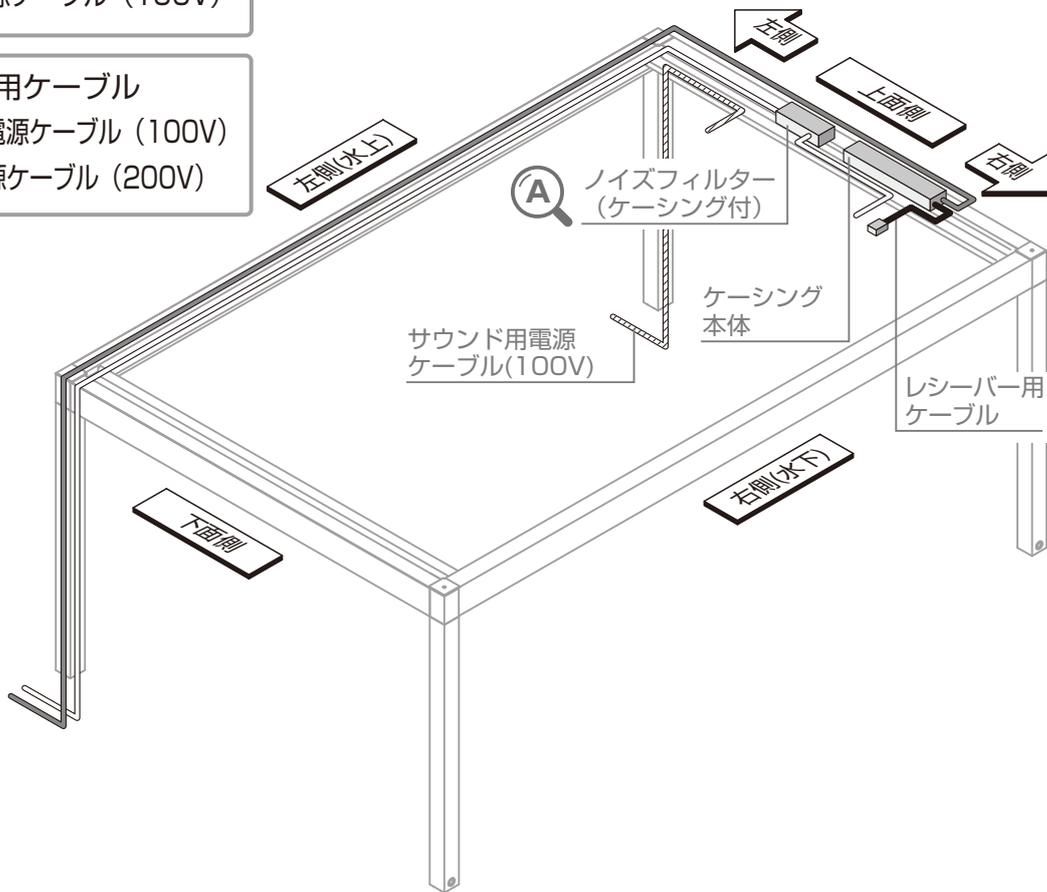
5: ケーシングキャップのケーブルを通す穴にシーリングを塗布



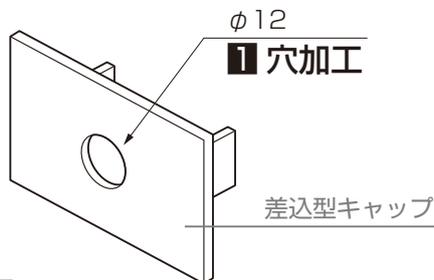
9-4 サウンド&ヒーターの仕上げ

9-4-3 ノイズフィルタの接続

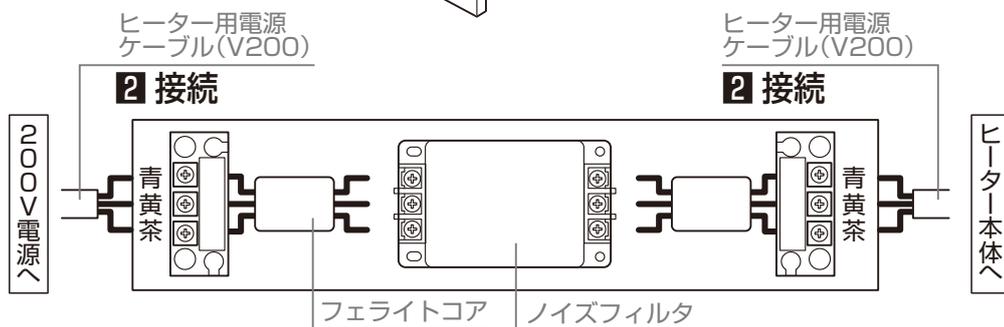
- 左側
 - サウンド用電源ケーブル (100V)
- 右側
 - レシーバー用ケーブル
 - レシーバー用電源ケーブル (100V)
 - ヒーター用電源ケーブル (200V)



❶: 差込型キャップの任意の位置にφ12の穴加工



❷: 電源ケーブルを任意の位置で切断し、間にノイズフィルタを接続



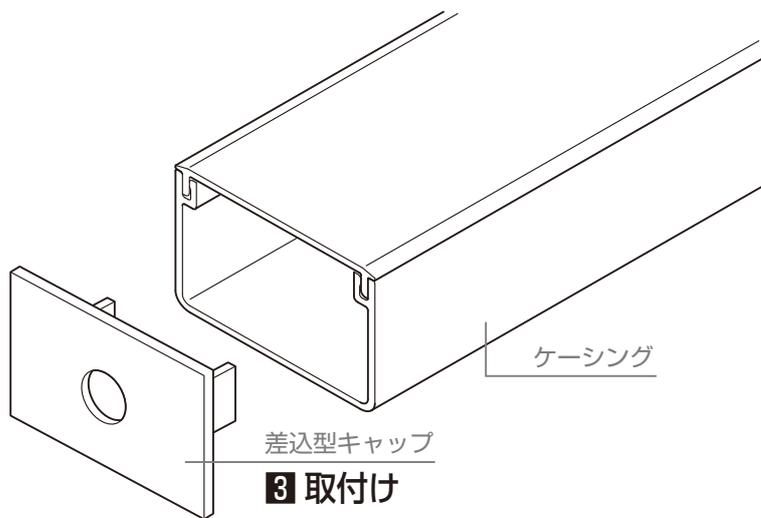
9-4 サウンド&ヒーターの仕上げ

つづき

9-4-3 ノイズフィルタの接続

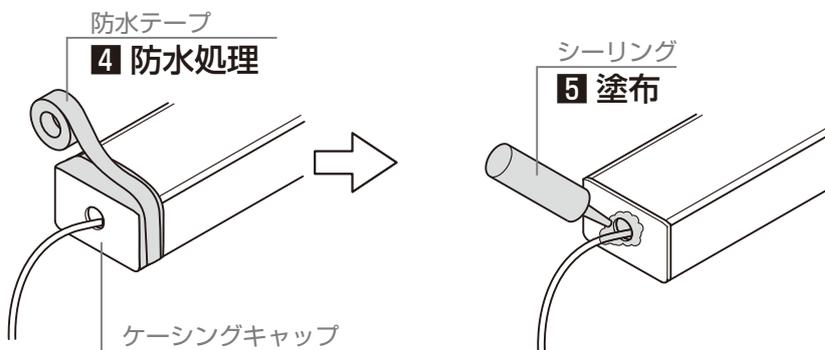
つづき

3: 差込型キャップをケーシング本体に
取付け



4: 接合部を防水テープで防水処理

5: ケーブルを通す穴にシーリングを塗布



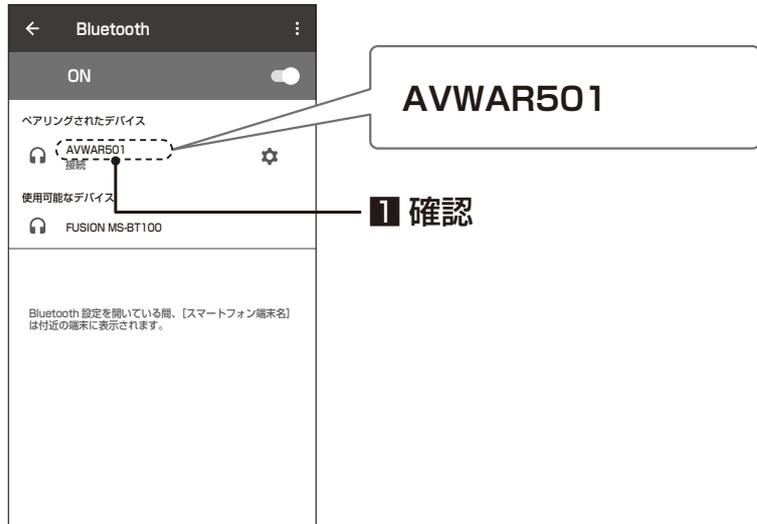
9-4 サウンド&ヒーターの仕上げ

9-4-4 サウンドコントローラーとスピーカーの接続

1: サウンド&ヒーターの電源を入れ、接続機器のBluetooth設定画面に「AVWAR501」が表示されているか確認

お願い

- ビームカバーを取付ける前に必ず接続確認を行なってください。
- 使用する接続機器によって表示画面は異なります。



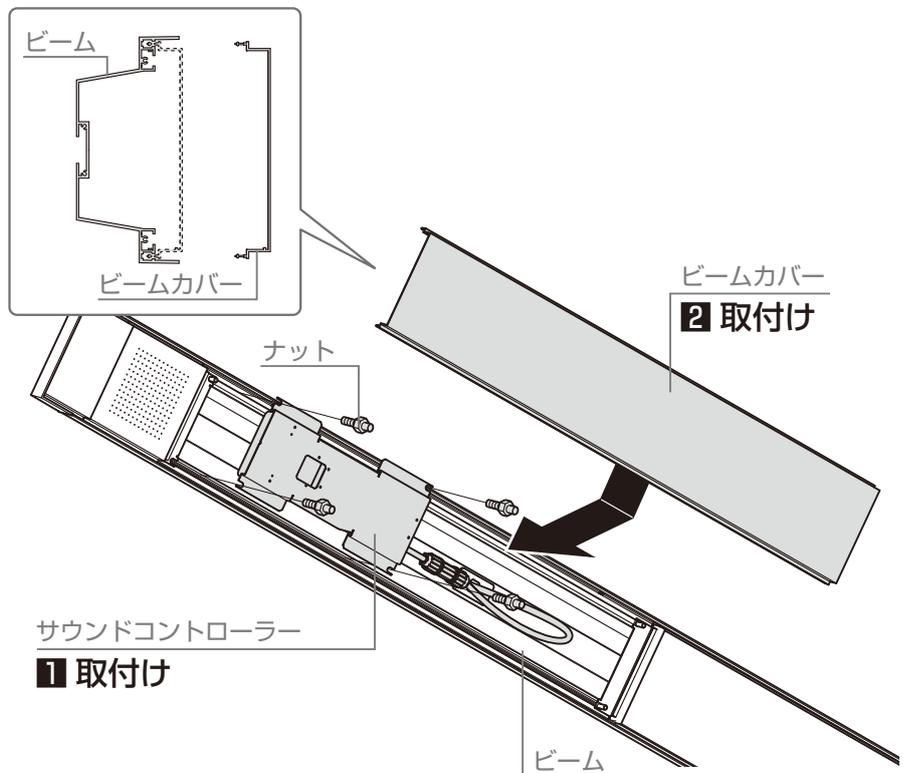
9-4-5 ビームカバーの取付け

1: サウンドコントローラーをビームに戻し、ナットでビームに取付け

補足

- 最初にサウンドコントローラーを取外した際のナットを使用して取付けてください。

2: ビームカバーをビームに取付け



9-4 サウンド&ヒーターの仕上げ

つづき

9-4-6 角度調整

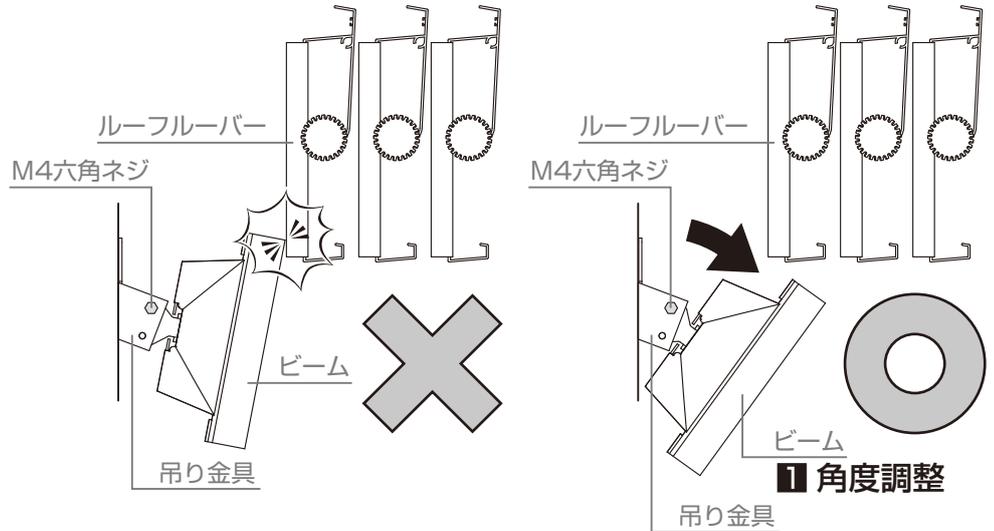
1: ビームをルーフルーバーに当たらないように角度調整

補足

●吊り金具のM4六角ネジを「ゆるめる」⇔「しめる」でビームの角度を調整できます。

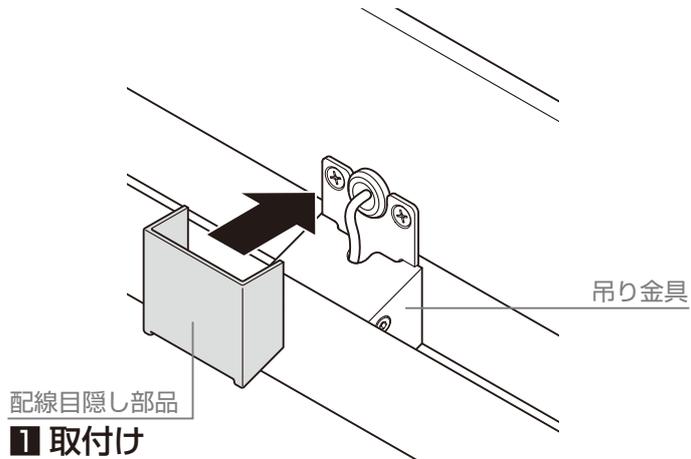
お願い

●ご使用する前に必ずビームの角度調整を行なってください。
ビームの角度調整を行わないとルーフルーバーがビームに接触する場合があります。

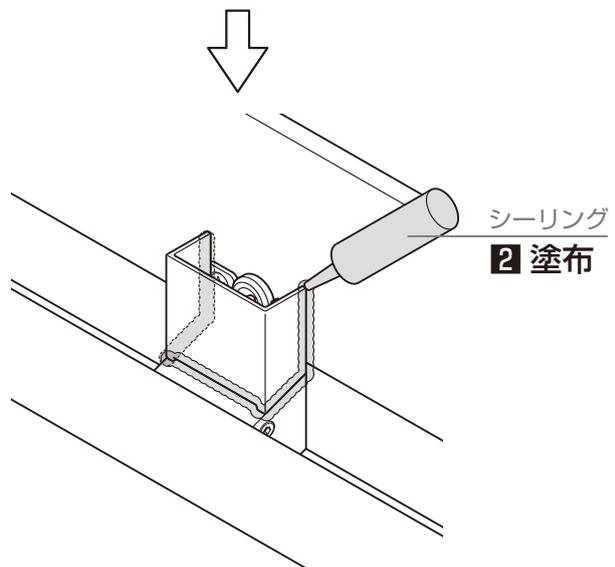


9-4-7 配線目隠し部品

1: 配線目隠し部品を吊り金具の取付け



2: 配線目隠し部品にシーリングを塗布



9 オプションの施工

9-5 ロールスクリーンの取付け

お願い

- サウンド&ヒーターを設置する場合は、必ずサウンド&ヒーターを先に設置してください。

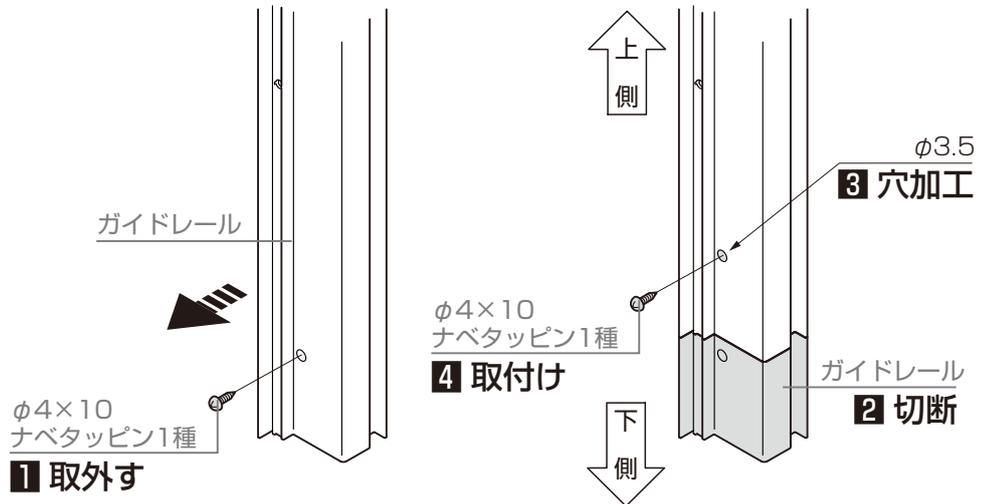
9-5-1 | ガイドレールの切詰め ※ガイドレールを切詰める場合の作業

- 1:** $\phi 4 \times 10$ ナベタッピン1種をガイドレールから取外す

- 2:** ガイドレールを下部から切詰める

お願い

- ガイドレールは必ず下部を切詰めてください。

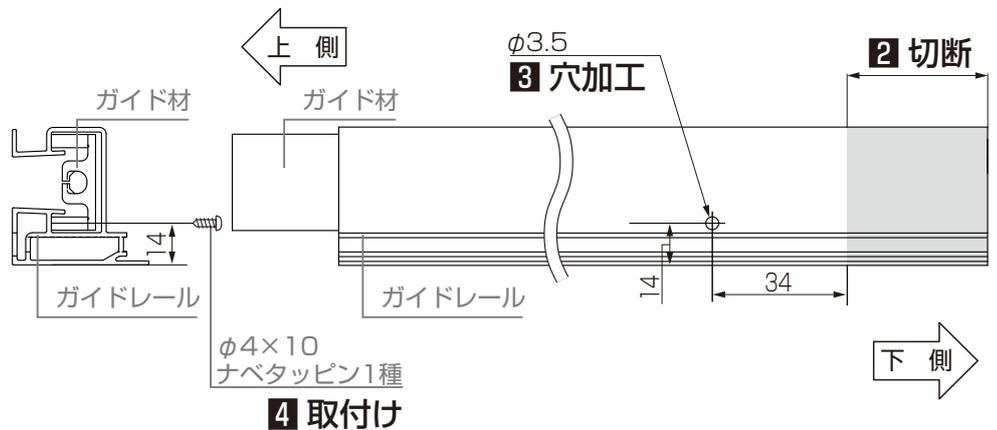


- 3:** 寸法位置に $\phi 3.5$ の穴加工

- 4:** $\phi 3.5$ に $\phi 4 \times 10$ ナベタッピン1種で締結

お願い

- ネジは手順**1**で取外したもので再度取付けてください。



9-5 ロールスクリーンの取付け

🔦 お願い

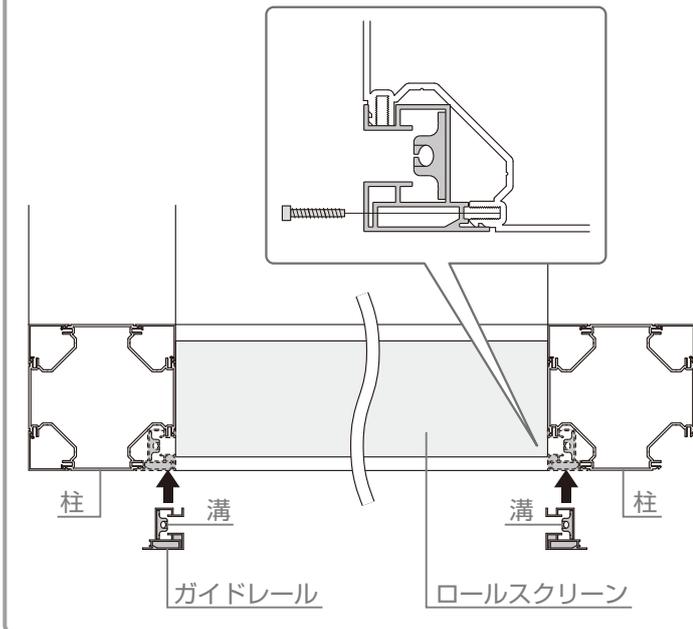
- ロールスクリーンを使用する場合は、必ず施工前に柱加工と光電センサーの取付けを行なってください。
- サウンド&ヒーターを使用する場合は、必ずサウンド&ヒーターを先に設置してください。

9-5-2 | ガイドレールの取付け

1: ロールスクリーン設置位置の対象柱にガイドレールを【14b】で取付け

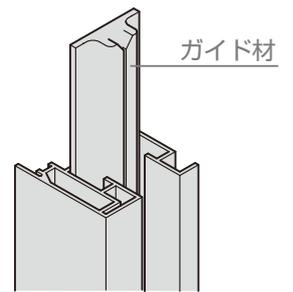
🔦 お願い

- ガイドレールの溝が向かい合うように取付けてください。



🔧 補足

- ガイド材が突き出ている方が上部になります。



【14b】 M4×40
六角穴付きボルト

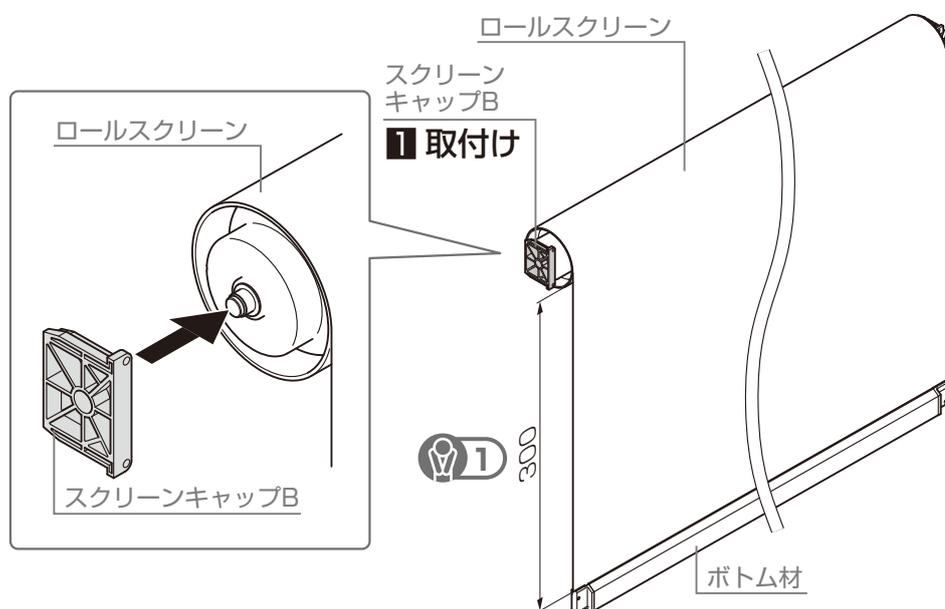
ガイドレール
1 取付け

9-5-3 | ロールスクリーンの準備

1: スクリーンキャップBをロールスクリーン左側に取付け

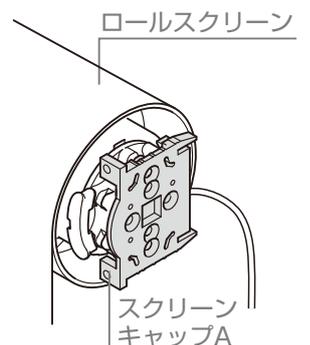
🔦 お願い 1

- ロールスクリーンを取付ける際は、ボトム材まで約300mmロールスクリーンを引き出しておいてください。



🔧 補足

- ロールスクリーン右側にはあらかじめスクリーンキャップAが付いています。
- スクリーンキャップAが付いているか、ロールスクリーン設置前に確認してください。



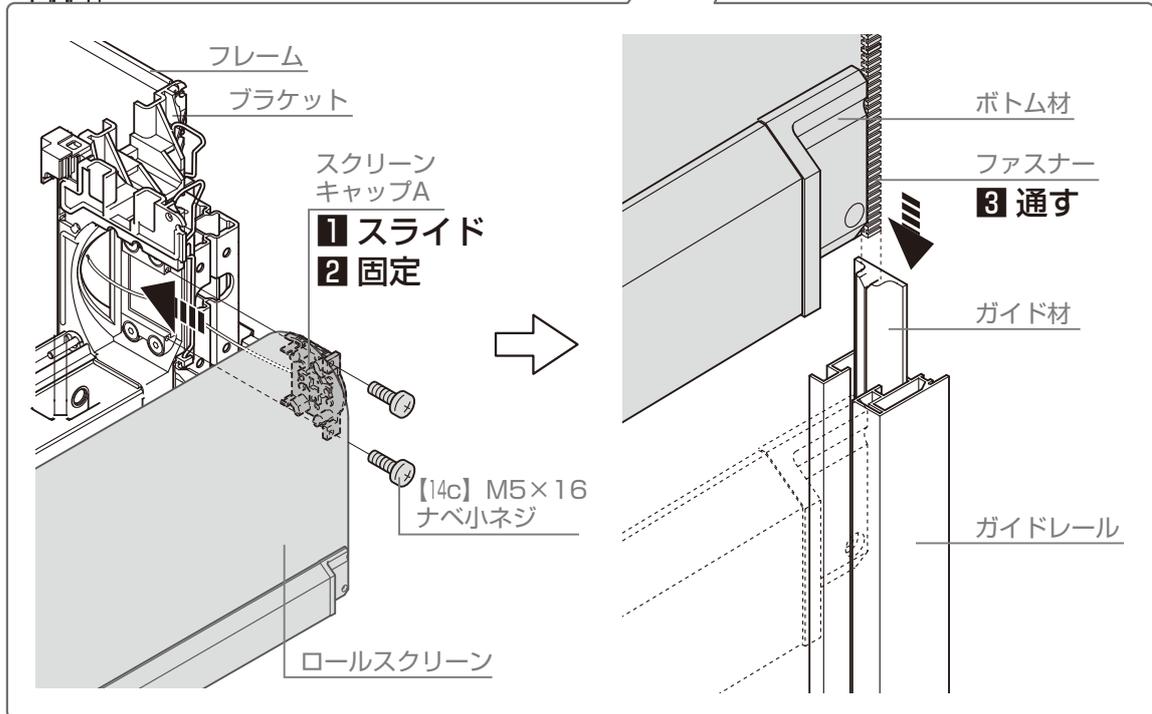
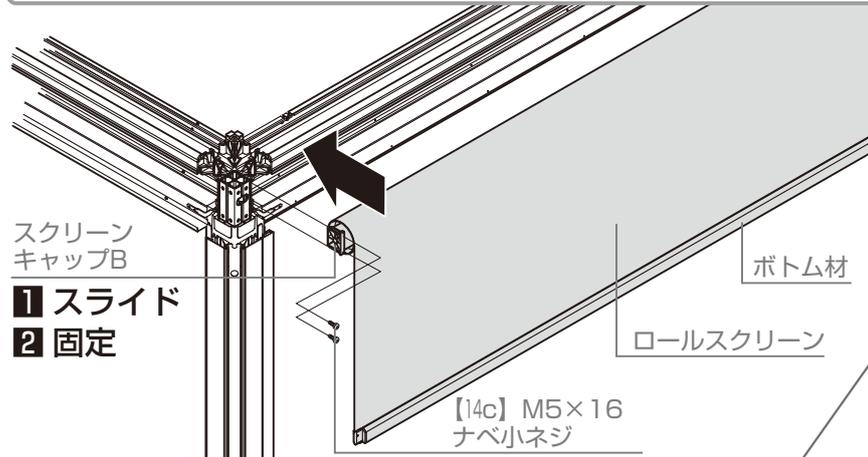
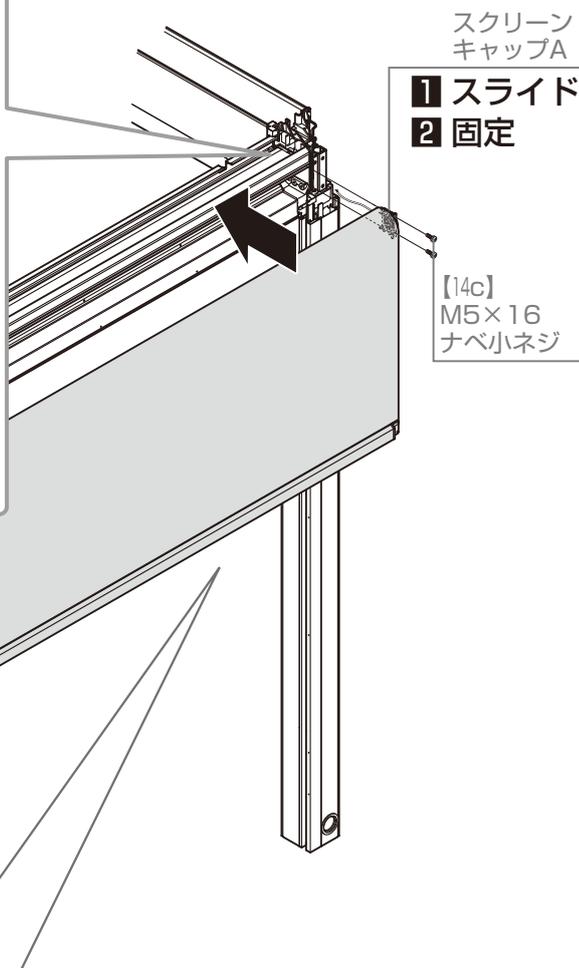
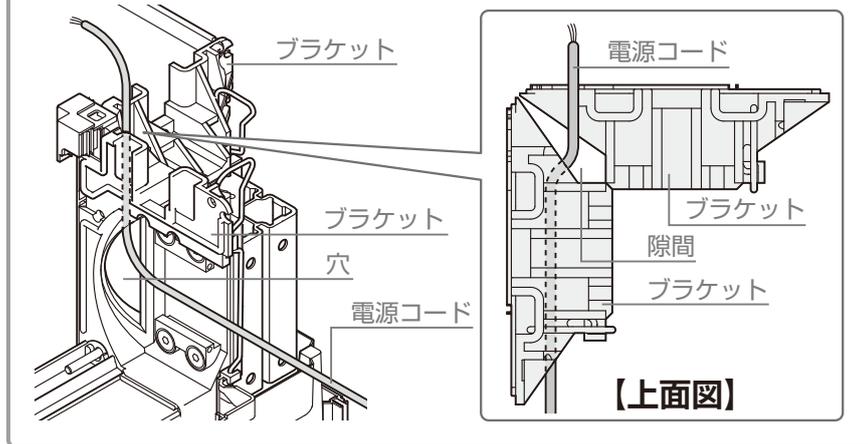
9-5 ロールスクリーンの取付け

9-5-4 | ロールスクリーンの設置

- ❶: スクリーンキャップAとスクリーンキャップBを、フレームの台座に合わせて奥までスライド
- ❷: スクリーンキャップAとスクリーンキャップBを【I4c】で固定
- ❸: ボトム材のファスナーをガイド材に通す

補足

●電源コードは、ブラケットの半円状の穴を通し、ブラケット同士の隙間から上部に取り回してください。

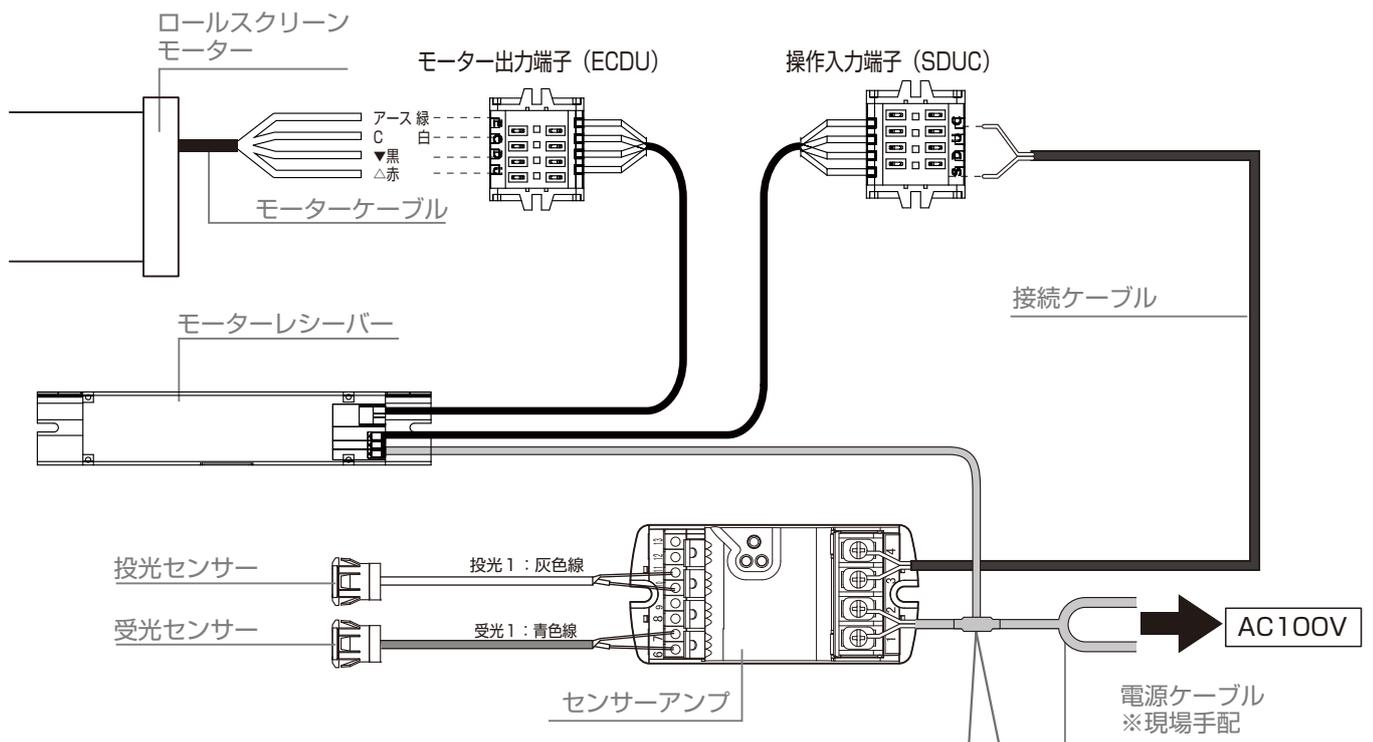


9-5 ロールスクリーンの取付け

9-5-5 配線図の確認

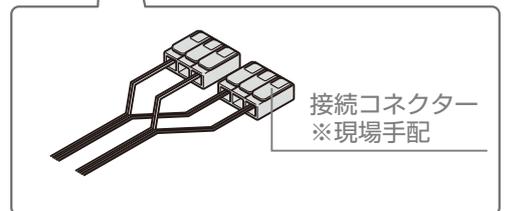
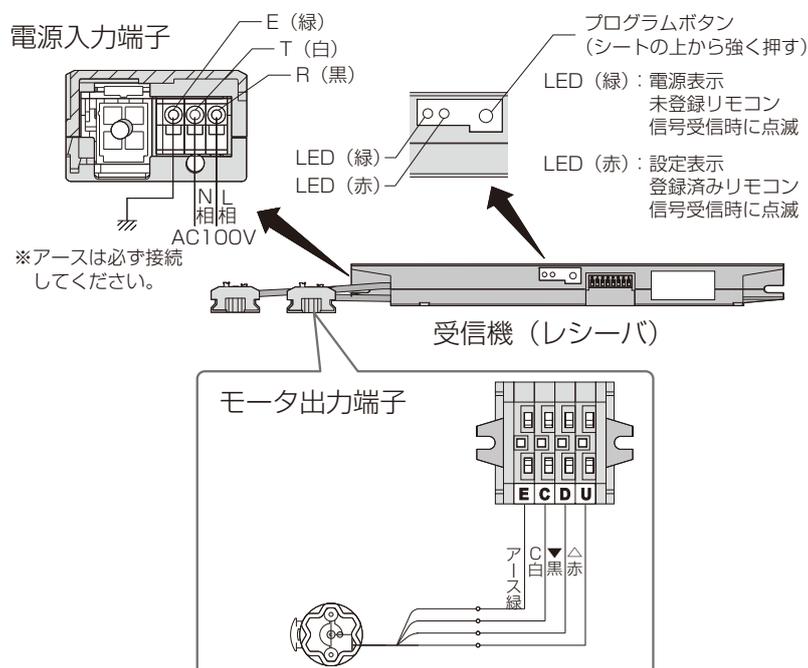
お願い

- 配線を行なう前に全体の配線図を確認しておいてください。
- 投光、受光センサーのケーブルは、本体施工前に取回しておいてください。
- モーターレシーバーと光電センサーアンプは、ケーシングの中に収納してください。



補足

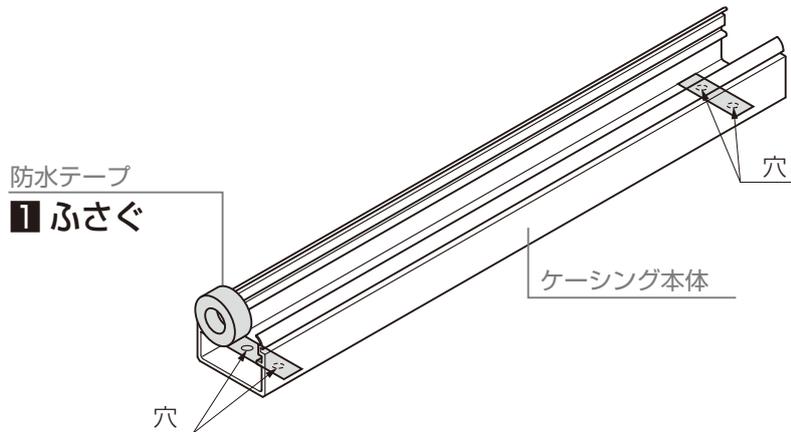
●モーターレシーバーの名称と働きは以下のようになります。



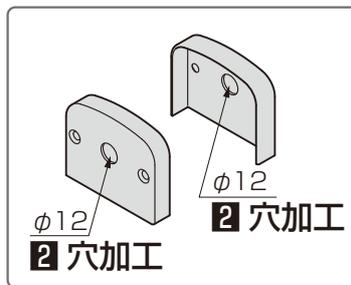
9-5 ロールスクリーンの取付け

9-5-6 ケーシングの準備

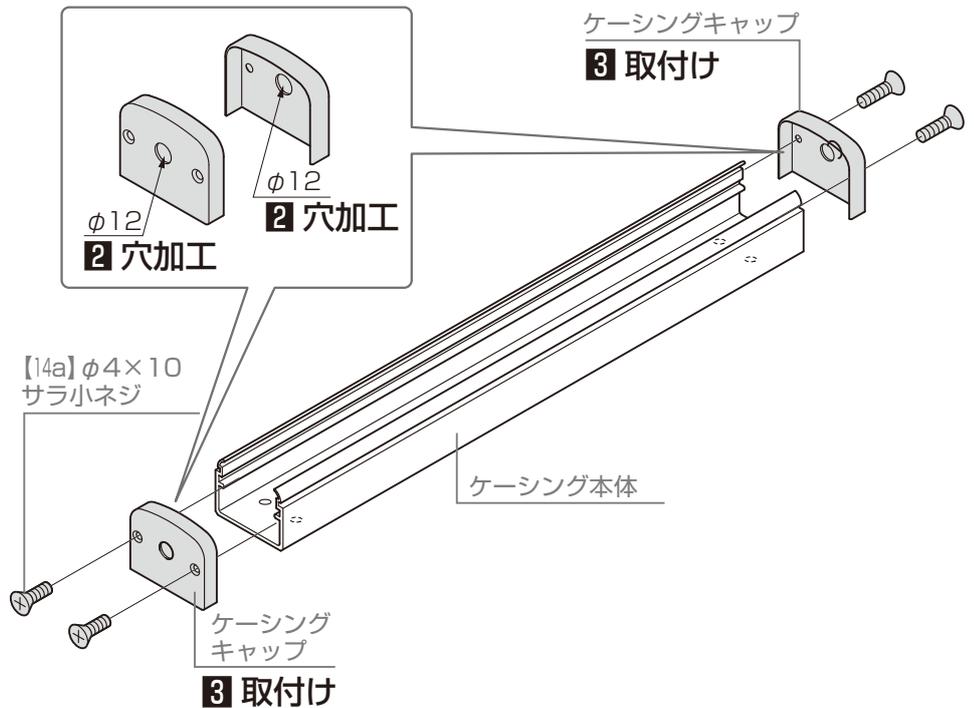
1: ケーシング底面のすべての穴を防水テープでふさぐ



2: 任意の位置にφ12の穴加工



3: ケーシングキャップをケーシング本体に【14a】で取付け

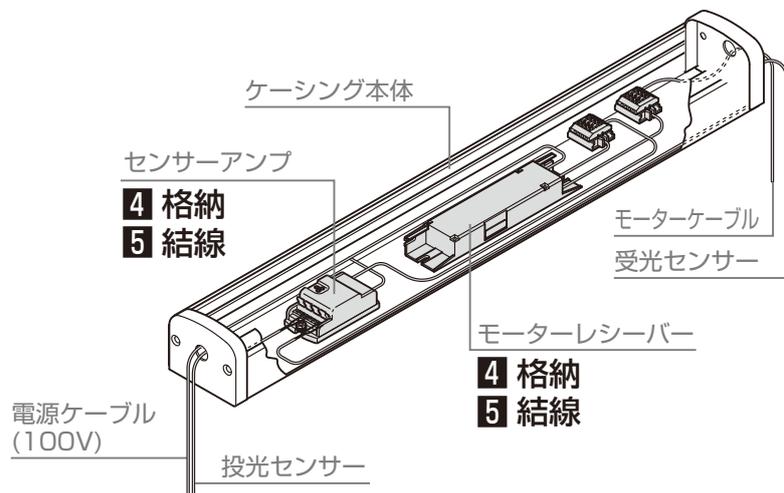


4: ケーシング内にセンサーアンプ、モーターレシーバーを格納

5: センサーアンプ、モーターレシーバーをケーシング内部で結線

お願い

- 結線の方法についてはP.115以降を参照してください。
- 結線はケーシング内部で行なってください。

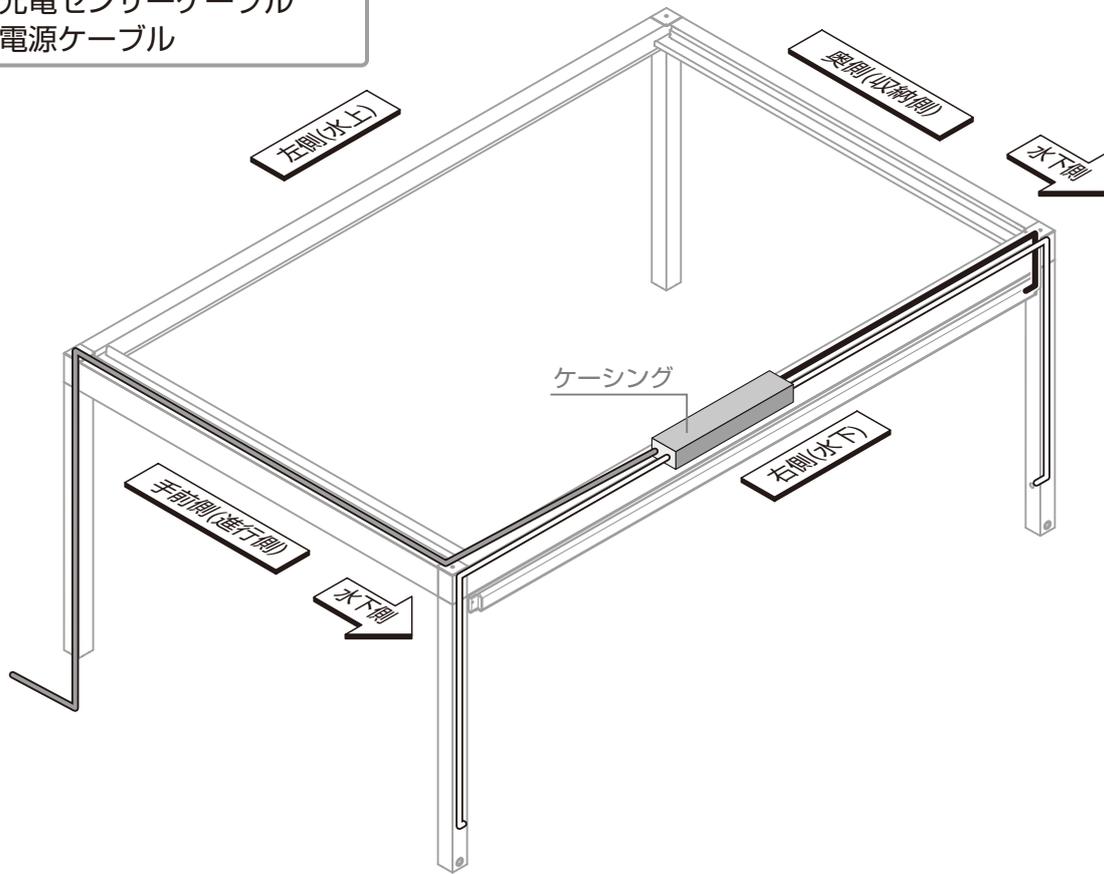


9-5 ロールスクリーンの取付け

つづき

9-5-7 本体とケーブルの取り回し位置の確認

- ロールスクリーンケーブル
- 光電センサーケーブル
- 電源ケーブル



補足

- ケーシングはロールスクリーン1面につき1つ設置します。

お願い

- ロールスクリーンとサウンド&ヒーターを併用する場合は、それぞれのレシーバーとアンプを1つのケーシング内に収めてください。

9-5 ロールスクリーンの取付け

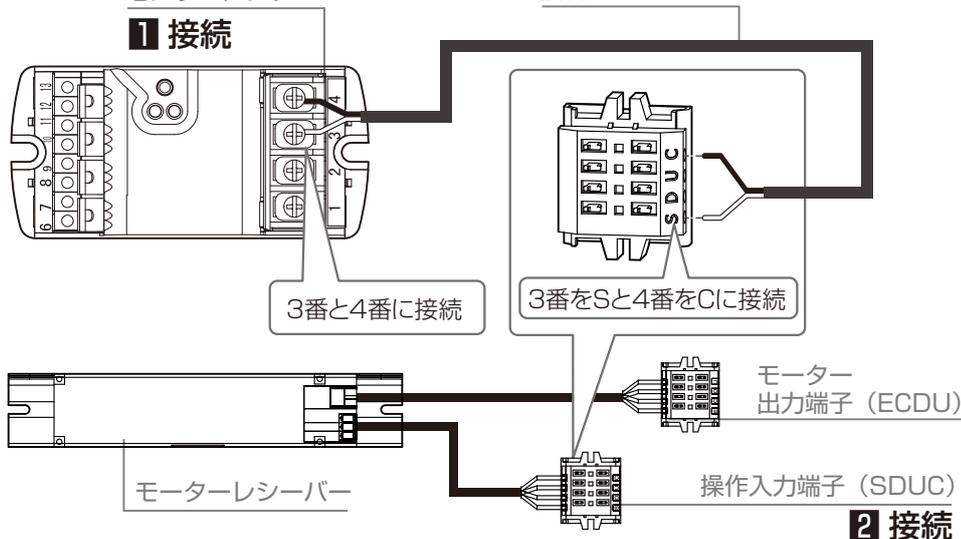
9-5-8 センサーアンプとモーターレシーバーの接続

- 1: 接続ケーブルをセンサーアンプの3番と4番に接続
- 2: 接続ケーブルを操作入力端子 (SDUC側)のSとCに接続

センサーアンプ

接続ケーブル

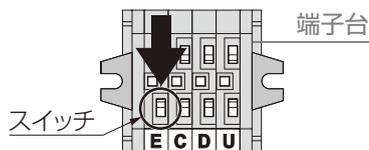
1 接続



2 接続

補足

- ケーブルを接続する際は、端子台のスイッチを押しながらケーブル先端を接続します。

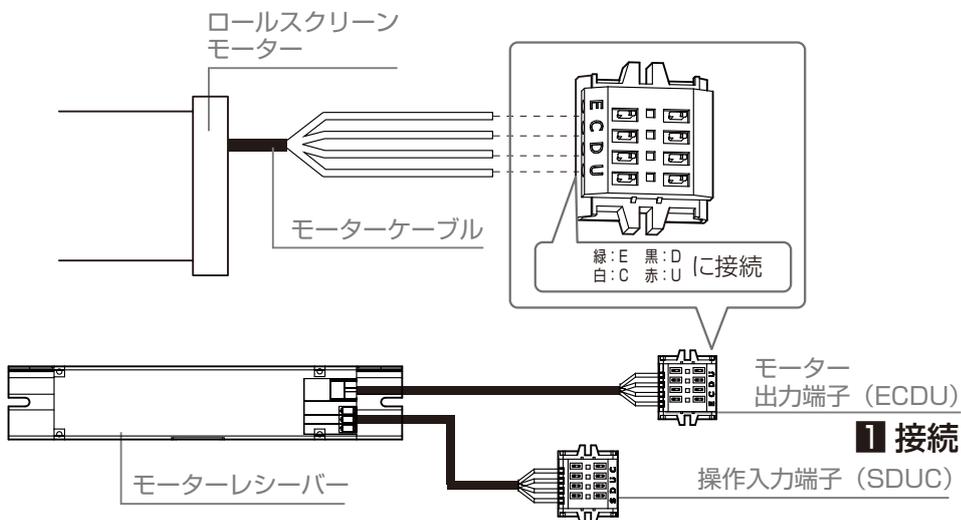


9-5-9 ロールスクリーンモーターとモーターレシーバーの接続

- 1: ロールスクリーンケーブルの先端部を、モーター出力端子 (ECDU側)の各端子に接続

お願い

- ロールスクリーンケーブルは、緑/白/赤/黒の4色に分かれています。対応する端子へ接続してください



1 接続

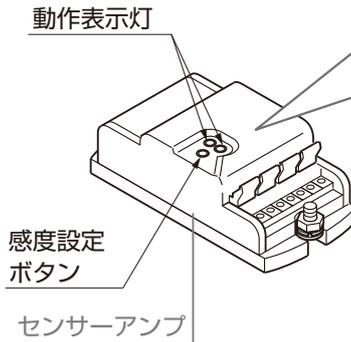
9-5-10 センサーアンプの感度設定

お願い

- 配線をすべて終え、光電センサーのセンサーヘッドが正しく向き合っていることを確認して電源を入れてください。
- 検出エリアに障害物がないことを確認してから設定を行なってください。

1: 電源を入れてから、感度設定ボタンを1秒以上押す

2: 動作表示灯が点灯した後、消灯することを確認



補足

- 消灯後、適正な感度に自動設定されます。

●正常時と異常時のランプ状態

	正常時		異常時	
	障害物がない	障害物がある	配線不良・断線	感度不良
動作表示灯	点灯 (緑色のみ)	消灯 (緑色のみ) 消灯 (赤色のみ) 消灯 (緑色・赤色両方) (※1)	緑色・赤色交互点滅	緑色点滅

※1: 遮られた側の動作表示灯 (緑色または赤色) が消灯します。両方が遮られていれば緑色・赤色とも消灯します。

お願い

- 動作表示灯の緑色と赤色が交互点滅する場合や緑色が点滅する場合は、感度設定がうまくできていません。下記内容を確認してください。確認後、再度「設定ボタン」を1秒以上押してください。
- ・投光部、受光部のセンサーヘッドが傾いていないか
- ・センサーのレンズ面が汚れていないか
- ・配線の間違いや外れはないか
- ・断線・ショートはないか

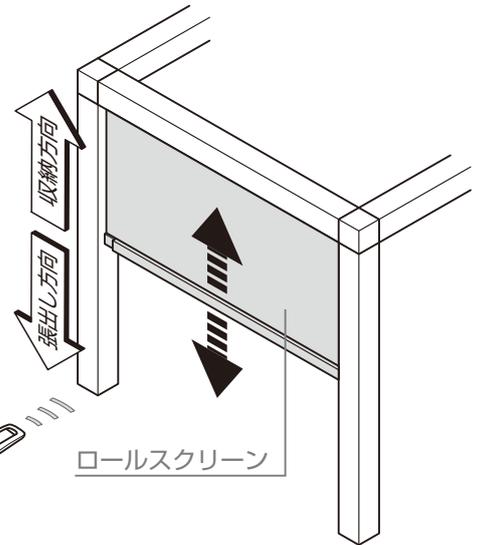
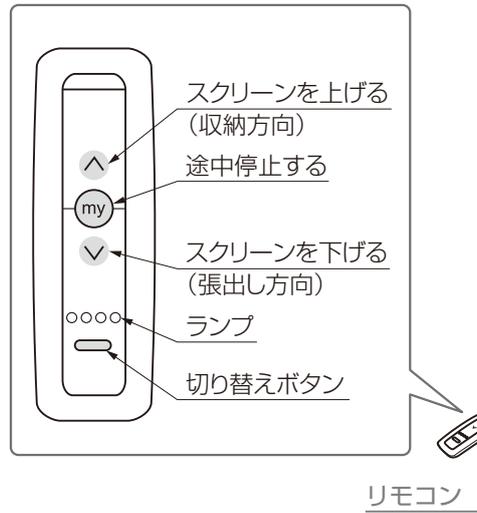
9 オプションの施工

9-6 ロールスクリーンの調整

9-6-1 操作リモコンの確認

お願い

- ロールスクリーンを張出す場合、周囲に障害物(木の枝・電線・アンテナなど)がないか確認してください。
- 下限(張出し)・上限(収納)位置が設定された範囲内であれば途中停止状態でも使用できます。
- 現場や使用状況に合わせて、下限(張出し)・上限(収納)位置の本設定をしてください。
- 張出し・収納動作を頻繁に繰り返すと自動的に電源が切れます。その際は20～30分ほど休ませると操作が可能になります。

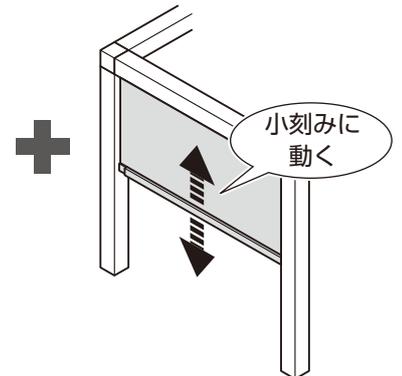
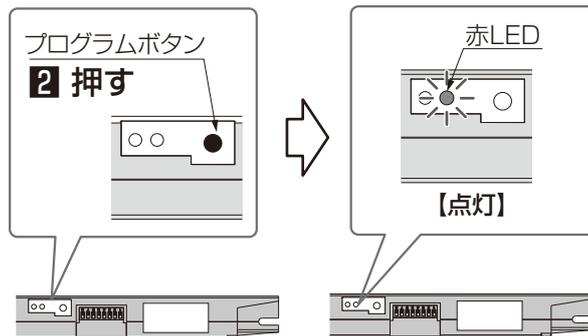


9-6-2 操作リモコンの登録

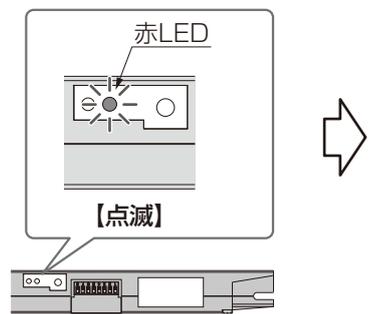
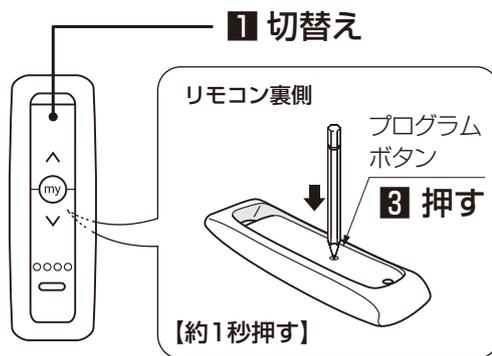
- 1: 登録したいチャンネルに切替え
- 2: 登録したいスクリーンのレシーバーのプログラムボタンを約2秒間押す

補足

- 赤LED点灯後2分以内に次の作業を行わないと、LEDは消灯し元の状態に戻ります。

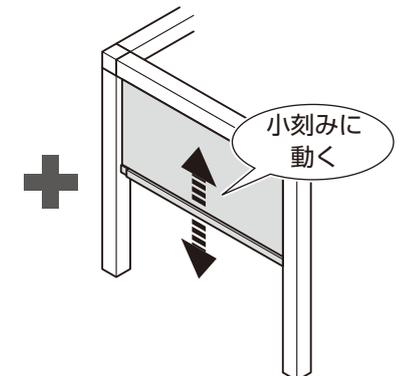
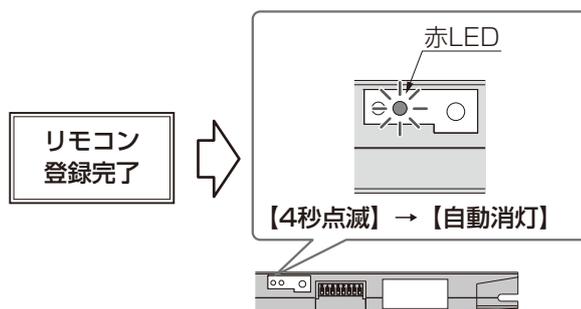


- 3: 登録するチャンネルの状態でもリモコンのプログラムボタンを約1秒間押す



お願い

- 登録が完了したら、赤LEDとロールスクリーンが動くことを確認してください。
- 上記はロールスクリーン1面分の手順になります。複数使用する場合は、各ロールスクリーンごとに同様の設定を行なってください。



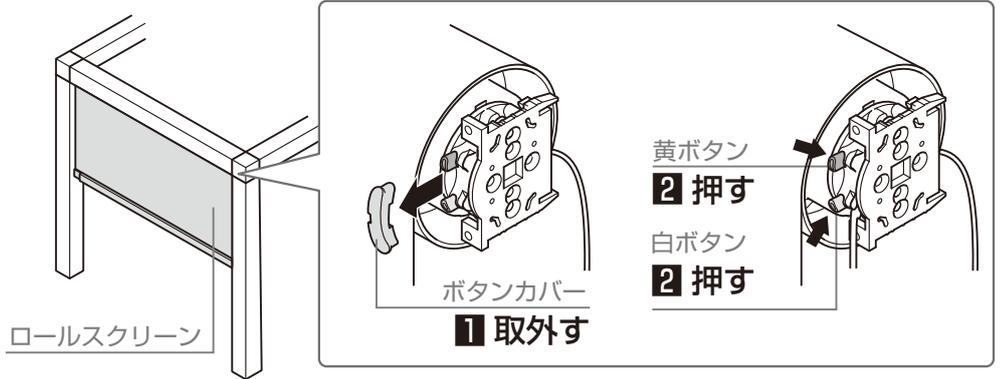
9-6 ロールスクリーンの調整

9-6-3 開閉リミット（限界）の調整

- 1: ロールスクリーンのボタンからボタンカバーを取外す
- 2: 黄ボタンと白ボタンを押す

補足

●両方のボタンを押し込むと、ロールスクリーンの上限・下限位置が設定できる状態になります。



(1) 上限（収納）位置の設定と登録

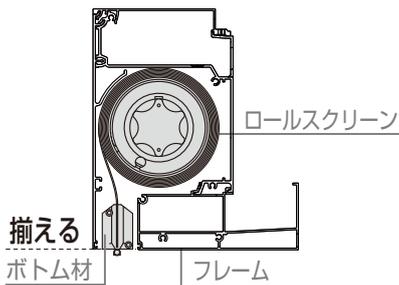
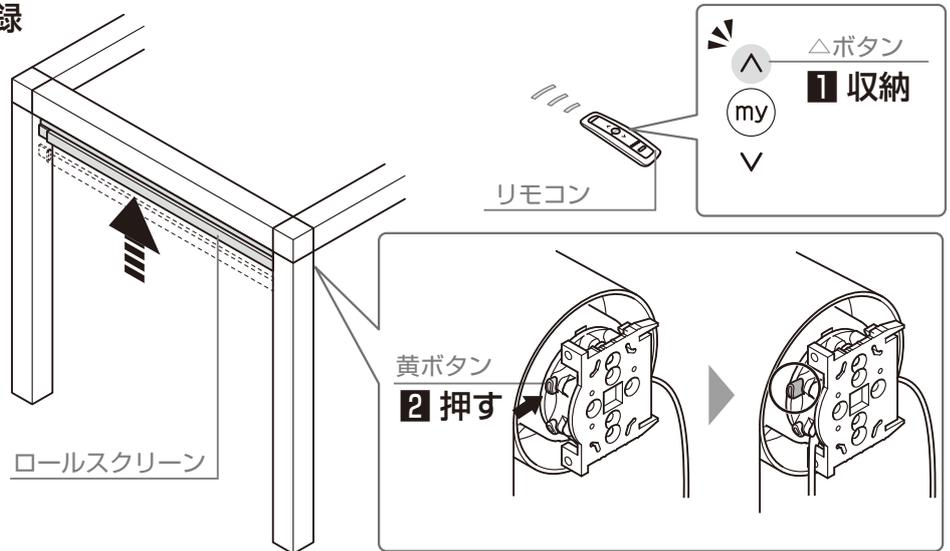
- 1: リモコンの△ボタンを押してロールスクリーンを収納
- 2: ロールスクリーン本体の黄ボタンを押す

補足

●黄ボタンを押した位置でロールスクリーンの上限位置が決定します。

お願い

●ロールスクリーンのボトム材下面とフレーム下面が揃う位置で設定をしてください。



9 オプションの施工

9-6 ロールスクリーンの調整

つづき

9-6-3 開閉リミット（限界）の調整

つづき

(2) 下限（張出し）位置の設定と登録

1: リモコンの▽ボタンを押してロールスクリーンを張出し

2: ロールスクリーン本体の白ボタンを押す

補足

●白ボタンを押した位置でロールスクリーンの下限位置が決定します。

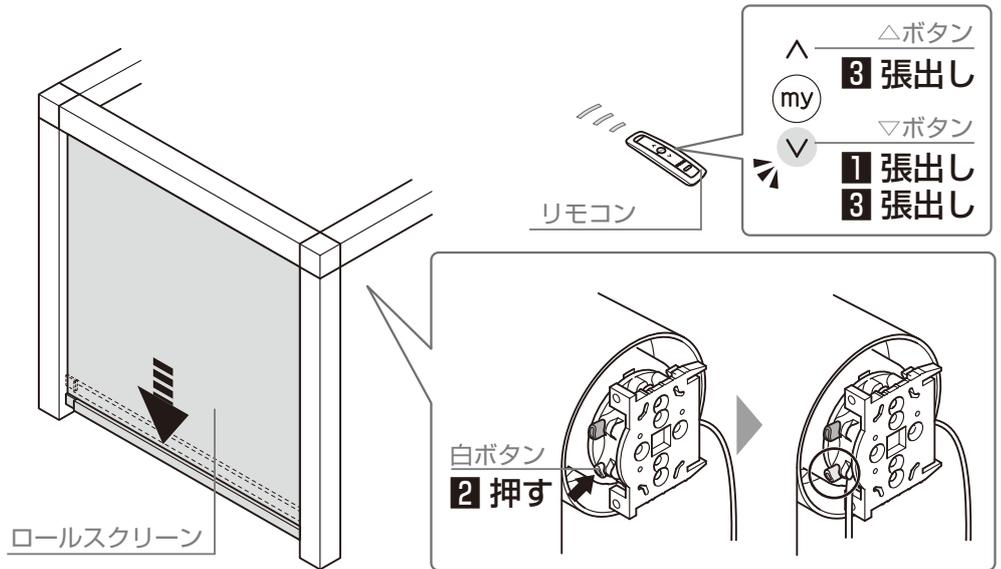
3: リモコンの△ボタンか▽ボタンを繰り返し押して、希望する下限位置にロールスクリーンを張出し(収納)

補足

●このとき、ロールスクリーンは5秒間しか動かせません。続けて動かす場合は、再度ボタン操作をしてください。

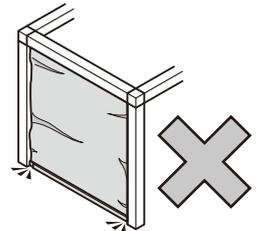
お願い

- 設定した位置でロールスクリーンが停止することを確認してください。
- 正しく設定されていない場合、(1)～(2)の手順をやり直してください。



お願い

●ロールスクリーンを張出しすぎると、ロールスクリーンがたわむ原因となります。



9-7 ロールスクリーンの仕上げ

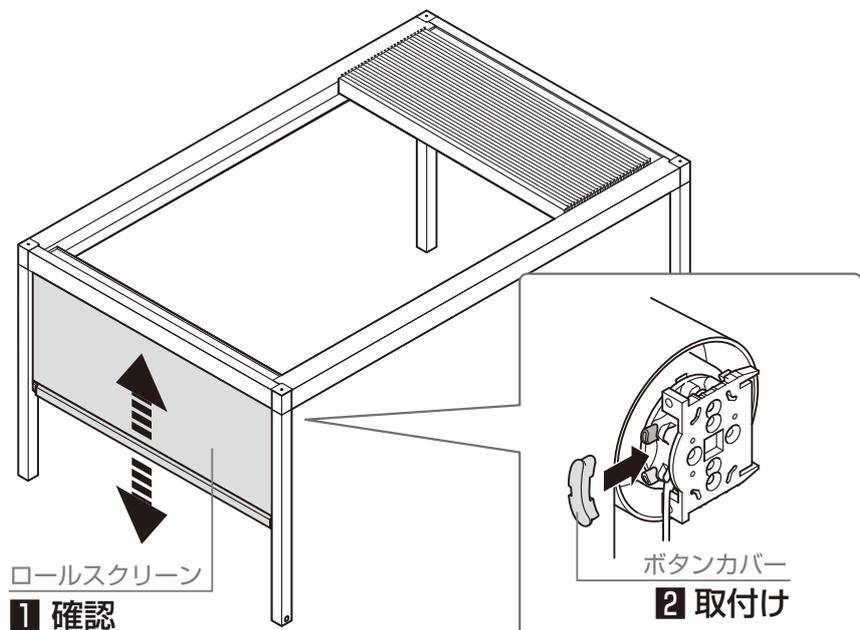
9-7-1 調整後の仕上げ

1: ロールスクリーンの動きを確認

お願い

- 設定した位置でロールスクリーンが停止することを確認してください。
- 正しく設定されていない場合、(1)～(2)の手順をやり直してください。

2: ボタンカバーをボタンに取付け



9-7 ロールスクリーンの仕上げ

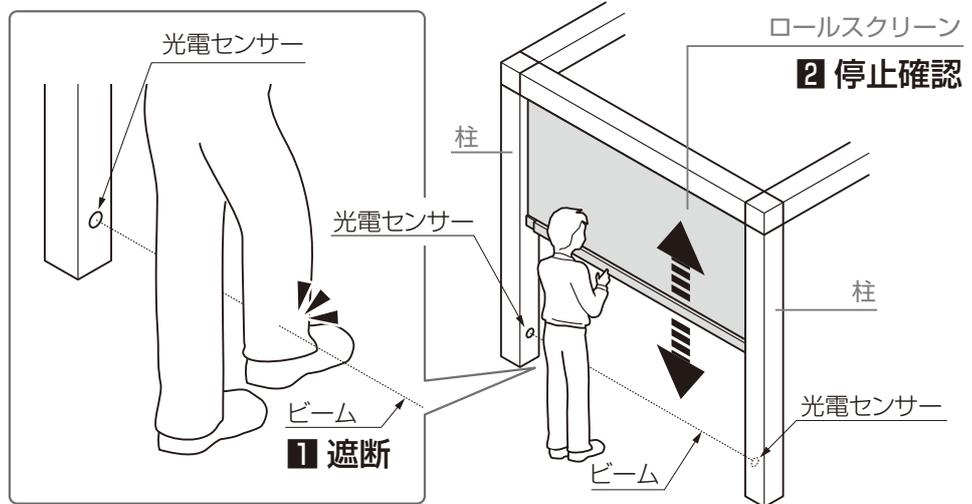
9-7-2 光電センサーの稼働確認

1: ロールスクリーンの上下作動中に、光電センサーのビームを遮断

お願い

●光電センサーの直線上に足を差し入れるなどして、光電センサーのビームを遮断してください。

2: ビーム遮断と同時に、ロールスクリーンの動作が停止することを確認



お願い

●ロールスクリーンが停止しなかった場合は、下記の箇所の接続、取付けが正しく行われているか確認してください。
 ・光電センサーケーブルの取回し、取付け→P.37~40
 ・センサーアンプ、モーターレシーバーの接続→P.112~115

9-7-3 ケーシングの仕上げ

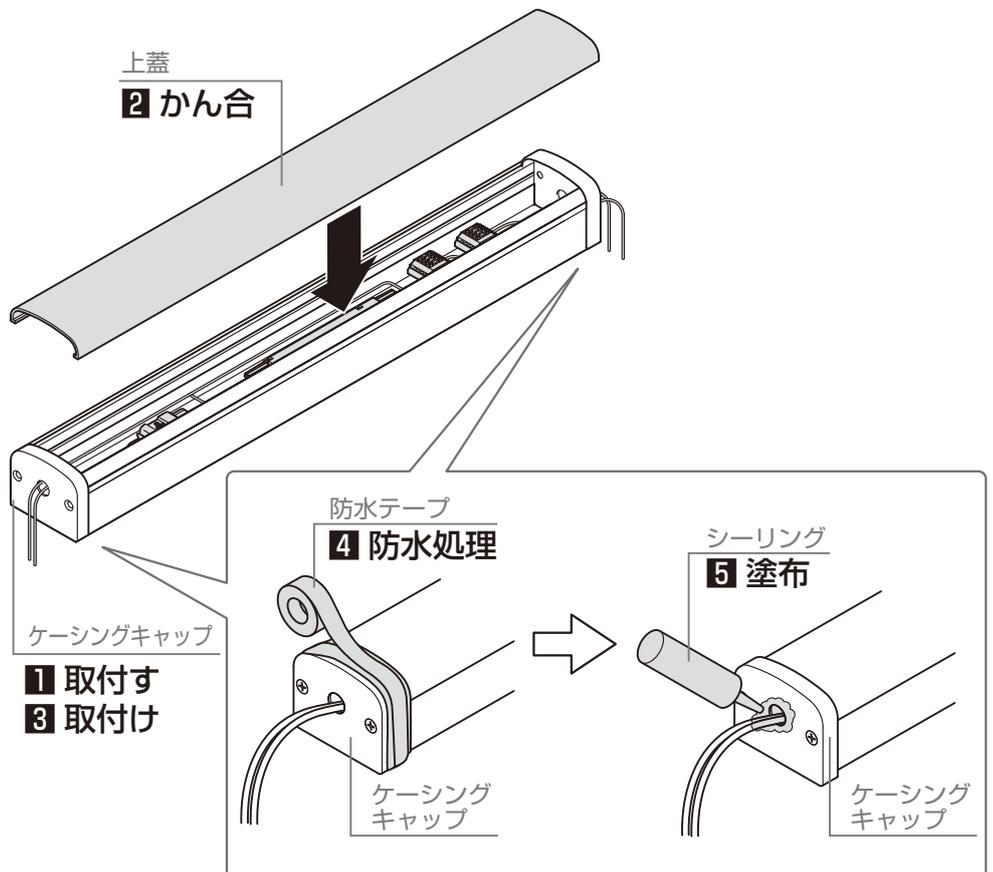
1: ケーシングキャップを取外す

2: 上蓋をケーシング本体にかん合

3: ケーシングキャップをケーシング本体に取付け

4: ケーシング本体とケーシングキャップの接合部を防水テープで防水処理

5: ケーシングキャップのケーブルを通す穴にシーリングを塗布



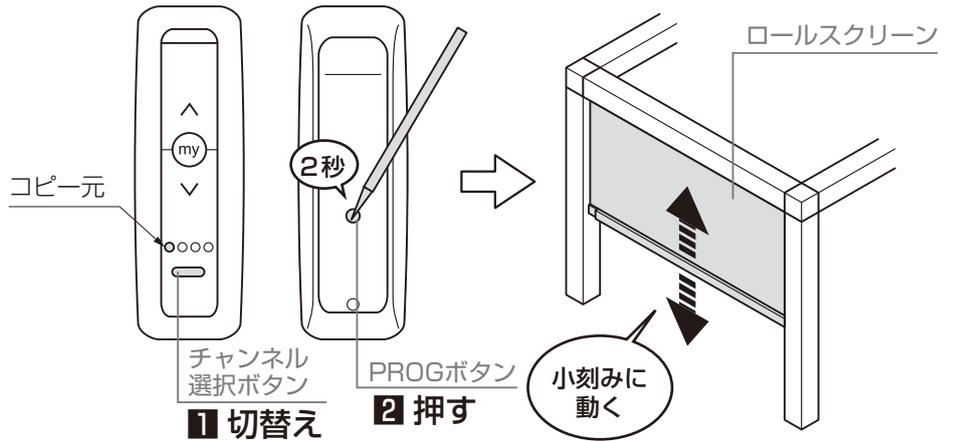
お願い

●ケーシングの上蓋の取付けは、レシーバーの接続や光電センサーの動作確認が完了してから行ってください。

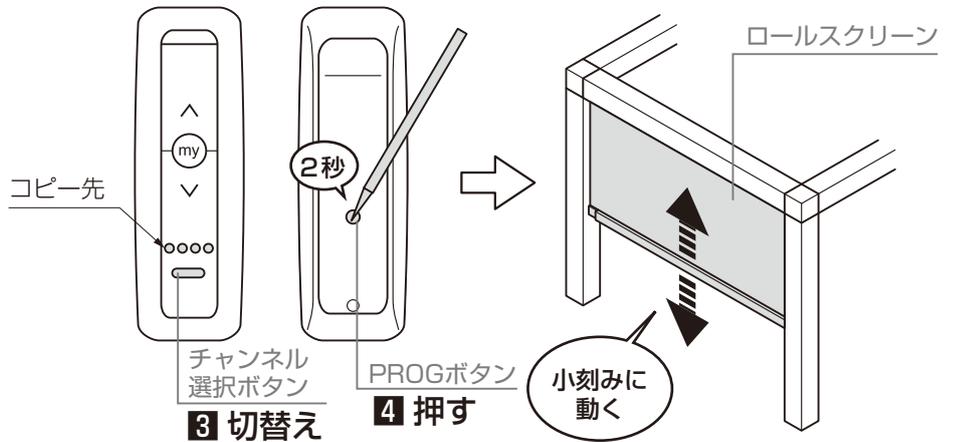
9-7 ロールスクリーンの仕上げ

9-7-4 一斉操作の設定

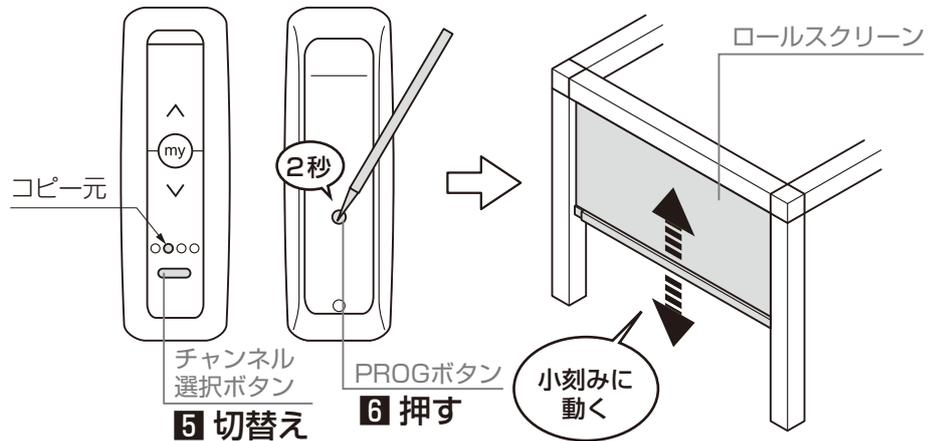
- ❶: コピーしたいチャンネルに切替え
- ❷: リモコンの背面にある「PROGボタン」を押す(2秒)



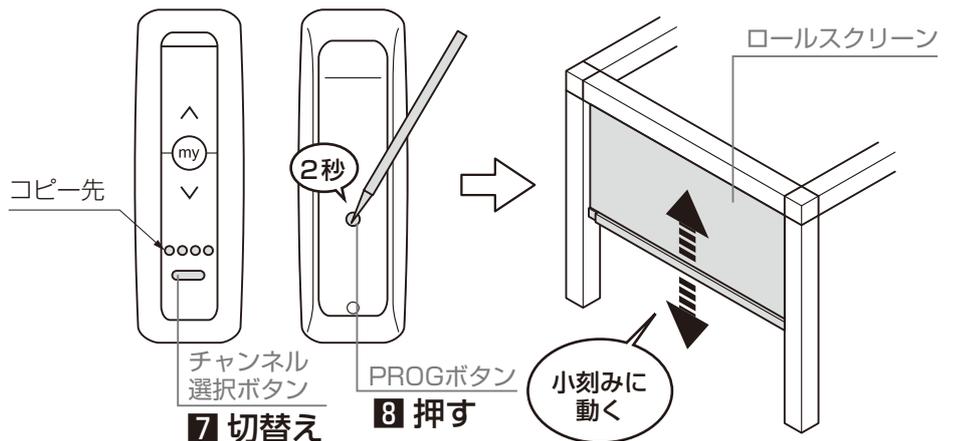
- ❸: コピー先のチャンネルに切替え
- ❹: リモコンの背面にある「PROGボタン」を押す(2秒)



- ❺: コピーしたいチャンネルに切替え
- ❻: リモコンの背面にある「PROGボタン」を押す(2秒)



- ❼: コピー先のチャンネルに切替え
- ❽: リモコンの背面にある「PROGボタン」を押す(2秒)



お願い

- 3面以降も登録する場合は❺～❽を繰り返してください。
- 一斉操作設定後、解除する場合は解除したいチャンネルを選択後、❺～❽を行なってください。

9-8 ガラスパネル取付けの事前準備 ※片開きの場合のみ

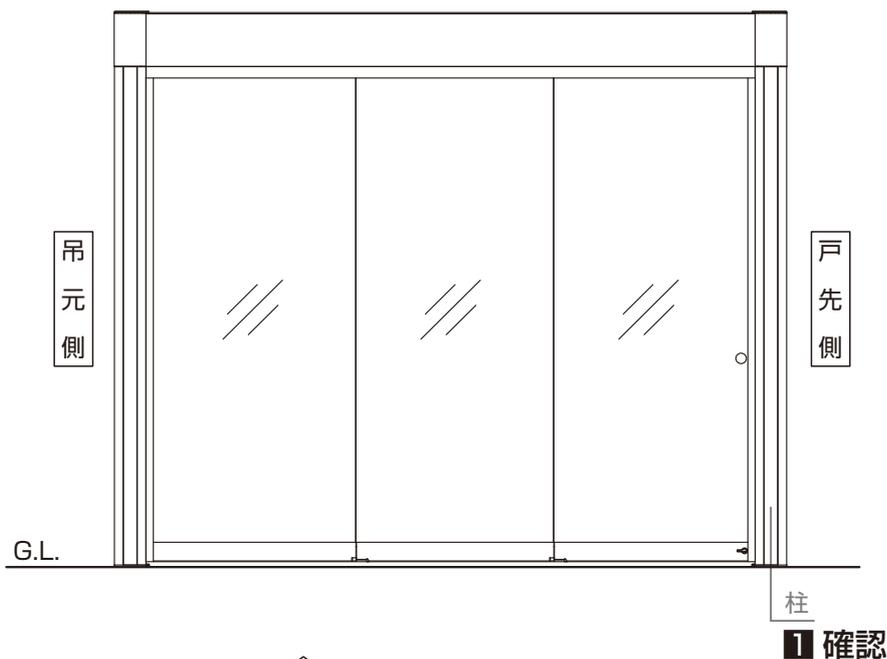
🔦 お願い

- ガラスパネルは本体がカバー類まで仕上げられた後で取付けられます。片開き仕様の場合、事前に以下の項目を実施してください。

1: 縦枠取付部材を取付ける柱を確認

🔦 お願い

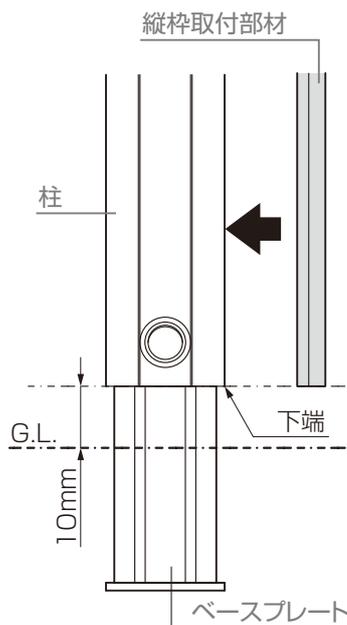
- ガラスパネルを設置する面の戸先側にあたる柱に取付けてください。



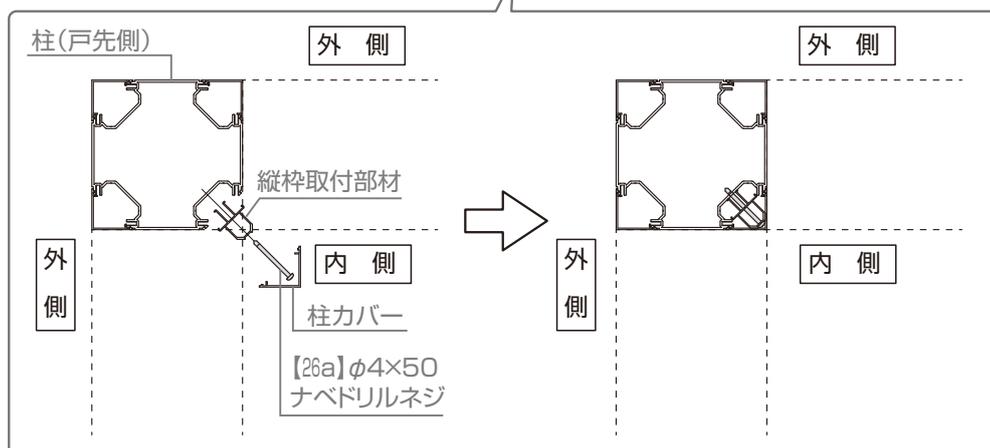
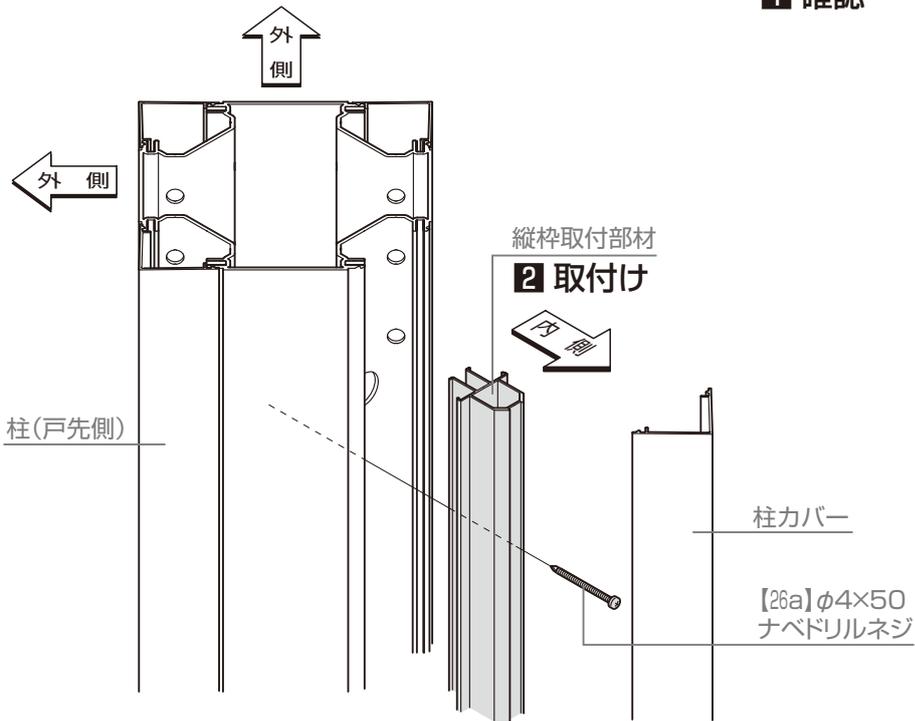
2: 縦枠取付部材を柱の内側柱カバー取付面に【26a】で取付け

🔦 お願い

- 縦枠取付部材は柱の下端に合わせて取付けてください。



- 【26a】がベース用スリーブに干渉する場合は、下穴(φ3.5)を貫通させてから固定してください。





10-1 フレームサイドカバーの取付け

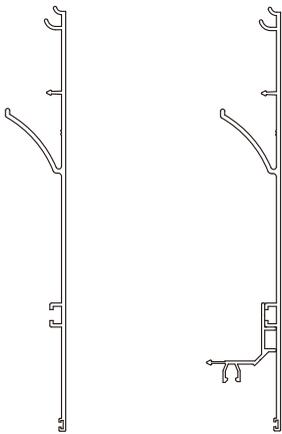
1: フレームサイドカバーを外枠にはめ込む

お願い

- カチッと音がするまでフレームサイドカバーを押し込んでください。
- フレームサイドカバーは、(進行側、収納側)、(左側、右側)すべてのフレームに取付けてください。
- フレームサイドカバーは2種類あります。取付け前に種類を確認してください。

▼ロールスクリーン用▼

▼通常用▼



- 通常用フレームサイドカバーをロールスクリーン側へ取付けると、ロールスクリーンが傷つくので注意してください。

2: フレームサイドカバーを手で叩いてかん合

お願い

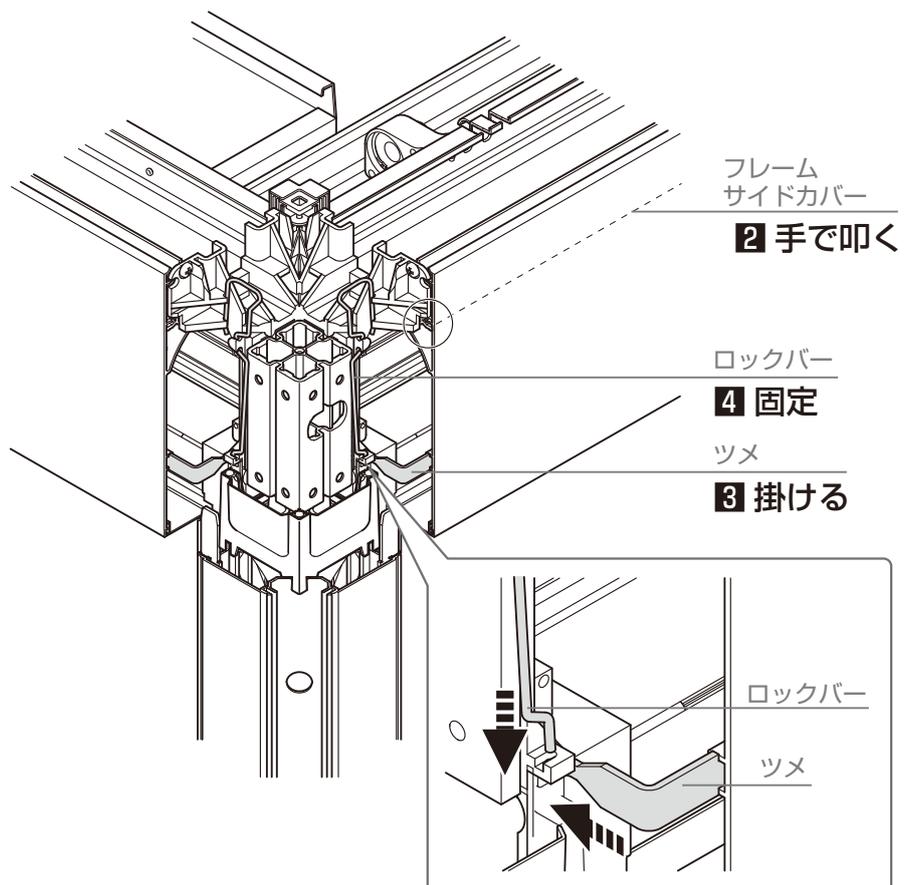
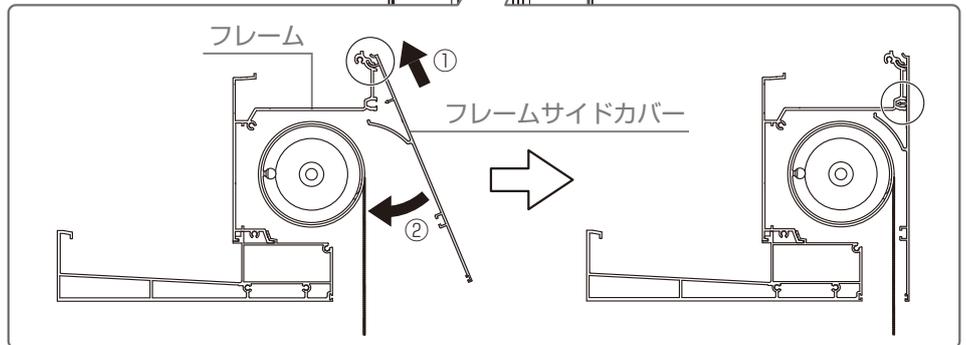
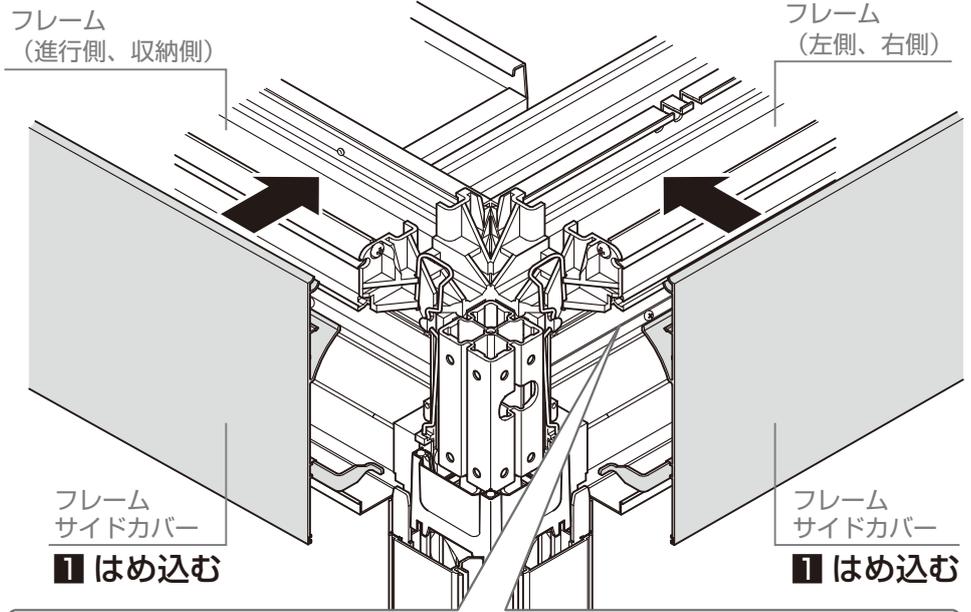
- フレームサイドカバーのかん合部分を手で叩いて、奥までしっかり取付けてください。

3: フレームサイドカバーのツメを引っ掛ける

4: ロックバーを下げて固定

お願い

- フレームサイドカバーの脱落を防止するため、確実にロックしてください。



10-2 トップカバーの取付け

お願い

●各種配線が正しく接続されているか確認してからトップカバーを取付けてください。

1: フレームトップカバー B(進行側、収納側)を、フレーム(進行側、収納側)に【23b】で取付け

2: フレームトップカバー B(左側、右側)とフレームトップカバー A(左側、右側)を、フレーム(左側、右側)に【23c】で取付け

補足

●フレームトップカバーB→フレームトップカバーAの順番でないと取付けられません。

お願い

●トップカバー(進行側、収納側)と干渉する場合は、トップカバー(左側、右側)の干渉する部分を、ヤスリなどで削って調整してください。

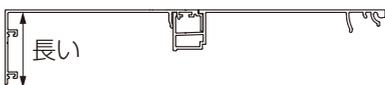
お願い 1

●トップカバーBを取付ける際に、各種配線を挟まないようにしてください。

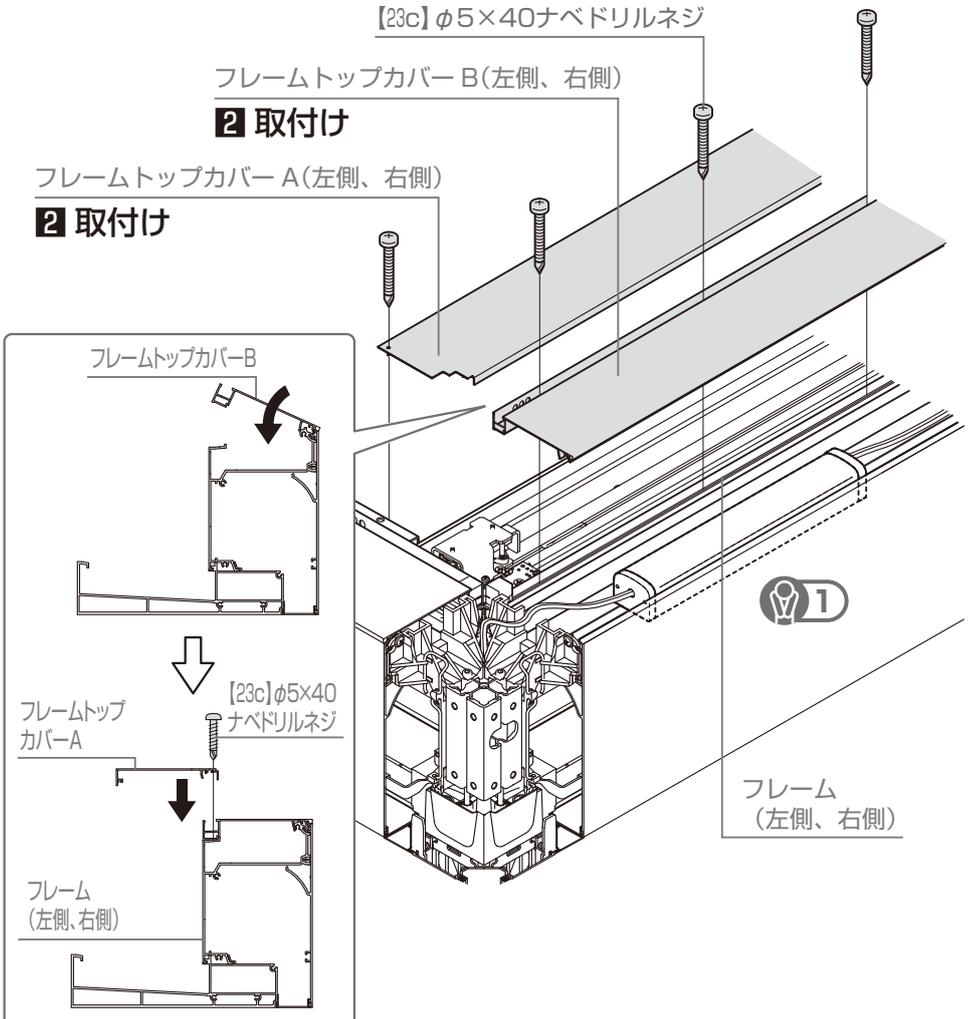
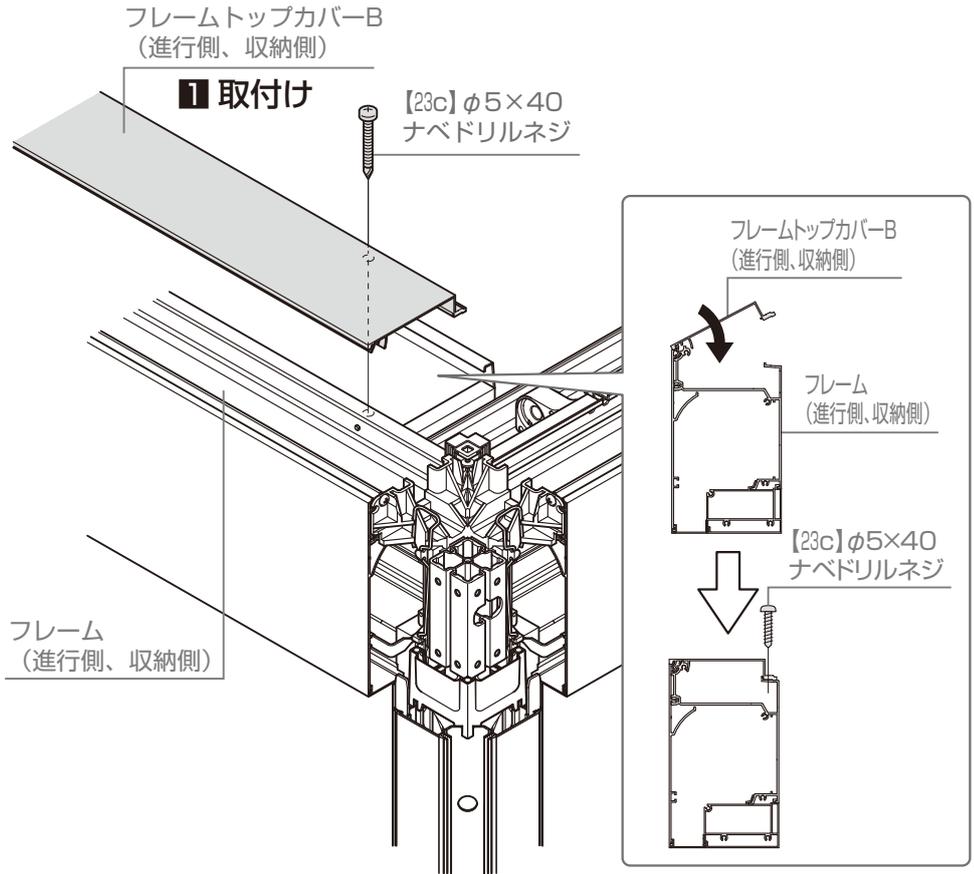
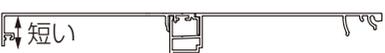
補足

●フレームトップカバーAは、水下用と水上用で形状が異なります。

▼ 水側側 ▼

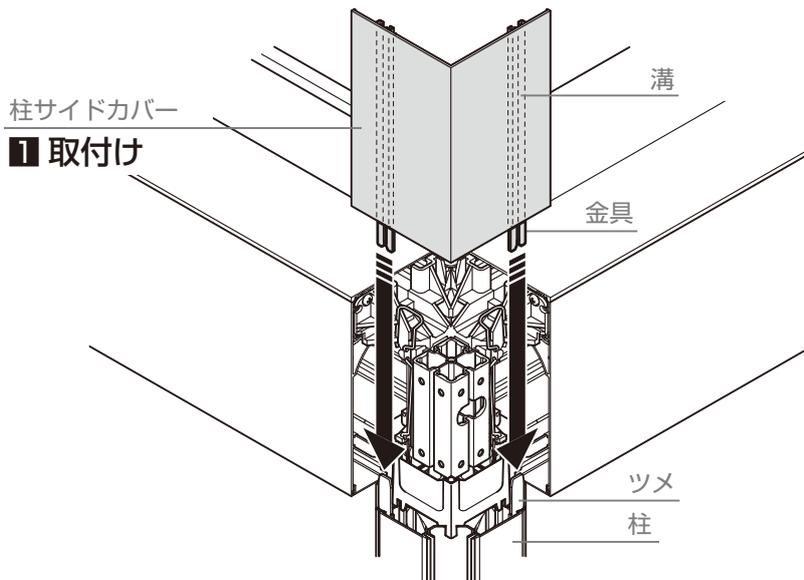


▼ 水上側 ▼



10-3 柱サイドカバーと柱キャップの取付け

1: 柱サイドカバーの金具を、柱のツメに上側からスライドして取付け

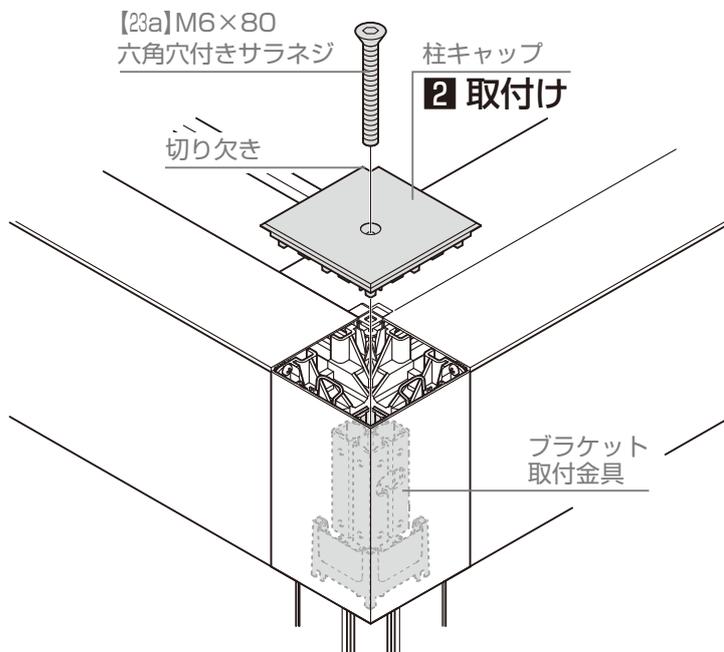


2: 柱キャップをブラケット取付金具に【23a】で取付け

お願い

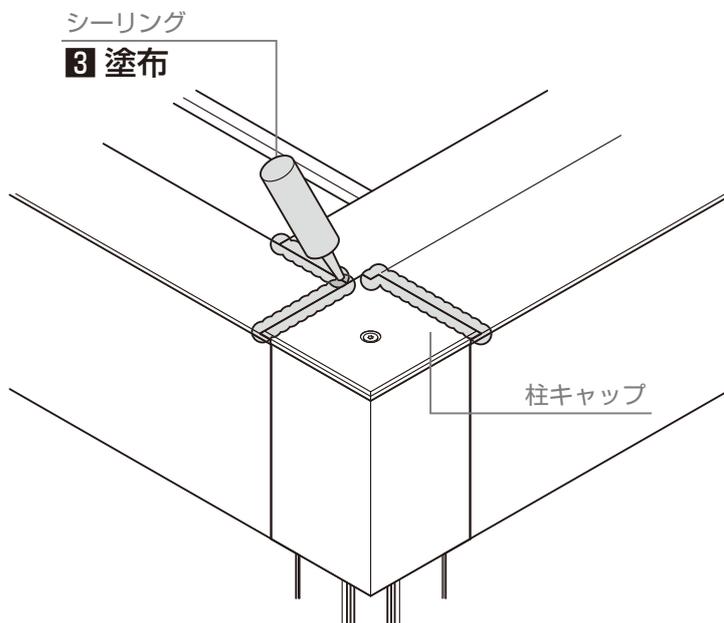
- 柱キャップの切り欠きが本体の内側を向くように取付けてください。
- 柱キャップ底面の歯を、柱サイドカバーの水路に差し込むようにして取付けてください。

【23a】M6×80
六角穴付きサラネジ 柱キャップ



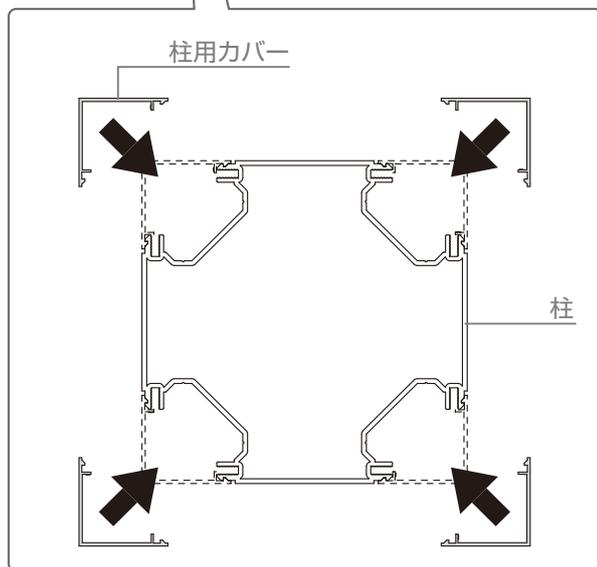
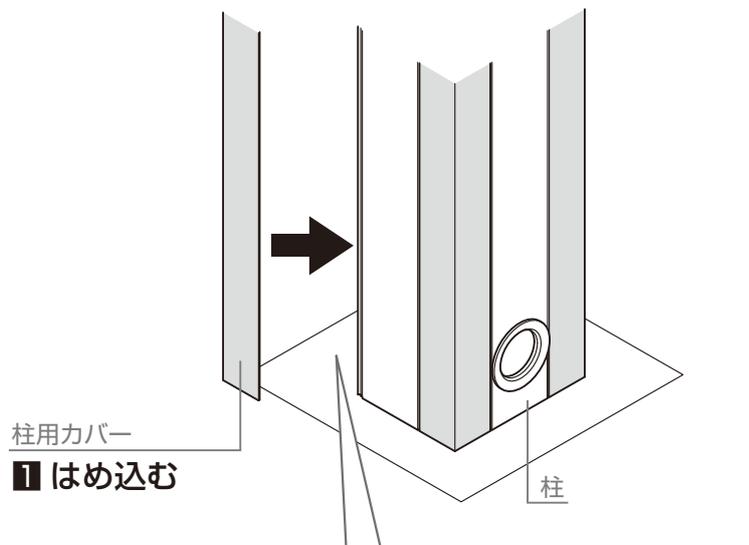
3: 柱キャップにシーリングを塗布

シーリング
3 塗布



10-4 柱カバーの取付け

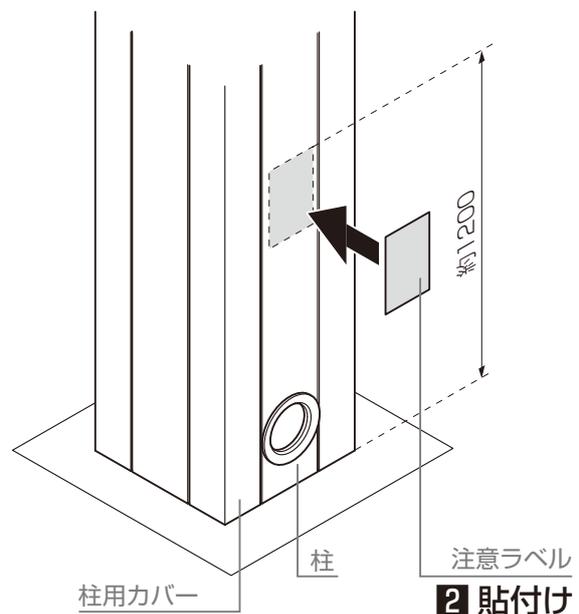
1: 柱用カバーを各柱の四隅にはめ込む



2: 注意ラベルを柱に貼付け

お願い
● 柱用カバーとの境界には貼付けないでください。

補足
● 注意ラベルは製品本体用に1枚、ロールスクリーン(オプション)用に1枚あります。

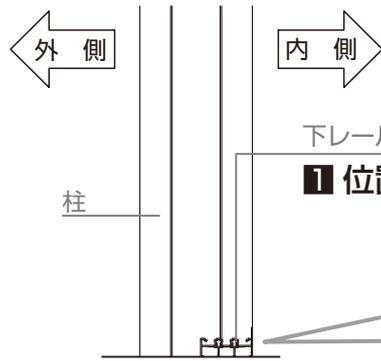




11-1 下レールの取付け

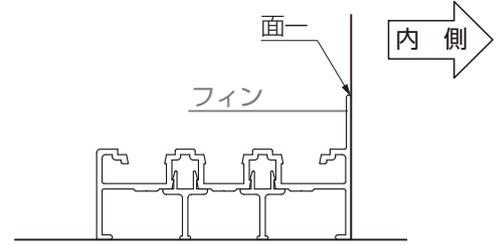
11-1-1 下レール取付け位置の確認

1: 下レールの取付け位置を確認



お願い

- 下レールベースのフィンが柱の内側側面に面一になるように取付けてください。



11-1-2 下レールベースの加工

1: 下レールベースに下部ストッパー取付金具用のφ3.5の下穴加工

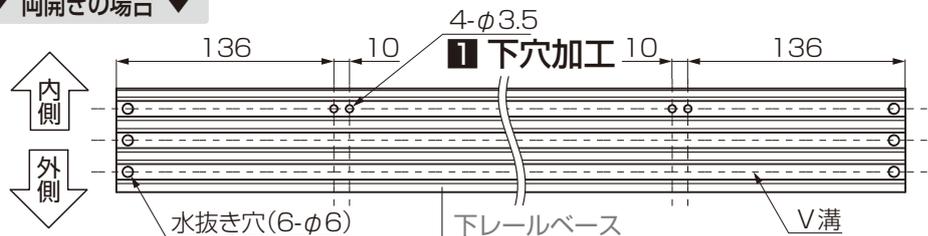
お願い

- 下部ストッパーの取付位置は両開き、片開きで異なります。P.131 | 11-1-9 | 下部ストッパーの取付け位置の確認で取付位置を確認してから加工してください。

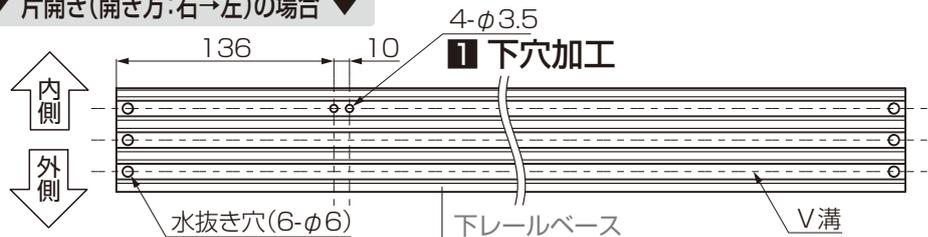
▼ 片開き(開き方:左→右)の場合 ▼

- 加工位置は左右反転します。

▼ 両開きの場合 ▼



▼ 片開き(開き方:右→左)の場合 ▼

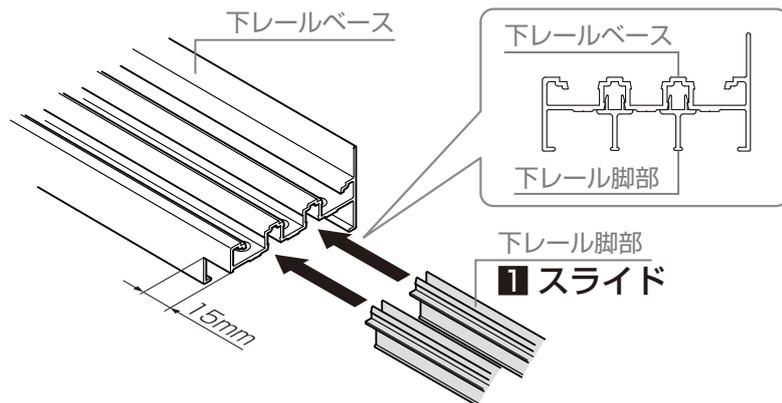
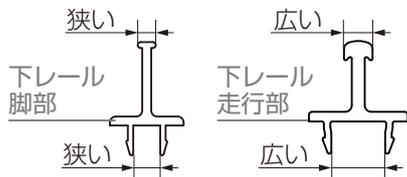


11-1-3 下レールの組立て

1: 下レール脚部を下レールベースにスライドして取付け

お願い

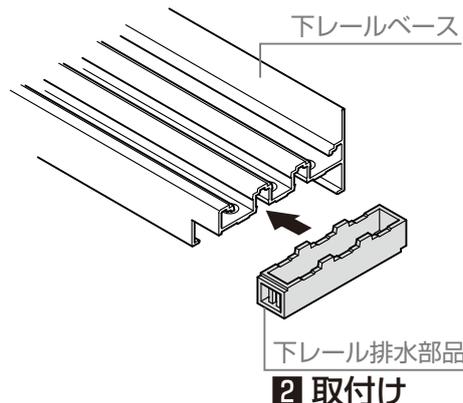
- 下レール脚部と下レール走行部の形状が似ているため、十分に確認してから下レールベースに取付けてください。



補足

- 下レール脚部は両開きの場合1列に2本、片開きの場合1列に1本を取付けてください。
- 下レールベースの両端から15mmずつあけた位置に下レール脚部の端部を合わせてください。

2: 下レールベース両端の切り欠き位置に合わせて下レール排水部品を取付け



お願い

- 下レール排水部品の上面にシーリングをしてから取付けてください。



11-1 下レールの取付け

●ガラスパネルに施工後に床の仕上げ(土間・タイル等)を行わない場合は以下を実施してください。

11-1-4 下レールベース固定用の穴加工 ※土間・タイル仕上げを行わない場合

1: 下レールベースを取付位置に仮置き

2: 下レールベース固定用の穴(φ5)位置を基準に、土間にφ6深さ40mmの穴あけ

補足

●下レールベースの両端にあけられたφ6の穴加工(計6個)は、水抜き用になります。固定用の穴加工とは異なるので注意してください。

3: 下レールベースを取り外し、土間にあけた穴に[26b]を差込む

11-1-5 下レールの取付け ※土間・タイル仕上げを行わない場合

1: 組み立てた下レールを取付位置に置き、[26c]で埋設したフィッシャープラグに取付け

2: 下レール端部と柱の突き合わせ部分にシーリングを塗布

11 ガラスパネルの施工

11-1 下レールの取付け

つづき

●ガラスパネルに施工後に床の仕上げ(土間・タイル等)を行なう場合は以下を実施してください。

お願い

●柱との位置関係はP.14 |1-7-3| ガラスパネルを設置後、土間・タイル仕上げを行う場合 を参照してください。

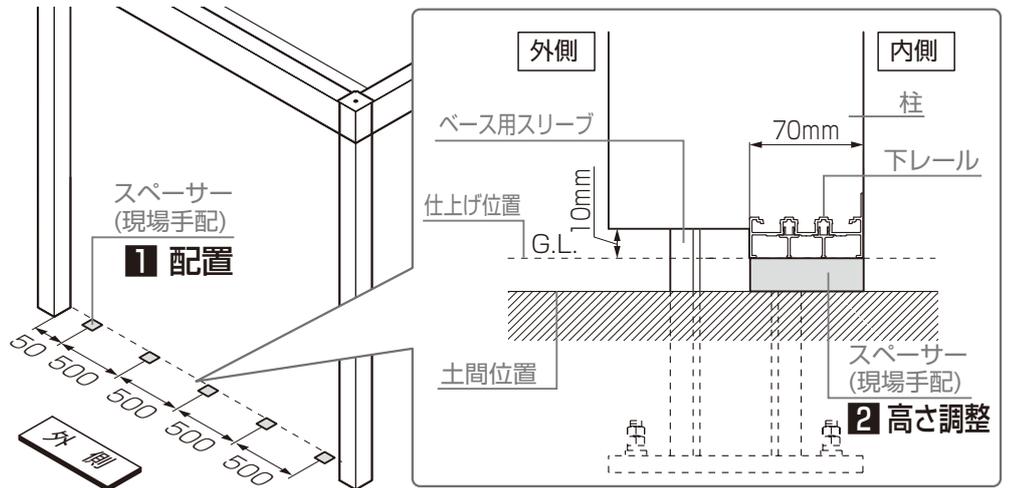
11-1-6 | スペースの配置

1: 下レールの取付け位置に約500mm 間隔でスペーサーを配置

2: 1で配置したスペーサーがG.L.と 同様に高さを調整

お願い

- スペーサーはG.L.～土間の距離を 検証して、必要数を現場手配して ください。
- スペーサーは下レールの幅 (70mm以内) におさめて配置し てください。

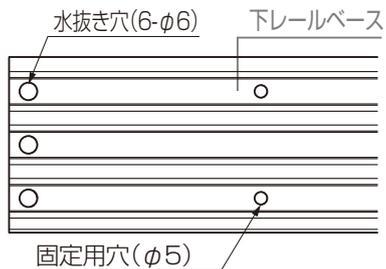


11-1-7 | 下レールの取付け

1: 組み立てた下レールを取付位置(ス ペーサーの上)に置き、下レールベ ース固定用の穴(φ5)位置を基準に して、土間にφ3.4の穴あけ

補足

●下レールベースの両端にあけられ たφ6の穴加工(計6個)は、水抜き 用になります。固定用の穴加工と は異なるので注意してください。

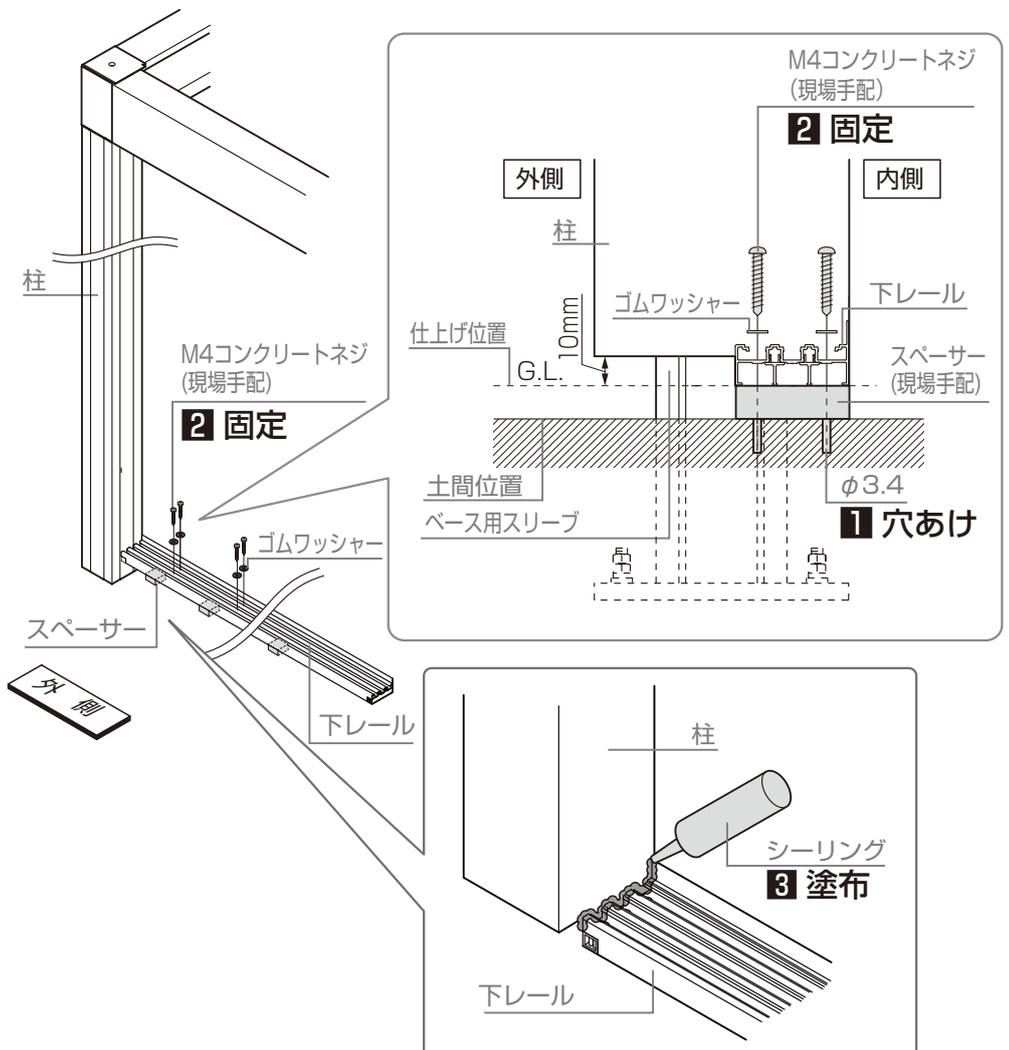


2: 下レールベース固定用の穴(φ5)位 置を基準にして、下レールをM4の コンクリートネジで固定

お願い

- M4のコンクリートネジは現場手 配してください。
- M4のコンクリートネジの長さは スペーサーの高さを考慮して検証 してください。

3: 下レール端部と柱の突き合わせ部に シーリングを塗布



11-1-8 施工寸法の計測と下レールの水平確認

お願い

- 図4-1、2に従って、フレームと下レール間の寸法を約1m間隔で測定し、表4-1の測定値の範囲内であることを確認してください。プラス側に外れている場合は、下レールの下にスペーサーを入れるなどして調整してください。
※ガラスパネルを複数面設置する場合も、全て同様に寸法計測と調整を行なってください。

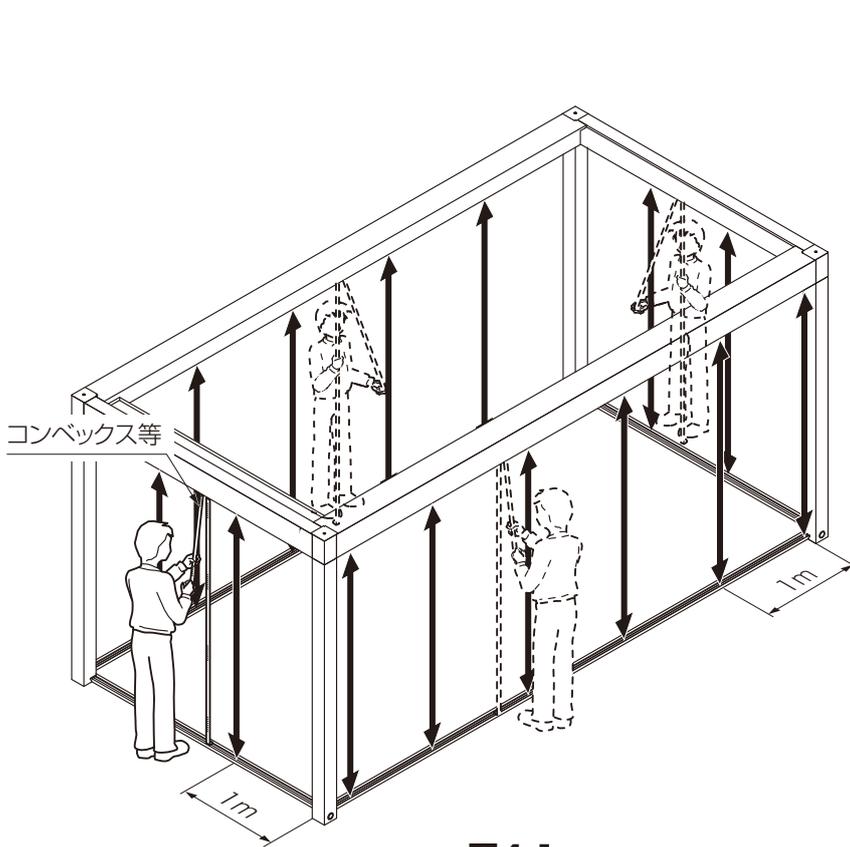


図4-1

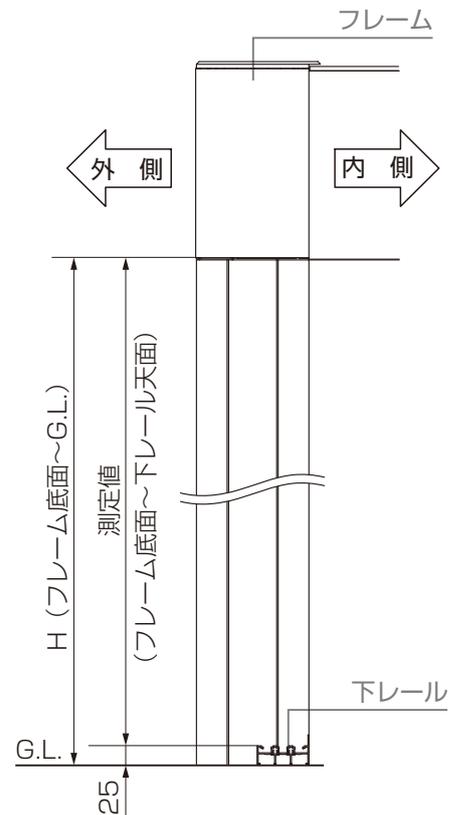


図4-2

●表4-1

	測定値	基準値
H任意	H-26 _{mm} ~ H-24 _{mm}	H-25 _{mm}
H2400	2374~2376	2375
H2300	2274~2276	2275
H2200	2174~2176	2175
H2100	2074~2076	2075
H2000	1974~1976	1975

お願い

- 下レールは水糸などを使用して水平になるように調整してください。
床の状態に合わせて、下レールの下にスペーサーを入れるなどの調整をしてください。

11-1 下レールの取付け

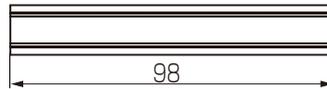
11-1-9 下部ストッパーの取付け位置の確認

お願い

- 下レールカバー、下部ストッパーの位置に注意してください(両開き、片開きともに内側のレールに取付けます)。
- 片開きの場合、開く方向によって取付け位置が異なります。
 - ・開き方 右→左：左寄せ
 - ・開き方 左→右：右寄せ ※外側から見た場合

補足

- 下レールカバー（先導扉用）は全サイズ共通の長さになります。

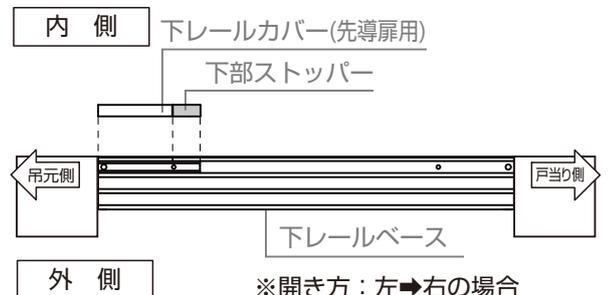


11 ガラスパネルの施工

▼両開きの場合▼



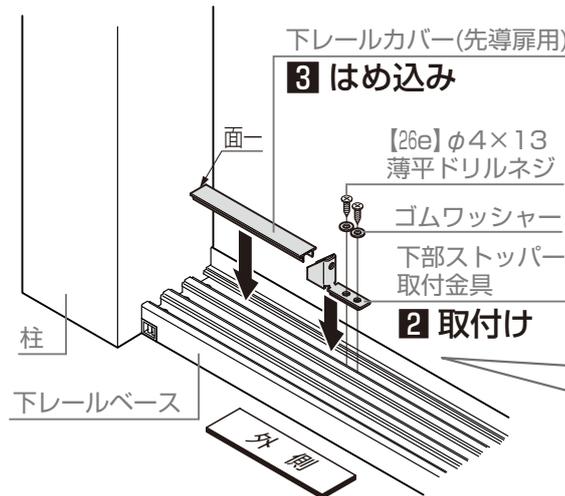
▼片開き（開き方：右→左）の場合▼



※開き方：左→右の場合
取付け位置は左右反転します。

11-1-10 下部ストッパーの取付け

- 1: 下部ストッパー取付金具パッキンの両面テープの離型紙をはがし、下部ストッパー取付金具に貼付け
- 2: 下レールベースの【11-1-2】下レールベースの加工で加工した位置に下部ストッパー取付金具をゴムワッシャーと【26e】で取付け
- 3: 下レールカバー(先導扉用)を下レールベースにはめ込み

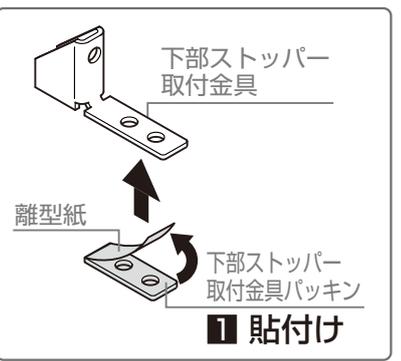


3 はめ込み

【26e】φ4×13
薄平ドリルネジ

ゴムワッシャー
下部ストッパー
取付金具

2 取付け

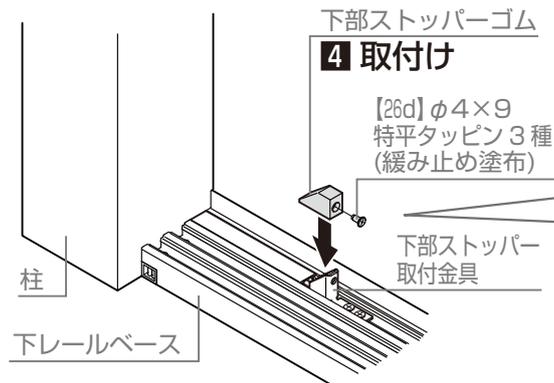


1 貼付け

- 4: 下部ストッパーゴムを下部ストッパー取付金具に【26d】で取付け

お願い

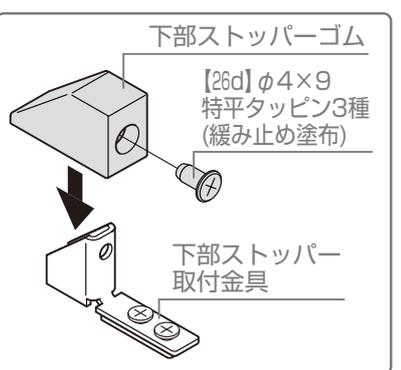
- 下部ストッパーゴムをネジで固定する際、ネジの締めすぎに注意してください。
ネジを締めすぎると下部ストッパーゴムが変形するおそれがあります。



4 取付け

【26d】φ4×9
特平タッピン3種
(緩み止め塗布)

下部ストッパー
取付金具



下部ストッパーゴム
【26d】φ4×9
特平タッピン3種
(緩み止め塗布)

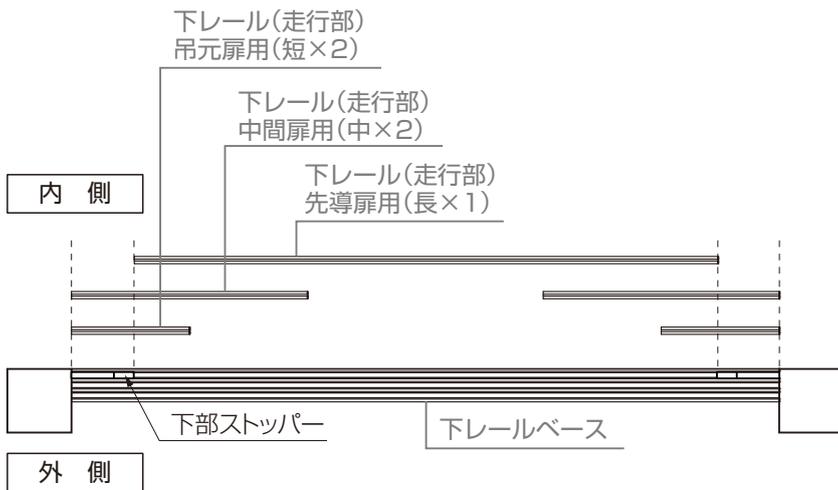
11-1 下レールの取付け

11-1-11 下レール(走行部)の取付け位置の確認

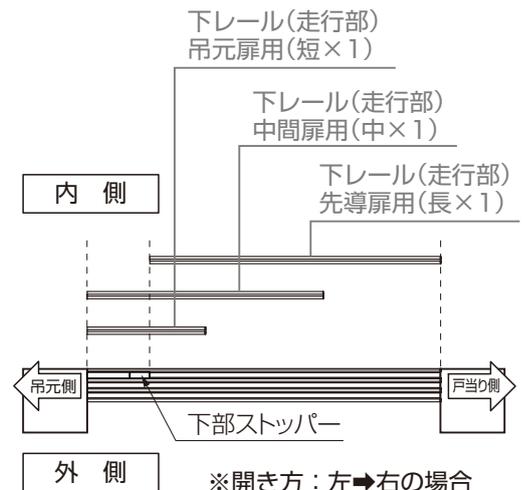
お願い

- 下レール(走行部)の設置位置に注意してください。
- 片開きの場合、開く方向によって走行部の位置が異なります。
 - ・開き方 右→左：走行部は左寄せ
 - ・開き方 左→右：走行部は右寄せ ※外側から見た場合

▼両開きの場合▼



▼片開き (開き方：右→左) の場合▼



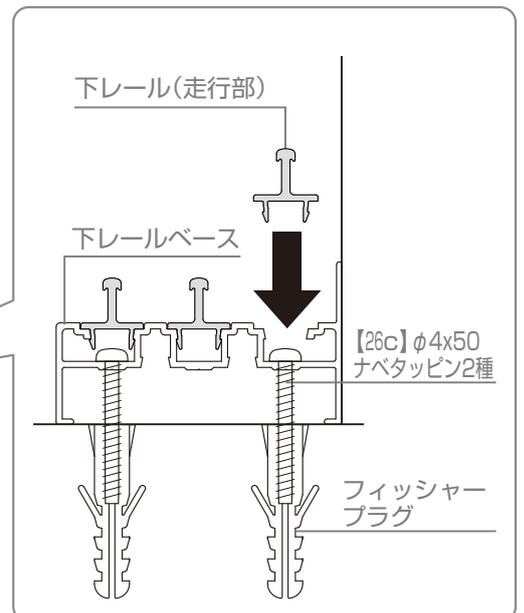
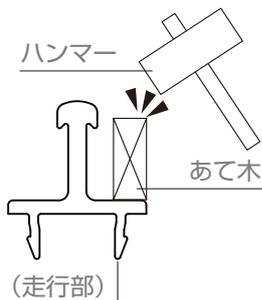
※開き方：左→右の場合
取付け位置は左右反転します。

11-1-12 下レール(走行部)の取付け

1: 下レール(走行部)を下レールベースに取付け

お願い

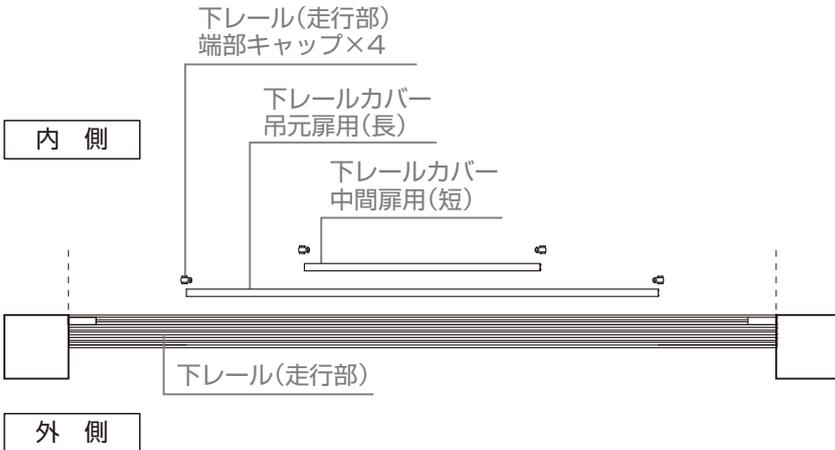
- 先導扉用は端部を下部ストッパーに突き当たった位置に合わせてはめ込んでください。
- 中間扉用、吊元扉用は端部を柱に突き当たった位置に合わせてはめ込んでください。
- 下レール(走行部)をはめ込む際は、走行部の頭を避けて必ず当て木をしてハンマーなどでたたいて取付けてください。



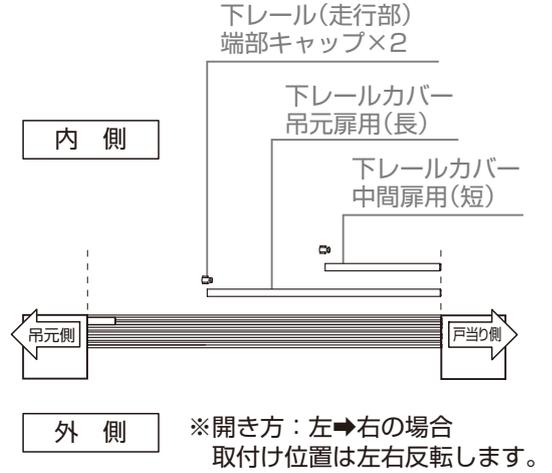
11-1 下レールの取付け

11-1-13 下レールカバー取付け位置の確認

▼両開きの場合▼



▼片開きの場合▼



11 ガラスパネルの施工

11-1-14 下レールカバー取付け

1: 下レール端部部品パッキンの両面テープの離型紙をはがして、下レール端部部品に貼付け

2: 下レール端部部品を下レールベースに【26e】で取付け

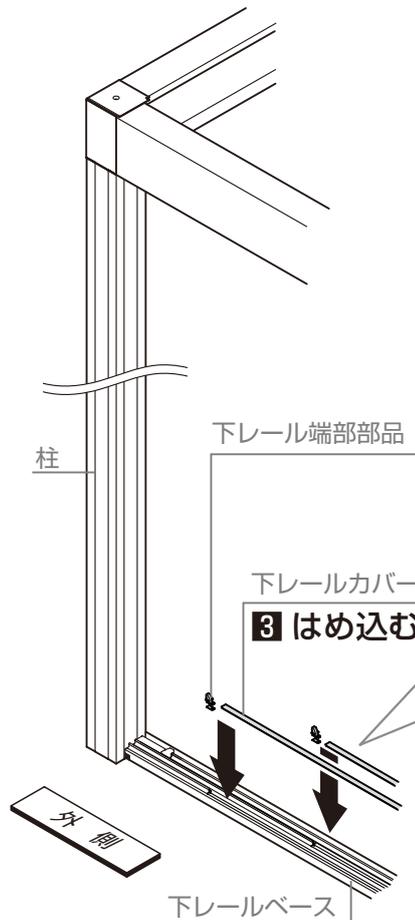
お願い

- 下レール端部部品の平面部を走行部の小口面に突き当てた位置に取付けてください。

3: 下レールカバーを下レールベースにはめ込む

お願い

- 下レールカバーをはめ込む際は必ずあて木をし、ハンマーなどでたたいて取付けてください。





11-2 上レールの取付け

11-2-1 上部ストッパー取付け用の穴加工

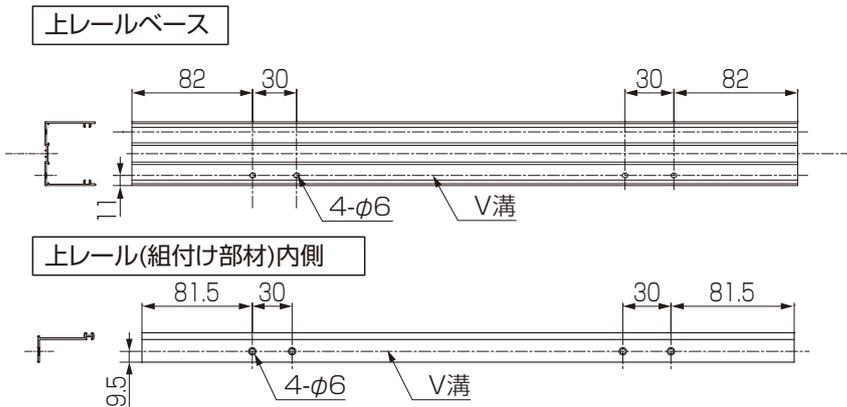
お願い

- 上レールベース、上レール（組付部材）にそれぞれ穴加工を行なってください。
- 両開き、片開きともに組付け時に内側に穴加工がくるように位置を決めてください。
- 片開きの場合は開く方向によって加工位置の左右が異なるため注意してください。

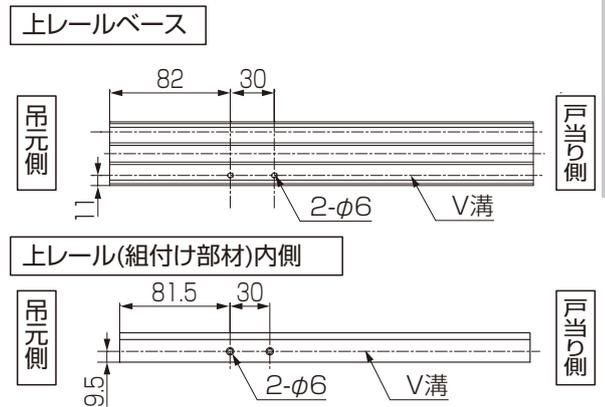
補足

- 加工穴は「11-2-5|上部ストッパー(先導扉用)の取付け」で使用します。

▼両開きの場合▼



▼片開き(開き方:右→左)の場合▼



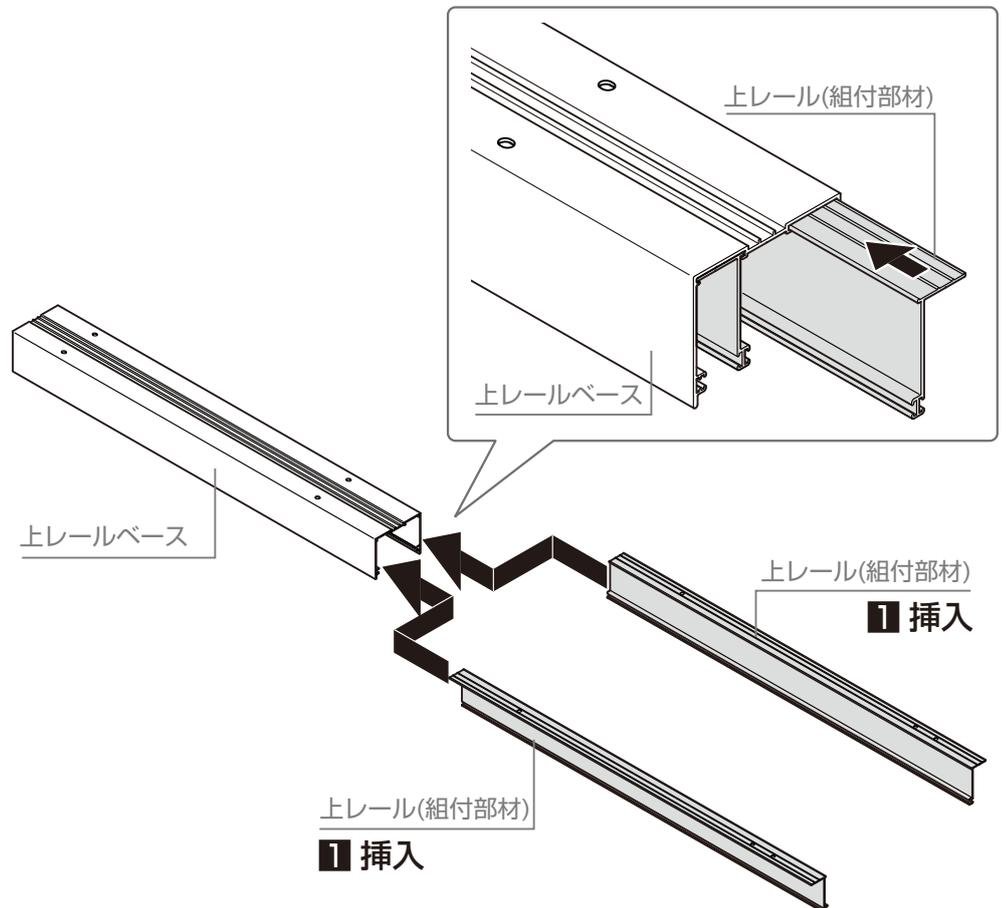
※開き方：左→右の場合
加工位置は左右反転します。

11-2-2 上レールの組立て

- 1: 上レール(組付部材)を上レールベースに挿入

お願い

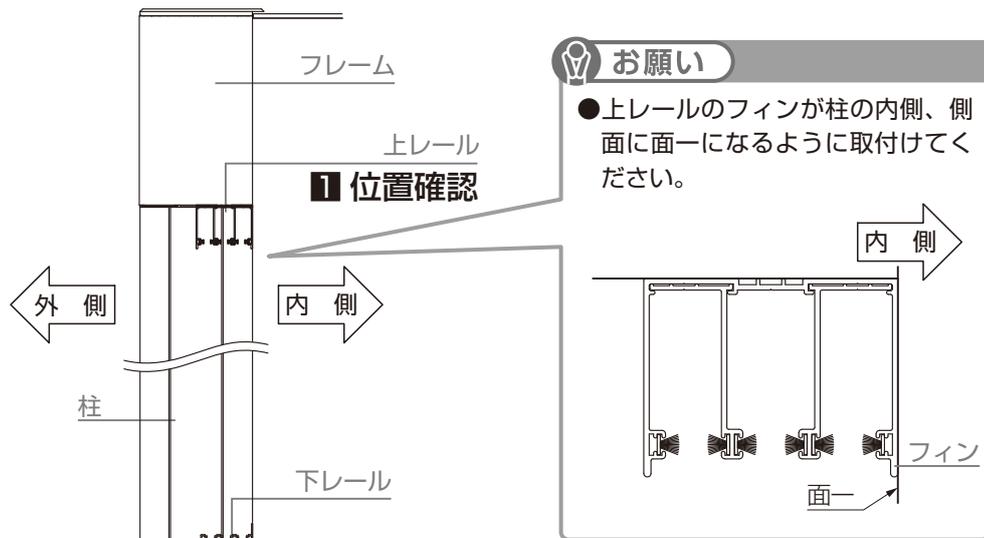
- 上レールベースと上レール（組付部材）の穴加工の位置を合わせて組立ててください。



11-2 上レールの取付け

11-2-3 上レール取付け位置の確認

1: 上レールの取付け位置を確認



11-2-4 上レールの取付け

1: 上レールを取付け位置に合わせ、両端4カ所の固定用穴を基準に取付面(フレーム)にφ3.5の下穴加工

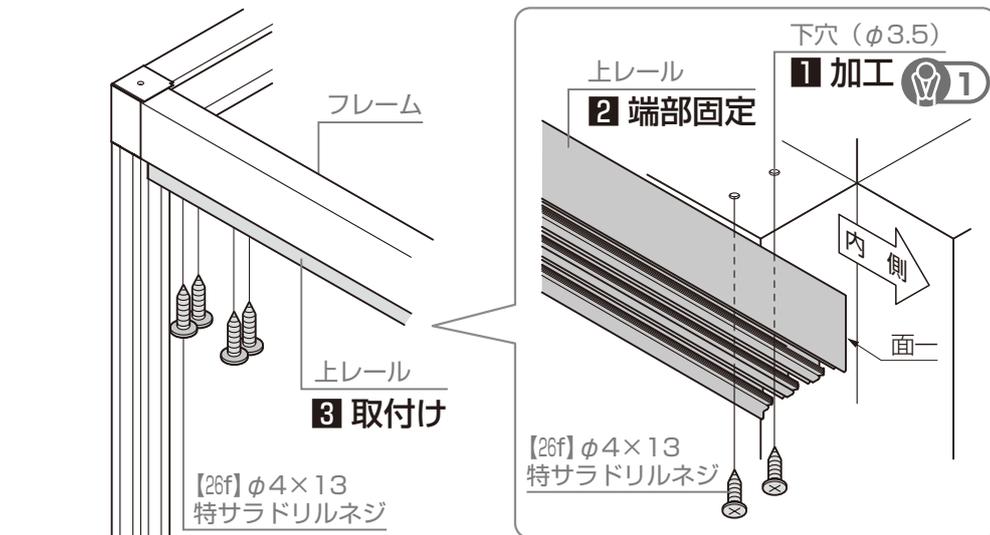
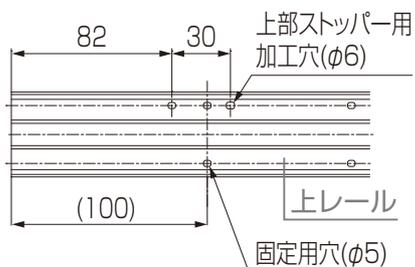
2: 下穴をあけた場所と上レールを【26f】で固定

3: 上レールの全ての固定用穴を【26f】で取付け

お願い

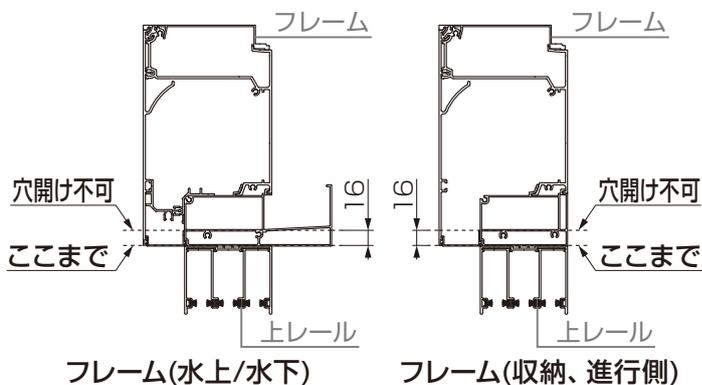
●上レールは3部材で構成されています。取付けの際は固定用穴の位置をそろえてズレのないように取付けてください。

●11-2-1| 上部ストッパー取付け用の穴加工で加工した上部ストッパー用の穴は、固定用の穴加工とは異なるので注意してください。

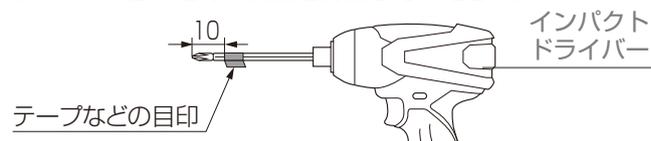


お願い 1

●下穴を深くまで開けると雨漏れの原因となります。表面の1枚のみに下穴加工をしてください。



●ドリルに目印を付け貫通を防止してください。



11-2 上レールの取付け

11-2-5 上部ストッパー（先導扉用）の取付け

1: 取付け穴の位置を確認

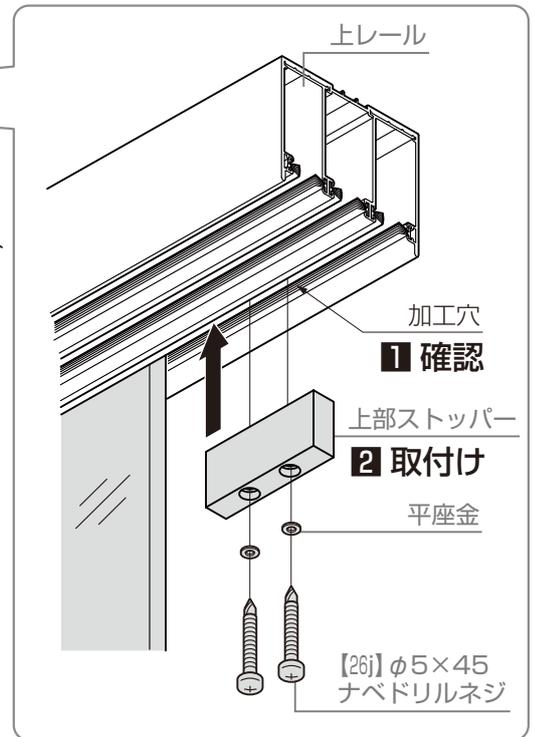
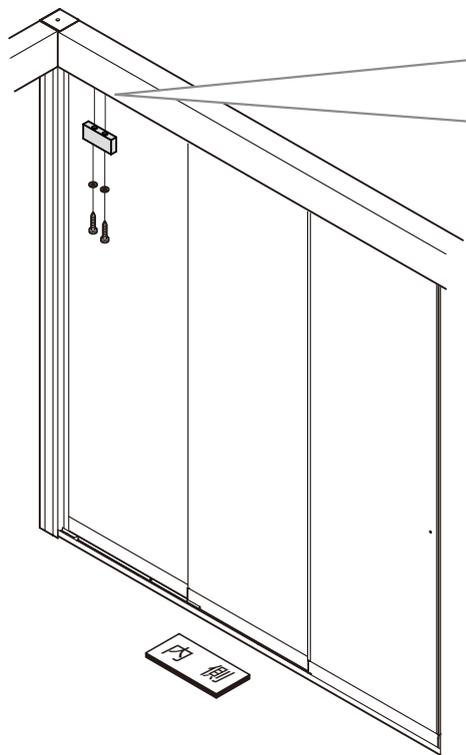
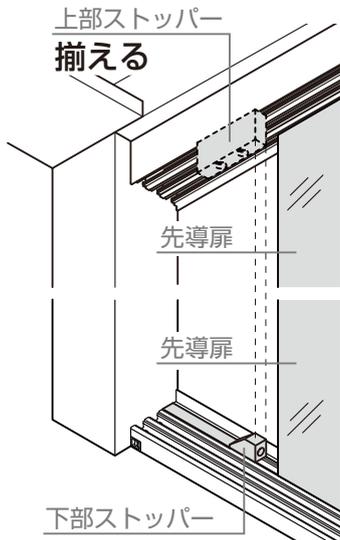
お願い

- 11-2-1 上部ストッパー取付け用の穴加工で上レールに加工した穴の位置を確認してください。

2: 上部ストッパーを上レールの先導扉レールに平座金と【26j】で取付け

お願い

- 上部ストッパー（先導扉用）の取付け位置は、扉を全開にしたときに先導扉吊元側が下部ストッパーと同時に当たる位置になります。
- 正しい取付け位置かどうか確認してください。





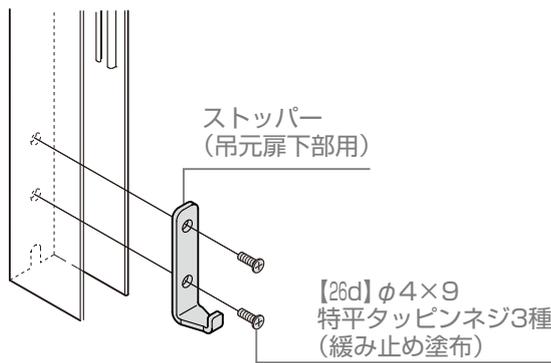
11-3 縦枠の取付け

11-3-1 縦枠取付け位置の確認

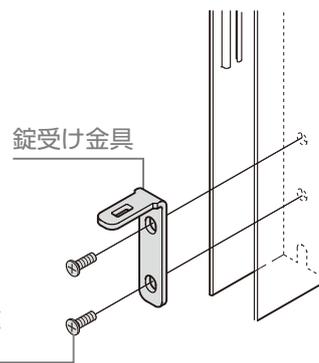
お願い

- 縦枠を切断する時は、上部から切詰めてください。
- 取付け前に縦枠へ部品の組み付けを行なってください。
- 開き方の仕様によって縦枠の取付け位置が異なるので注意してください。吊元用は外側の走行部に、戸先用は内側の走行部に取付け位置を合わせてください。
 ※両開きの場合、吊元用のみ（2本）になります。
- 片開きの場合、吊元側、戸先側でストッパーの形状が異なります。確認したのち取付けてください。

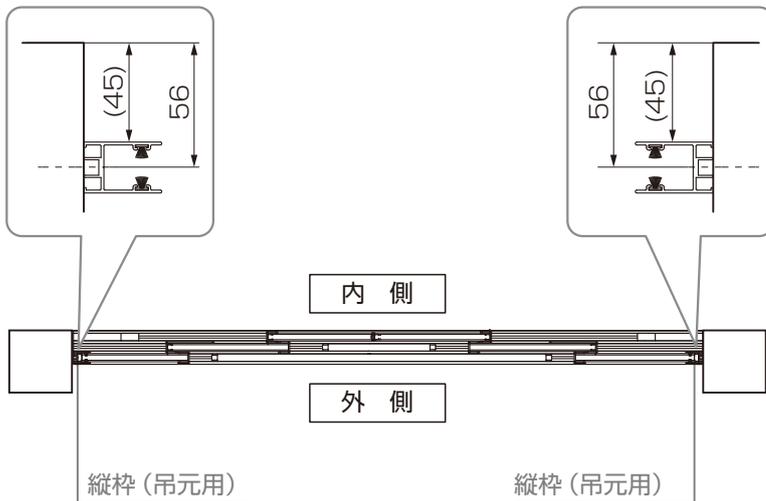
【縦枠(吊元側)】



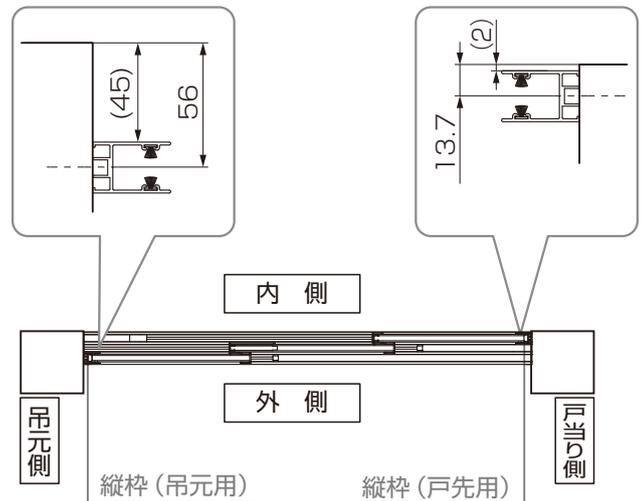
【縦枠(戸先側)】※片開きのみ



▼両開きの場合▼



▼片開き (開き方：右→左) の場合▼



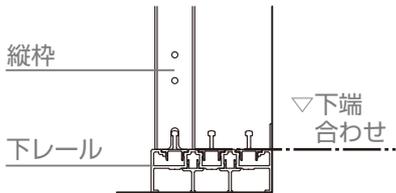
※開き方：左→右の場合
取付け位置は左右反転します。

11-3-2 縦枠の取付け

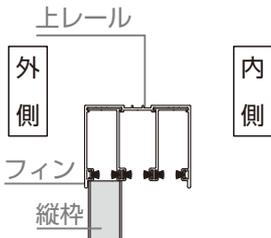
1: 縦枠を柱に【26g】で取付け

お願い

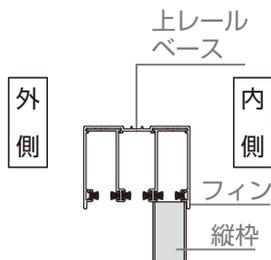
● 縦枠は下レールへ下端合わせで取付けてください。



● 縦枠の上端は上レールのフィンに突き当てた位置に固定してください。



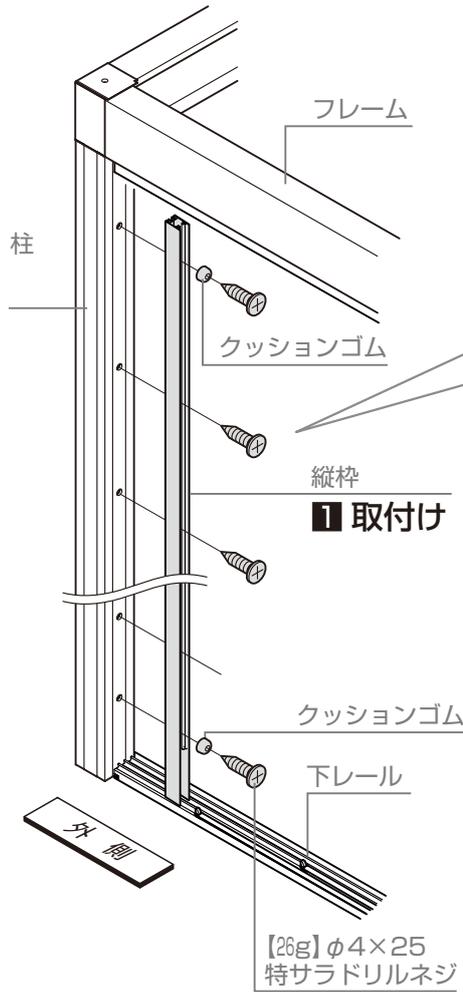
〈吊元側〉



〈戸先側〉※片開きのみ

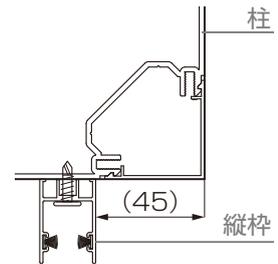
● ネジ位置の最上部と最下部は必ずクッションゴムを入れて共締めしてください。

● 縦枠取付け後に、縦枠が垂直に取付けられていることを確認してください。

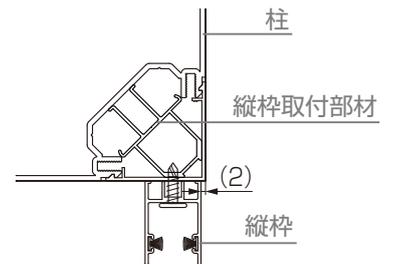


【断面図】

〈吊元側〉



〈戸先側〉※片開きのみ



戸先側への取付けは、本体の柱カバへ固定してください。



11-4 戸先錠の取付け

11-4-1 錠の分解

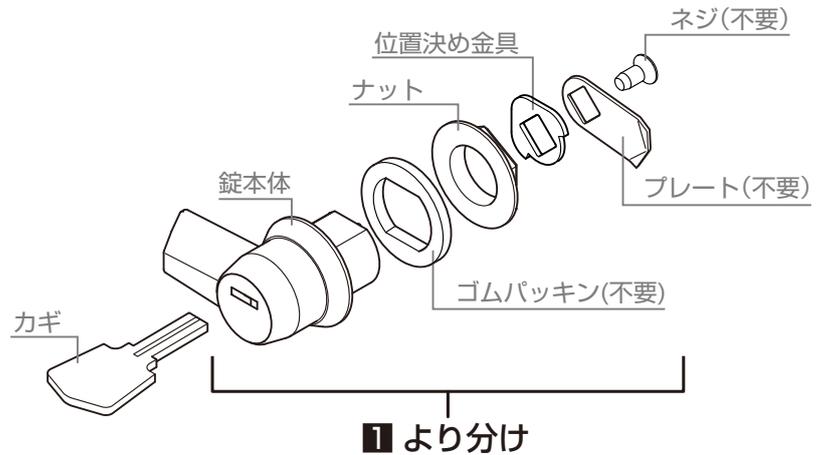
❶: 錠を分解して部品をより分け

補足

- 錠本体とナット、位置決め金具以外の部品は使用しません。
- 最初にカギを開け、本体のつまみが動くようにしてください。

お願い

- カギ(×2)は最終的にお客様へ引き渡します。大切に保管してください。

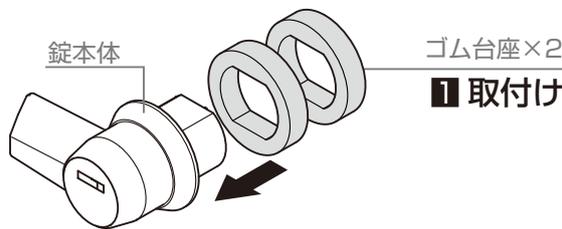


11-4-2 戸先錠の組立て

❶: 錠本体にゴム台座2枚を重ねて取付け

補足

- 以降では外側から見た開き方によって組立てが異なります。



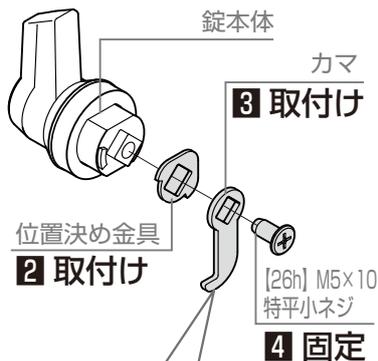
▼ 右→左に開く場合 ▼



❷: 錠本体に位置決め金具を取付け

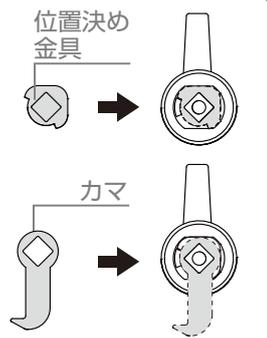
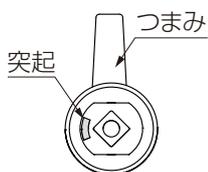
❸: 錠本体にカマを取付け

❹: 錠本体に【26h】で固定

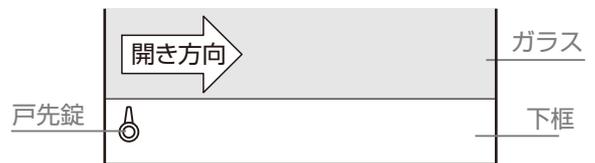


補足

- 突起が下図の位置に来るように調整します。



▼ 左→右に開く場合 ▼



❷: 錠本体に位置決め金具を取付け

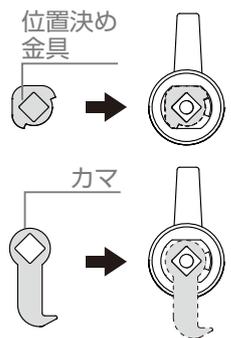
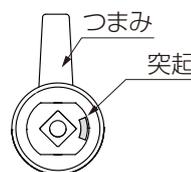
❸: 錠本体にカマを取付け

❹: 錠本体に【26h】で固定



補足

- 突起が下図の位置に来るように調整します。



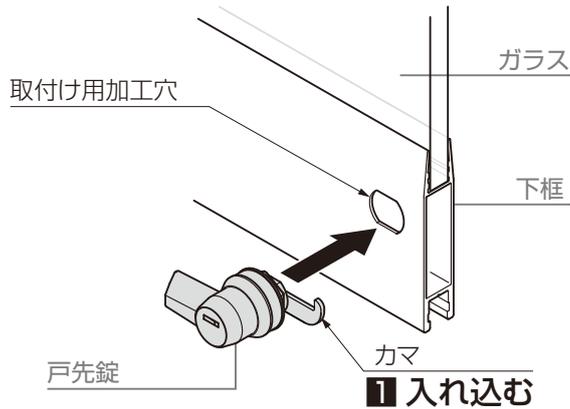
お願い

- 開き方で、位置決め金具とカマの向きが異なるので注意してください。

11-4 戸先錠の取付け

11-4-3 錠の取付け

1: 先導扉(錠掛け用)の下框に戸先錠取付け用の加工があることを確認し、加工部に戸先錠のカマ部を入れ込む



1 入れ込む

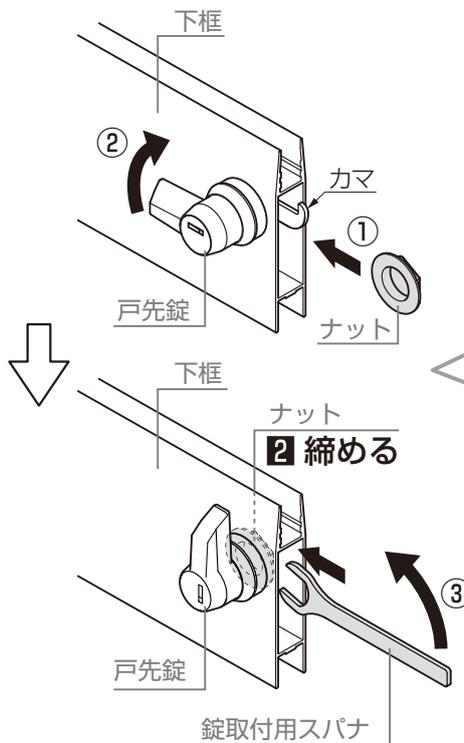
2: ナットを小口側から入れ、戸先錠を固定

お願い

●ナットは、錠取付用スパナを使用し、下框内部で固定してください。

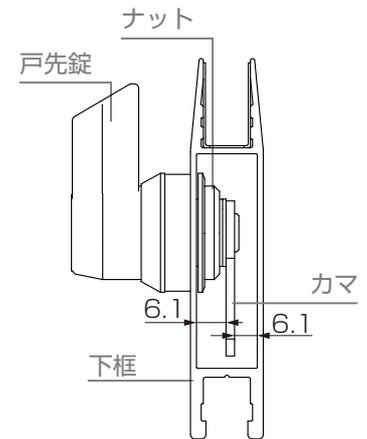
補足

●カマをかけた(水平方向に寝かせた)状態でナットをカマに通し、カマを下向きにしてナットを締めると固定しやすくなります。



お願い

●カマが下框の中央になるよう取付けてください。



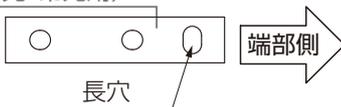
3: 下框端部キャップと下框端部キャップ取付金具を【26i】で組付け

4: 3で組み立てた下框端部キャップと下框端部部品を下框に【26d】で取付け

お願い

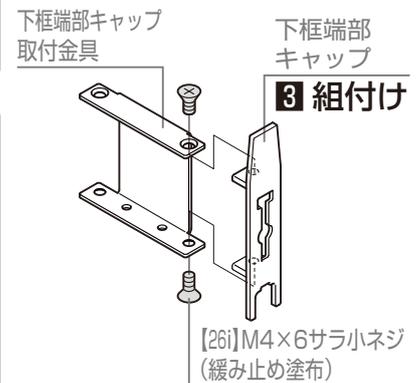
●下框端部部品の向きに注意してください。

下框端部部品
(戸先・吊元用)

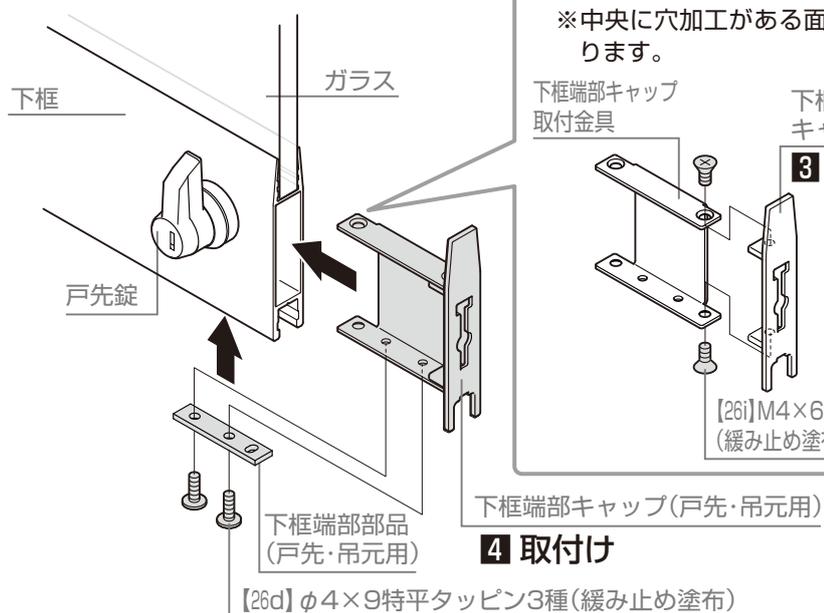


補足

●取付け金具の上下向きをよく確認してください。
※中央に穴加工がある面が下になります。



3 組付け



4 取付け

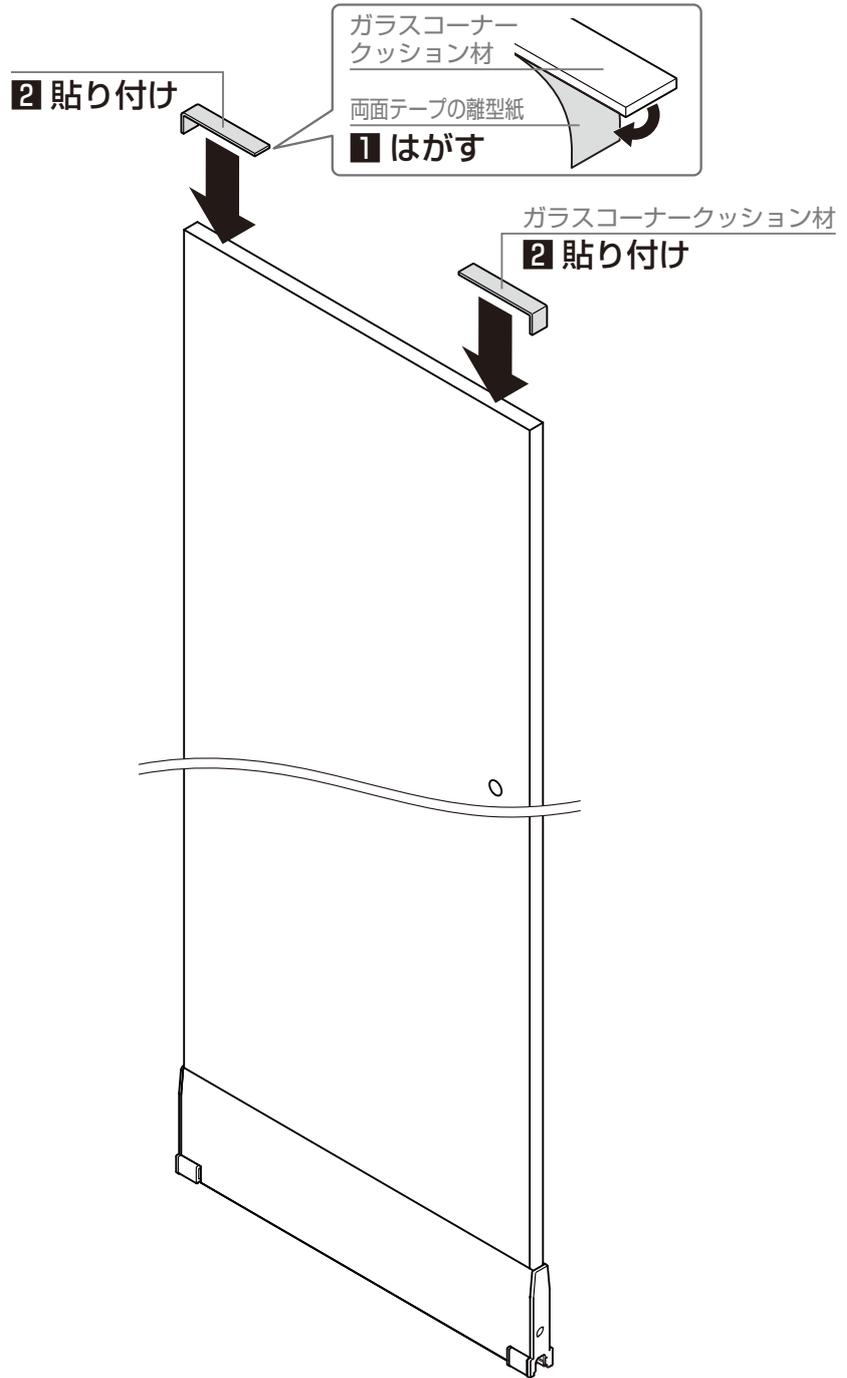
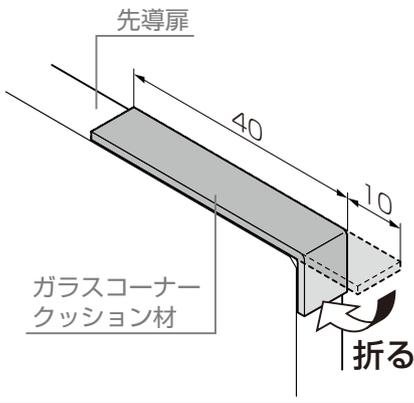


11-5 ガラスコーナークッション材の取付け

- 1: ガラスコーナークッション材の両面テープの離型紙をはがす
- 2: 先導扉のガラス小口にガラスコーナークッション材を貼り付け

お願い

- ガラスコーナークッション材は先導扉の戸先側・吊元側の両方に取付けてください。
- ガラスコーナークッション材の端部から10mmを折ってガラスの側面小口に貼り付けてください。



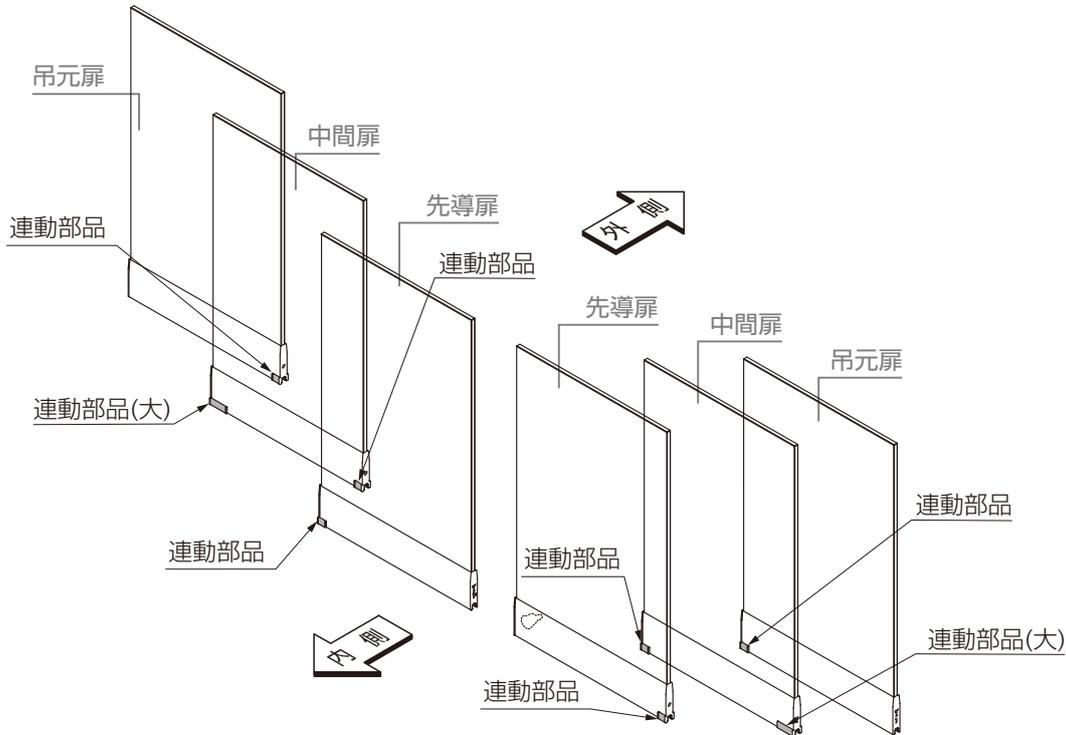


11-6 ガラスパネルの取付け

11-6-1 ガラスパネル取付け位置の確認

お願い

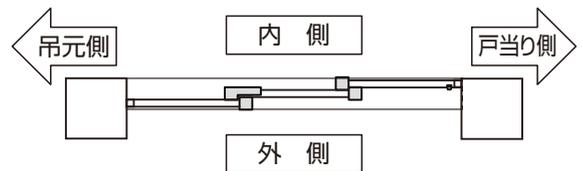
●ガラスパネルは下框の形状およびガラスの加工が異なります。取付け位置、方向を確認してください。



▼両開きの場合▼



▼片開きの場合(開き方：右→左)▼

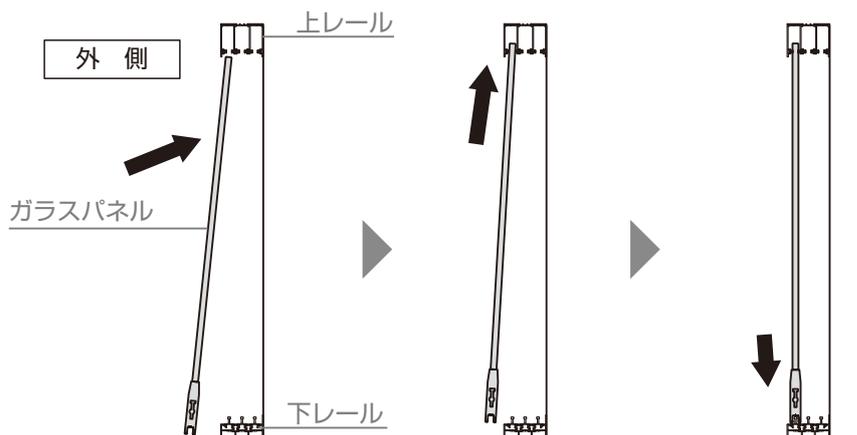


※開き方：左→右の場合
取付け位置は左右反転します。

11-6-2 ガラスパネルのはめ込み方法の確認

お願い

- ガラスパネルはけんどんで取付けてください。
- ガラスパネルは外側から吊元扉→中間扉→先導扉の順に取付けてください。



11-6 ガラスパネルの取付け

11-6-3 吊元扉の取付け

1: 吊元扉を外側からけんどんで吊込む

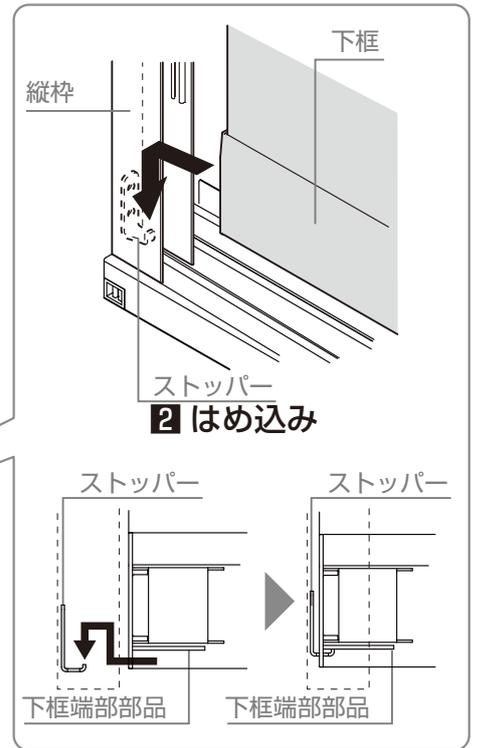
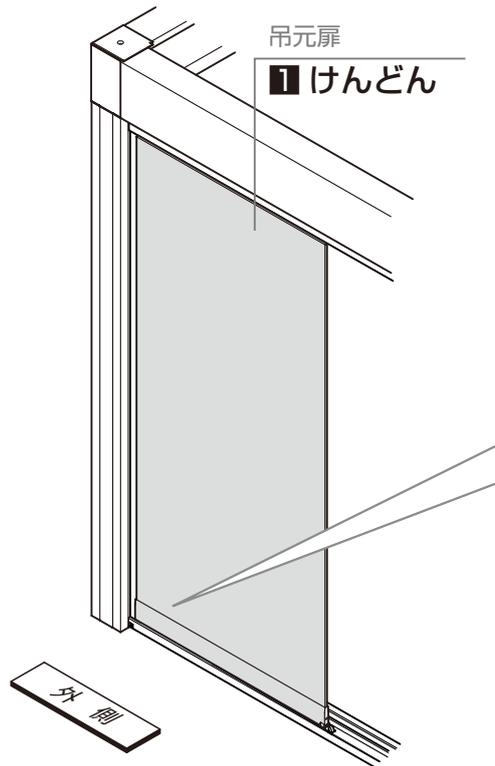
お願い

- ガラスパネルを吊込む際は、必ず2人以上でリフター（吸盤）を使用してください。

2: 吊元扉の下框（吊元側）を縦枠のストッパーにはめ込む

お願い

- リフター（吸盤）で扉を持ち上げて縦枠方向に押しつけてください。
- 扉をおろしたあと、動かないか確認してください。



11-6-4 中間扉・先導扉の取付け

1: 中間扉を外側からけんどんで吊込む

お願い

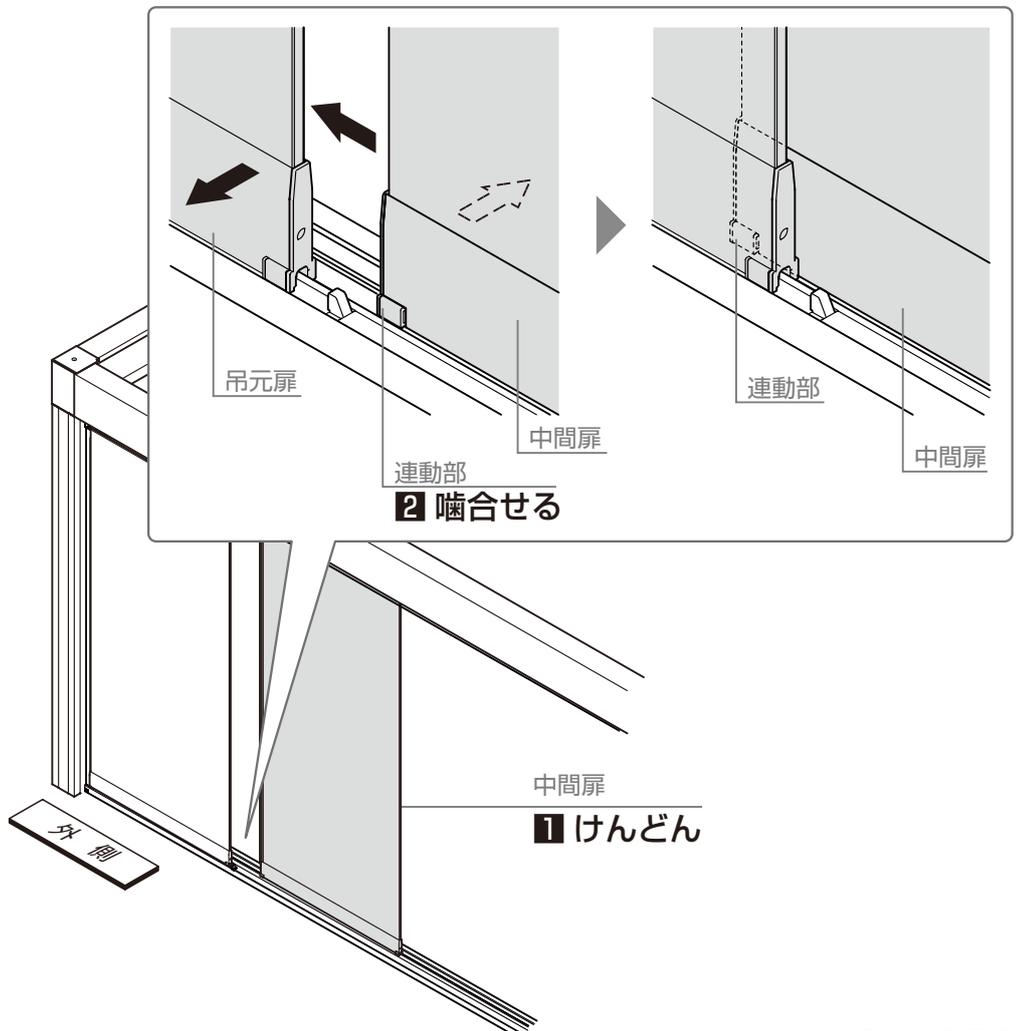
- ガラスパネルをはめ込む際は、2人以上で必ずリフター（吸盤）を使用してください。
- 必ず扉が取付いていない位置で吊込みを行なってください。

2: 吊元扉を外側に、中間扉は内側に寄せながら連動部を噛合わせる

お願い

- 先導扉を入れる前に中間扉を連動させ吊元側に寄せてください。（吊元扉と重ねる）

3: 1 ~ 2の手順で先導扉を取付け





11-7 ガラスパネルの仕上げ

11-7-1 戸車の調整

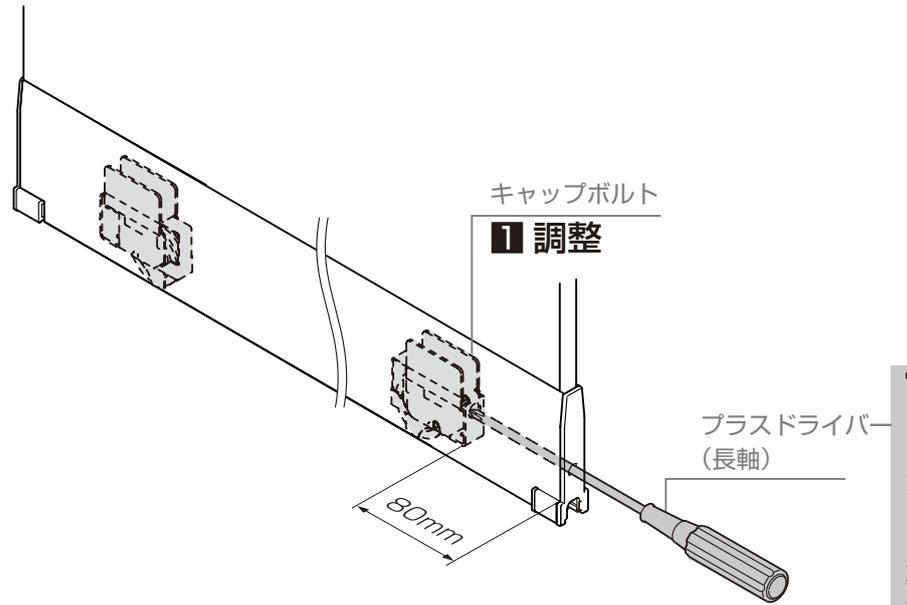
- 1**: プラスドライバーで戸車のキャップボルトを回してガラスパネルの傾きを調整
- ※時計回り: 上げ
 - 反時計回り: 下げ

お願い

- 軸長100mm以上で軸径φ7未満のプラスドライバーを使用してください。

補足

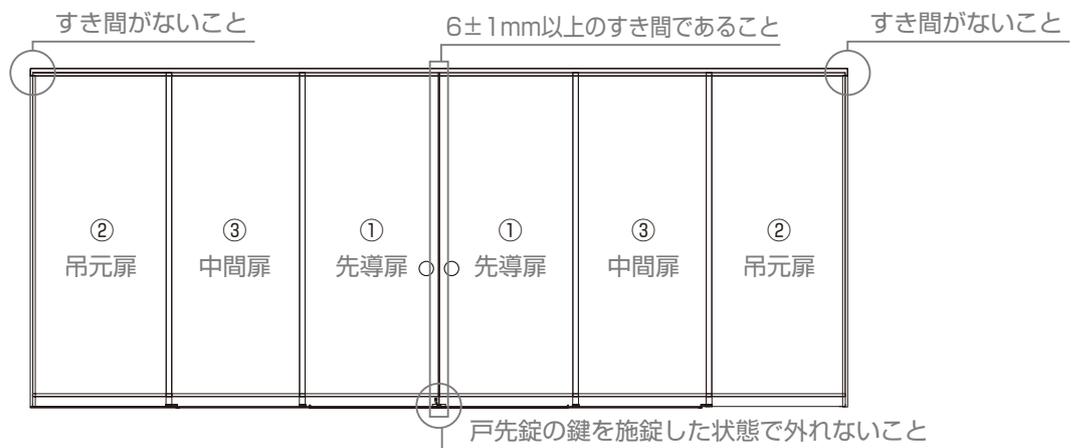
- 初期時の戸車は最低位置に設定されています。



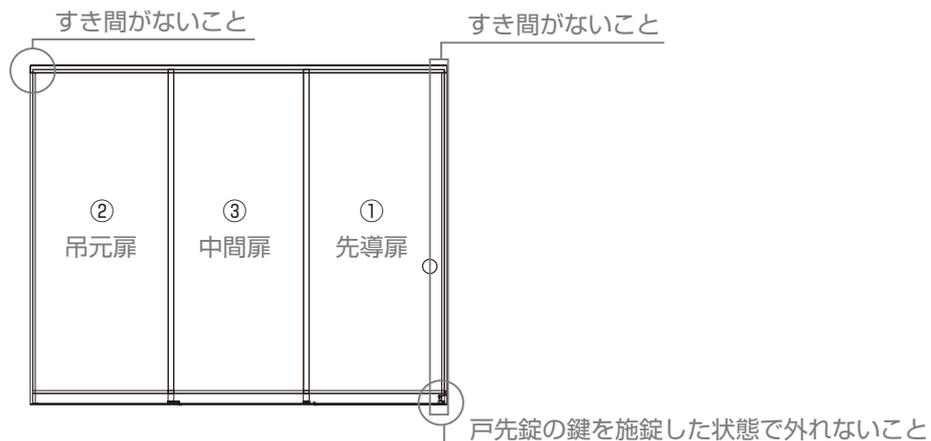
お願い

- 先導扉→吊元扉→中間扉の順ですき間、ガラスの重なりを調整してください。
- キャップボルトを回して召し合わせのすき間が 6 ± 1 mmになるようにしてください。
- 吊元扉と縦枠にすき間がないようにしてください。

▼ 両開き仕様の場合 ▼



▼ 片開き仕様の場合 ▼



11-7-2 抜け止め部品の取付け

1: 抜け止め部品をガラスパネルに差込む

ガラスパネル
抜け止め部品
1 差込む
下レール (走行部)

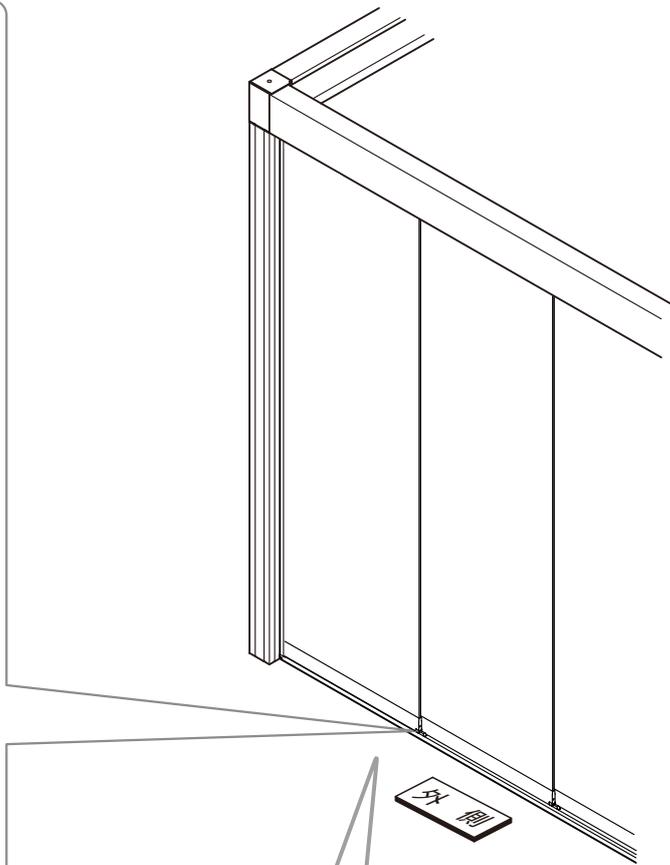
補足

- 抜け止め部品が入りにくい場合は、あて木をしてハンマーでたたいて取付けてください。

抜け止め部品
あて木

お願い

- 鋭利なもので押し込まないでください。破損のおそれがあります。
- 吊元扉は戸先側1カ所のみ取付けてください(他の扉は2カ所)。



補足

- 抜け止め部品を取外す場合は、幅5mm以下のマイナスドライバーでつまみ上部に差込んで引出してください。

精密用
マイナスドライバー
つまみ
抜け止め部品

11-7 ガラスパネルの仕上げ

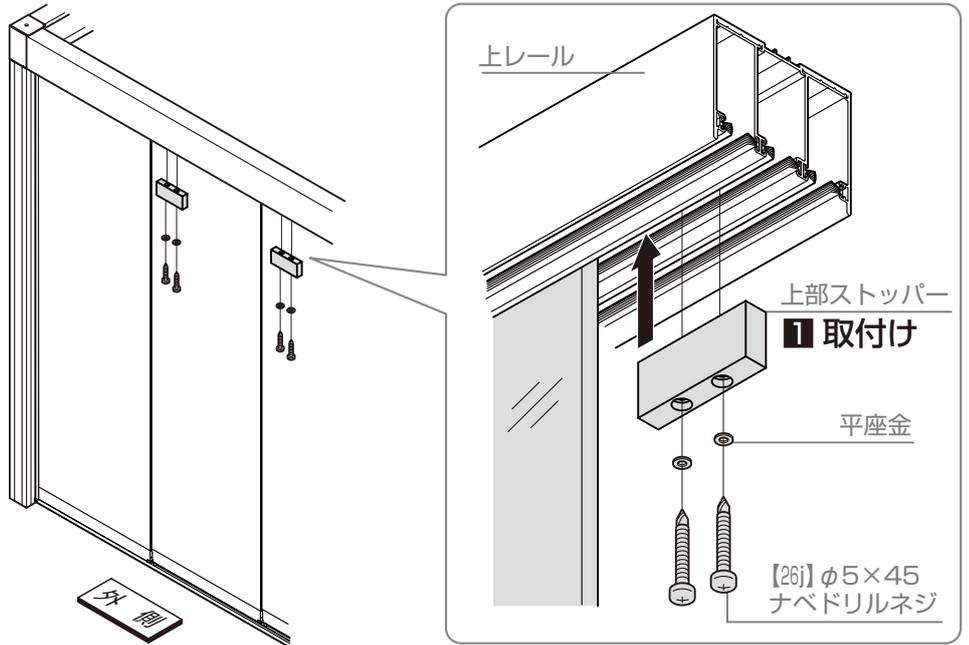
つづき

11-7-3 上部ストッパー（吊元扉・中間扉用）の取付け

1: 上部ストッパーを上レールの中
 間扉、吊元扉レールに平座金と【26j】で
 取付け

お願い

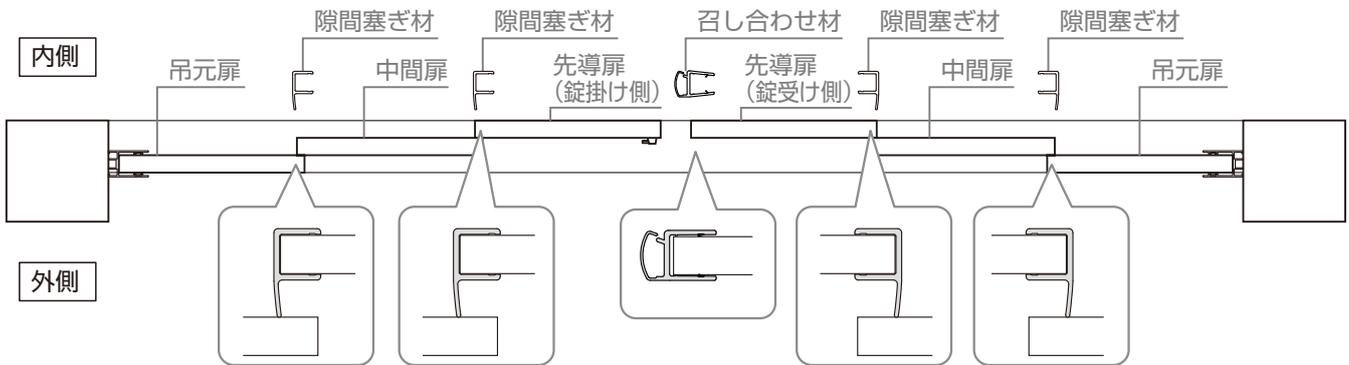
- 扉を閉めきった状態でガラスの戸
 先側が当たる位置に取付け位置を
 決めてください。
 吊元扉と中間扉の戸先側に取付け
 てください。



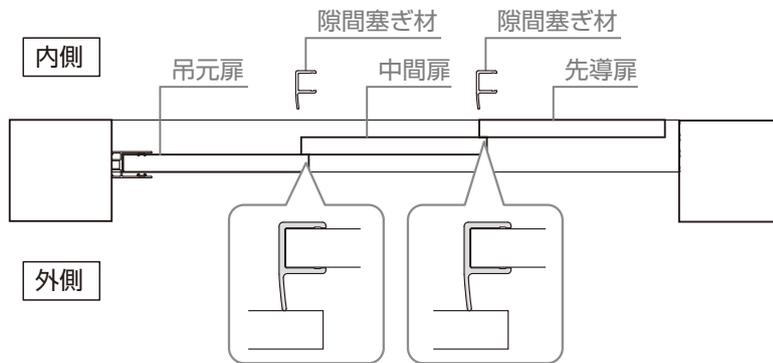
11-7 ガラスパネルの仕上げ

11-7-4 隙間塞ぎ材、召し合わせ材の取付け位置の確認

▼両開きの場合▼



▼片開きの場合▼



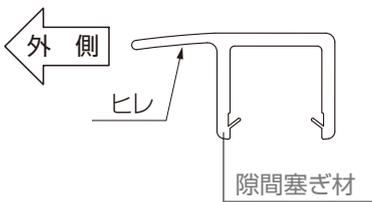
※現場判断品、隙間塞ぎ材の取付けは任意です。
ユーザー様のご希望に応じて現場で判断してください。

11-7-5 隙間塞ぎ材の取付け

1: 隙間塞ぎ材を先導扉と中間扉の吊元側にはめ込む

お願い

- 隙間塞ぎ材のヒレ部分が外側に向くように取付けてください。

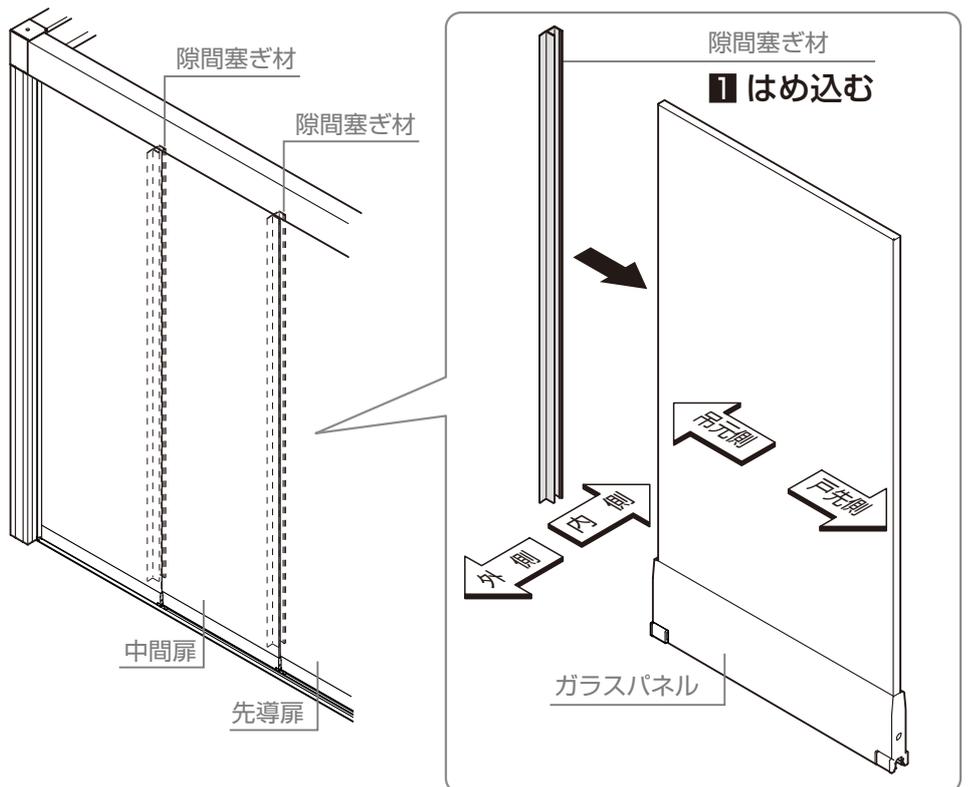


▼ 隙間塞ぎ材を切りつめる場合 ▼

- 必ず切断機を使用してください。カッター等で切断すると部材が割れるおそれがあります。

補足

- はめ込みが固い場合は、ガラスを霧吹き等で濡らすとはめ込みやすくなります。



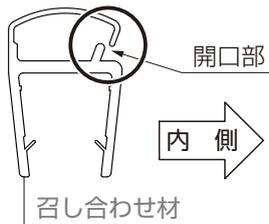
11-7 ガラスパネルの仕上げ

11-7-6 招し合わせ材の取付け（両開きの場合）

❶: 招し合わせ材を先導扉（錠受け側）に取付け

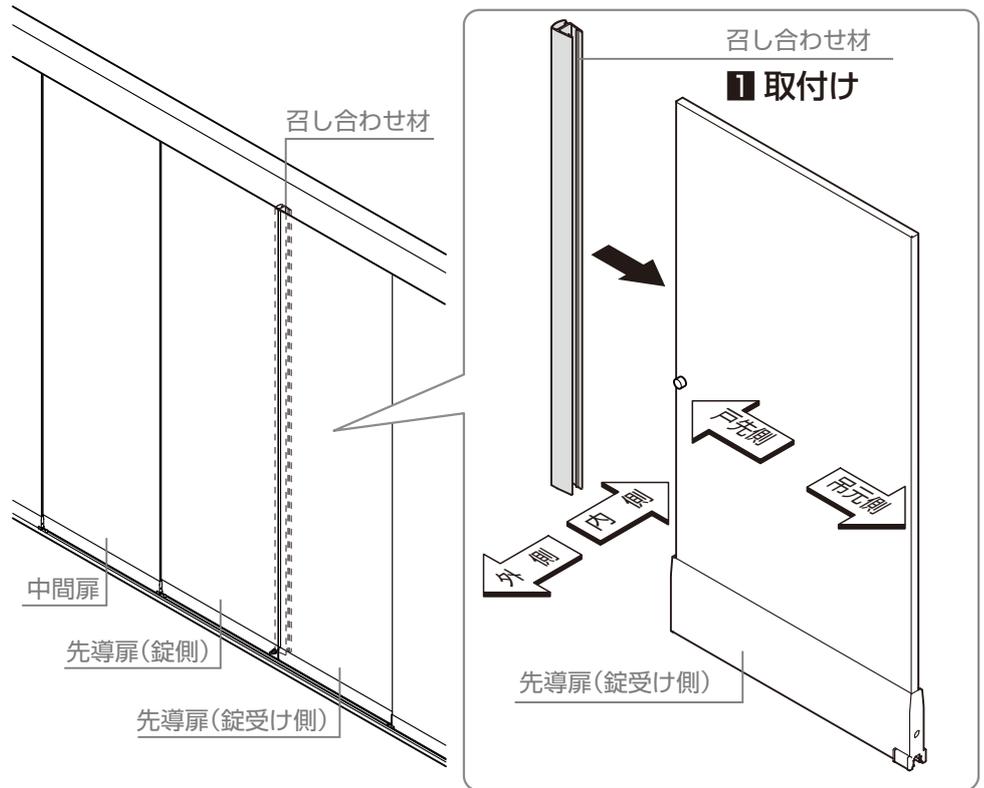
💡 お願い

- 招し合わせ材の開口部が内側に向くように取付けてください。



▼ 招し合わせ材を切りつめる場合 ▼

- 必ず切断機を使用してください。カッター等で切断すると部材が割れるおそれがあります。



11-7-7 引手の取付け

❶: 片側の引手に【26k】とスペーサーを取付け

🔧 補足

- 【26k】の取付けには六角レンチ（呼び径4mm）を使用します。

❷: 引手用パッキンの両面テープの離型紙をはがす

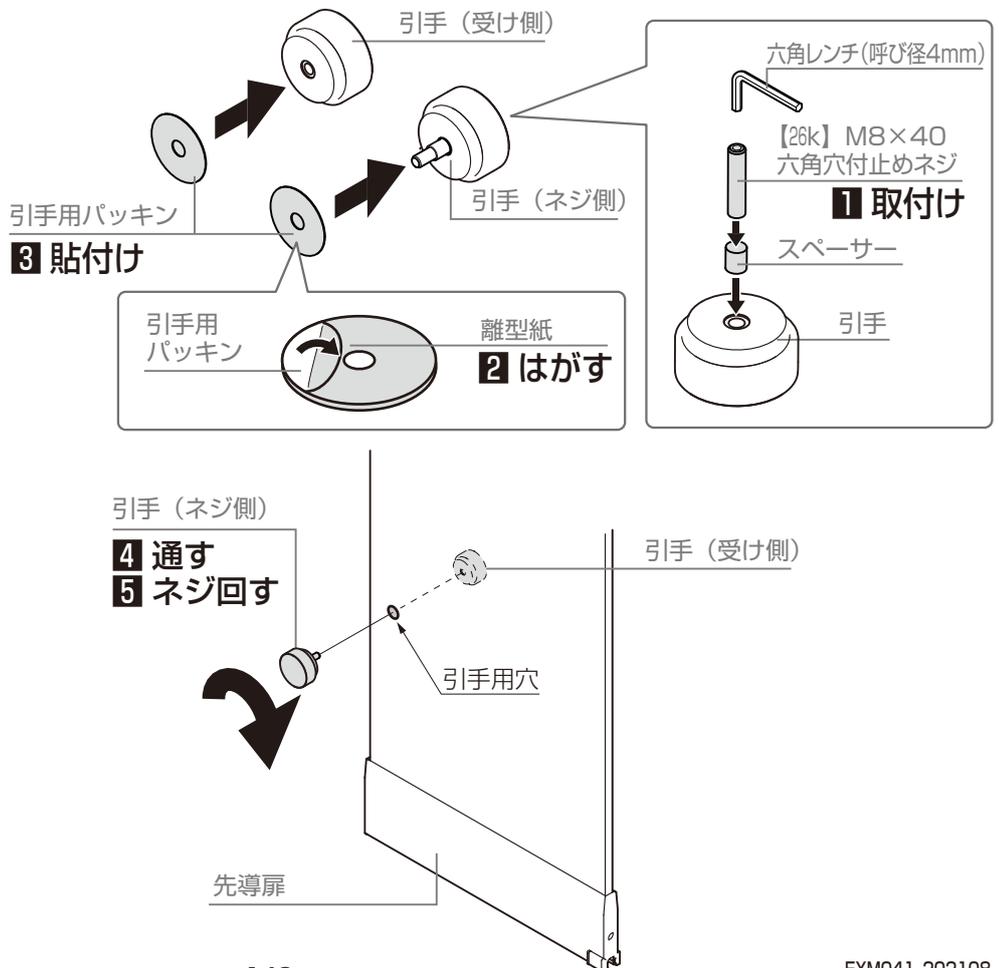
❸: それぞれの引手に引手用パッキンを貼付け

❹: 引手（ネジ側）を引手用穴に通す

❺: 引手同士を組付け、ネジ回して取付け

💡 お願い

- 引手が外れないようにしっかりと取付けてください。



梱包明細表

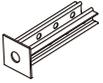
注意

●本製品の部材、部品はGARDEN ANNEX専用です。他の商品には使用できません。

補足

●部品点数は一部省略して表記しています。詳細は製品納品時に同封される明細表をご確認ください。

【1】 柱セット

名 称	略 図	員 数					
		ベースプレート仕様		インナーベース仕様		埋込み仕様	
		水下側	水上側	水下側	水上側	水下側	水上側
柱		1	1	-	-	-	-
ベースプレートセット		1	1	-	-	-	-
インナーベース付き柱セット		-	-	1	1	1	1

【2】 柱カバーセット

名 称	略 図	員 数
柱カバー		※
ガイドレール (L、R)		※

※オプションによって員数が異なります。

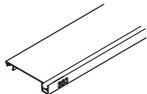
【3】 フレームセット 右側・左側 (水下側・水上側)

名 称	略 図	員 数							
		基本用		ロールスクリーン仕様		LED仕様		ロールスクリーン・LED併用仕様	
		水下側	水上側	水下側	水上側	水下側	水上側	水下側	水上側
フレームセット (水上側・水下側)		1	1	1	1	1	1	1	1

【4】 フレームセット 進行側・収納側

名 称	略 図	員 数															
		基本用				ロールスクリーン仕様				サウンド&ヒーター仕様				ロールスクリーン・サウンド&ヒーター併用仕様			
		右勾配用 進行側	左勾配用 収納側	右勾配用 進行側	左勾配用 収納側												
フレームセット (進行側・収納側)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	

【5】 フレームトップカバーAセット

名 称	略 図	員 数	
		水下用	水上用
フレームトップカバーA		1	1

【7】 モーターカバーセット

名 称	略 図	員 数	
		水下用	水上用
モーターカバー		1	1

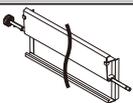
【6】 フレームトップカバーBセット

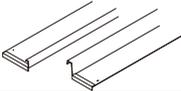
名 称	略 図	員 数	
		水下用	水上用
フレームトップカバーB		1	1

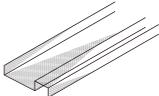
【8】 フレームサイドカバーセット

名 称	略 図	員 数	
		基本用	ロールスクリーン用
フレームサイドカバー		1	1

梱包明細表

【9】 ルーフルーバーセット			
名 称	略 図	員 数	
		緑マーカ-	赤マーカ-
ルーフルーバー		1または2	1または2

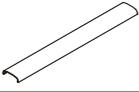
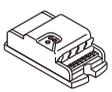
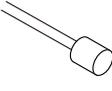
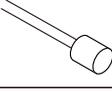
【10】 見切り材セット			
名 称	略 図	員 数	
		収納側	進行側
見切り材		1	1

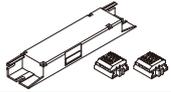
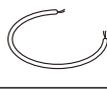
【11】 雨受け部用金網セット		
名 称	略 図	員 数
金網ネット		※

※サイズによって員数が異なります。

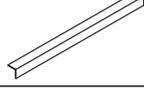
【12】 モーターセット			
名 称	略 図	員 数	
		L	R
モーター		1	1

【13】 ロールスクリーンセット		
名 称	略 図	員 数
ロールスクリーン本体		1

【14】 ロールスクリーン部品箱セット		
名 称	略 図	員 数
ケーシング本体		1
ケーシングカバー		1
ケーシングキャップ		2
アンプ		4 1
投光器		1
受光器		1
センサーガード		2

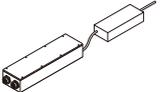
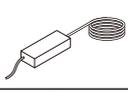
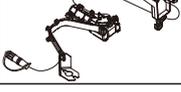
【14】 ロールスクリーン部品箱セット		
名 称	略 図	員 数
レシーバー		1
接続ケーブル		1
スクリーンキャップB		1
リモコン		1
【14a】 M4×10サラ小ネジ		4
【14b】 M4×40六角穴付きボルト		※
【14c】 M5×16ナベ小ネジ		4

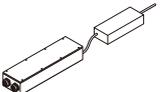
※サイズによって員数が異なります。

【15】 柱LEDセット		
名 称	略 図	員 数
柱LED		1
柱LEDカバー		1

【16】 柱LED部品箱セット		
名 称	略 図	員 数
リモコン		1
【16a】 M4×12サラ小ネジ		※

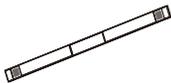
※サイズによって員数が異なります。

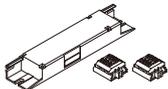
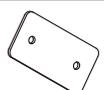
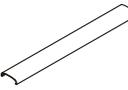
【17】 コントローラーセット (ルーフルーバー用)		
名 称	略 図	員 数
コントローラー (ルーフルーバー用)		1
電源ボックス		2
センサー		2

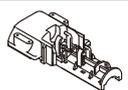
【18】 コントローラーセット (LED用)		
名 称	略 図	員 数
コントローラー (LED用)		※

※オプションによって員数が異なります。

梱包明細表

【19】 サウンド&ヒーターセット		
名 称	略 図	員 数
サウンド&ヒーター		1

【20】 サウンド&ヒーター部品箱セット		
名 称	略 図	員 数
レシーバー		1
レシーバー用ケーブル		1
吊り金具		2
200V用電源ケーブル		1
100V用電源ケーブル		1
ステンレスプレート		2
ゴムプレート		2
スピーカーケーブル		2
リモコン		1
ケーシング本体		1
ケーシングカバー		1
ケーシングキャップ		2
ノイズフィルタセット		1
【20a】 M6×16サラ小ネジ		4
【20b】 M6×16六角穴付きボルト		4
【20c】 M4×10サラ小ネジ		4

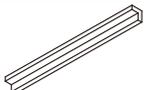
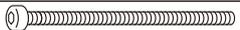
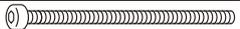
【21】 台座カバー部品箱セット		
名 称	略 図	員 数
台座カバー		※

※サイズによって員数が異なります。

【22】 シャフトキャップ部品箱セット		
名 称	略 図	員 数
シャフトキャップ		※

※サイズによって員数が異なります。

梱包明細表

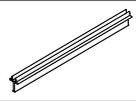
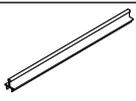
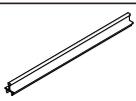
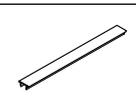
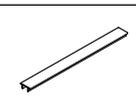
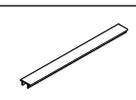
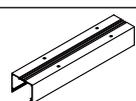
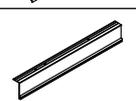
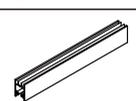
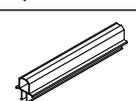
【23】 部品箱セット			
	名 称	略 図	員 数
基本セット	柱サイドカバー		4
	柱キャップ		4
	ブラケット取付金具		4
	雨樋ジョイント材		2
	シーリングアングル		4
	【23a】 M6×80六角穴付きサラネジ		4
	【23c】 φ5×40ナベドリルネジ		※
	【23d】 M8×25六角穴付きサラボルト		※
	【23e】 M5×25サラタッピンネジ		4
	【23f】 M6×180六角穴付きネジ		8
	【23g】 M8×80WHネジ (六角穴付き)		※
	【23h】 M6×16WHネジ (六角穴付き)		※
	【23i】 φ4×12六角穴付きネジ		4
	【23k】 M10×70オールアンカー		20
	排水キャップ		2
	排水誘導キャップ		2
	プチルテープ		1
	ラバー		1
	リモコン		2
	注意ラベル (本体用)	—	1
注意ラベル (ロールスクリーン用)	—	1	
取付説明書	—	1	
取扱説明書	—	1	
連棟セット	柱中間カバー		2
	柱キャップ(連棟用)		2
	【23f】 M6×180六角穴付きネジ		6
	【23i】 M8×90六角穴付きサラボルト		8

※サイズによって員数が異なります。

梱包明細表

梱包明細表

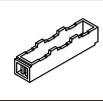
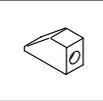
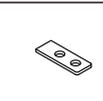
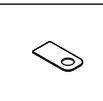
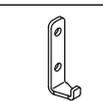
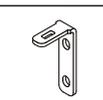
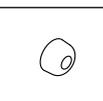
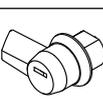
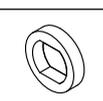
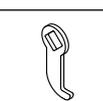
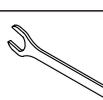
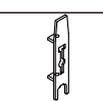
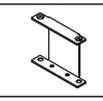
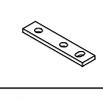
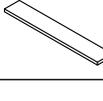
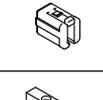
【24】 ガラスパネル 枠材セット

名 称	略 図	員 数	
		両開き	片開き
下レールベース		1	1
下レール脚部		4	2
下レール走行部 (先導扉用)		1	1
下レール走行部 (中間扉用)		2	1
下レール走行部 (吊元扉用)		2	1
下レールカバー (先導扉用)		2	1
下レールカバー (中間扉用)		1	1
下レールカバー (吊元扉用)		1	1
上レールベース		1	1
上レール (組付部材)		2	2
縦枠		2	2
縦枠取付部材		-	1

【25】 ガラスパネルセット

名 称	略 図	員 数	
		両開き	片開き
先導扉 (錠掛け用)		1	1
先導扉 (錠受け用)		1	-
中間扉		2	1
吊元扉		2	1

【26】 ガラスパネル 部品箱セット

名 称	略 図	員 数	
		両開き	片開き
下レール排水部品		2	2
下部ストッパーゴム		2	1
下部ストッパー取付金具		2	1
下部ストッパー取付金具パッキン		2	1
下レール端部部品		4	2
下レール端部部品パッキン		4	2
ストッパー(吊元扉下部用)		2	1
錠受け金具		-	1
クッションゴム		4	4
戸先錠		1	1
ゴム台座		2	2
カマ		1	1
錠取付用スパナ		1	1
下枠端部キャップ		1	1
下枠端部キャップ取付金具		1	1
下枠端部部品(戸先・吊元用)		1	1
ガラスコーナークッション材		4	2
抜け止め部品		10	5
上部ストッパー		6	3

※サイズによりネジ、座金が余る場合があります。

梱包明細表

【26】 ガラスパネル 部品箱セット			
名 称	略 図	員 数	
		両開き	片開き
引手		4	2
スペーサー		2	1
引手用パッキン		4	2
ゴムワッシャー		34	18
平座金		12	6
【26a】φ4×50ナベドリルネジ		—	6
【26b】フィッシャープラグ(S6)		26	14
【26c】φ4×50ナベタッピン2種(G=5)		26	14
【26d】φ4×9特平タッピン3種(緩み止め塗布)		6	5
【26e】φ4×13薄平ドリルネジ		8	4
【26f】φ4×13特サラドリルネジ		30	16
【26g】φ4×25特サラドリルネジ		12	12
【26h】M5×10特平小ネジ		1	1
【26i】M4×6サラ小ネジ(緩み止め塗布)		2	2
【26j】φ5×45ナベドリルネジ		12	6
【26k】M8×40六角穴付止めネジ		2	1

※サイズによりネジ、座金が余る場合があります。

【27】 召し合わせ材セット			
名 称	略 図	員 数	
		両開き	片開き
召し合わせ材		1	—

※召し合せ材セットは両開き仕様のみになります。

【28】 隙間塞ぎ材セット			
名 称	略 図	員 数	
		両開き	片開き
隙間塞ぎ材		4	2

取説コード
EXM-041
JZZ637932A 202108_1049 202202A_1049